

根 室 市
市民意識調査報告書

令和4年11月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	1
3. 1 調査票の回収結果	1
3. 2 回答者の属性.....	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識.....	6
3. 4 居住の満足度についての市民意識.....	8
3. 5 保健医療について	14
3. 6 少子化・子育て支援について	27
3. 7 高齢者支援について.....	35
3. 8 社会福祉全般について	46
3. 9 交通について.....	48
3. 10 生活環境について.....	55
3. 11 防災・減災対策について.....	65
3. 12 学校教育・社会教育について.....	69
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について	77
3. 14 産業の振興について	82
3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	86
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）	90
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	92
3. 18 男女共同参画について	94
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	95
4. 市民意識調査結果のまとめ.....	96
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P Iの動向	102
6. 根室市創生総合戦略の評価.....	106
6. 1 基本目標別の施策実施効果の評価検討.....	106
6. 2 まとめ.....	130
資 料 編.....	133
資料1. 市民意識調査自由回答	134
資料2. 市民意識調査票	151

1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」を、さらに令和 3 年には「第 2 期根室市創生総合戦略」（対象期間：令和 3 年度～令和 6 年度）を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じて対応していくことが不可欠である。

本調査は、根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として平成 28 年度から毎年実施しているものである。

2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標；事業の目標達成度合いを示す指標）に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、昨年度までの調査票を基本とし、施策認知度に関する設問に関しては、新たな施策を勘案して入れ替え等を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査との継続性を確保するために同じ設問設定とし、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の有効回収数は 772 票であり、有効回収率は 25.6%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,014	773	772	25.6%

3. 2 回答者の属性

(1) 地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 85.2%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はそれぞれ、7.1%、6.7%であった。

令和4年度調査

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	658	55	52	7	772
	85.2%	7.1%	6.7%	0.9%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

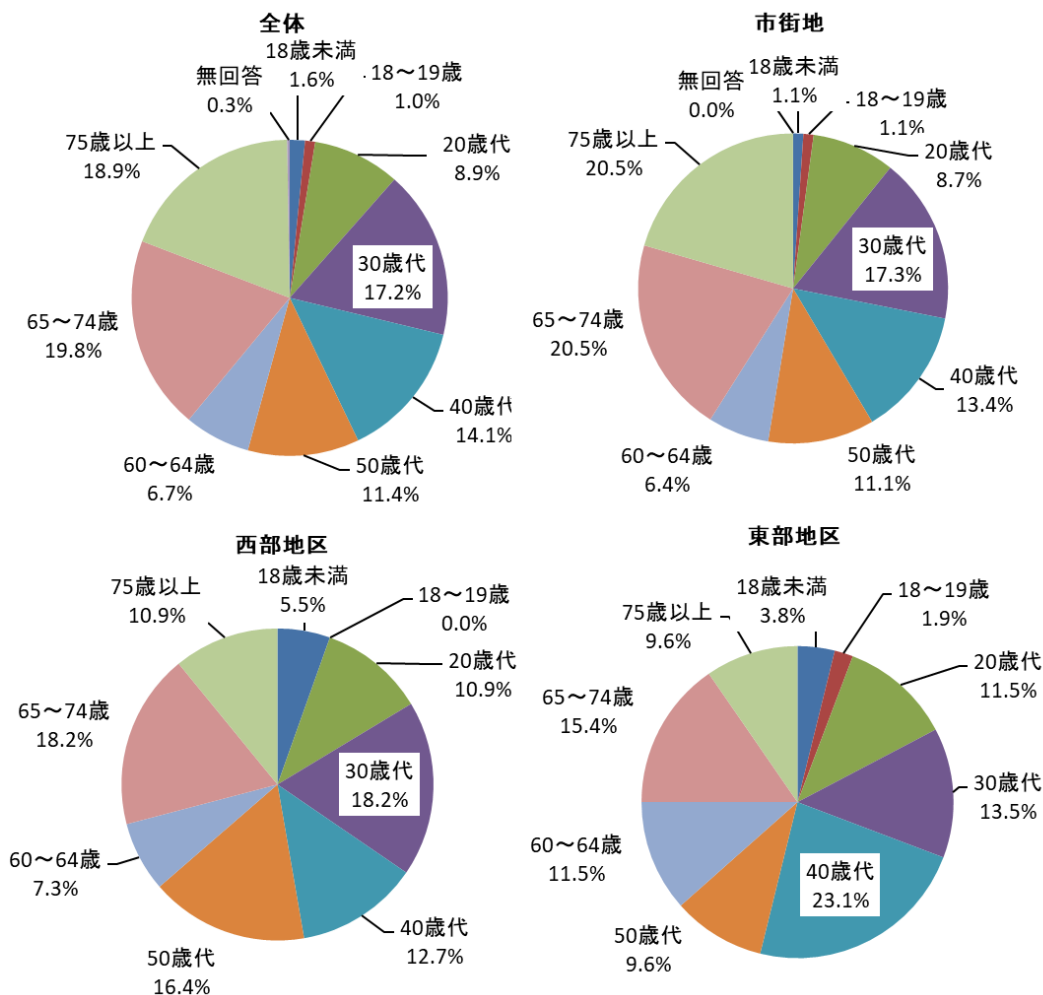
地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、槍昔
東部地区	友知、双沖、歯舞、瑯瑠、納沙布、温根元、豊里、牧の内

(2) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、その中で全体では65~74歳の割合が最も多かった。

回答者の割合をみると、平成28年度調査以降、60歳代では増加基調にあるものの、30歳代、40~50歳代では、減少基調となっている。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	7	3	2	0	12
18～19歳	7	0	1	0	8
20歳代	57	6	6	0	69
30歳代	114	10	7	2	133
40歳代	88	7	12	2	109
50歳代	73	9	5	1	88
60～64歳	42	4	6	0	52
65～74歳	135	10	8	0	153
75歳以上	135	6	5	0	146
無回答	0	0	0	2	2
計	658	55	52	7	772

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	1.1%	5.5%	3.8%	0.0%	1.6%
18～19歳	1.1%	0.0%	1.9%	0.0%	1.0%
20歳代	8.7%	10.9%	11.5%	0.0%	8.9%
30歳代	17.3%	18.2%	13.5%	28.6%	17.2%
40歳代	13.4%	12.7%	23.1%	28.6%	14.1%
50歳代	11.1%	16.4%	9.6%	14.3%	11.4%
60～64歳	6.4%	7.3%	11.5%	0.0%	6.7%
65～74歳	20.5%	18.2%	15.4%	0.0%	19.8%
75歳以上	20.5%	10.9%	9.6%	0.0%	18.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

調査年度	回答者の年齢階層別構成の推移		
	30歳代以下	40～50歳代	60歳以上
令和4年度調査	28.8%	25.5%	45.5%
(増減率(ポイント))	(-1.4)	(-4.0)	(+5.5)
令和3年度調査	30.1%	29.6%	40.0%
(増減率(ポイント))	(+2.1)	(+2.5)	(-4.8)
令和2年度調査	28.0%	27.0%	44.8%
(増減率(ポイント))	(-1.8)	(+0.2)	(+2.3)
令和元年度調査	29.8%	26.8%	42.5%
(増減率(ポイント))	(+0.4)	(-2.8)	(+2.2)
平成30年度調査	29.4%	29.7%	40.3%
(増減率(ポイント))	(-0.4)	(+2.4)	(-2.0)
平成29年度調査	29.8%	27.3%	42.3%
(増減率(ポイント))	(-1.4)	(-3.4)	(+4.5)
平成28年度調査	31.2%	30.7%	37.9%

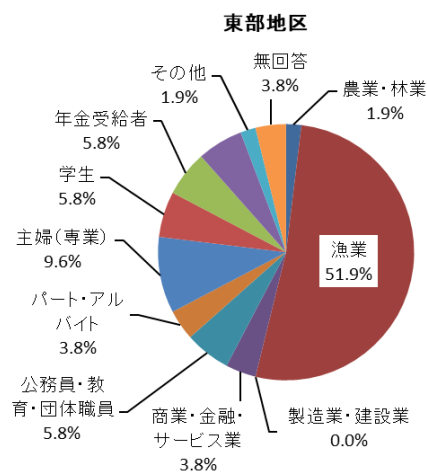
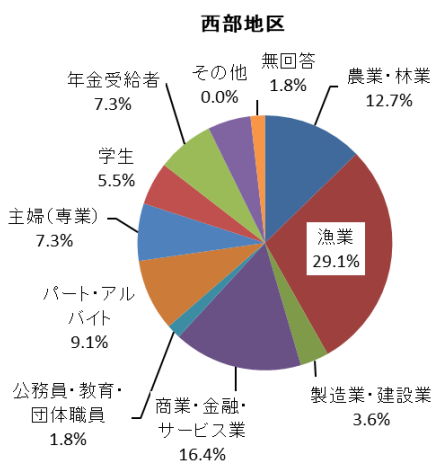
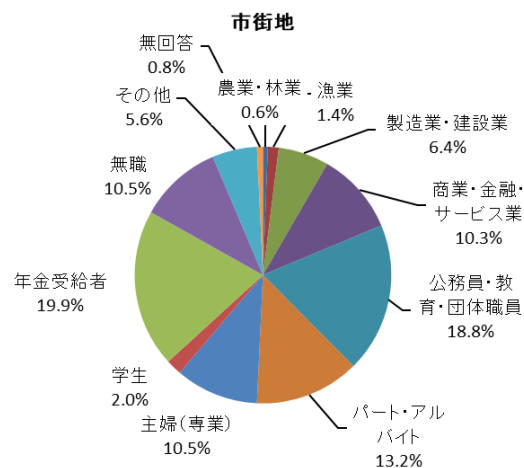
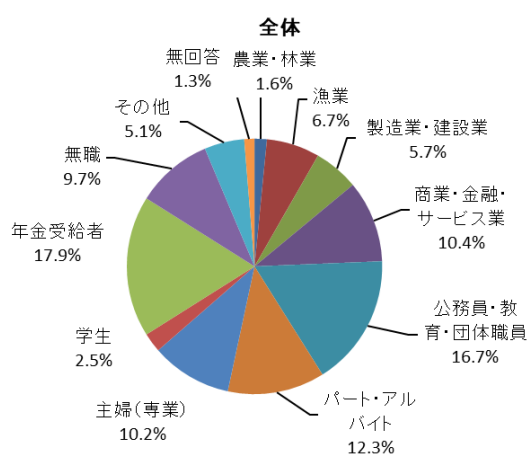
注：無回答を除く

(3) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では年金受給者、公務員・教育・団体職員、パート・アルバイト、商業・金融サービス業、専業主婦の順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

回答者の85.2%を占める市街地は、ほぼ全体と同様の構成であるが、西部地区では、漁業、農業・林業の構成が高く、特に、農業・林業の割合が他地区に比して高い。また、東部地区は漁業が51.9%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。

このような地区別の職業構成はこれまでの調査結果とほぼ同様となっている。

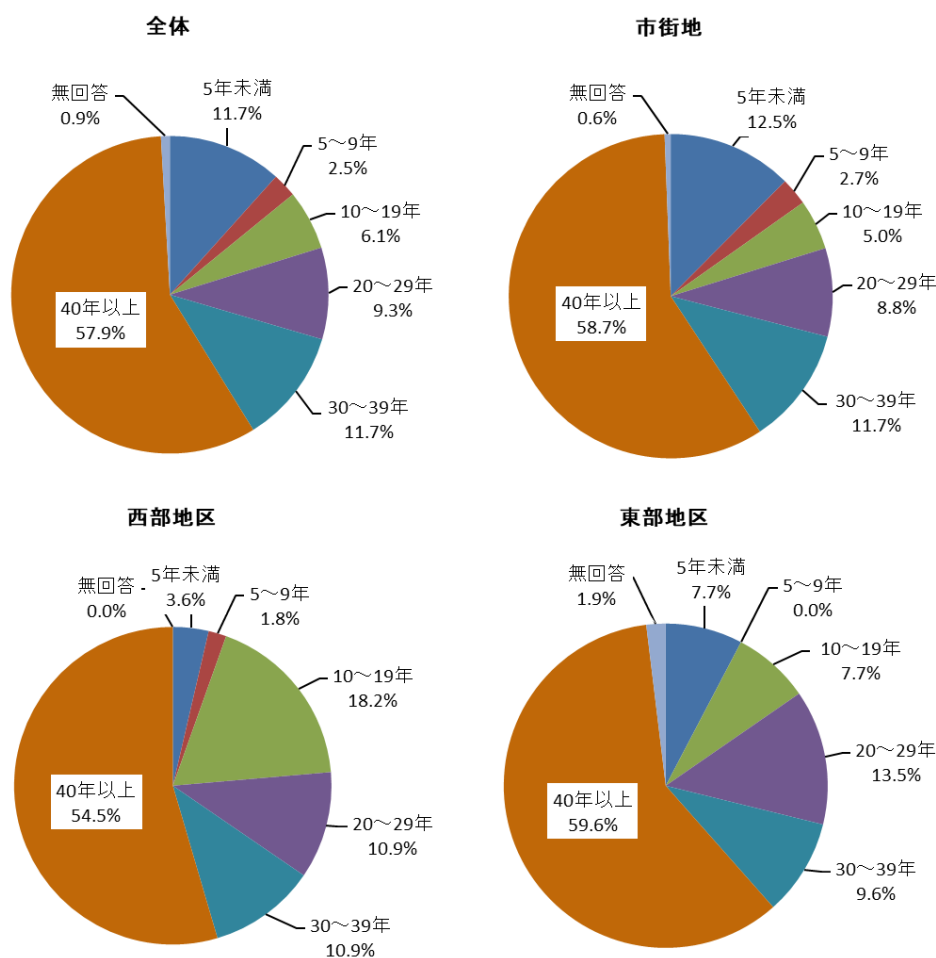


	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	4	7	1	0	12
漁業	9	16	27	0	52
製造業・建設業	42	2	0	0	44
商業・金融・サービス業	68	9	2	1	80
公務員・教育・団体職員	124	1	3	1	129
パート・アルバイト	87	5	2	1	95
主婦(専業)	69	4	5	1	79
学生	13	3	3	0	19
年金受給者	131	4	3	0	138
無職	69	3	3	0	75
その他	37	0	1	1	39
無回答	5	1	2	2	10
計	658	55	52	7	772

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.6%	12.7%	1.9%	0.0%	1.6%
漁業	1.4%	29.1%	51.9%	0.0%	6.7%
製造業・建設業	6.4%	3.6%	0.0%	0.0%	5.7%
商業・金融・サービス業	10.3%	16.4%	3.8%	14.3%	10.4%
公務員・教育・団体職員	18.8%	1.8%	5.8%	14.3%	16.7%
パート・アルバイト	13.2%	9.1%	3.8%	14.3%	12.3%
主婦(専業)	10.5%	7.3%	9.6%	14.3%	10.2%
学生	2.0%	5.5%	5.8%	0.0%	2.5%
年金受給者	19.9%	7.3%	5.8%	0.0%	17.9%
無職	10.5%	5.5%	5.8%	0.0%	9.7%
その他	5.6%	0.0%	1.9%	14.3%	5.1%
無回答	0.8%	1.8%	3.8%	28.6%	1.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 居住年数

回答者の根室市での居住年数についてみると、これまでの調査結果と同様に、いずれの地区も40年以上居住している回答者の割合が最も高い。また、市街地と東部地区では5年未満の回答者の割合も比較的高い。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	82	2	4	2	90
5~9年	18	1	0	0	19
10~19年	33	10	4	0	47
20~29年	58	6	7	1	72
30~39年	77	6	5	2	90
40年以上	386	30	31	0	447
無回答	4	0	1	2	7
計	658	55	52	7	772

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	12.5%	3.6%	7.7%	28.6%	11.7%
5~9年	2.7%	1.8%	0.0%	0.0%	2.5%
10~19年	5.0%	18.2%	7.7%	0.0%	6.1%
20~29年	8.8%	10.9%	13.5%	14.3%	9.3%
30~39年	11.7%	10.9%	9.6%	28.6%	11.7%
40年以上	58.7%	54.5%	59.6%	0.0%	57.9%
無回答	0.6%	0.0%	1.9%	28.6%	0.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 3 根室市の印象についての市民意識

根室市のイメージとして最も回答割合が高かったのは、市民全体では「その他」で、次いで、「個性（特色）のあるまち」、「市民として誇りや郷土愛があるまち」であった。

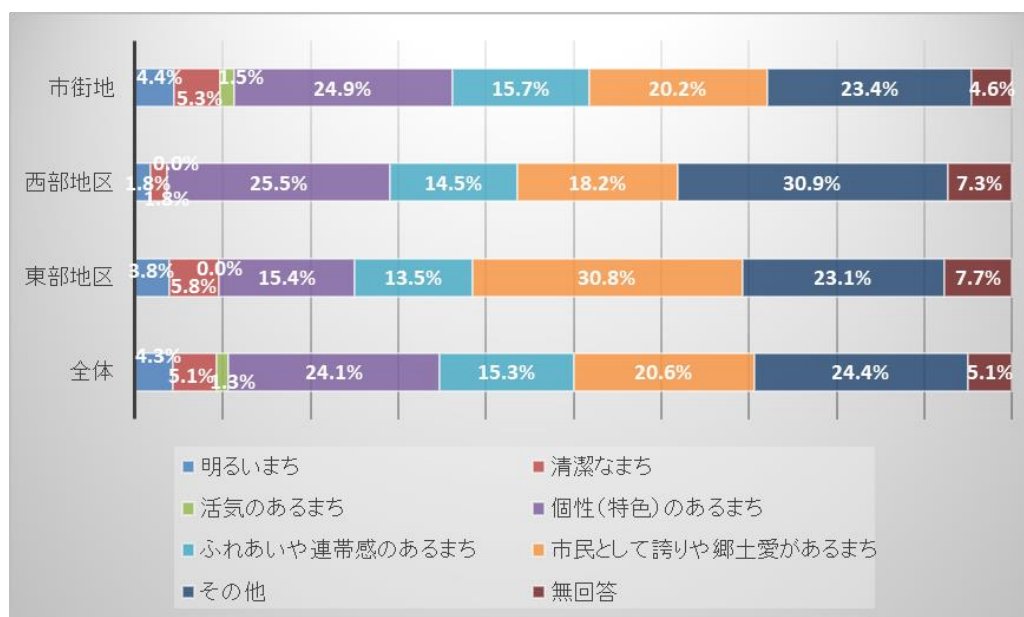
地区別では、市街地住民は、「個性（特色）のあるまち」が最も高く 24.9%となっており、次いで、「その他」が 23.4%、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 20.2%となっている。

西部地区は「その他」が 30.9%で最も高く、次いで、「個性（特色）のあるまち」が 25.5%、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 18.2%となっている。

東部地区は「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 30.8%と最も高く、次いで「その他」が 23.1%となっている。

「その他」の内容としては、これまでの調査結果とほぼ同じで、「活気がない」「暗いまち」「何もないまち」「寂しい」「若い人達が出ていって寂しい」「シャッター通りやあき家が目立つまち」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。そのほかには、「自然が豊か」「漁業のまち」「朝日に一番近い街」といったプラスイメージをあげる回答もみられている。

この「その他」の回答内容は、概ね、過去調査と同様の結果となっている。



過去の調査結果（平成 28 年、29 年調査結果は得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性(特色)のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

	平成30年度調査結果				令和元年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.2%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%	2.0%	5.2%	3.5%
清潔なまち	5.7%	0.0%	1.9%	5.1%	6.7%	4.0%	1.3%	6.1%
活気のあるまち	1.4%	1.9%	15.1%	2.3%	1.8%	2.0%	5.2%	2.3%
個性(特色)のあるまち	17.3%	35.8%	20.8%	18.9%	20.6%	16.0%	22.1%	20.3%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.2%	9.4%	13.2%	14.5%	14.7%	18.0%	15.6%	14.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	21.6%	24.5%	17.0%	21.3%	23.2%	24.0%	11.7%	21.8%
その他	29.3%	17.0%	17.0%	27.7%	25.0%	26.0%	32.5%	25.6%

	令和2年度調査結果				令和3年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	3.3%	3.6%	4.6%	3.4%	2.7%	8.5%	7.4%	3.4%
清潔なまち	6.8%	7.3%	6.2%	6.8%	6.9%	5.6%	0.0%	6.3%
活気のあるまち	1.3%	0.0%	4.6%	1.5%	2.4%	5.6%	3.7%	2.9%
個性(特色)のあるまち	24.6%	21.8%	20.0%	24.0%	21.5%	16.9%	16.7%	20.7%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.6%	20.0%	26.2%	16.7%	15.7%	11.3%	20.4%	15.6%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.0%	23.6%	15.4%	19.9%	23.2%	16.9%	18.5%	22.1%
その他	23.6%	18.2%	15.4%	22.6%	23.4%	28.2%	27.8%	24.2%

	令和4年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.4%	1.8%	3.8%	4.3%
清潔なまち	5.3%	1.8%	5.8%	5.1%
活気のあるまち	1.5%	0.0%	0.0%	1.3%
個性(特色)のあるまち	24.9%	25.5%	15.4%	24.1%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.7%	14.5%	13.5%	15.3%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.2%	18.2%	30.8%	20.6%
その他	23.4%	30.9%	23.1%	24.4%

注：平成 28 年度及び 29 年度調査は、イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を 5 点、「やや思う」を 4 点、「さほど思わない」を 2 点、「思わない」を 1 点、「わからない」を 3 点として、平均得点を算出した。

：黄色マーカーは、「その他」以外の項目の中で最も回答割合が高い数値であることを示す。

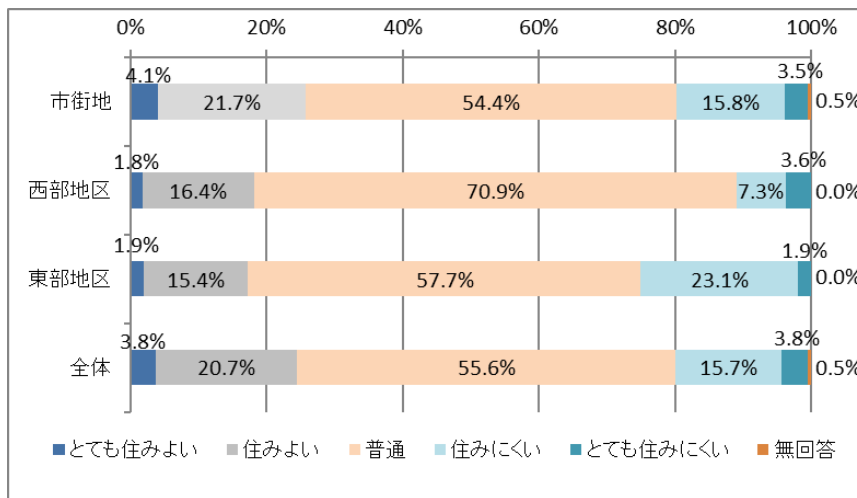
3. 4 居住の満足度についての市民意識

(1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

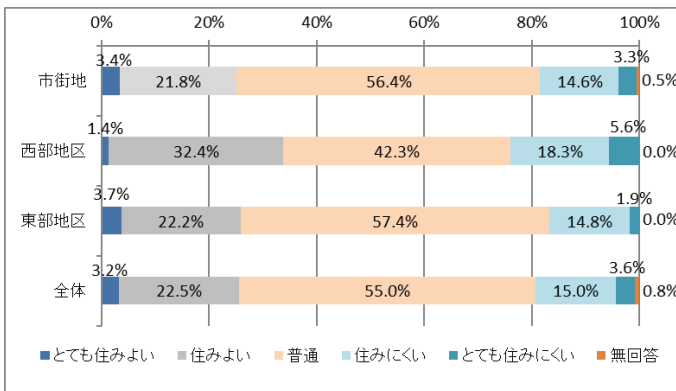
根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、市民全体では「とても住みよい」「住みよい」を合わせた割合は24.5%となっており、昨年度よりはやや低下しているが、令和元年度以前よりは高い水準となっている。地区別でみると市街地地区は、これまでの調査で最も高くなった。

一方、住みにくいと回答の理由をみると、「医療体制が不安」、「交通の利便性が悪い」「買い物の利便性が悪い」「楽しめるところがない」「公共料金が低い」「家賃が高い」といった回答があり、特に、市外への交通の利便性、娯楽、医療、買い物に対する不安を挙げる回答が多かった。

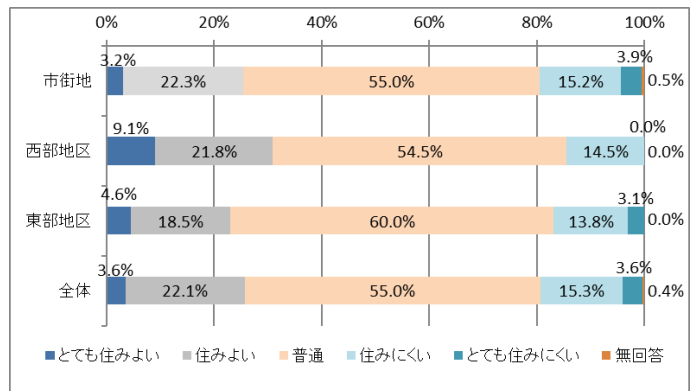
＜令和4年度調査＞



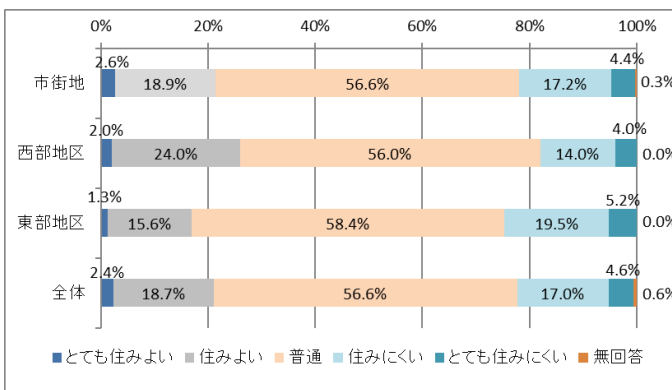
＜令和3年度調査＞



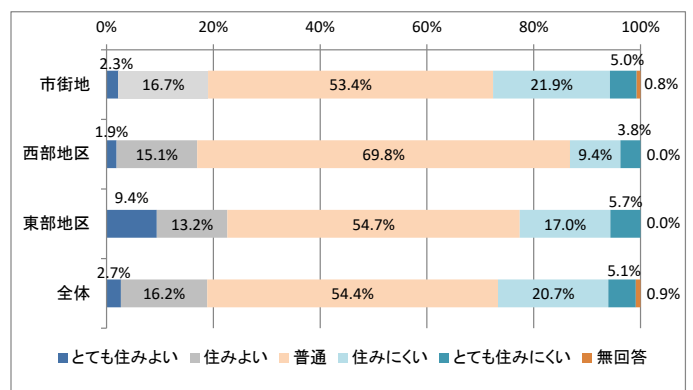
＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



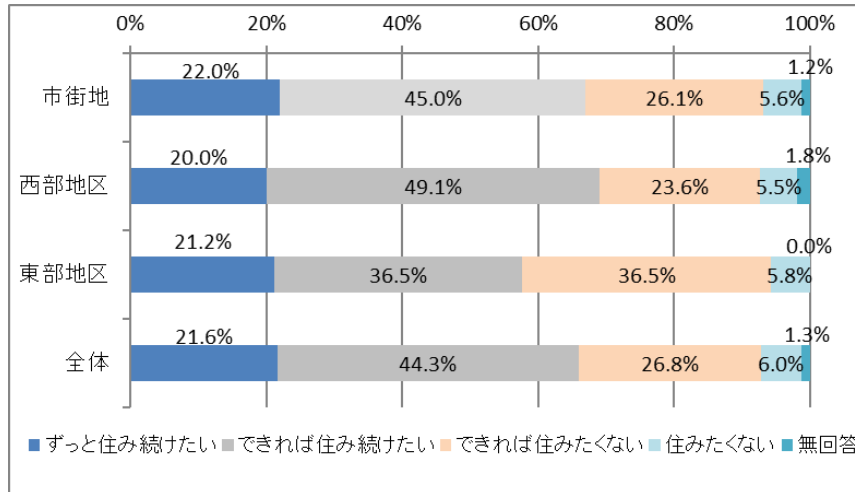
＜平成30年度調査＞



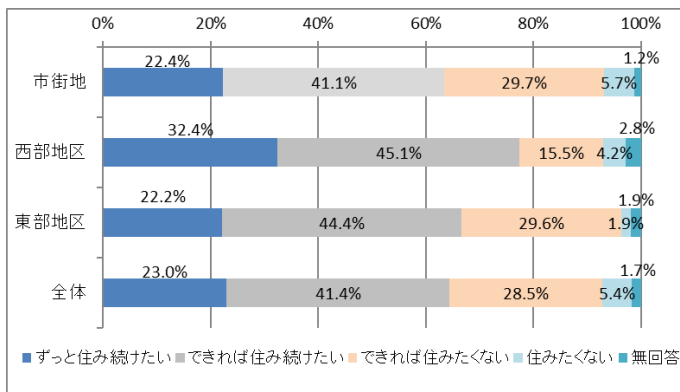
(3) 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

根室市の住みやすさについては、例年、否定的な回答が多いものの、住み続けたいかどうかについては、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」との回答が多く、今年度調査においても市民全体で**65.9%**となっており、これまでの調査結果で最も高くなっている。

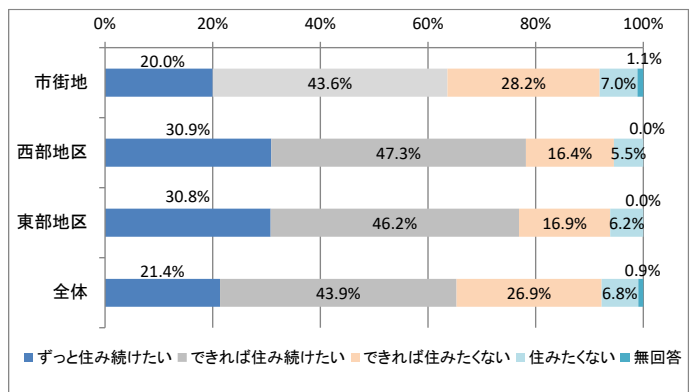
＜令和4年度調査＞



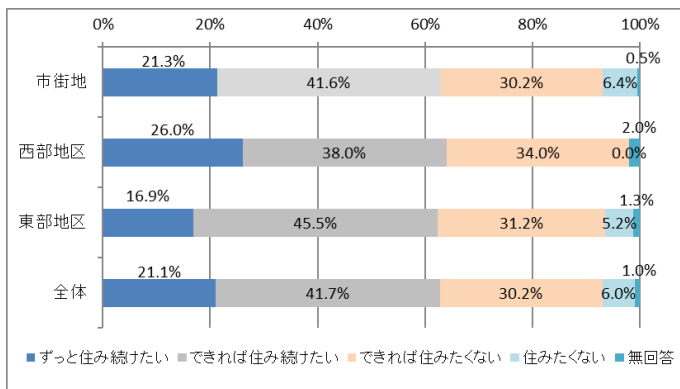
＜令和3年度調査＞



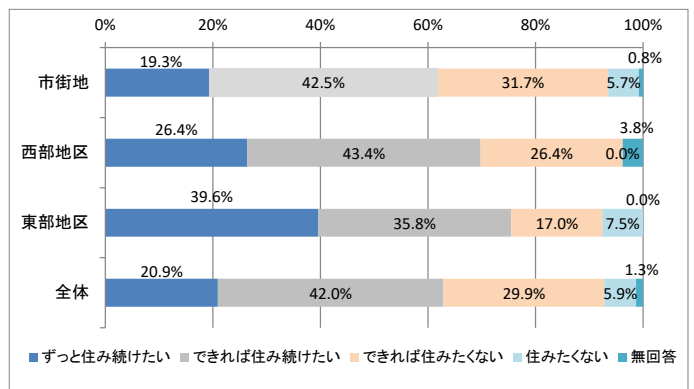
＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成30年度調査＞

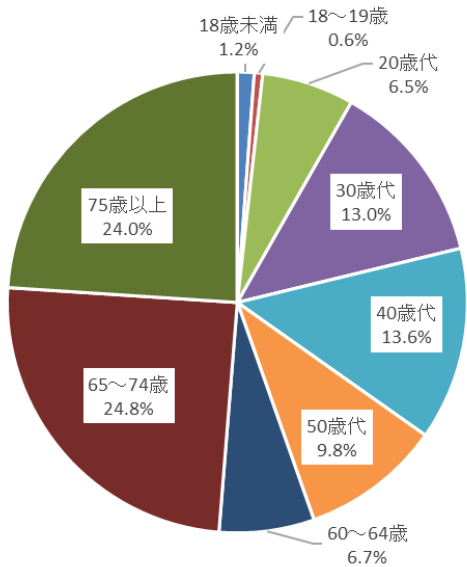


この「住みたい」とする市民を年齢別で見ると 60 歳以上ではほぼ半数を占め、居住年数が「40 年以上」の市民が 68.8%を占める。

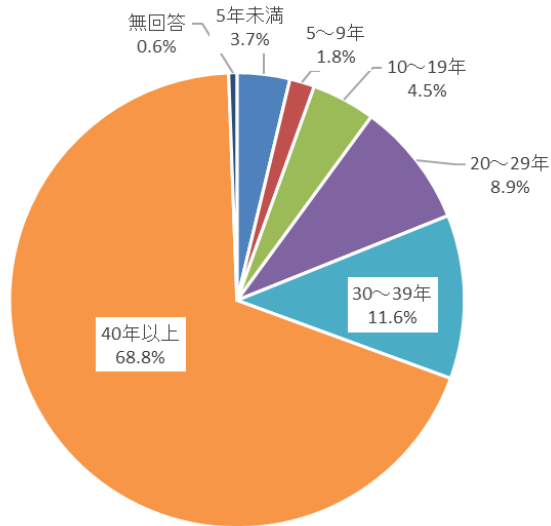
この結果は、令和 3 年度とほぼ同様となっている。

<令和 4 年度調査>

年齢別の定住意向の割合

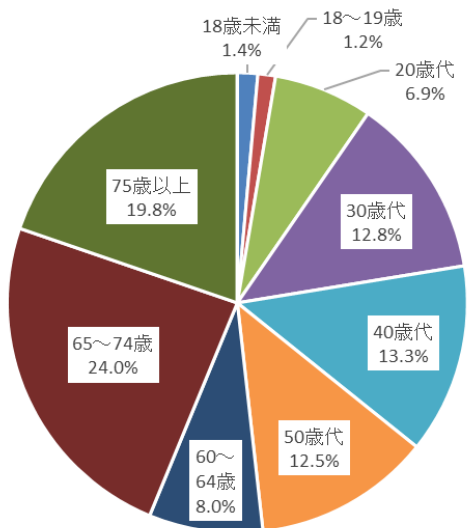


居住年数別の定住意向の割合

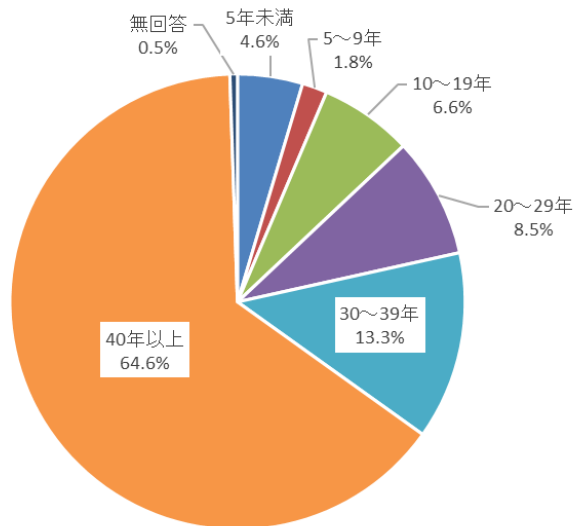


<令和 3 年度調査>

年齢別の定住意向の割合



居住年数別の定住意向の割合



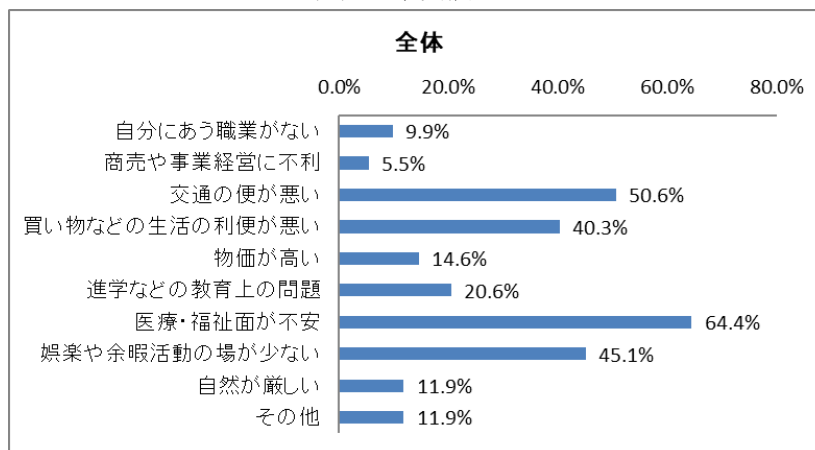
(3) 住み続けたくない理由

①市民全体

定住度に関する回答結果では、根室市に住み続けたくないとする住民割合は、昨年度結果からやや減少し、市民全体で32.8%となっており、これまでの調査の中では最も低かった。

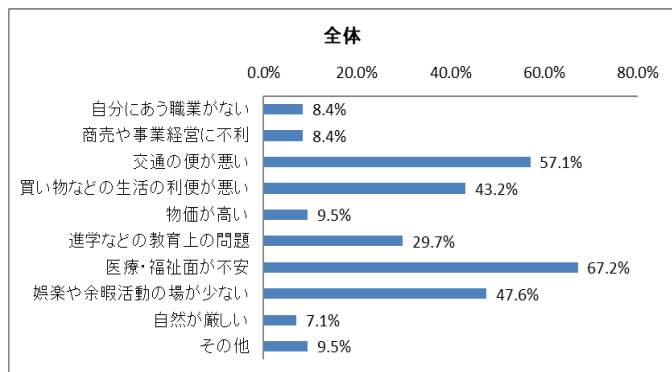
この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が70.8%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、これら4項目が上位にあげられている状況は、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。

<令和4年度調査>



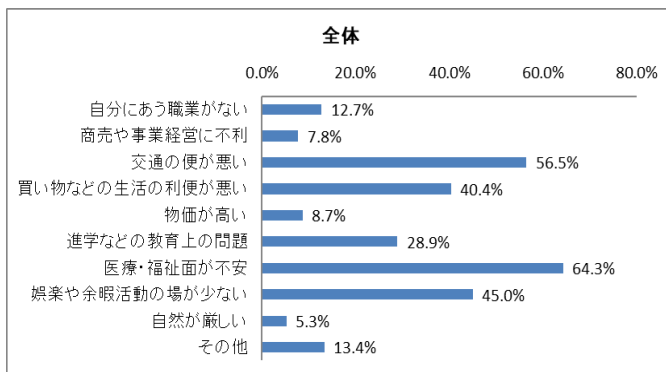
住み続けたくないとする回答数：全体 253（地区不明含む）

<令和3年度調査>



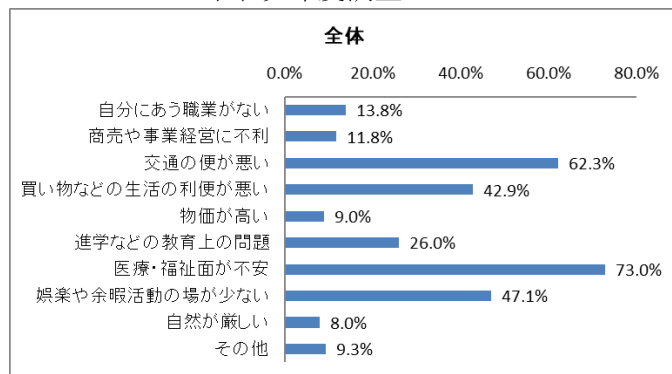
住み続けたくないとする回答数：全体 296（地区不明含む）

<平成2年度調査>



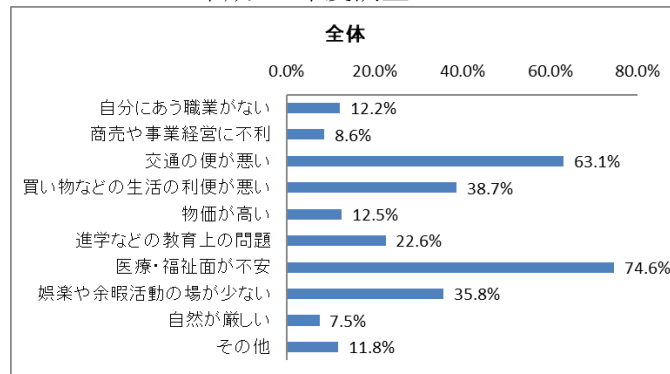
住み続けたくないとする回答数：全体 322（地区不明含む）

<令和元年度調査>



住み続けたくないとする回答数：全体 289（地区不明含む）

<平成30年度調査>



住み続けたくないとする回答数：全体 279（地区不明含む）

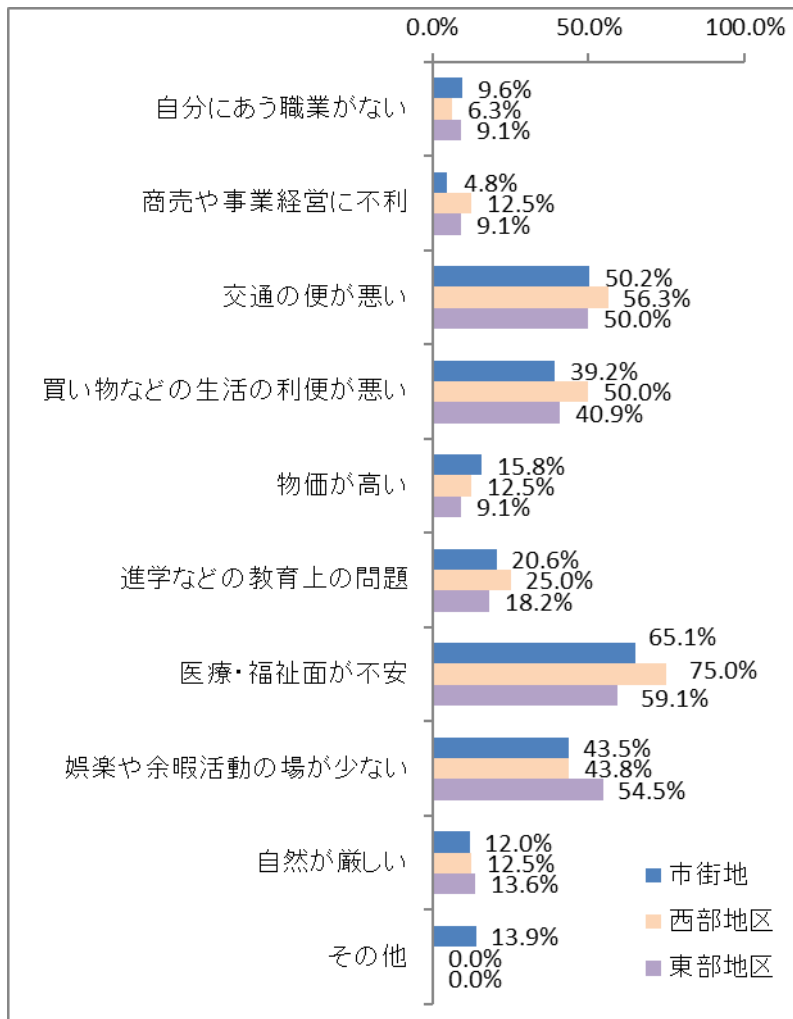
注：各年度の調査とも3つまでの選択を求めている

②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」は、前回までの調査結果と同様に3地区とも高いが、特に、「医療・福祉面での不安」を理由にあげる市民の割合は、昨年度よりも高まっている傾向が伺える。

その他、「買い物等の生活利便性が悪い」を住み続けたくないとする理由にあげる割合も、調査年度により変動がみられるものの、3地区とも上位にあげられている。

<令和4年度調査>



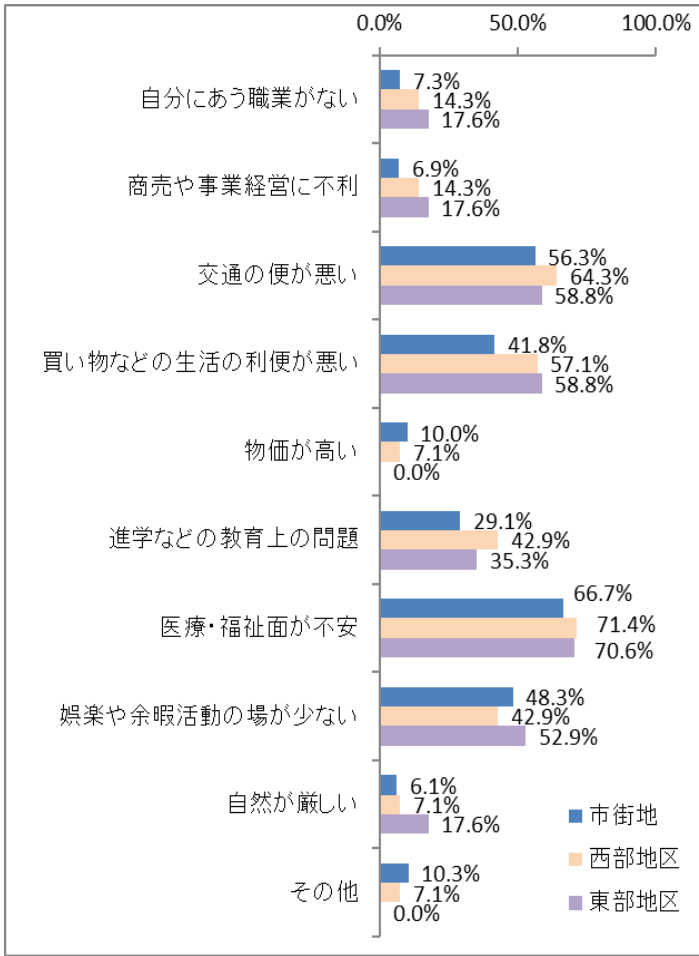
住み続けたくないとする回答数

市街地 : 209 件

西部地区 : 16 件

東部地区 : 22 件

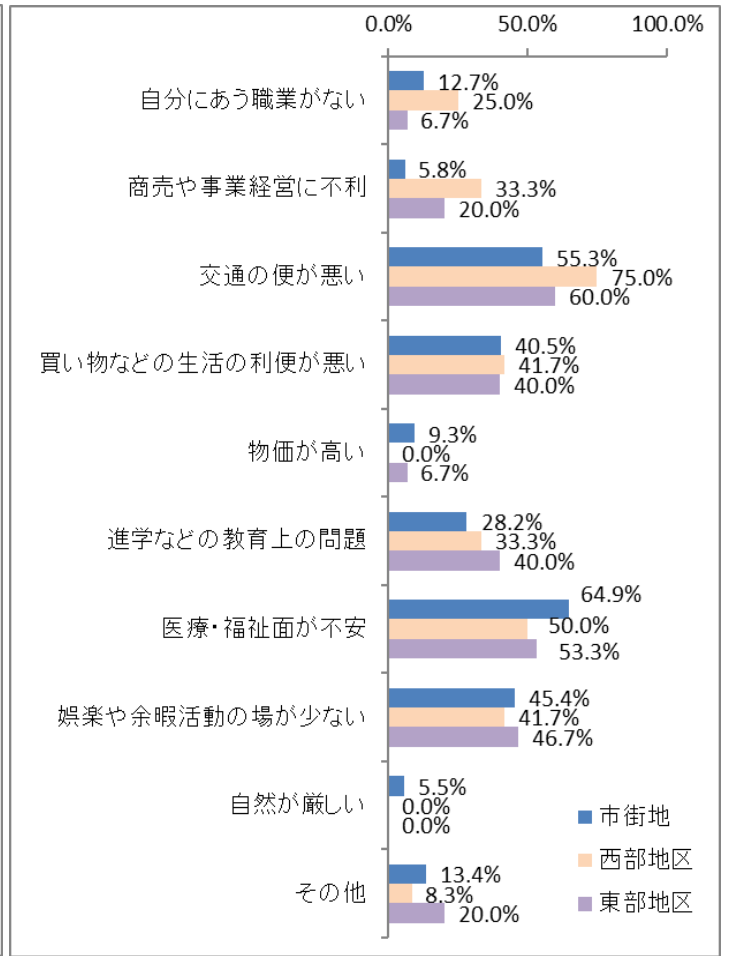
<令和3年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 261 件
西部地区 : 14 件
東部地区 : 17 件

<令和2年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 291 件
西部地区 : 12 件
東部地区 : 15 件

注：本設問は3つまでの選択を求めている

3. 5 保健医療について

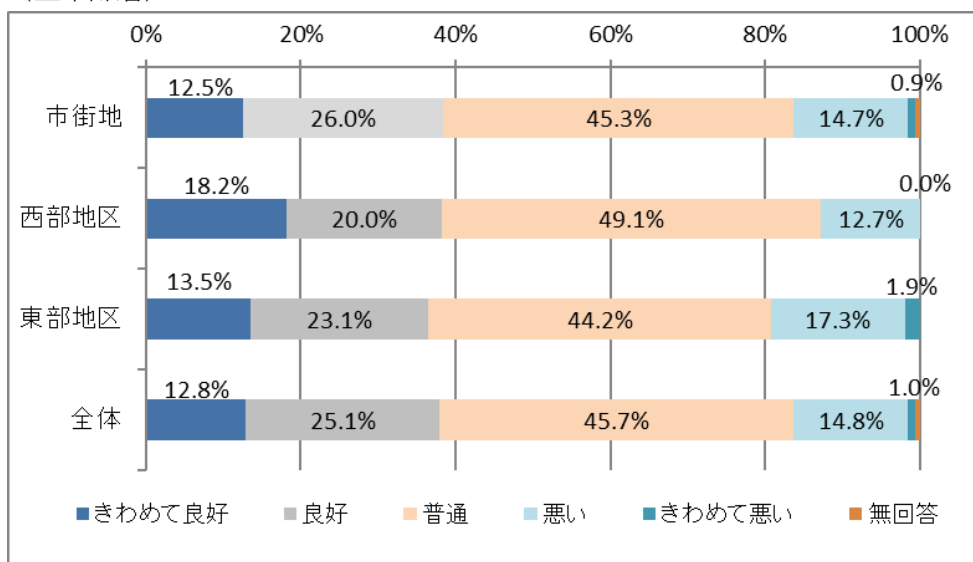
(1) 現在の健康状態

現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」「良好」を合わせた「良好」であるとする割合は、回答者全体で37.9%となっており、これに対して「悪い」及び「きわめて悪い」とする回答は15.8%となっている。前回までの調査結果と比較して、やや健康状態が悪化しているとの回答割合が増加している。

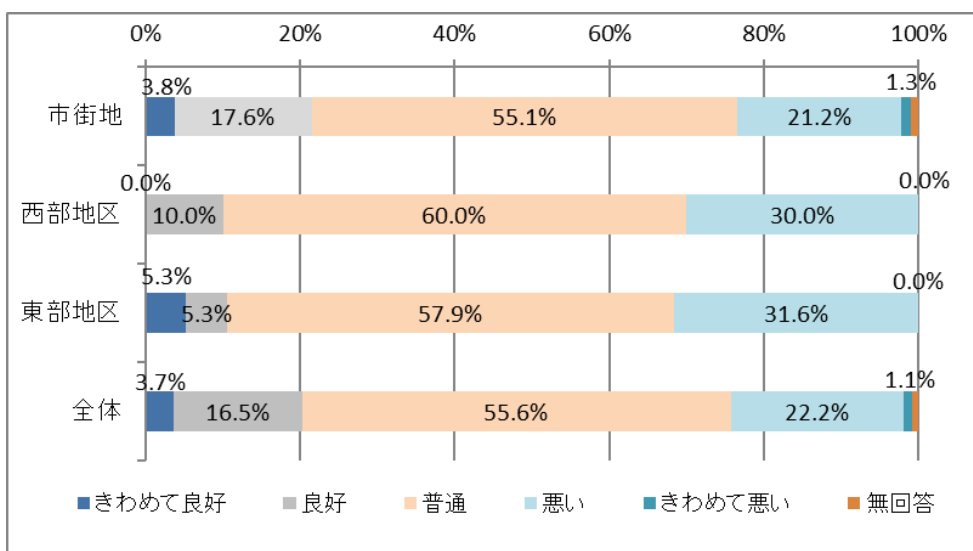
60歳以上の回答者についてみると、「良好」とする回答割合は各地区ともこれまでの調査結果をほぼ同様であったが、「普通」とする回答割合が減少し、「悪化」しているとする回答割合が増加している。

<令和4年度調査>

(全年齢層)

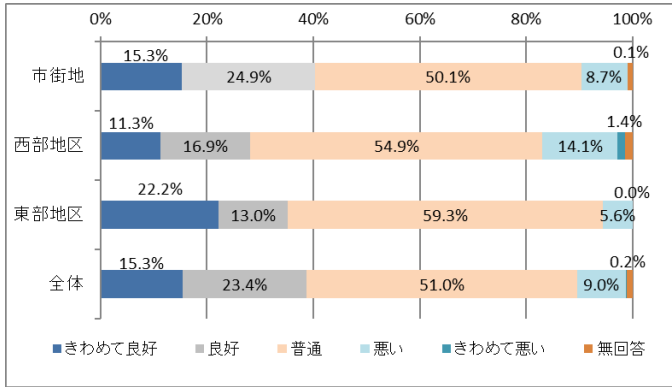


(60歳以上)



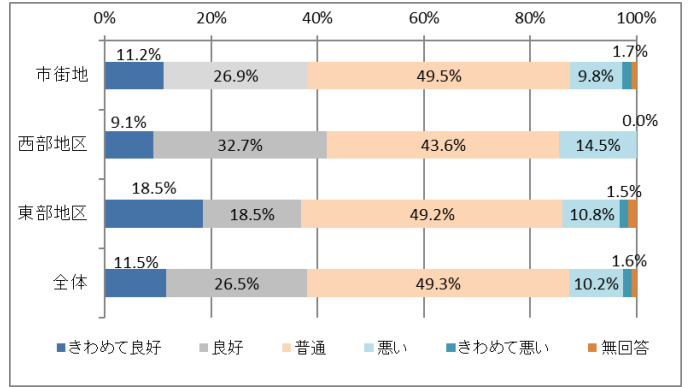
< 令和3年度調査 >

(全年齢層)

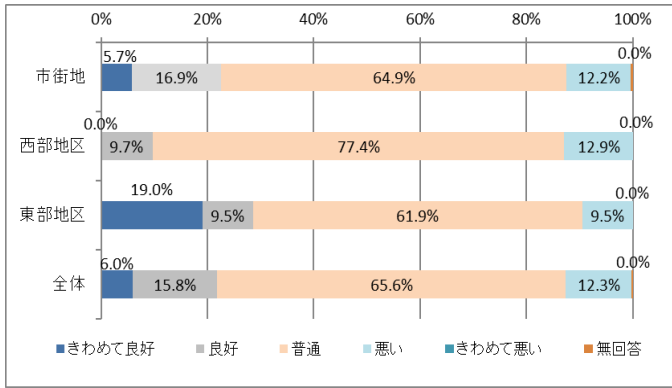


< 令和2年度調査 >

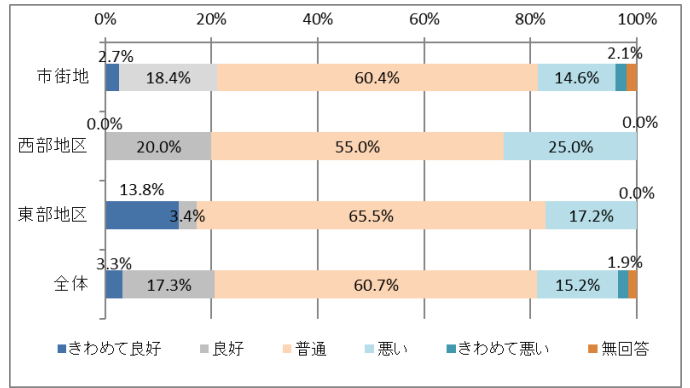
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)

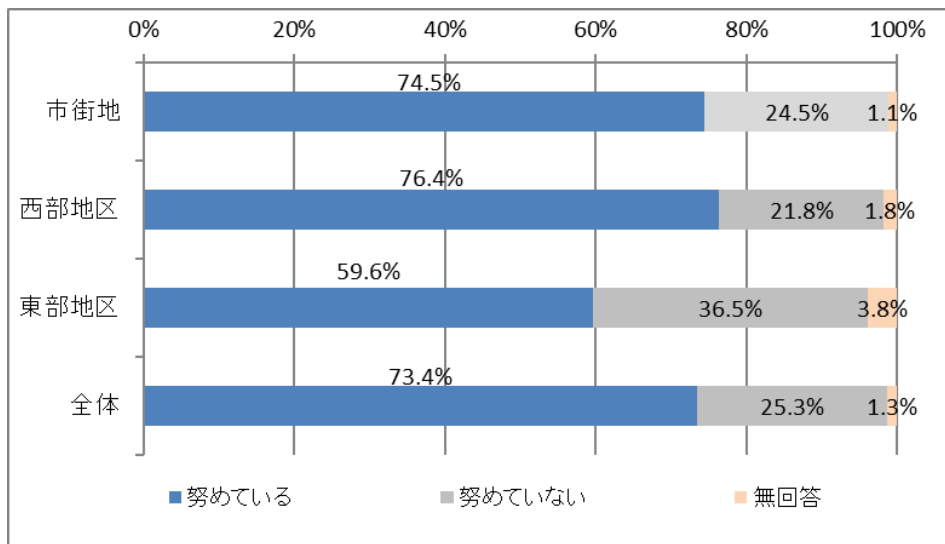


(2) 健康管理

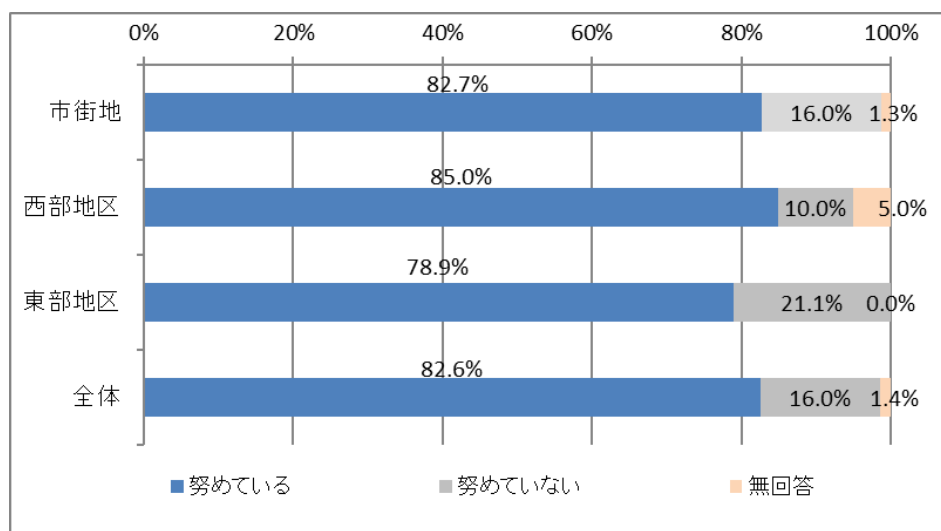
日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では73.4%が、60歳以上の回答者では82.6%が「努めている」としているなど、これまでの調査結果と同様、健康管理への意識が高い状況が把握される。

<令和4年度調査>

(全年齢層)

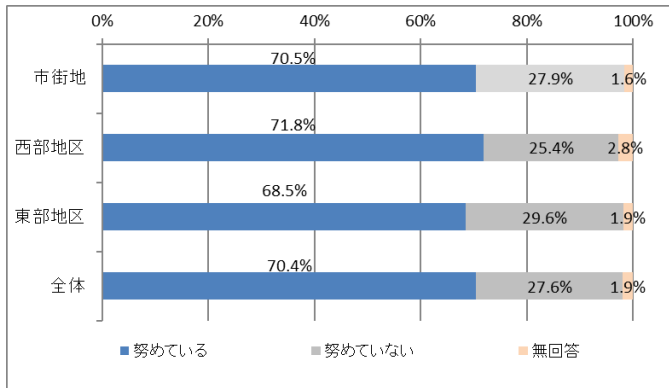


(60歳以上)



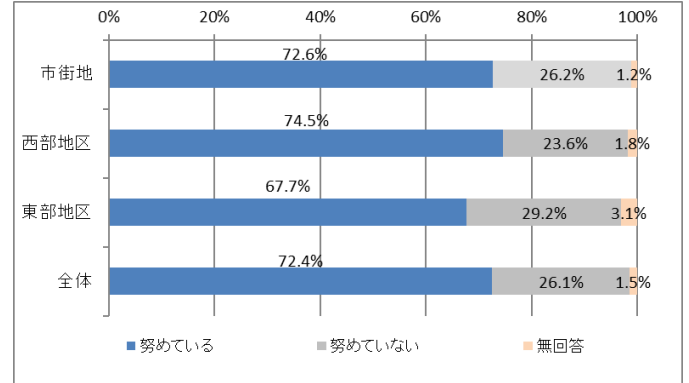
<令和3年度調査>

(全年齢層)

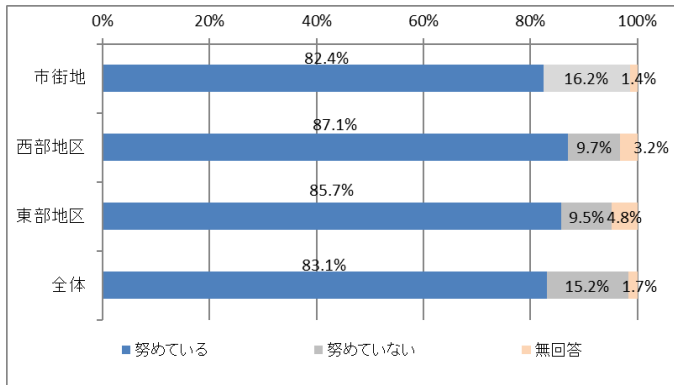


<令和2年度調査>

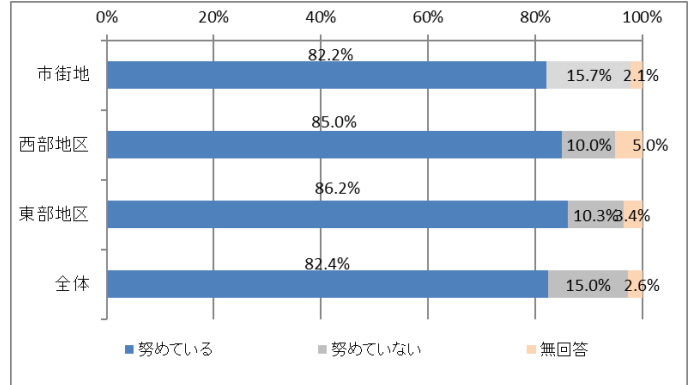
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(3) 30分以上の運動の実施状況

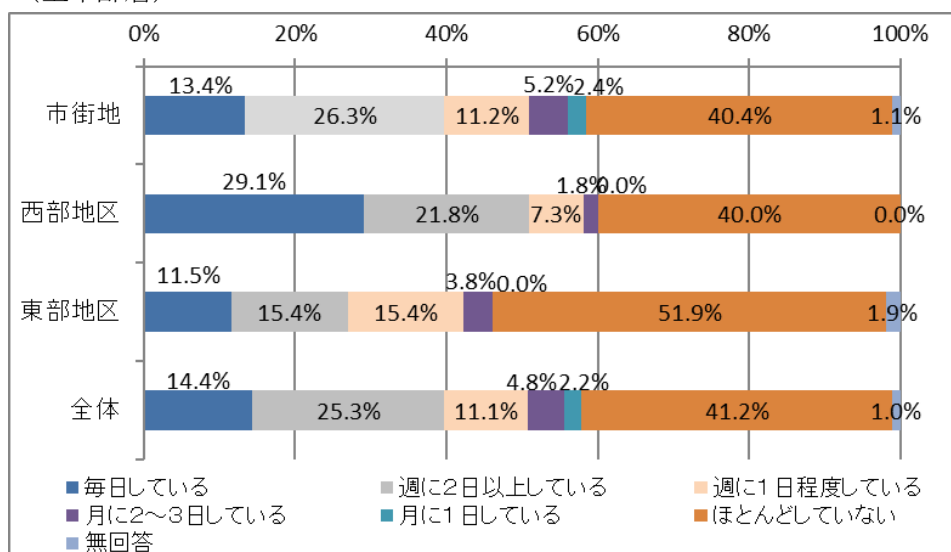
1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く41.2%となっている反面、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、50.8%とほぼ半数となっている。

一方、60歳以上の回答者についてみると、「ほとんどしていない」が35.0%と最も多くなっており、週に1日以上運動している割合は57.0%と、全体よりも高い割合を示している。

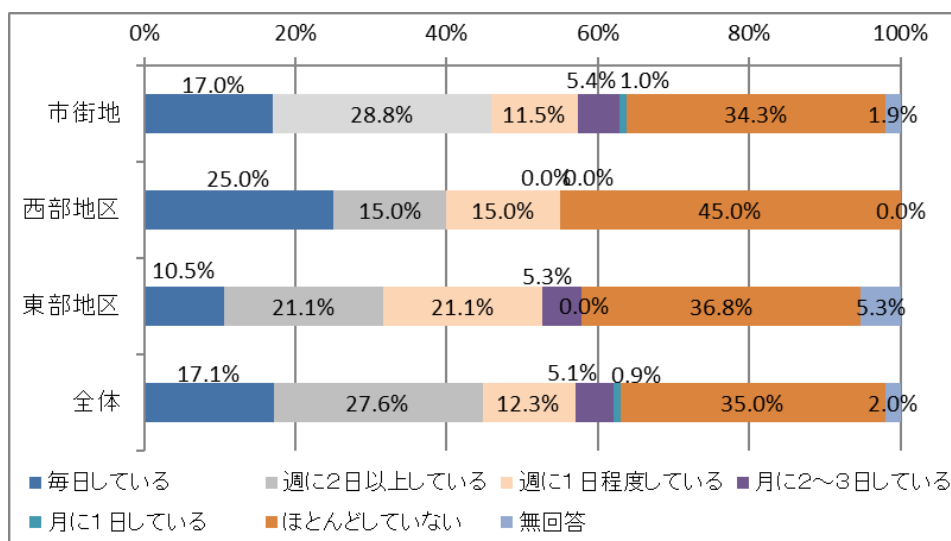
しかし、総じて30分以上の運動を週1日以上実施している市民の割合は、全年齢層、60歳以上とも、昨年度調査の結果よりも低下している。

<令和4年度調査>

(全年齢層)

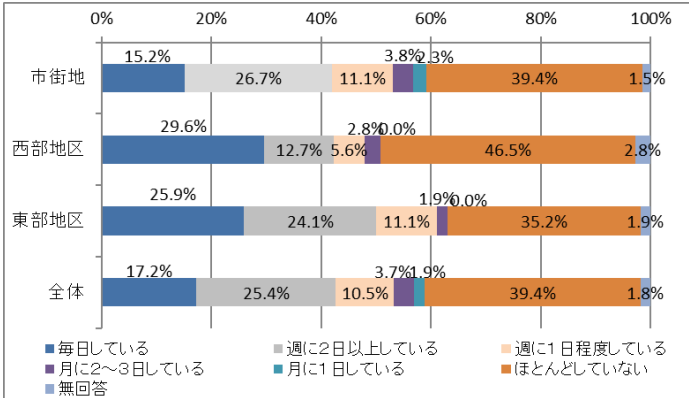


(60歳以上)



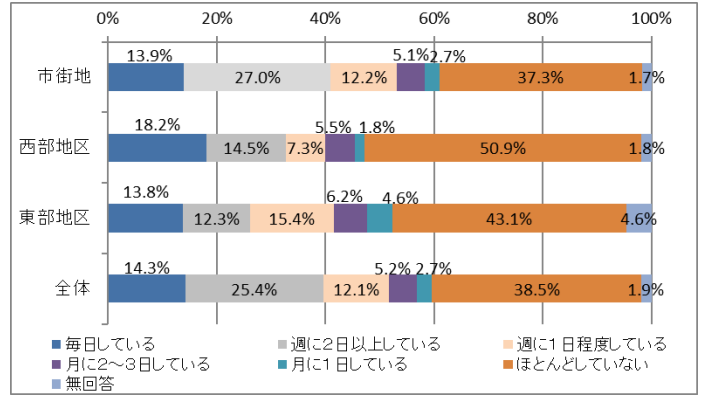
<令和3年度調査>

(全年齢層)

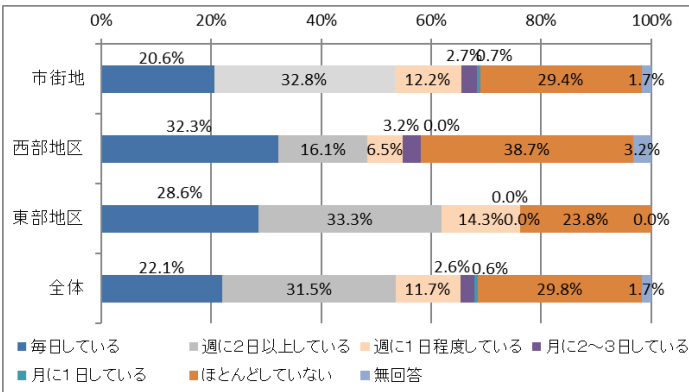


<令和2年度調査>

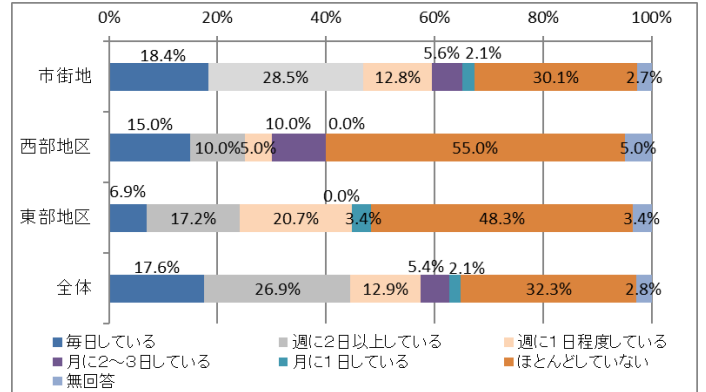
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目で、今年度は分娩が再開されてから 5 年目となる。

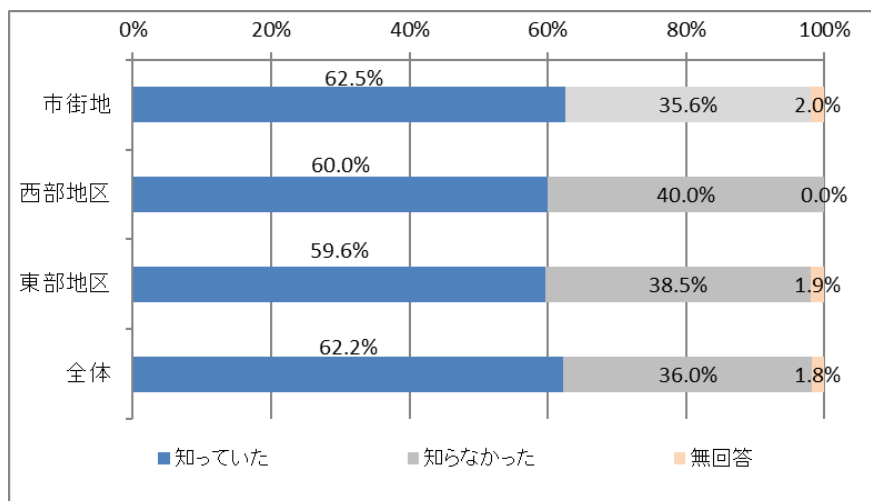
根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、62.5%の方が「知っていた」としており、過去 3 年間の結果においても、認知度は概ね 60%程度にとどまっている状況となっている。

年齢階層別でも総じて認知度が低くなっており、特に 20 歳未満では今回の調査結果でも低くなっており、25%程度となっている。

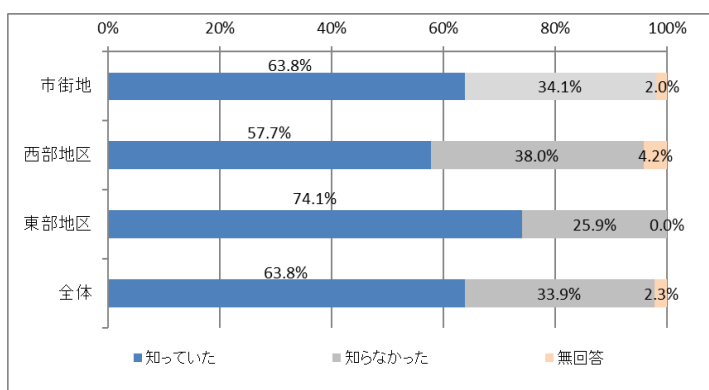
一方、20 歳代～40 歳代の子育て世代の認知度は、67.8%となっており、概ね 70%前後の認知度となっている。

市立根室病院の分娩再開の認知度

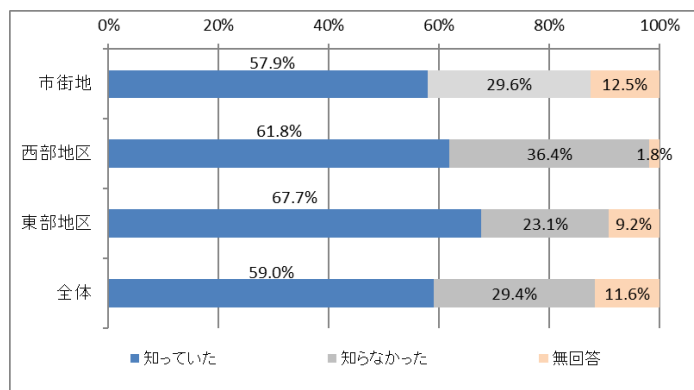
(令和 4 年度調査)



(令和 3 年度調査)



(令和 2 年度調査)



年齢階層別分娩開始の認知度

(令和4年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	5	37	95	79	56	207	1	480	211
知らなかった	15	31	36	30	31	134	1	278	97
無回答	0	1	2	0	1	10	0	14	3
計	20	69	133	109	88	351	2	772	311
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	25.0%	53.6%	71.4%	72.5%	63.6%	59.0%	50.0%	62.2%	67.8%
知らなかった	75.0%	44.9%	27.1%	27.5%	35.2%	38.2%	50.0%	36.0%	31.2%
無回答	0.0%	1.4%	1.5%	0.0%	1.1%	2.8%	0.0%	1.8%	1.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和3年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	10	43	112	108	70	214	0	557	263
知らなかった	23	40	32	39	38	123	1	296	111
無回答	1	1	1	1	2	12	2	20	3
計	34	84	145	148	110	349	3	873	377
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	29.4%	51.2%	77.2%	73.0%	63.6%	61.3%	0.0%	63.8%	69.8%
知らなかった	67.6%	47.6%	22.1%	26.4%	34.5%	35.2%	33.3%	33.9%	29.4%
無回答	2.9%	1.2%	0.7%	0.7%	1.8%	3.4%	66.7%	2.3%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和2年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	8	43	99	98	62	252	1	563	240
知らなかった	16	49	35	46	30	104	0	280	130
無回答	6	5	6	8	14	71	1	111	19
計	30	97	140	152	106	427	2	954	389
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	26.7%	44.3%	70.7%	64.5%	58.5%	59.0%	50.0%	59.0%	61.7%
知らなかった	53.3%	50.5%	25.0%	30.3%	28.3%	24.4%	0.0%	29.4%	33.4%
無回答	20.0%	5.2%	4.3%	5.3%	13.2%	16.6%	50.0%	11.6%	4.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 施策に対する認知度

①市民全体

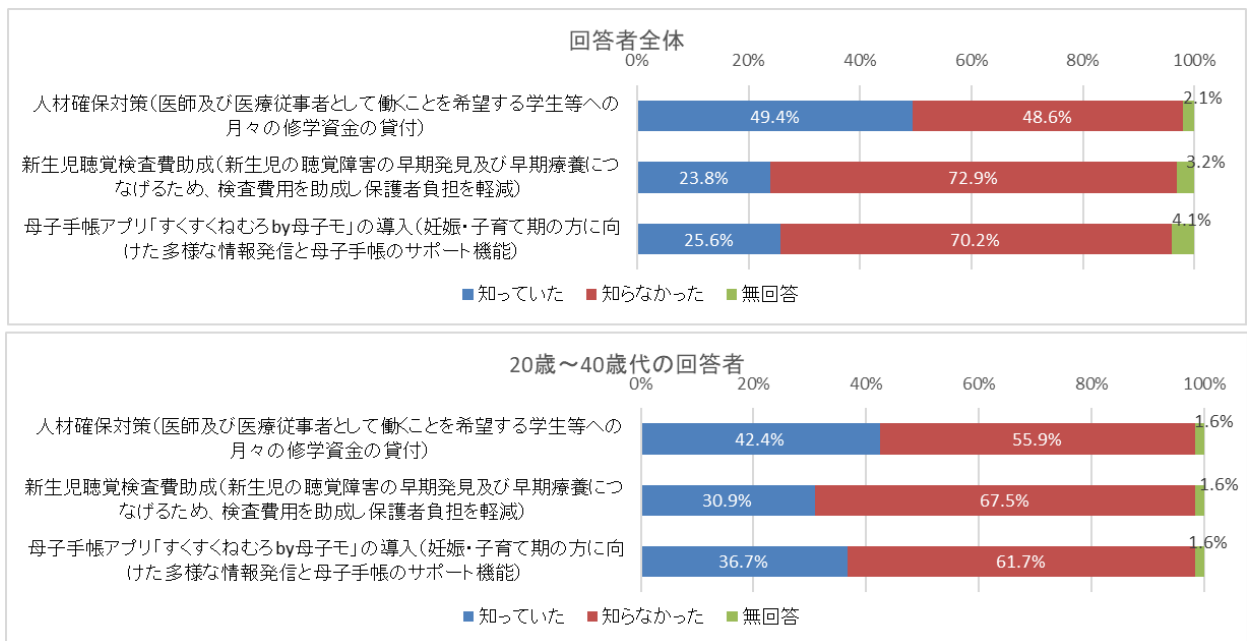
根室市で実施している保健医療に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、人材確保対策については、49.4%が知っていたとしており、昨年度よりも認知度はやや低下した。

しかし、新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、昨年度よりも、やや増加している。

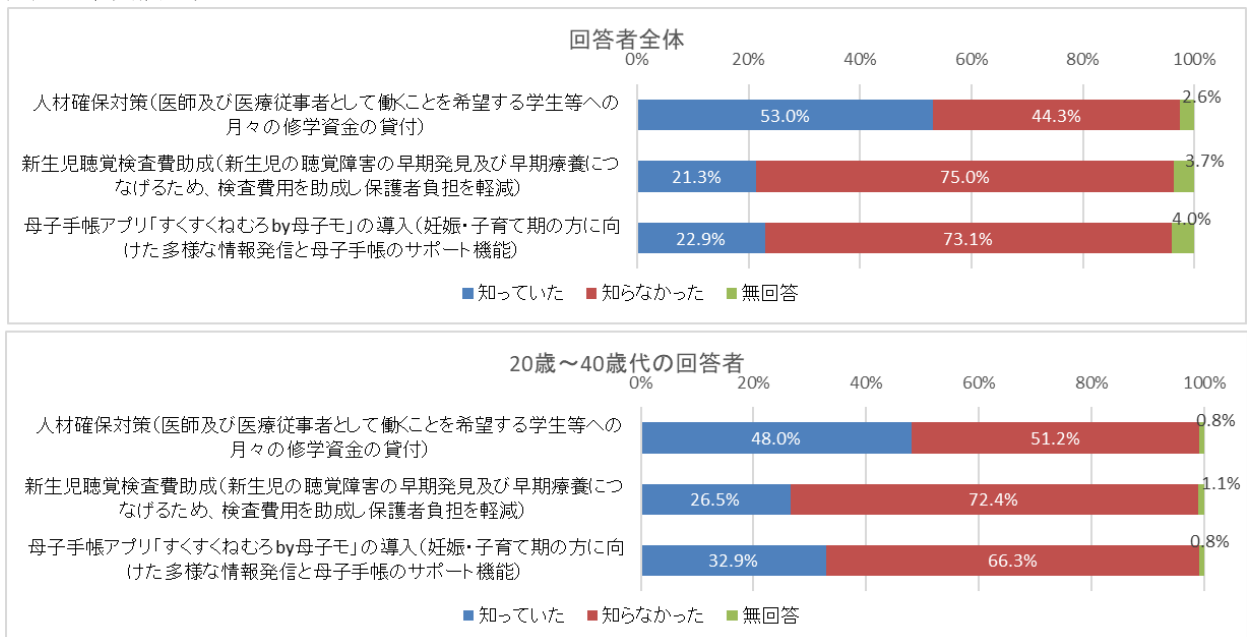
20歳代～40歳代の子育て世代の認知度についてみると、人材確保対策については低下したものの、新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、昨年度調査の結果を大きく上回っており、30%を超えている。

保健医療に関する施策の認知度

(令和4年度調査)



(令和3年度調査)

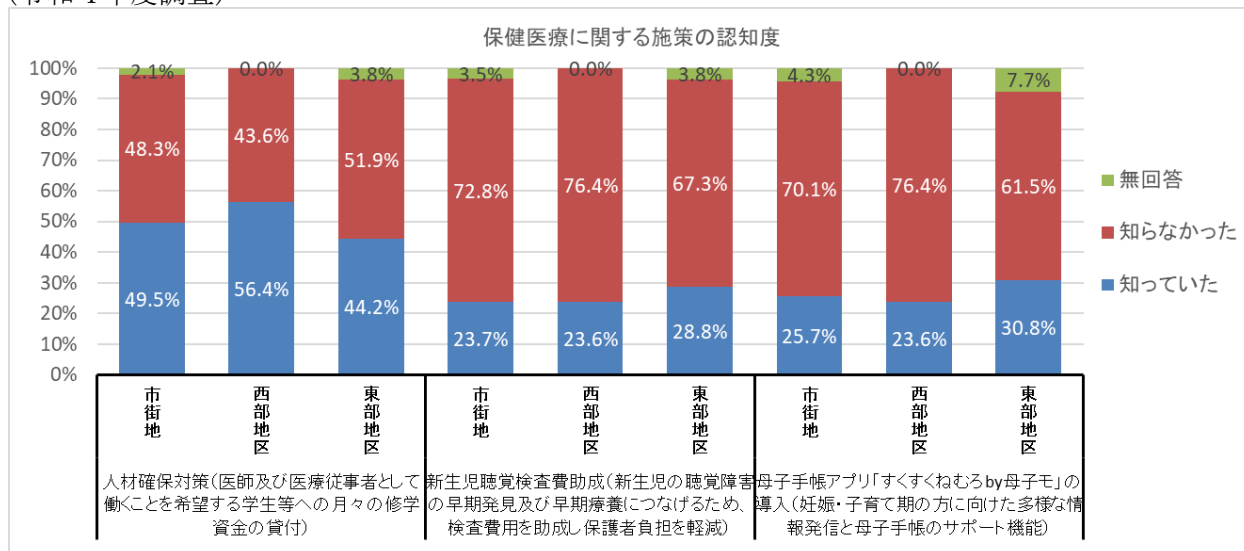


②地区別

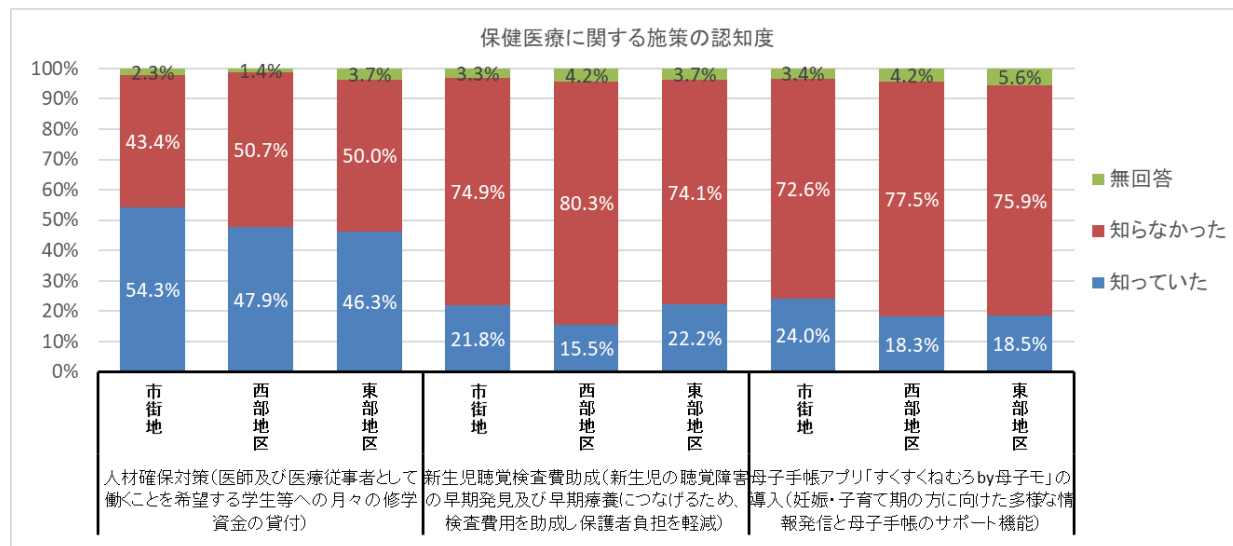
保健医療関連施策の認知度を地区別にみると、昨年度の結果と同様、それぞれの施策に対する認知度の地区別の特性はみられていない。

人材確保対策に対する認知度がやや高いものの、それ以外の施策に関しては3地区とも昨年度を上回っている。

(令和4年度調査)



(令和3年度調査)



(6) 根室市の医療環境の状況について

①医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、11.4%となっており昨年度よりもやや低下している。

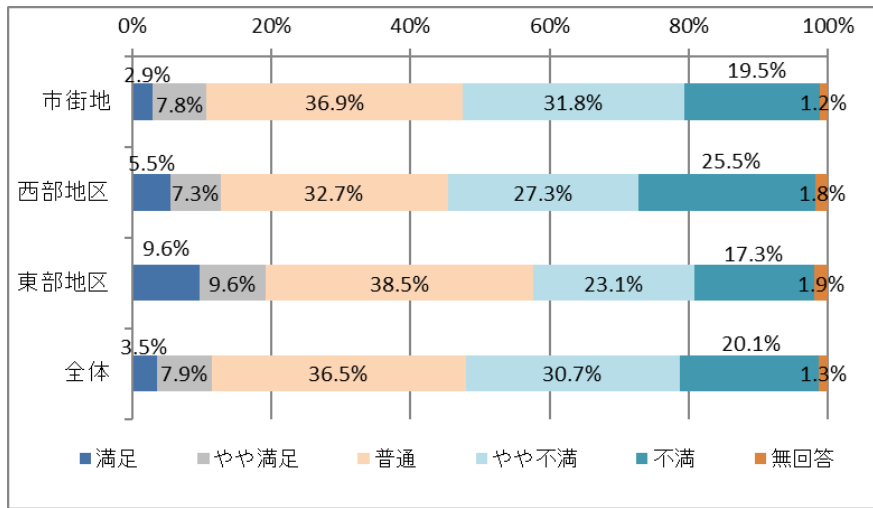
地域別では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で10.7%、西部地区で12.8%と昨年度よりもやや低下している。

これまでの調査結果を比較すると、市立病院での分娩が可能となった平成30年度調査以降、「普通」の回答割合が高くなっており（平成28年度調査で17.0%、平成29年度調査で21.9%）、普通以上の満足度を感じている住民が概ね50%を超えていた。

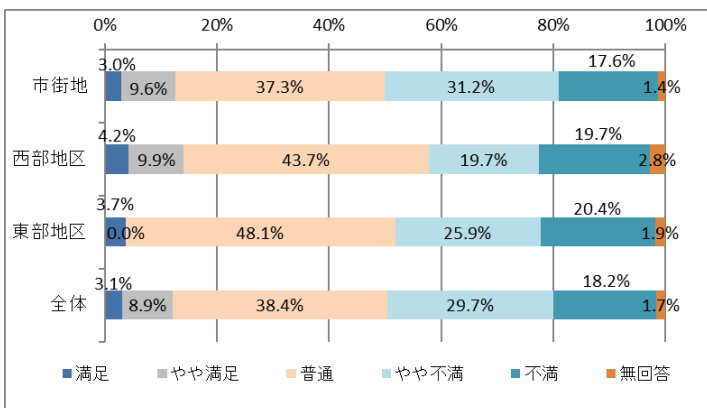
しかし、今年度は、普通以上の満足度を感じている市民の割合は、50%以下となっており、不満意識が高くなっている。

根室市の医療環境に対する満足度

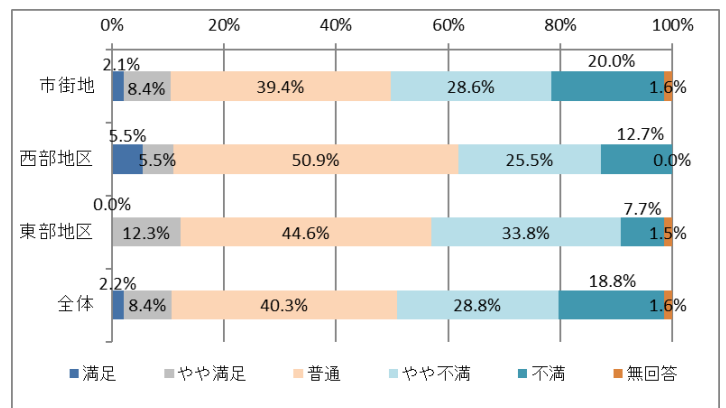
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(7) 保健医療政策について

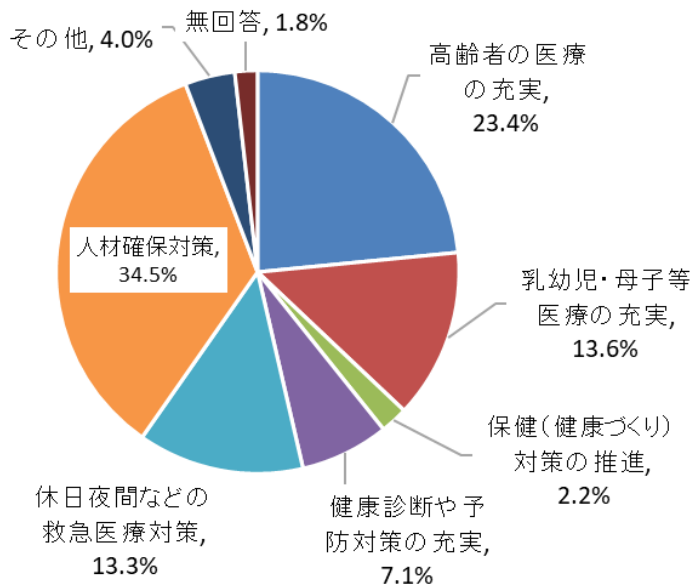
①市民全体

根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、これまでの調査結果と同様、「人材確保対策」が最も多く、34.5%を占めた。

これに次いで、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」が続いており、「人材確保対策」に次いで上位にあげられている項目は、順位に変動はみられるもののこれまでの調査の結果と同様であった。

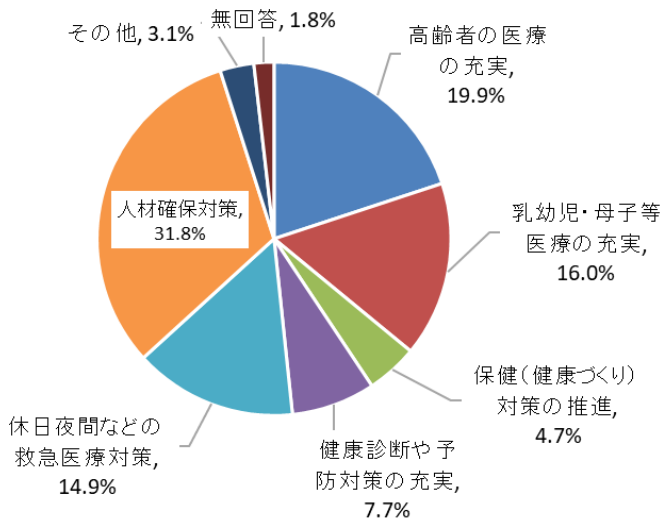
<令和4年度調査>

回答者全体



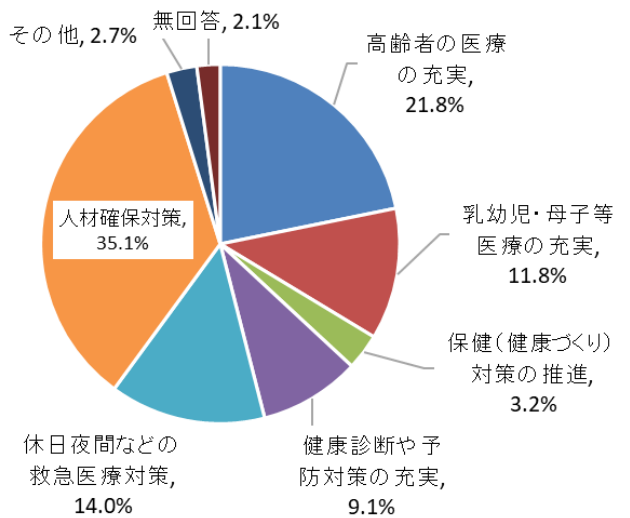
<令和3年度調査>

回答者全体



<令和2年度調査>

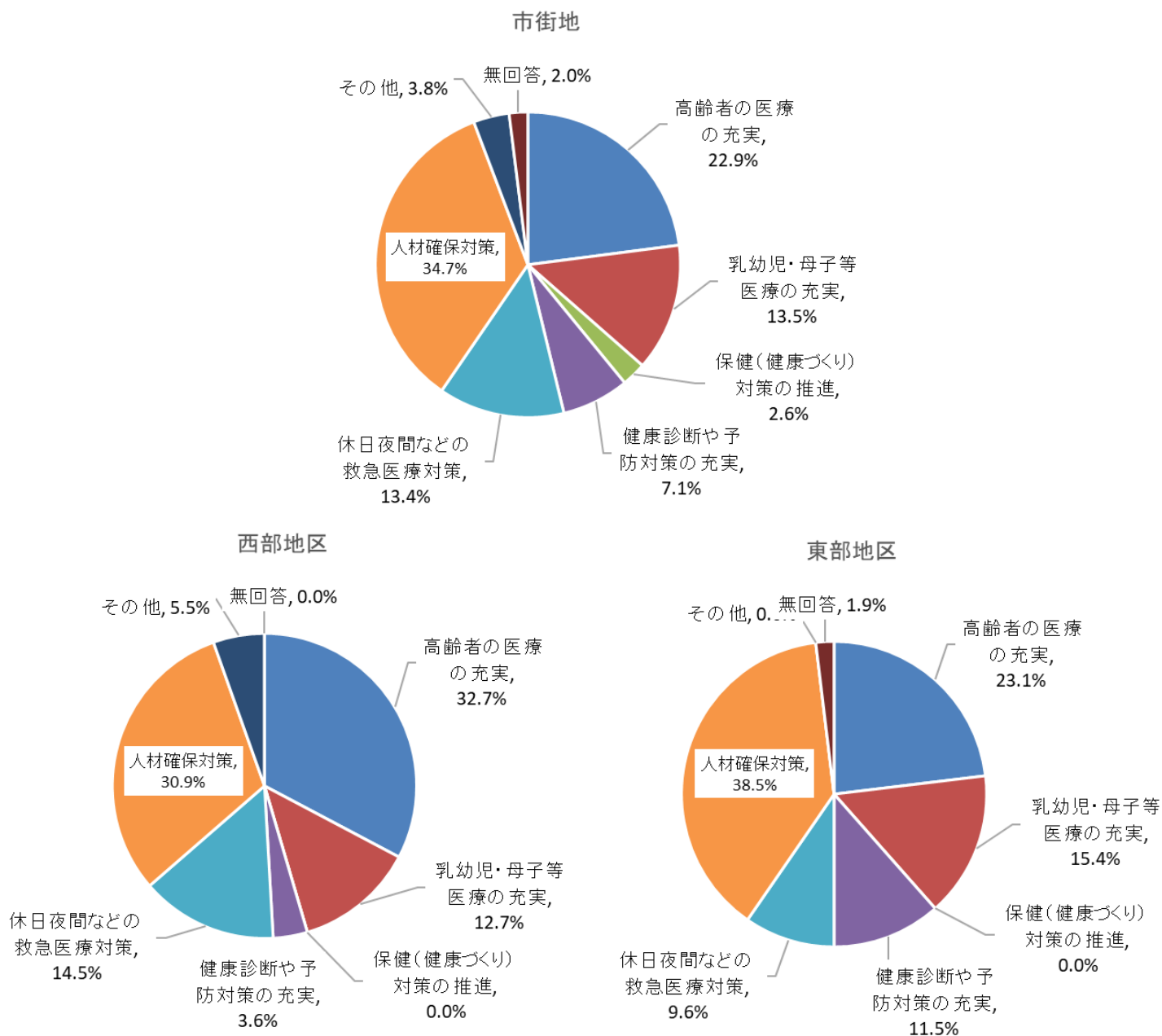
回答者全体



注: 自由回答の内容を反映させ、令和元年度調査から「人材確保対策」の項目を追加した。

②地区別

地区別に重要と考える保健医療政策についてみると、3地区とも「人材確保対策」、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」が上位に要望されており、これまでの調査とほぼ同様の結果となっている。



3. 6 少子化・子育て支援について

(1) 施策に対する認知度

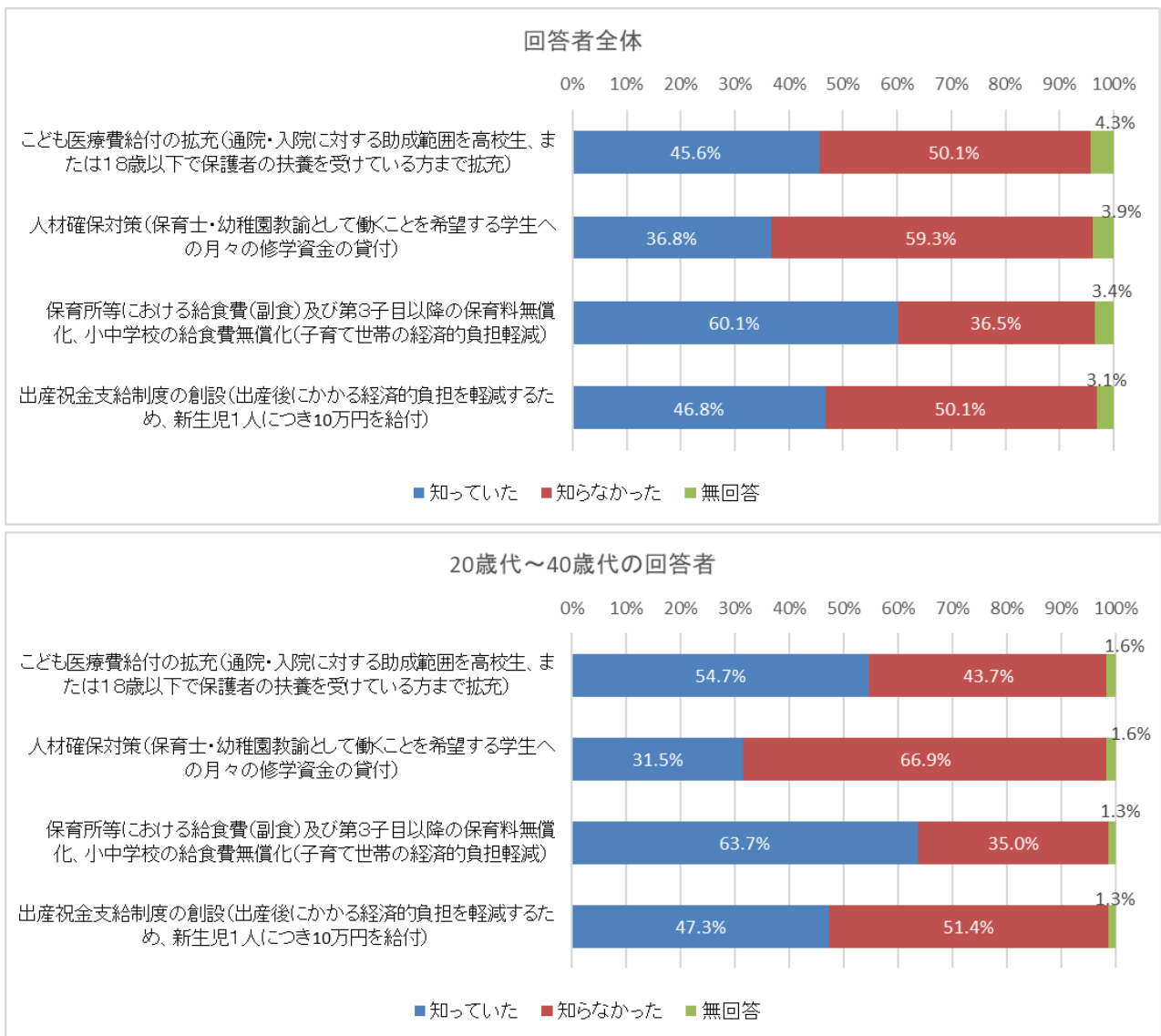
①市民全体

今年度調査の調査では、ふるさと遊びの広場整備事業が竣工したため、この項目を除く4つの施策について認知度を調査した。

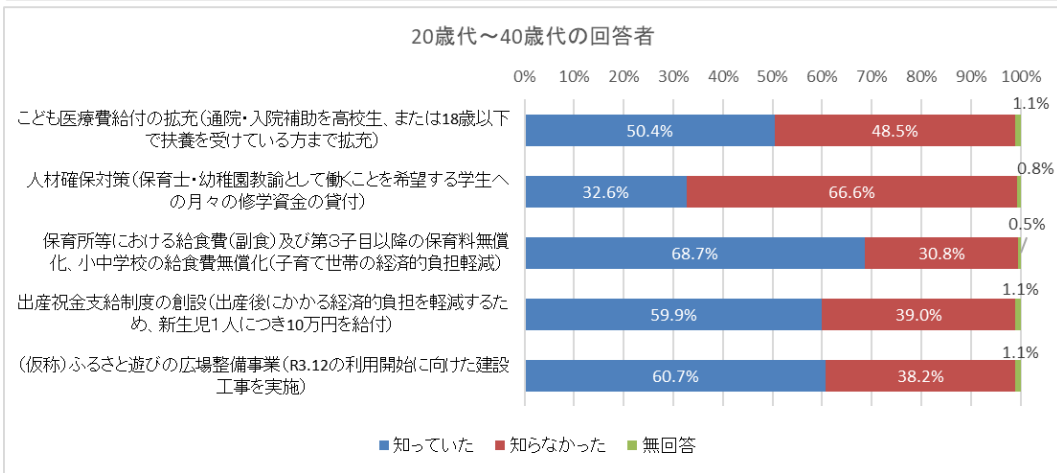
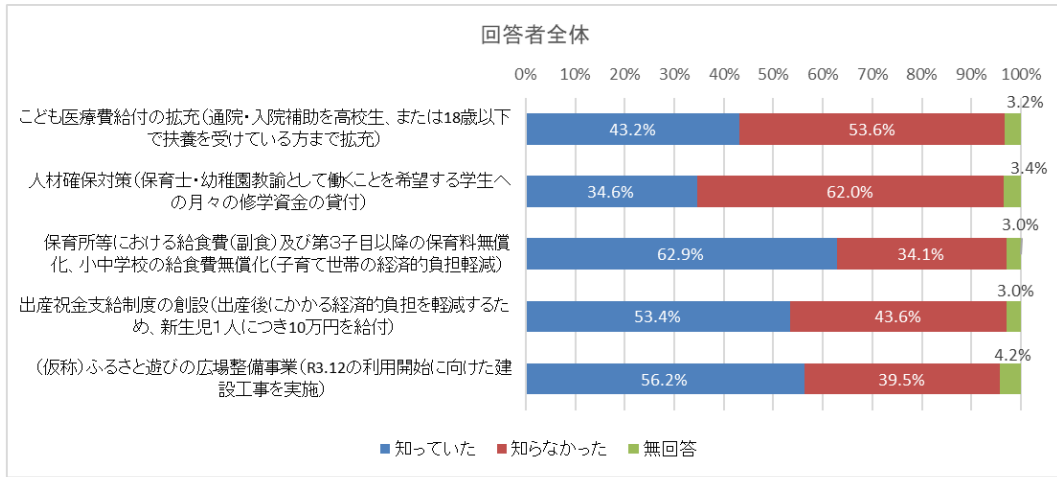
回答者全体では、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無償化」の認知度が最も高く60.1%となっているが、例年に比較するとやや低下した。

20歳代～40歳代の子育て世代でも、総じて昨年度よりも低下しているが、「こども医療費給付の拡充」に対する認知度は上昇している。

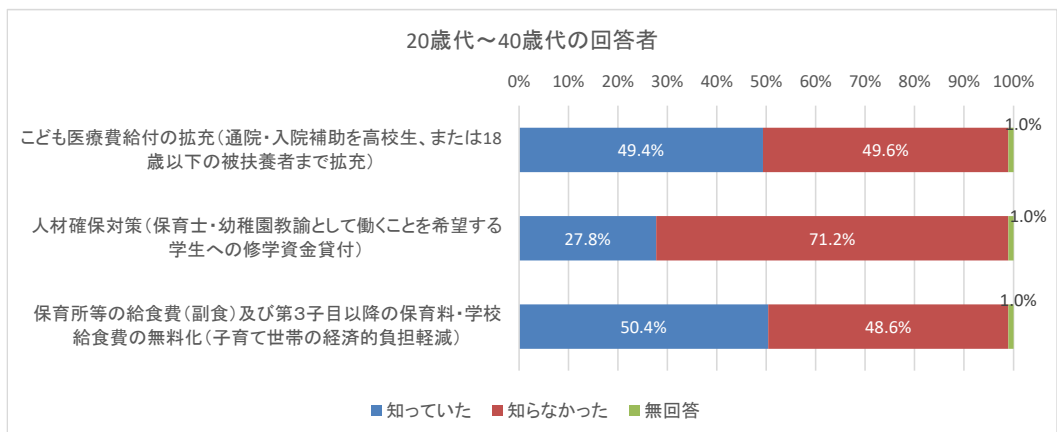
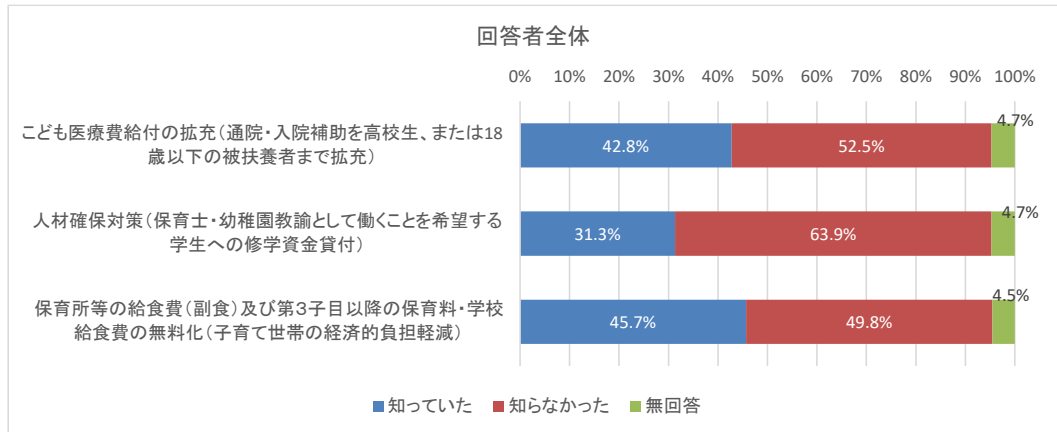
令和4年度調査結果



令和3年度調査結果



令和2年度調査結果

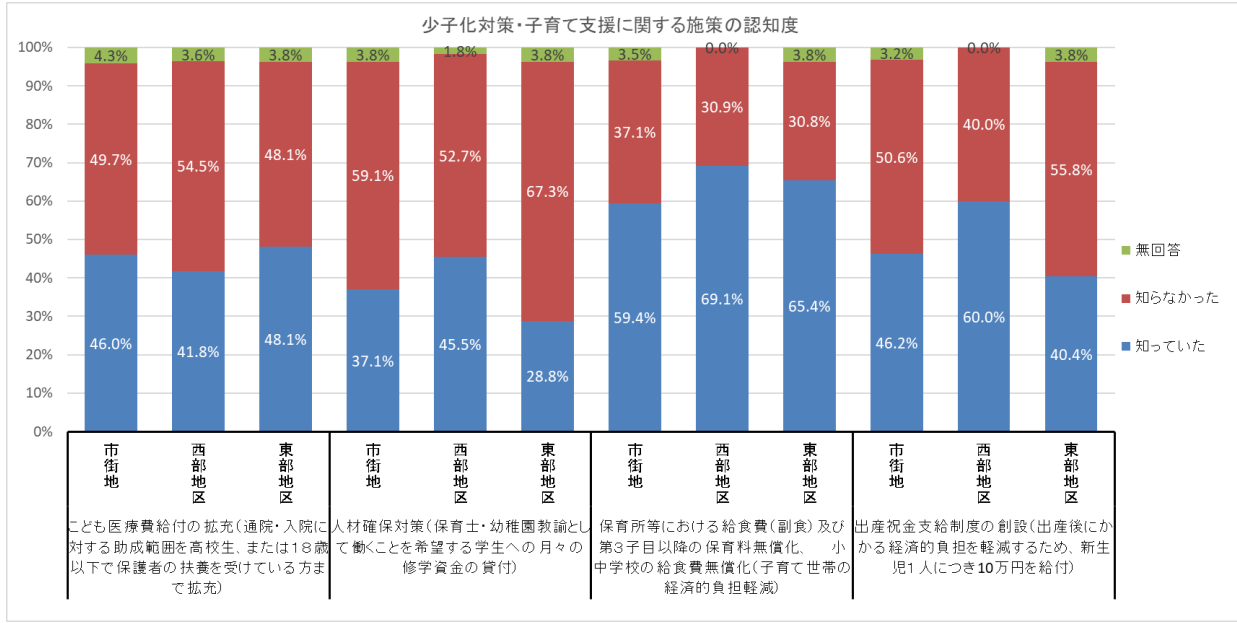


②地区別

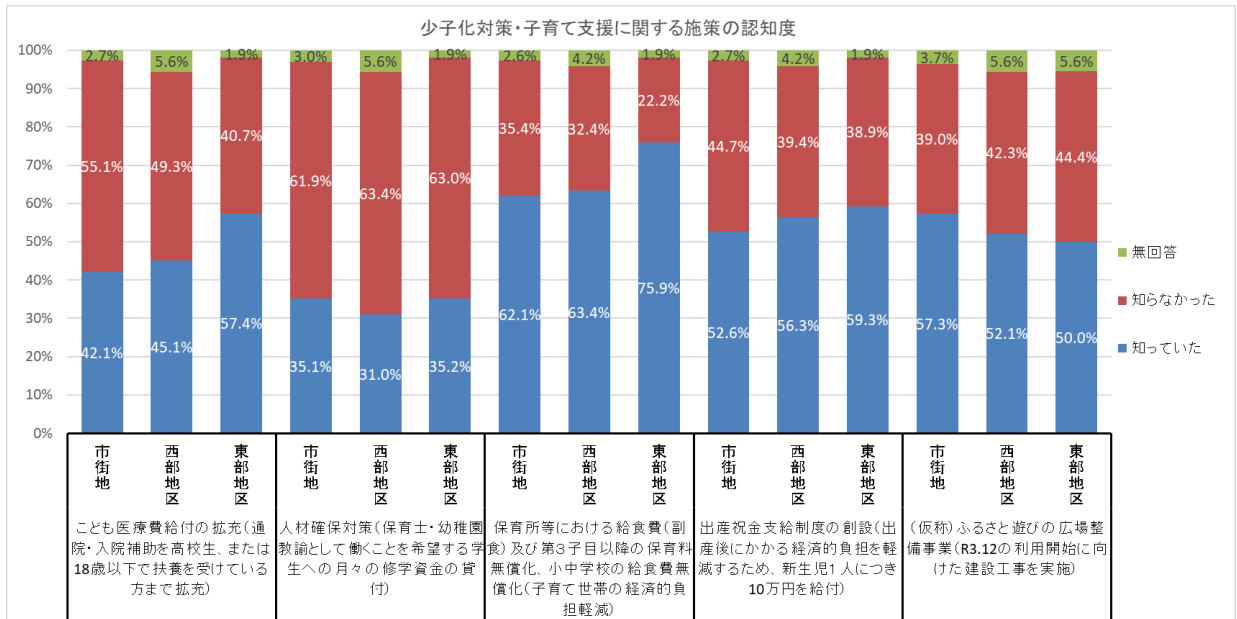
「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策の認知度を地区別で見ると、3地区とも「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」に対する認知度がこれまでの調査結果と同様に最も高い。

しかし、総じて、4施策とも認知度はやや低下する結果となっている。

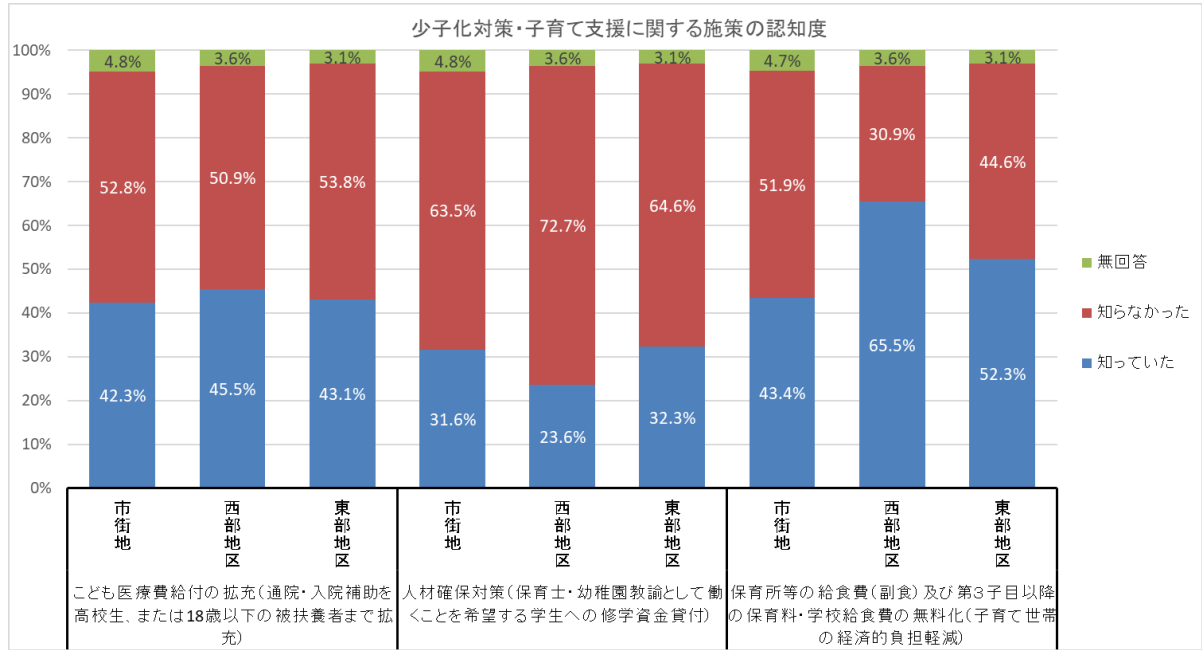
令和4年度の地区別認知度調査結果



令和3年度の地区別認知度調査結果



令和2年度の地区別認知度調査結果



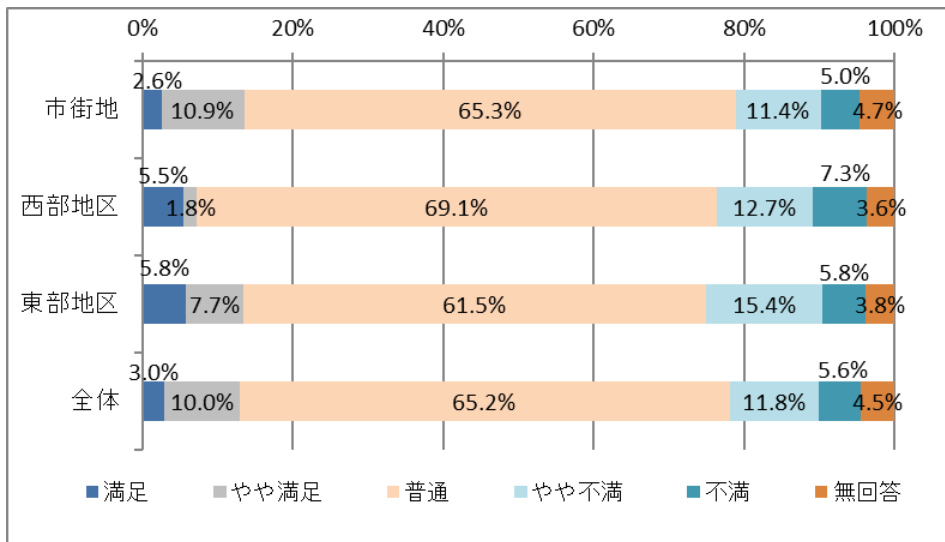
(2) 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、10.3%となっており、昨年度の調査の結果をやや上回った。

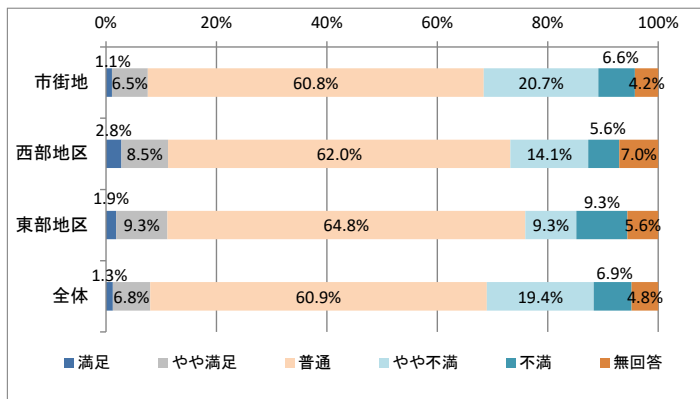
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は地区によって増減は見られるが、概ね例年と同水準となっている。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

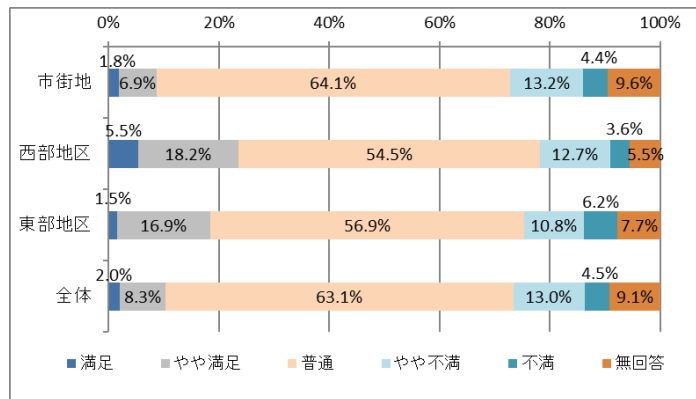
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



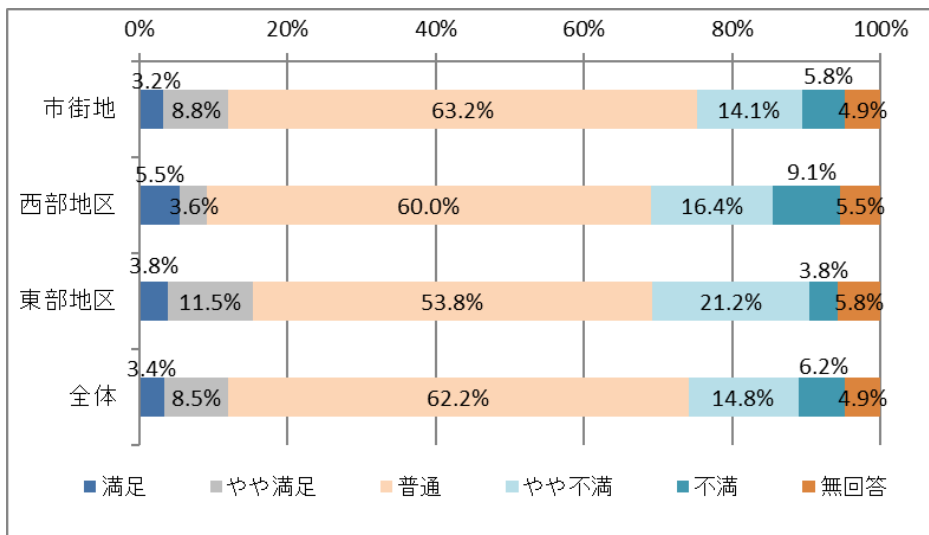
(3) 子育てのための環境や支援に対する満足度

子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、11.9%となっており、調査を開始した平成28年度(5.2%)から一貫して増加基調にある。

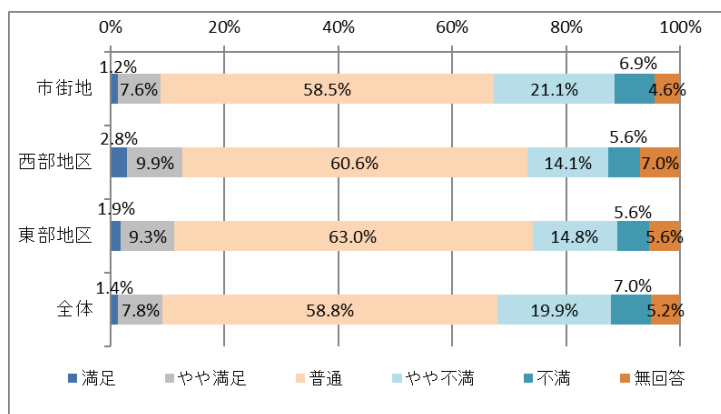
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地では一貫した増加をみせているが、回答者数の少ない西部地区および東部地区では、調査年によって増減がみられている。

子育てのための環境や支援に対する満足度

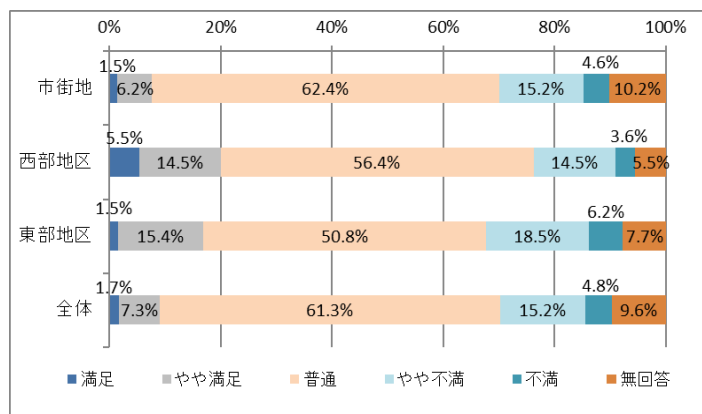
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



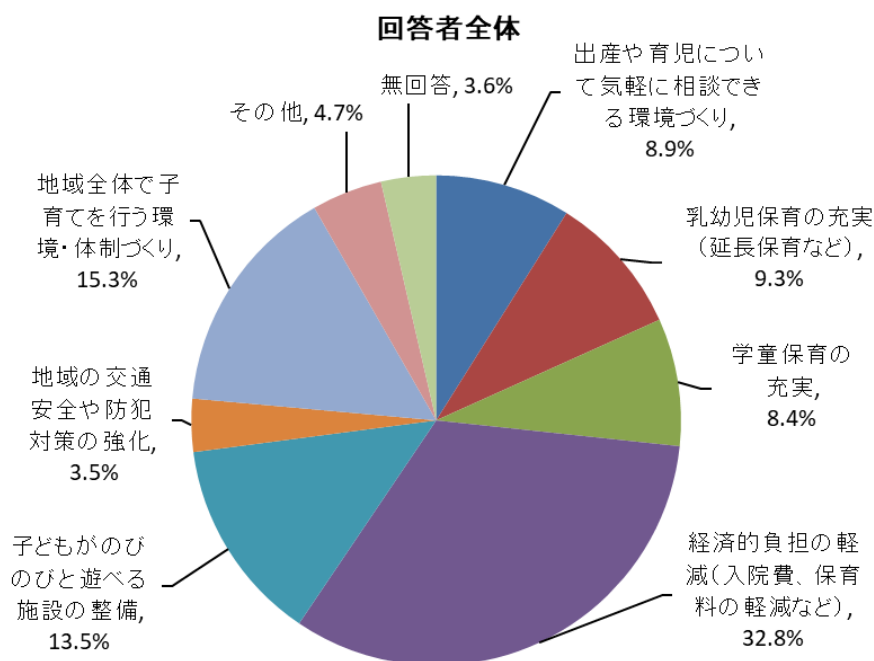
(4) 少子化・子育て支援策

①市民全体

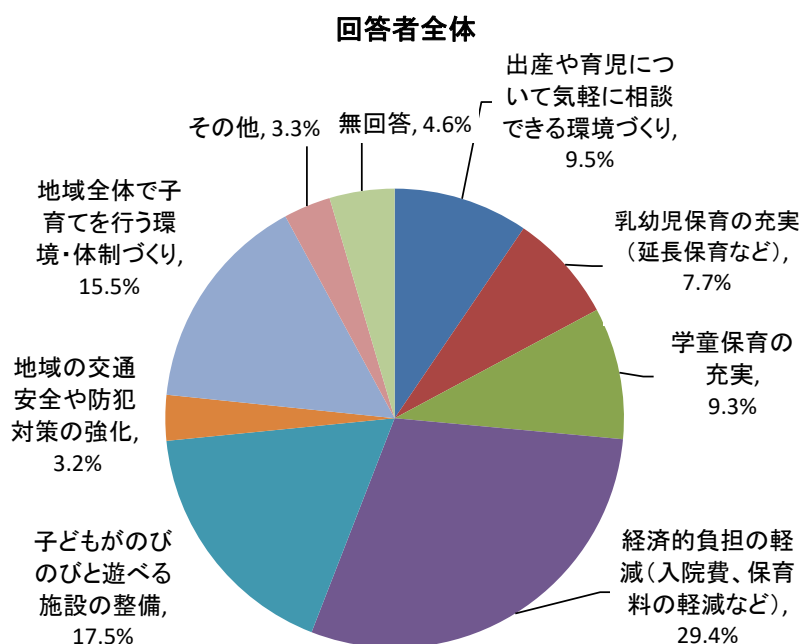
根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、32.8%を占めた。次いで、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が15.3%、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が13.5%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が8.9%の順であった。

「経済的負担の軽減」の割合が増加していることから、令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大による経済の停滞を反映して経済面での不安が増大している状況が伺える。

<令和4年度調査>

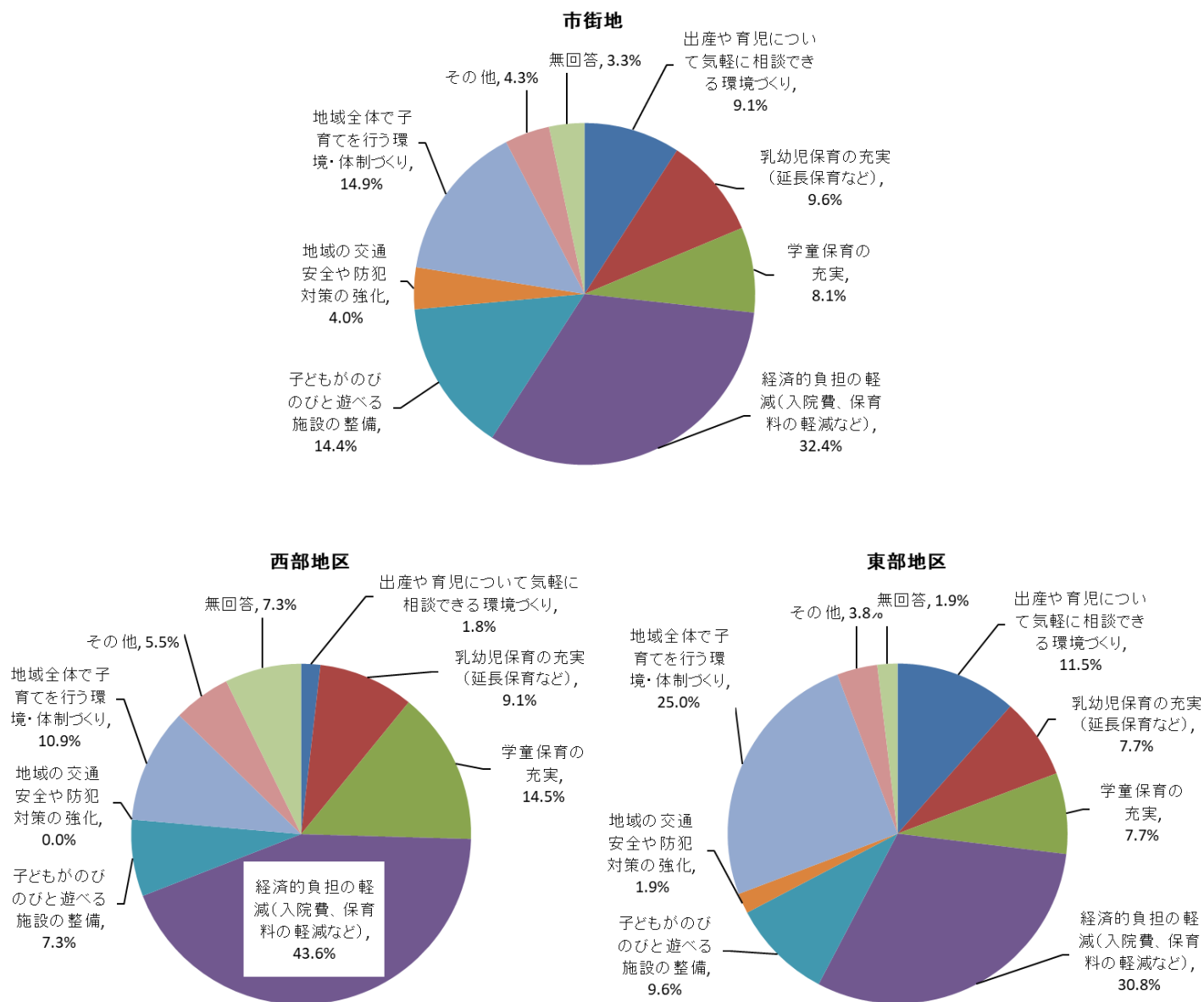


<令和3年度調査>



②地区別

各地区とも、「経済的負担の軽減」の割合が最も高く、次いで、市街地地区及び東部地区では「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」、西部地区では「学童保育の充実」に対する要望が高くなっている。



3. 7 高齢者支援について

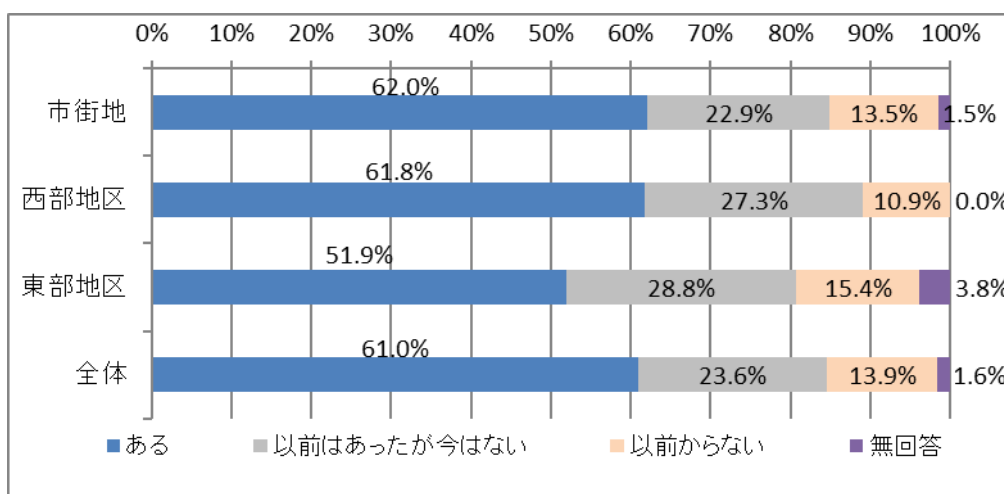
(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

趣味・楽しみ、生きがいの有無を、回答者全体でみると61.0%が「ある」としており、令和3年度調査の結果と比較すると、総じて各地区とも減少している。

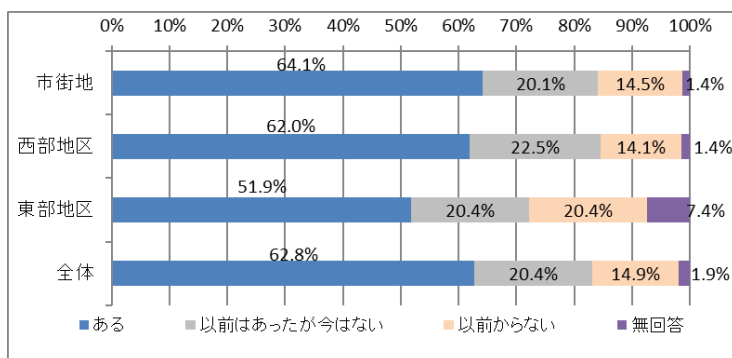
60歳以上の回答者でみると、回答者全体よりも「ある」の回答割合が低いことは、昨年度までの結果と同様であり、かつ、回答者全体と同様に、「以前はあったが今はない」とする回答者の割合が増加し、「ある」とする回答者の割合が減少している。

市民全体の趣味・楽しみ・生きがいの有無

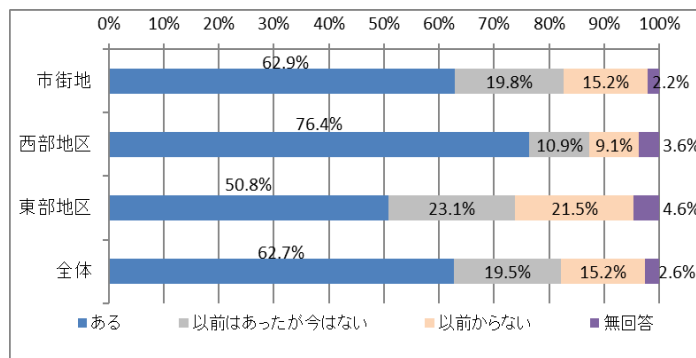
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

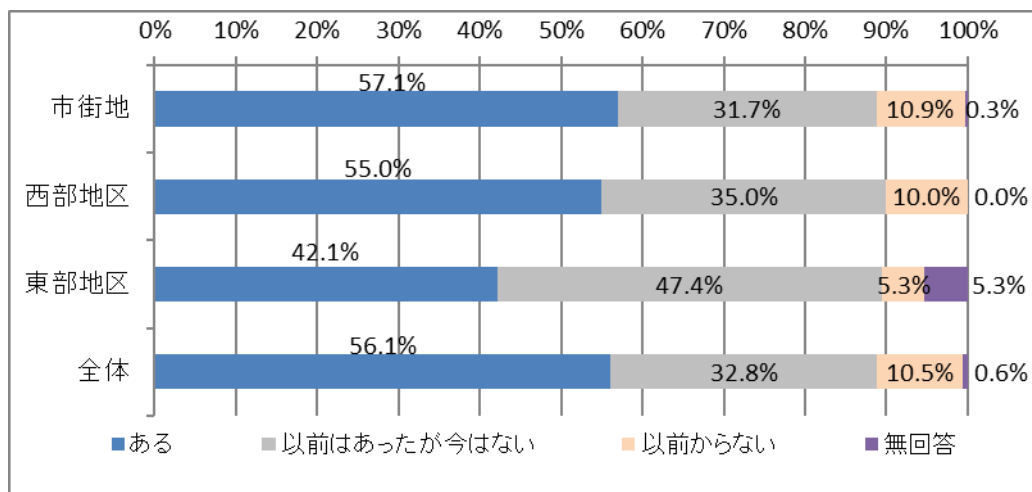


<令和2年度調査>

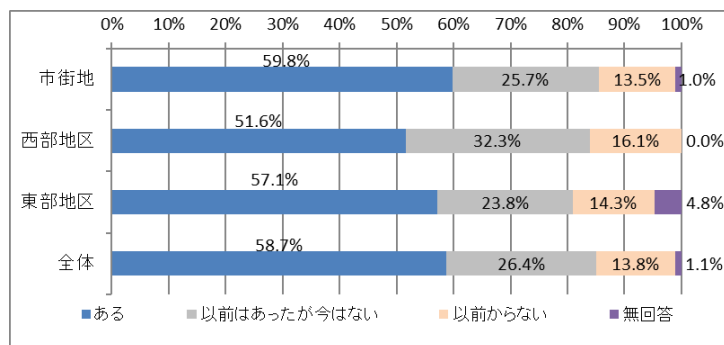


60歳以上住民の趣味・楽しみ・生きがいの有無

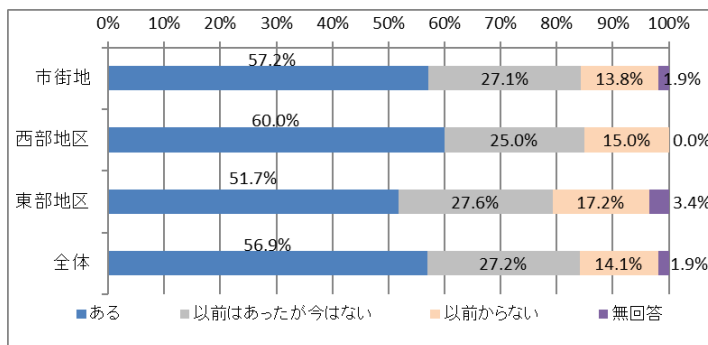
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(2) 町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

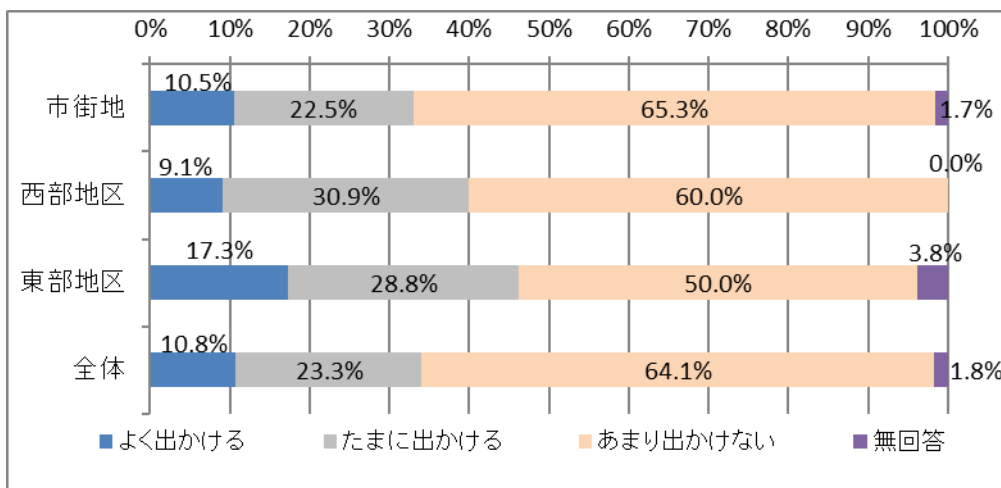
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体でみると、「よく出かける」は10.8%となっており、昨年度よりは増加したものの、一昨年度よりは低い。さらに、「たまに出かける」を含めた割合でみると、年々低下している状況が把握される。

地区別でみると、令和2年以降、「よく出かける」「たまに出かける」を合わせた割合でみても、各地区とも年々減少している傾向がみられる。これは、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要不急な外出の自粛や地域イベントの中止などの影響があるものと推測される。

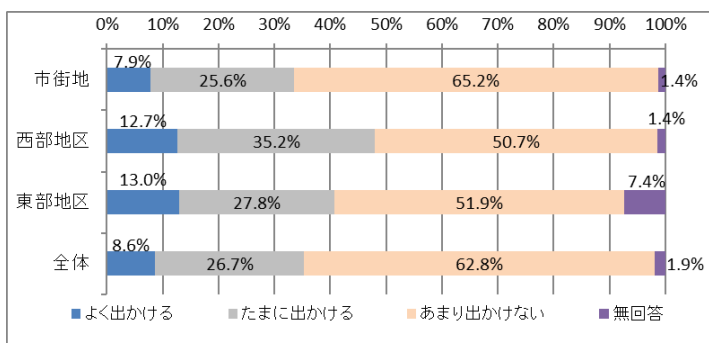
60歳以上の回答者でみても、「よく出かける」とする回答者の割合は昨年度より、増加したものの、一昨年度よりは低い。「たまに出かける」を含めた割合でみても、昨年度より増加したものの、一昨年度よりは低くなっている。

市民全体の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

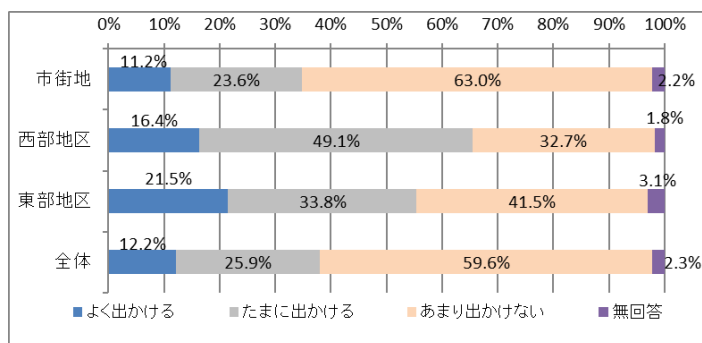
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

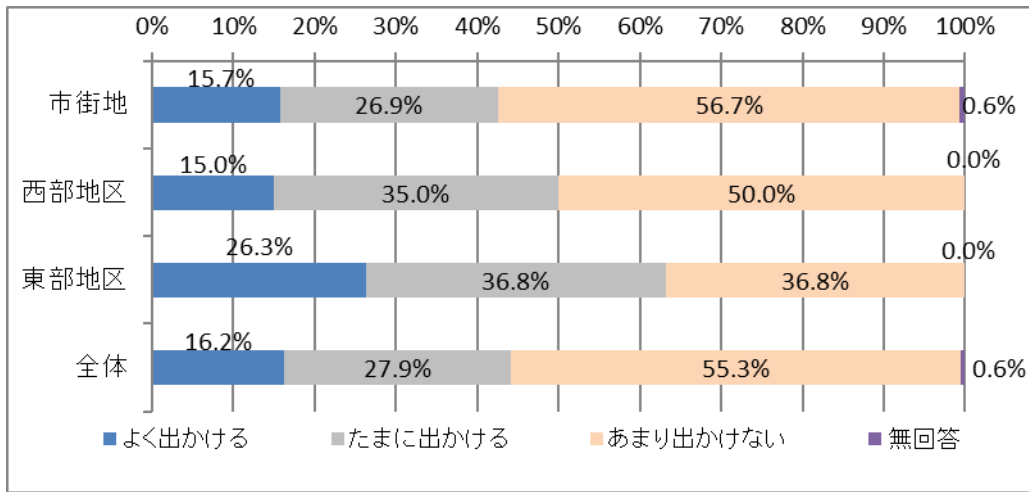


<令和2年度調査>

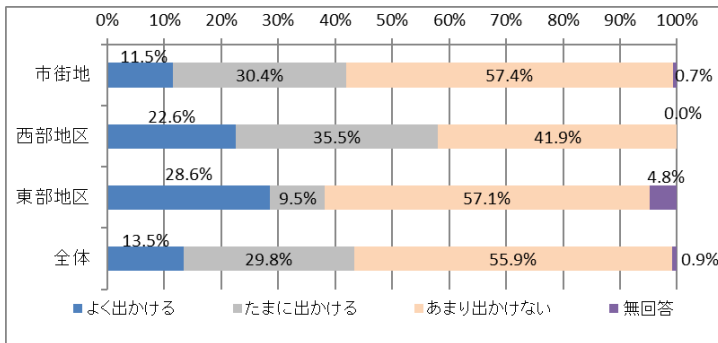


60歳以上住民の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

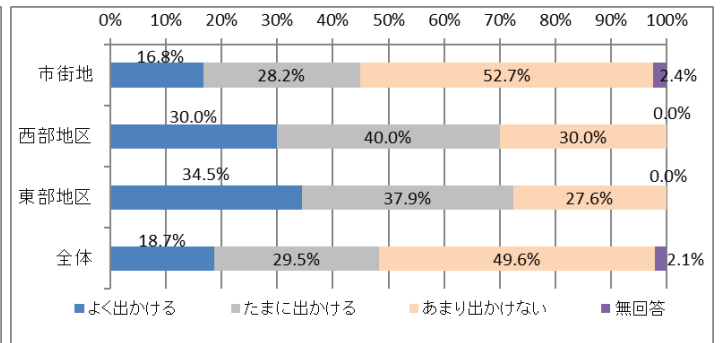
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(3) 施策に対する認知度

①市民全体

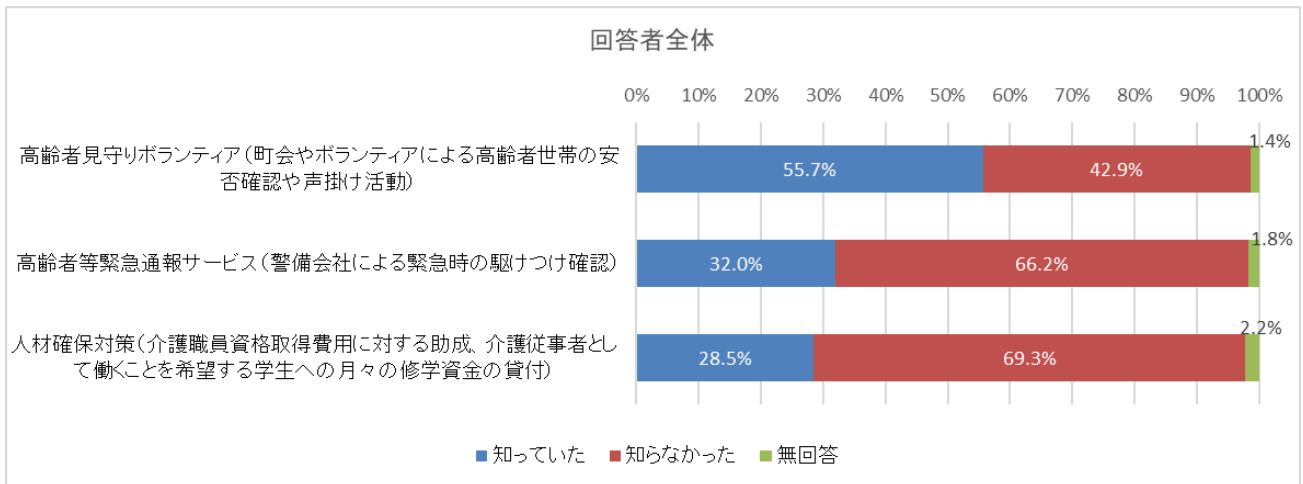
根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度をみると、市民全体では、「高齢者見守りボランティア事業」が55.7%の認知度となっており、「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては30%前後の認知度に留まっているなど、ほぼ昨年度と同様の傾向となっているが、3つの施策とも認知度は昨年度よりもやや向上している。

一方、65歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者見守りボランティア事業」が45.8%、「高齢者等緊急通報サービス事業」が28.8%の認知度となっており、回答者全体での認知度より低い傾向はこれまでの結果と同様であった。

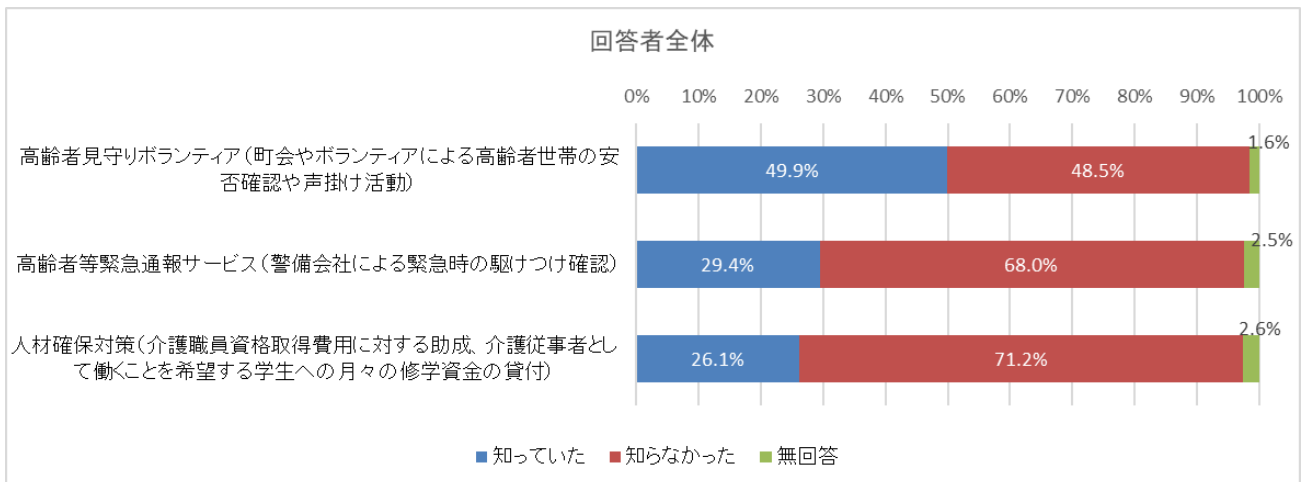
しかし、昨年度と比較すると、回答者全体では各施策とも認知度が向上していたが、65歳以上の回答者でみると各施策とも認知度はやや低下していた。

市民全体における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和4年度調査>

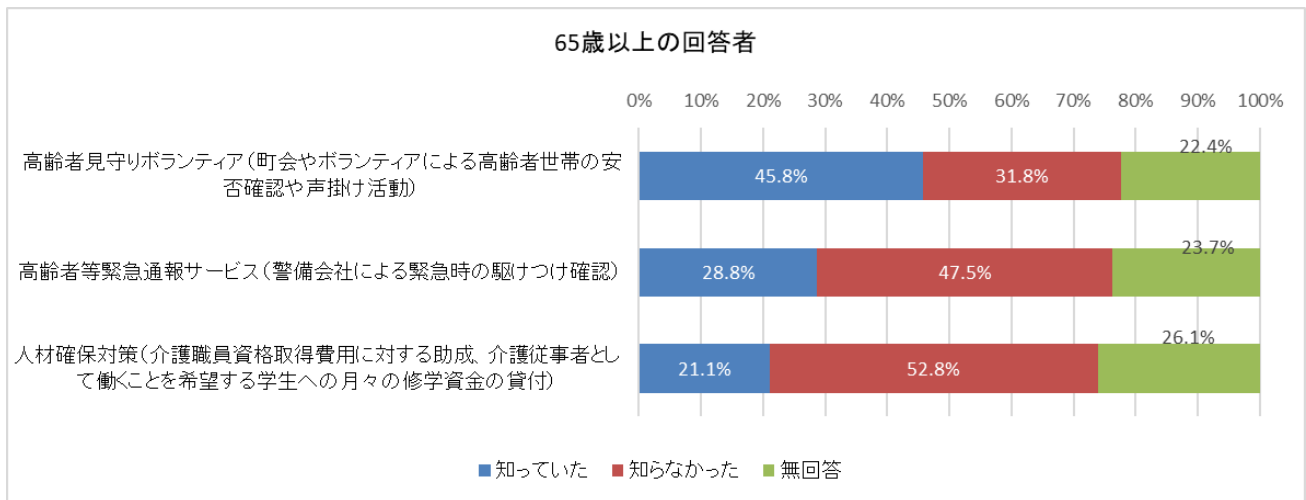


<令和3年度調査>

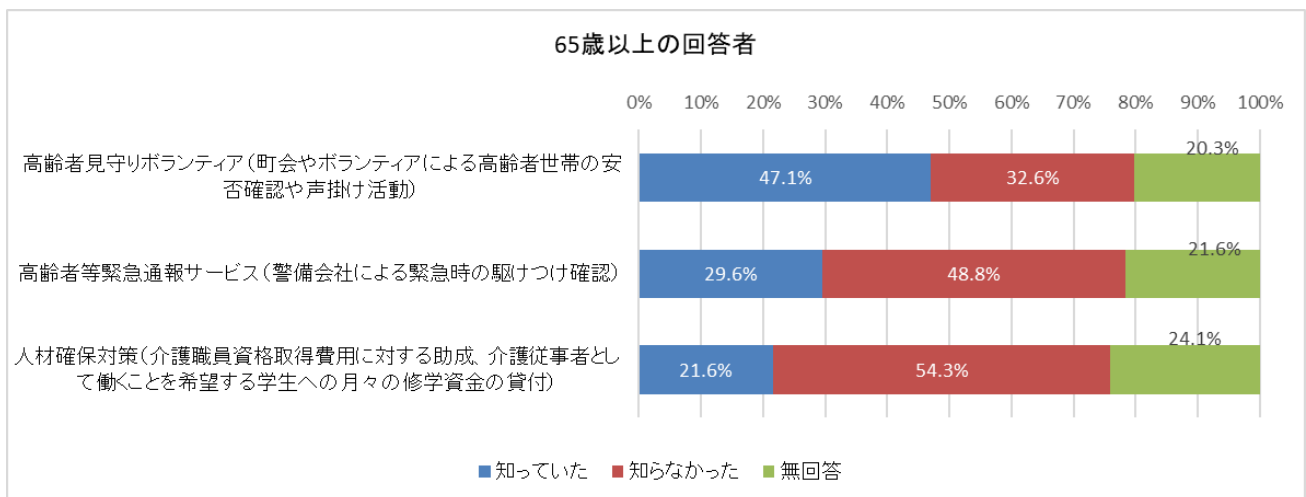


65歳以上住民における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

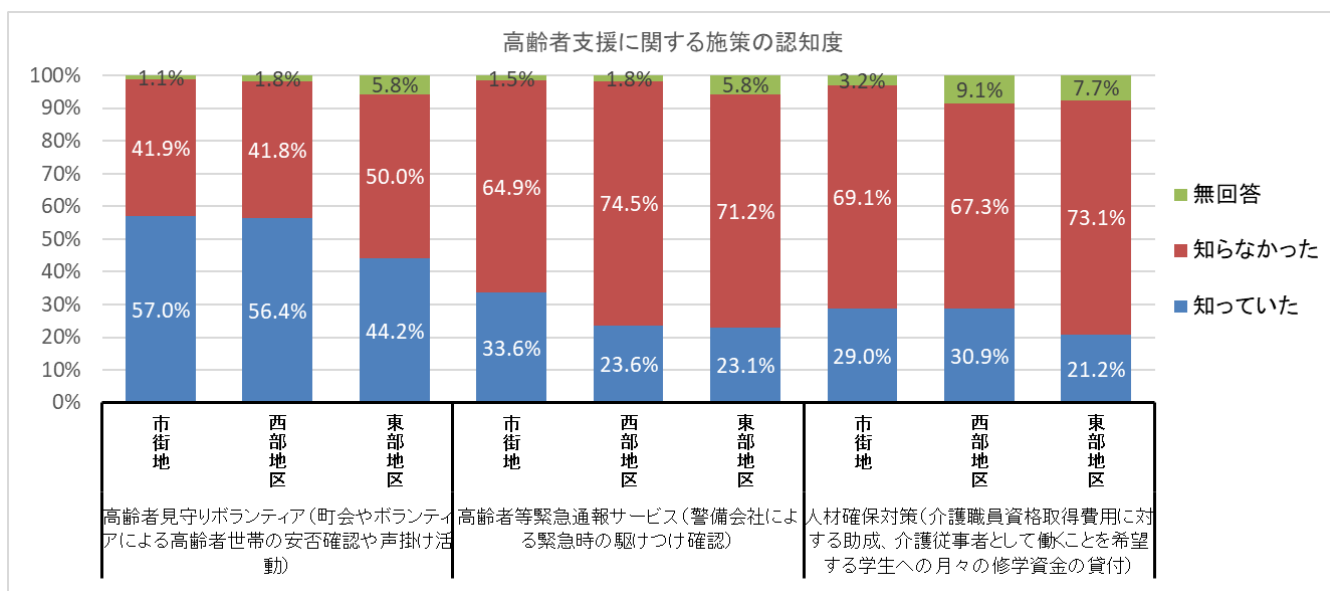


②地区別

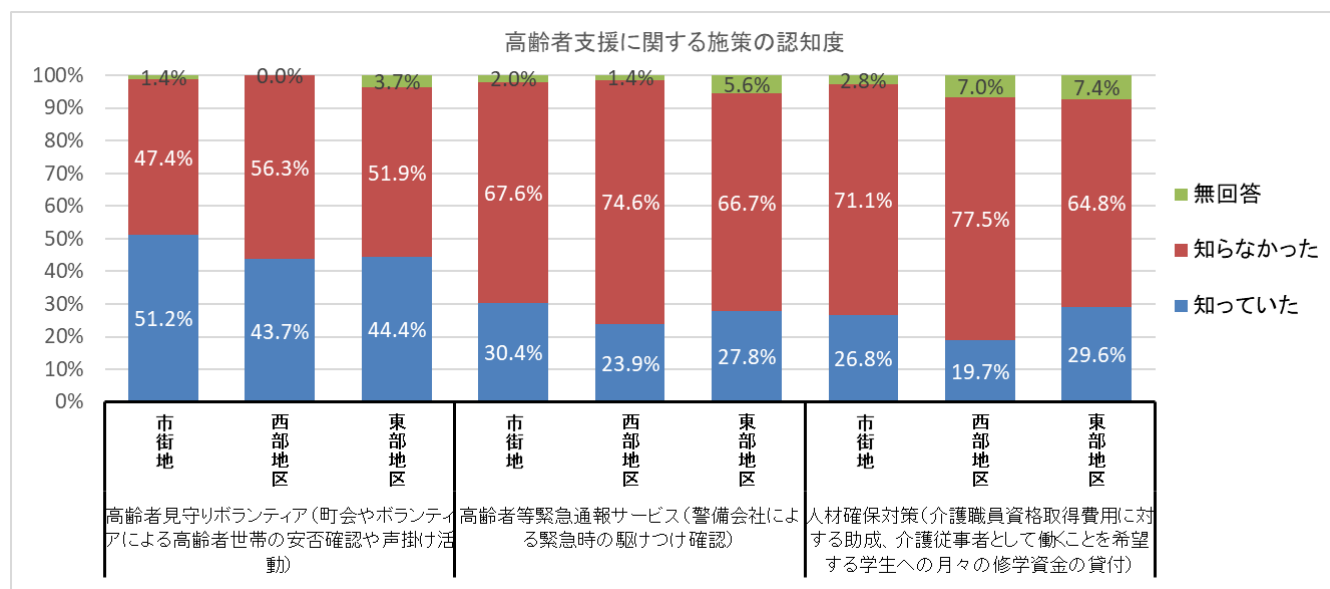
高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高く、44～57%となっており、市街地及び西部地区住民の認知度が昨年度よりも向上していた。

一方、「高齢者等緊急通報サービス事業」や「人材確保対策」に関しては、ほぼ例年と同水準の認知度となっている。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



(4) 高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

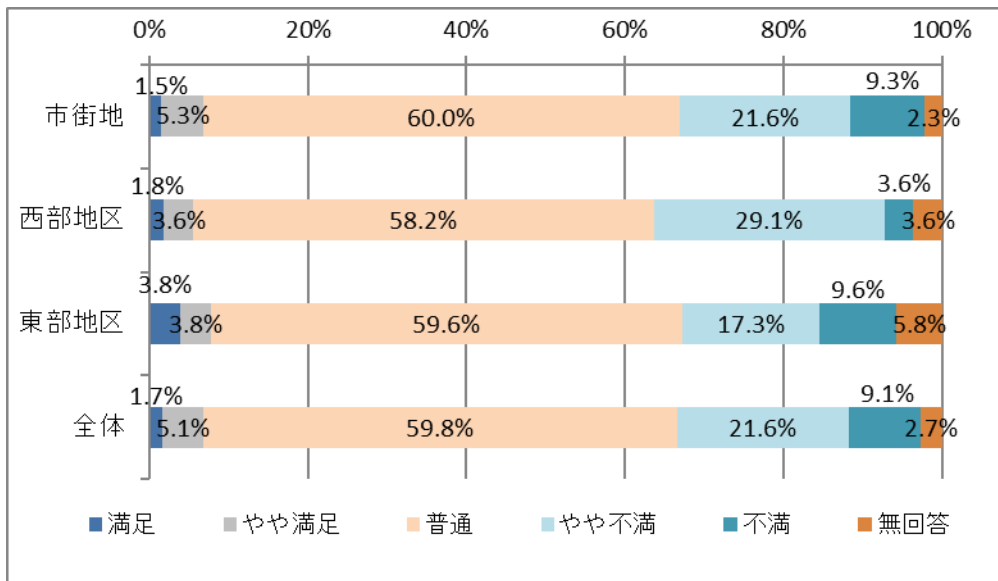
高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.8%となっており、昨年度までの調査の結果とほぼ同水準であった。

また、「不満」「やや不満」を合わせた「不満」とする評価についても、年度毎に変動はあるもののこれまでの調査結果とほぼ同水準となっている。

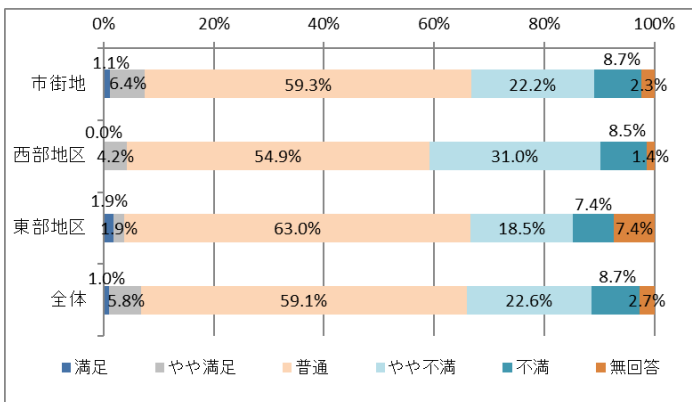
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で6.8%程度と昨年度の結果よりやや低下したものの、これまでの調査の変動状況に大きな変化はみられていない。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

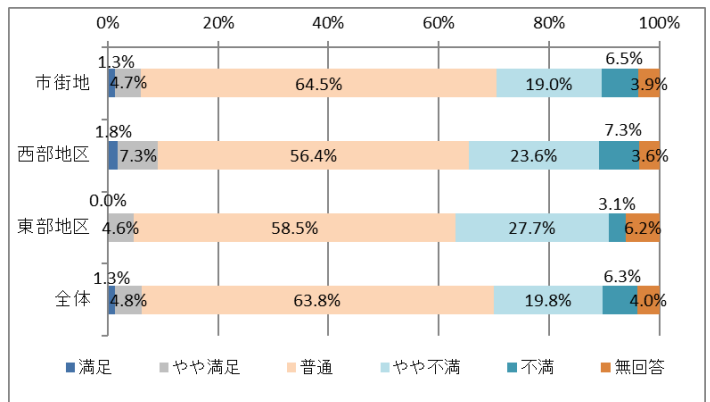
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(5) 高齢者のための福祉施制度の状況に対する満足度

高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、8.0%となっており、昨年度調査の結果よりやや向上した。

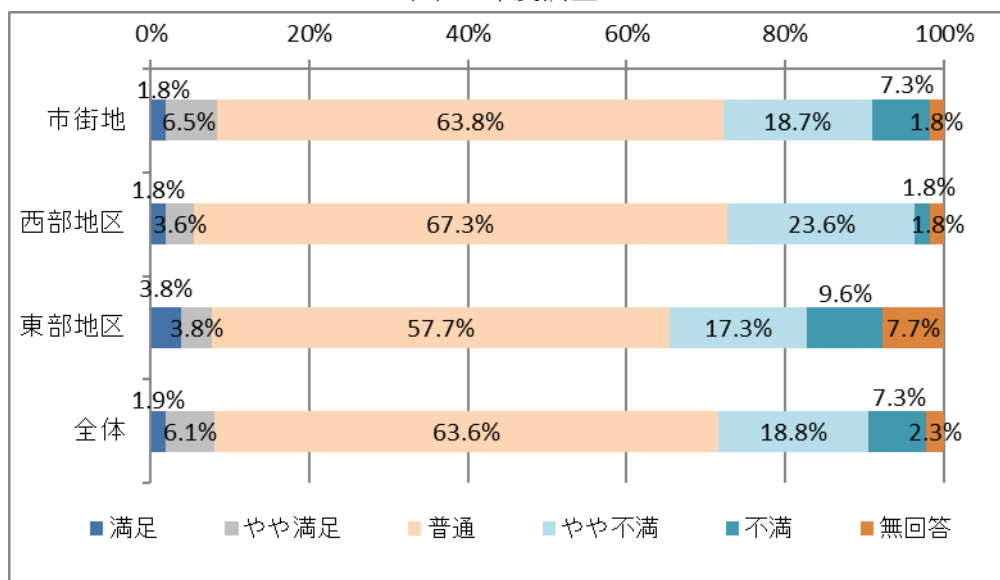
ただし、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が26.1%と昨年度の結果とほぼ同水準となっている。

「普通」とする回答を含めた「普通」以上の満足度であるとする割合でみると71.1%となっており、これまでの調査と同様に70%強の水準となっている。

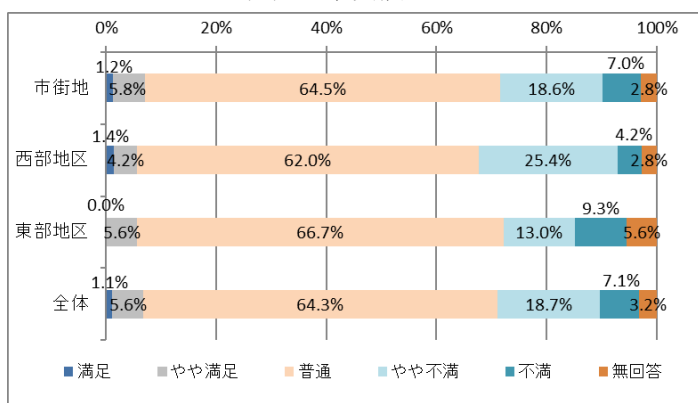
また、地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、すべての地区で昨年度と同等、あるいはやや向上しているものの、例年の傾向と大きな変化はみられていない。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

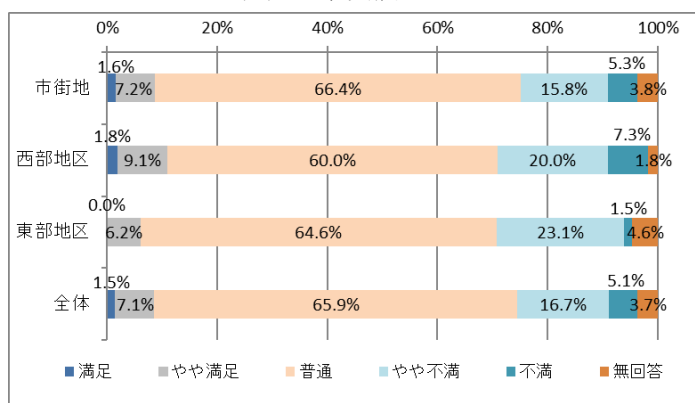
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>

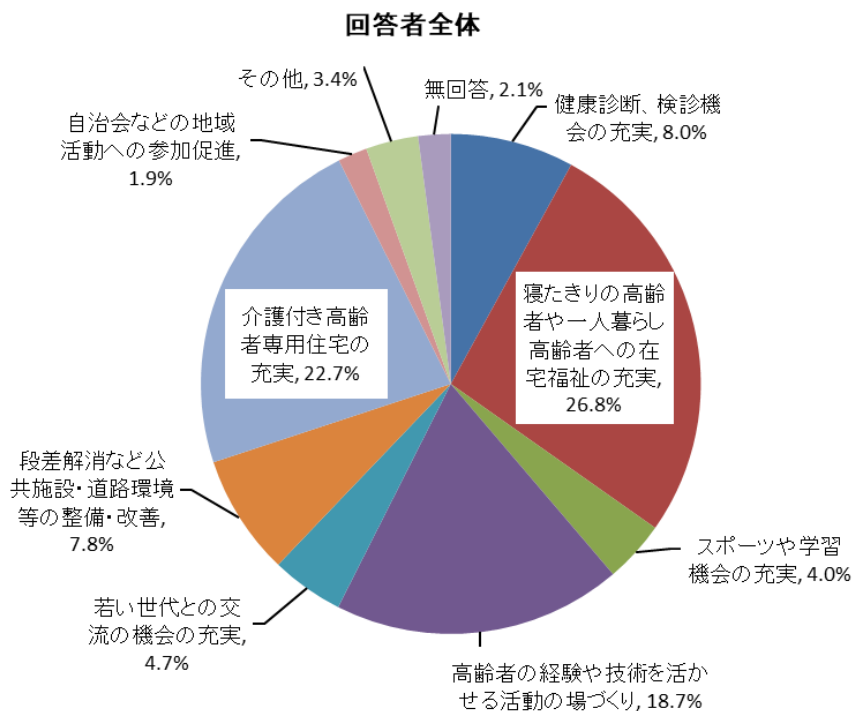


(7) 高齢者にとって重要と思う施策について

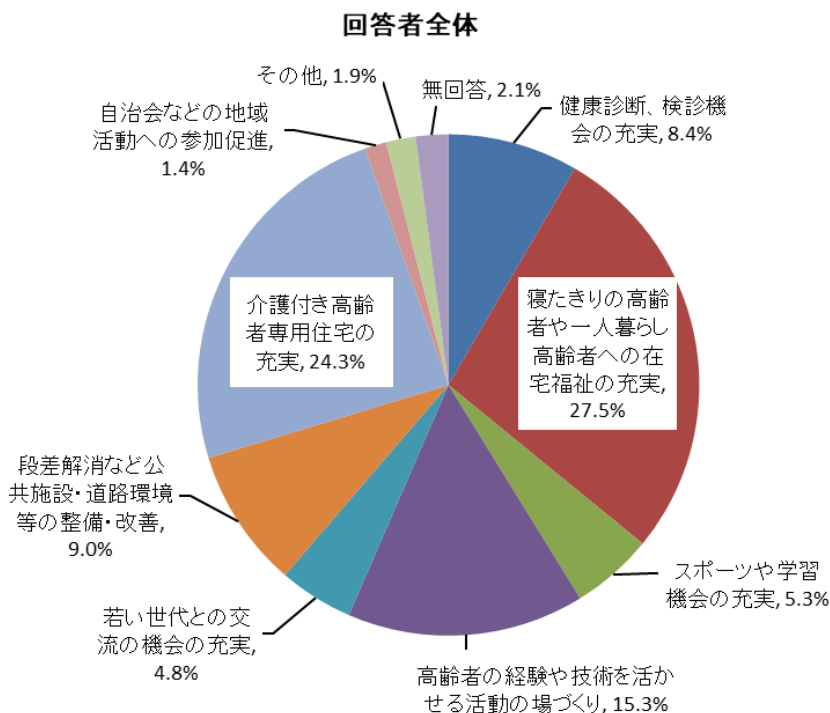
①市民全体

今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が最も多く、次いで、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」となっており、昨年度調査と同様の結果であった。

<令和4年度調査>



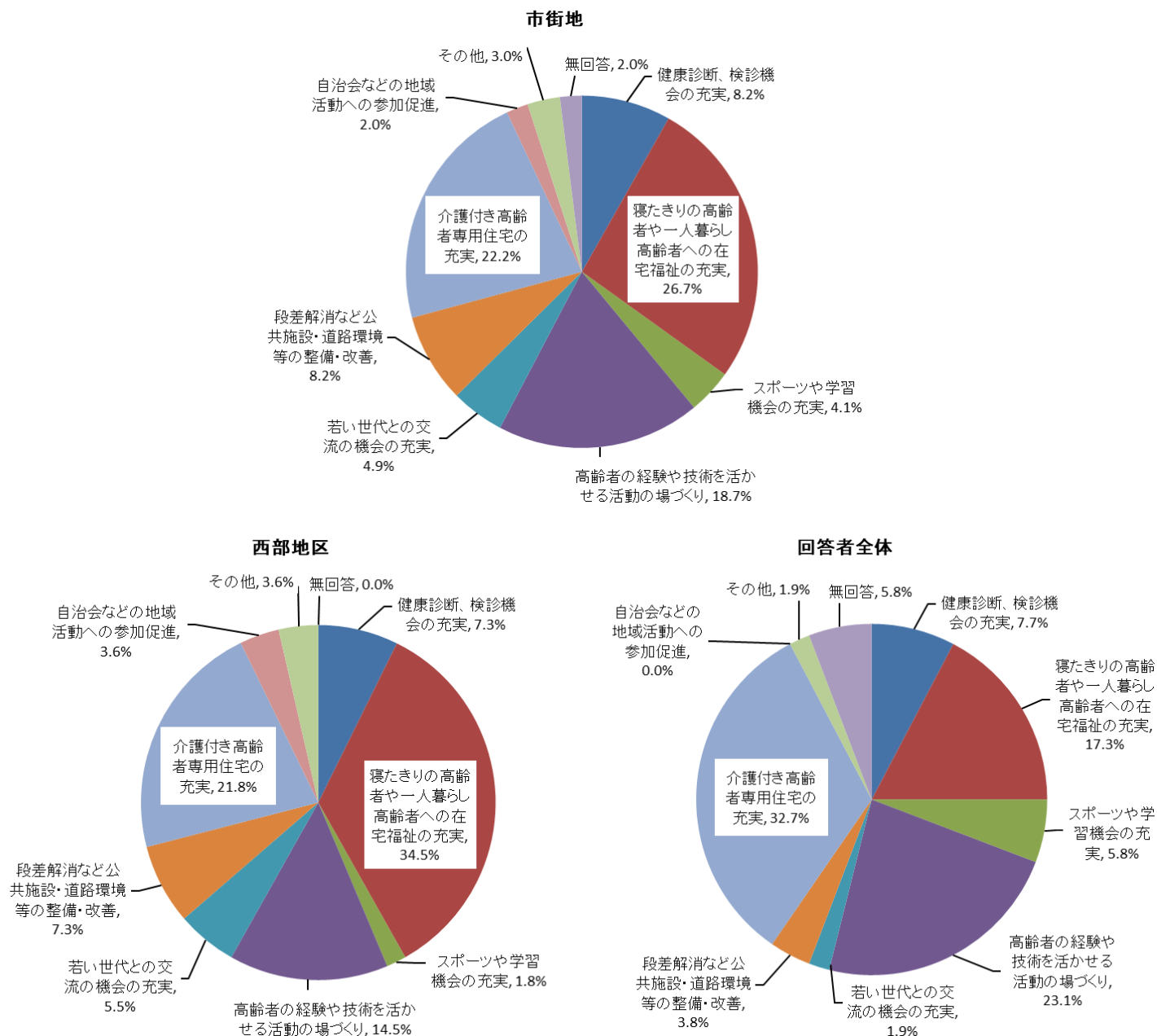
<令和3年度調査>



②地区別

3 地区とも順位は異なるものの「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が上位にあがっている。

特に、東部地区では「介護付き高齢者専用住宅の充実」が高い割合となっているが、いずれにしても、各地区ともこれら3項目が重要視されているという状況は、ここ数年続いている。



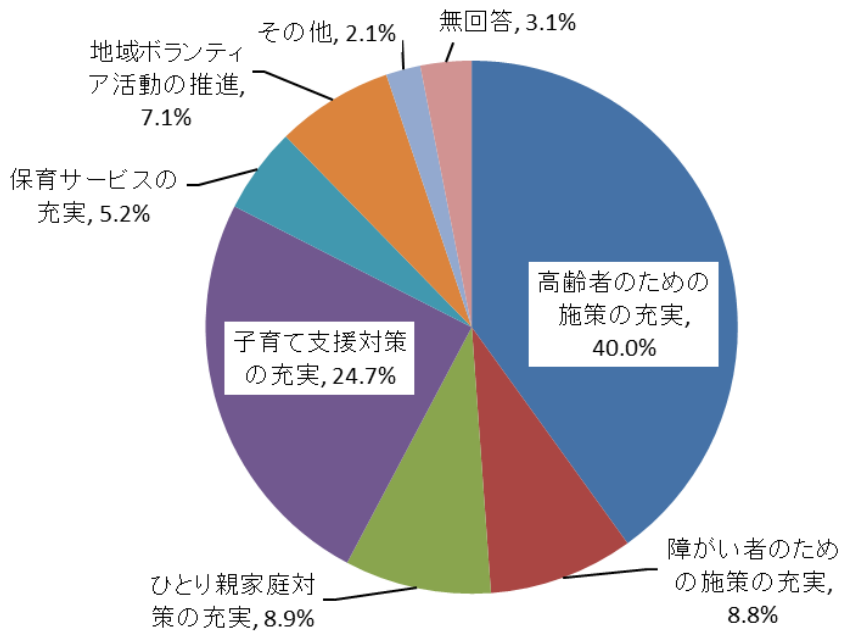
3. 8 社会福祉全般について

(1) 市民全体

社会福祉に関して重要と考えている項目についてみると、今回の調査結果は、昨年度調査までの結果と同様に、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策の充実」の順となっており、特に、「高齢者のための施策の充実」の割合が増加した。

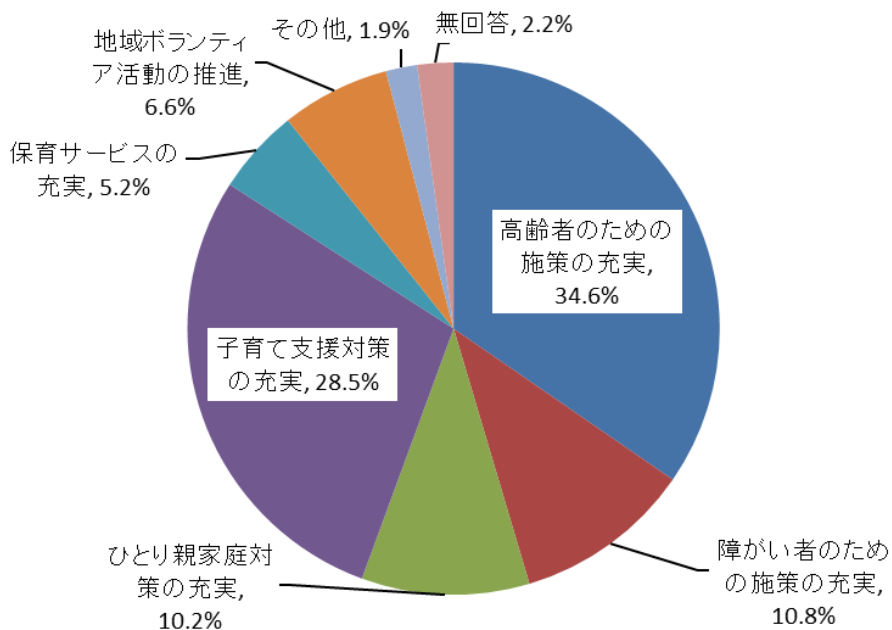
<令和4年度調査>

回答者全体



<令和3年度調査>

回答者全体

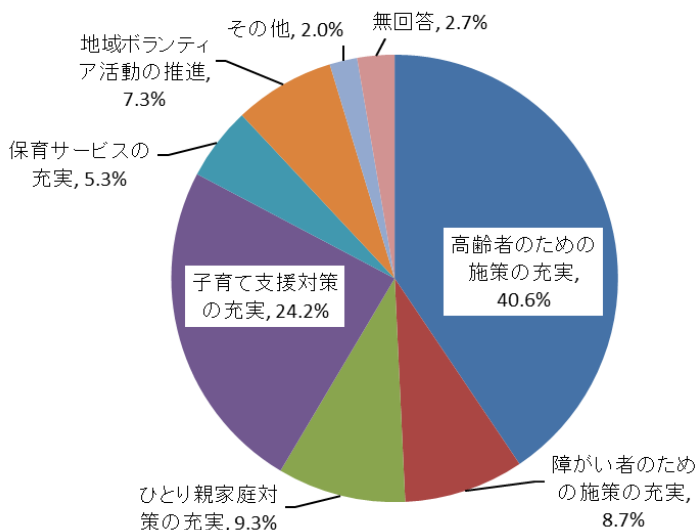


(2) 地区別

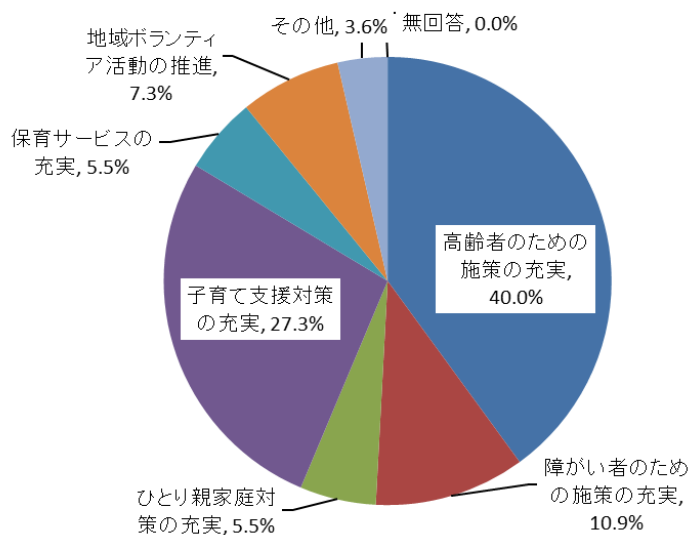
3地区とも「高齢者のための施策の充実」が最も高く、次いで「子育て支援対策」の順となっている。これに次いで、市街地及び東部地区は「ひとり親家庭対策の充実」が、西部地区は「障がい者のための施策の充実」が高い。

昨年度調査の結果と順位の変動がみられる地区もあるが、上位にあげられている項目は、例年と同じである。

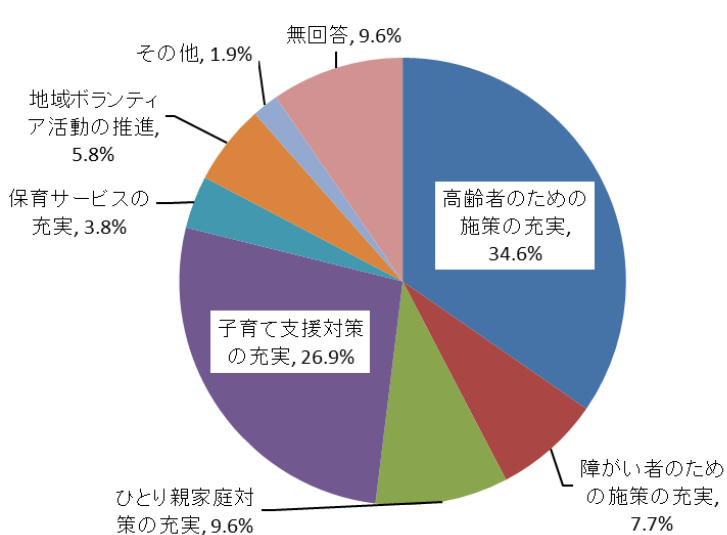
市街地



西部地区



東部地区



3. 9 交通について

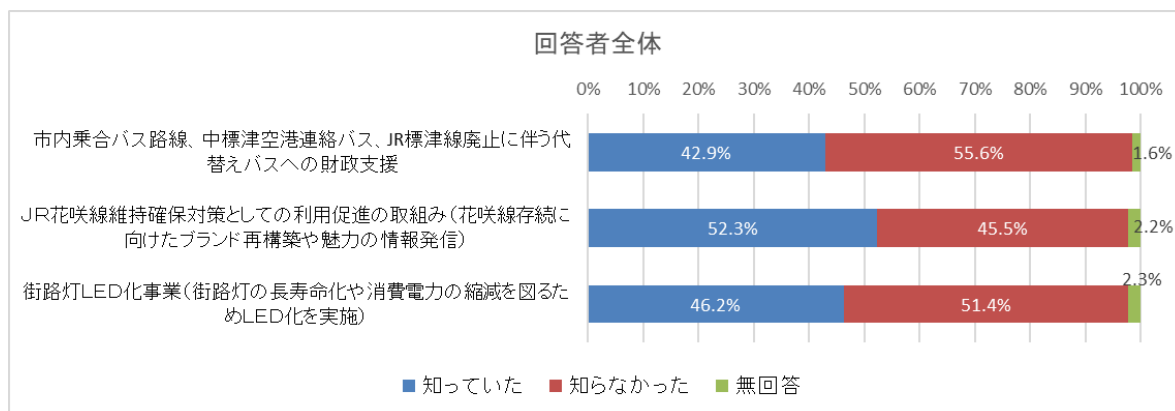
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

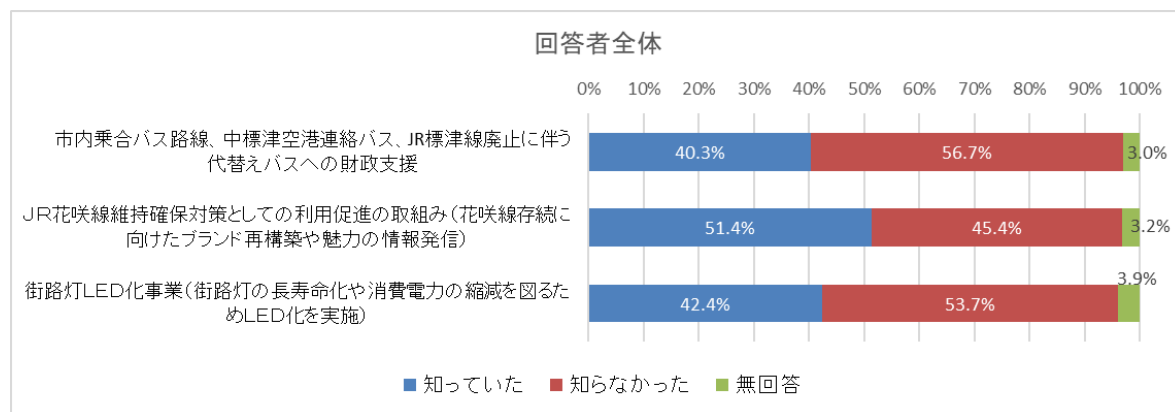
根室市で実施している交通に関する主要施策についての認知度をみると、「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替えバスへの財政支援」に関しては 42.9%、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み（花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信）」が 52.3%、「街路灯 LED 化事業」が 46.2%となっている。

各施策とも昨年度調査時の認知度よりやや向上した。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

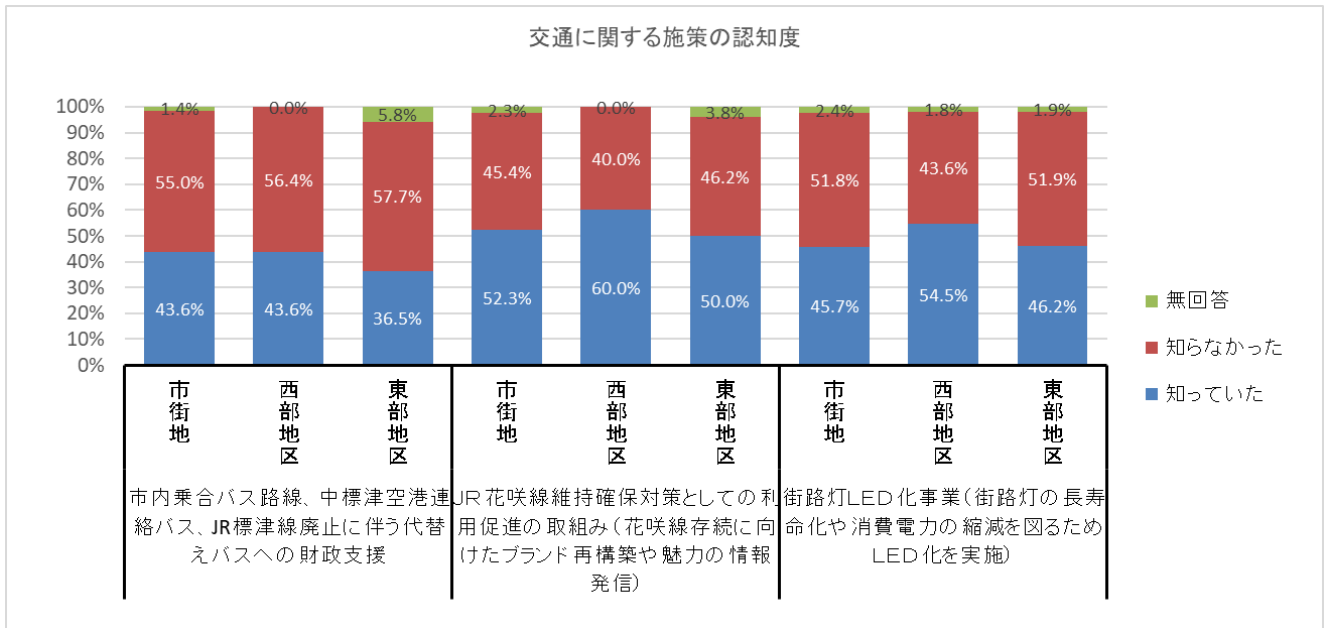


②地区別

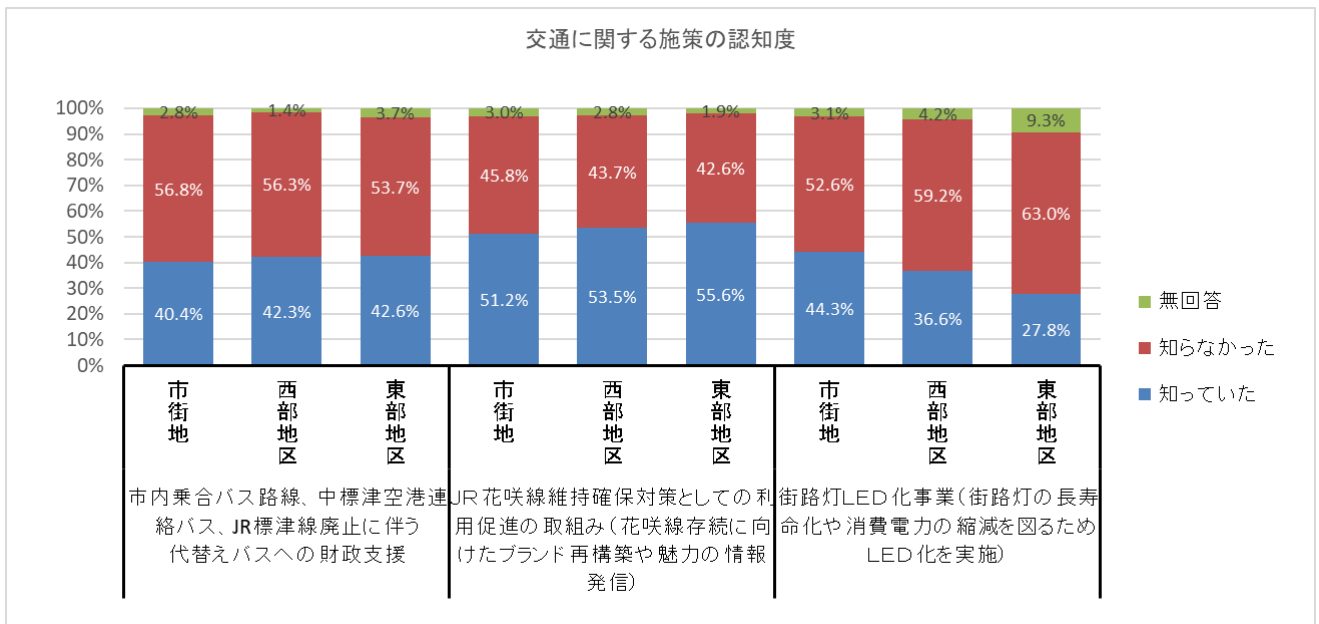
交通に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」に関しては、今回の調査結果も3地区とも50%を超える認知度を示していた。

「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替バスへの財政支援」と「街路灯LED化事業」については50%以下の認知度となっているものの、総じて昨年度調査の結果よりも向上している状況となっている。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

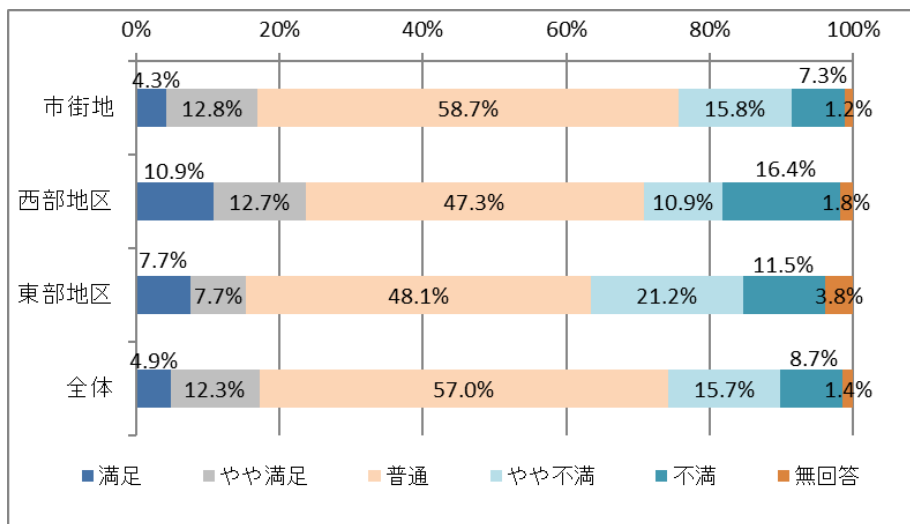


(2) 市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

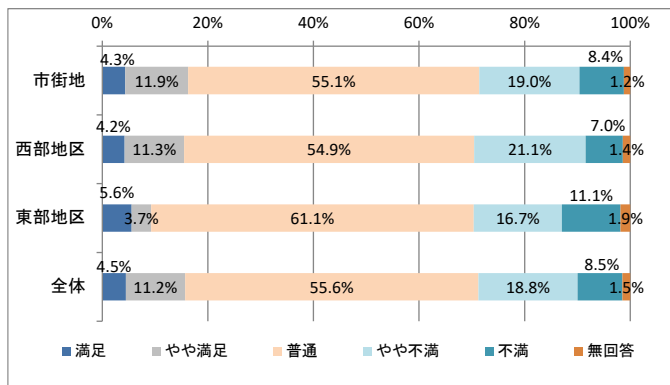
市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする割合は17.2%となっており、昨年度調査の結果よりもやや向上した。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、3地区とも昨年度よりは向上しているものの、一昨年度よりも減少している地区もあるなど、年による増減があるが、大きな変動はみられていない。

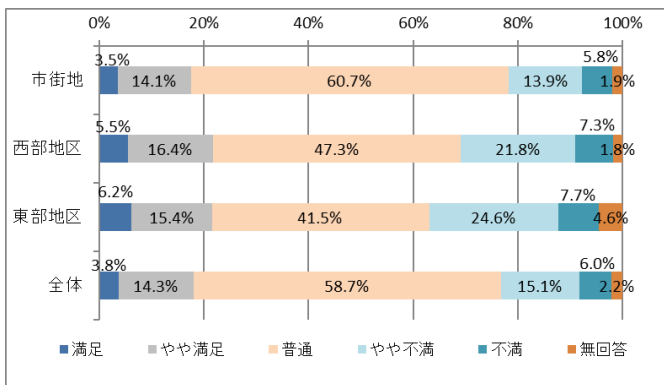
＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



(3) 市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は20.7%となっており、昨年度調査の結果よりやや向上した。

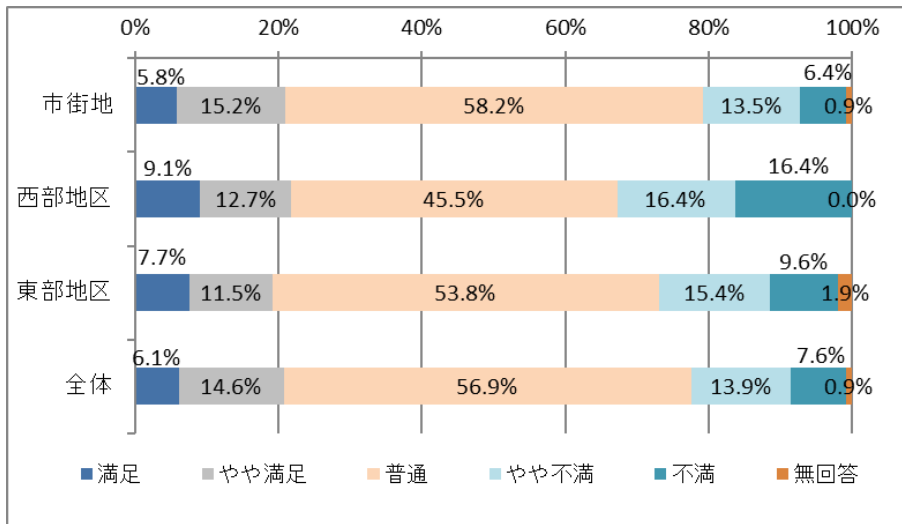
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、3地区とも20%前後となっており、昨年度の調査結果をやや上回っている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は、過去3か年でみても増減はあるものの20%~30%程度みられている。

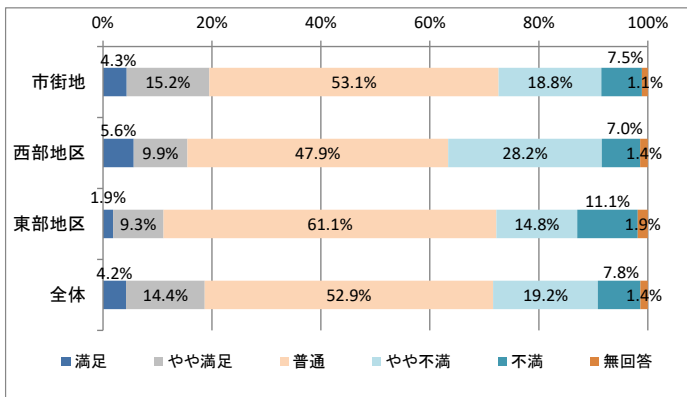
令和2年3月に開通した根室管内で初の高規格道路である根室道路（温根沼 IC～根室 IC 延長距離 7.1km）は、市外間交通における冬季等の交通障害の緩和、対釧路間の走行時間短縮等の実現により、救急医療、産業利用など多方面での利用効果が期待されている。

この根室道路の市民利用の定着が、今年度の市民の満足度が、昨年度よりも向上した要因のひとつと考えられる。

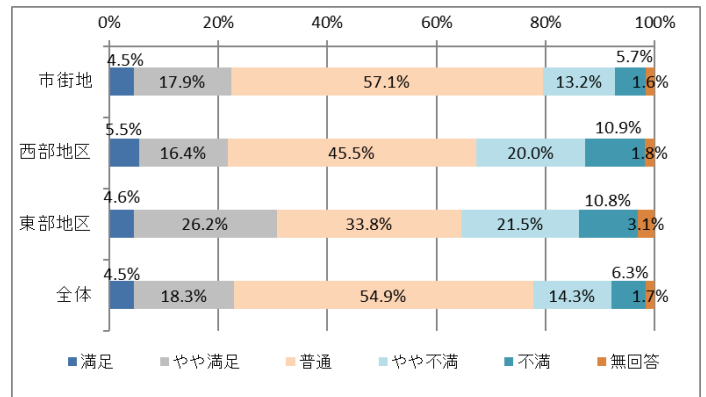
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



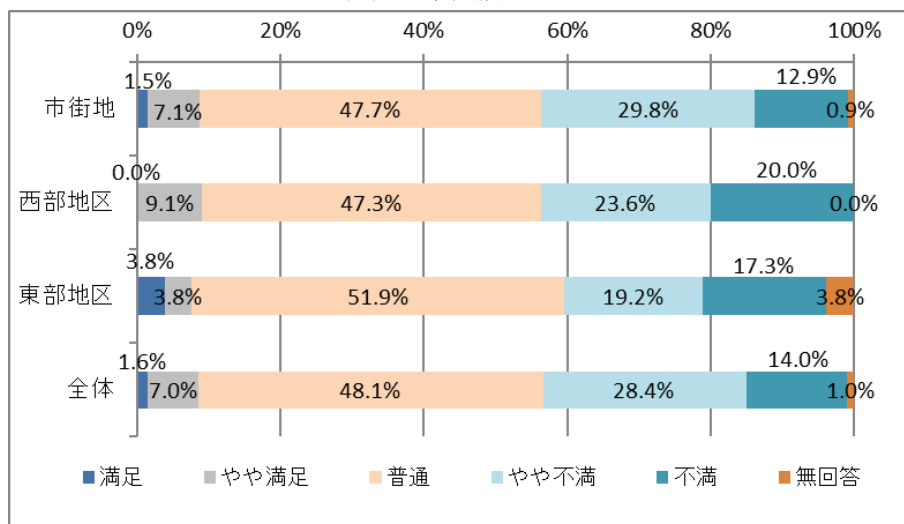
(4) 公共交通機関の利便性に対する満足度

公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は8.6%となっており、昨年度の調査結果より向上した。

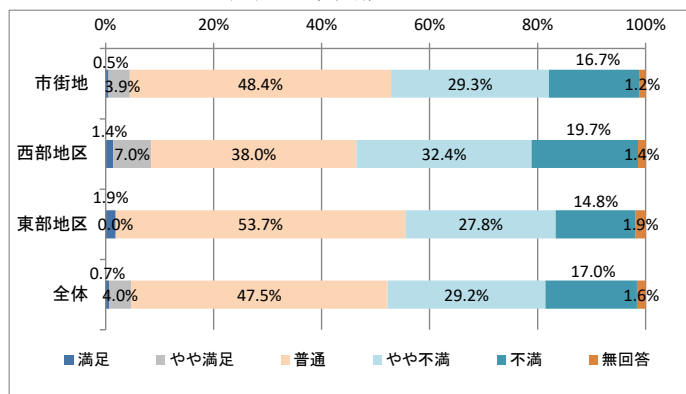
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市街地で8.6%、西部地区で9.1%、東部地区で7.6%と、3地区とも、昨年度調査の結果よりも向上している。

一方、「やや不満」、「不満」を合わせた割合は、昨年よりもやや低下したが、令和2年度とほぼ同水準であり、公共交通機関に対する不満意識に大きな変化はないものと推察される。

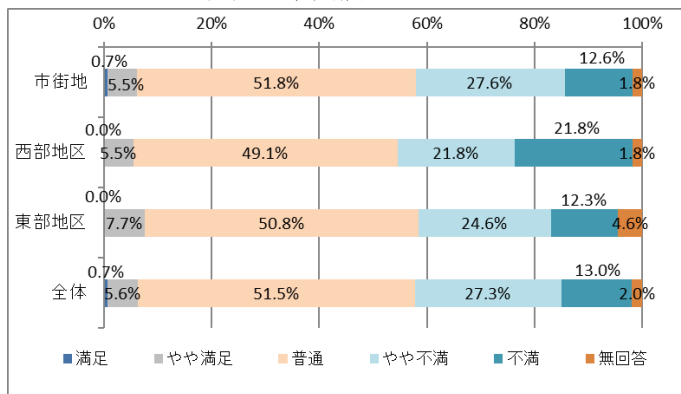
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



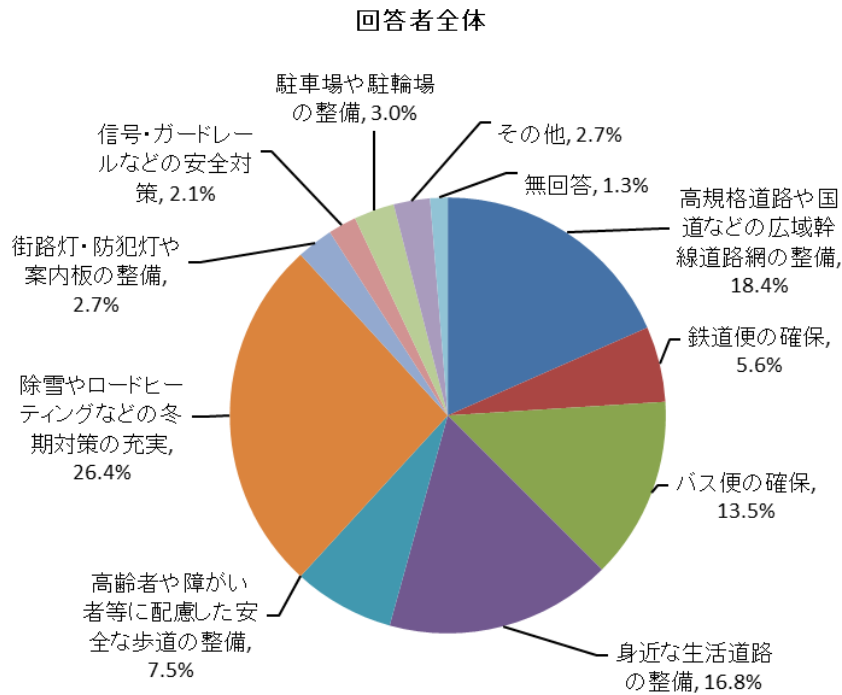
(5) 交通に関する施策について

①市民全体

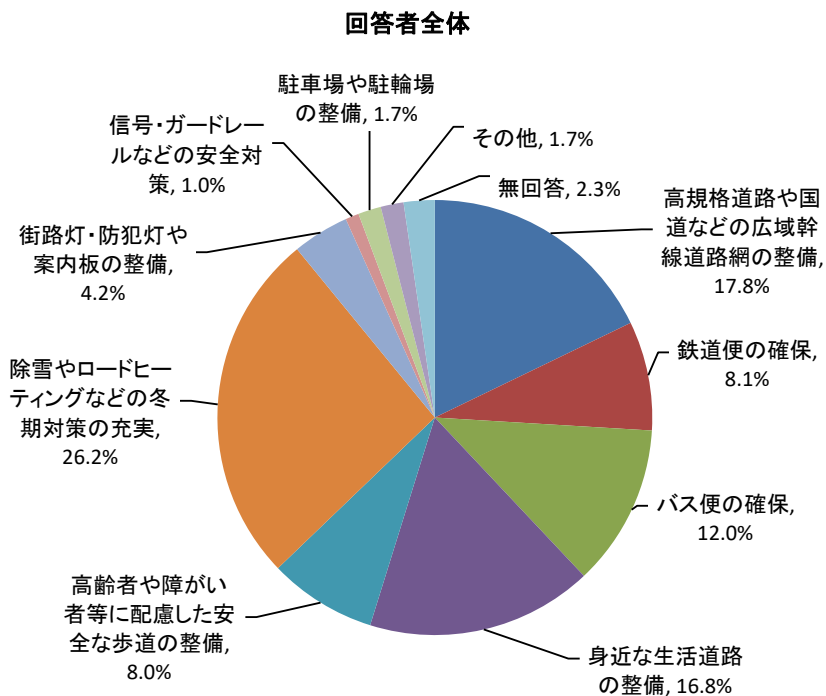
今後重点的に取り組むべきと考える交通施策については、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、次いで、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」、「バス便の確保」、「鉄道便の確保」の順で、昨年度までと同様の結果となっている。

特に、「鉄道便の確保」と回答した市民の割合は、昨年、一昨年と 8%以上であったが、今回は、5%台と減少していた。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

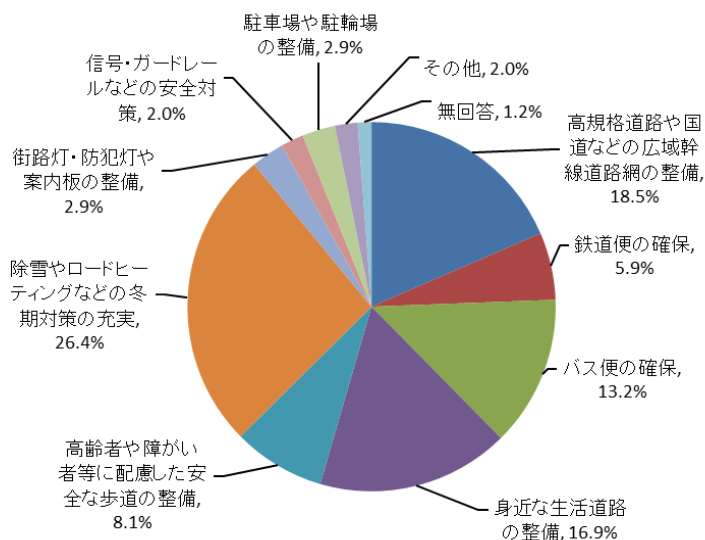


②地区別

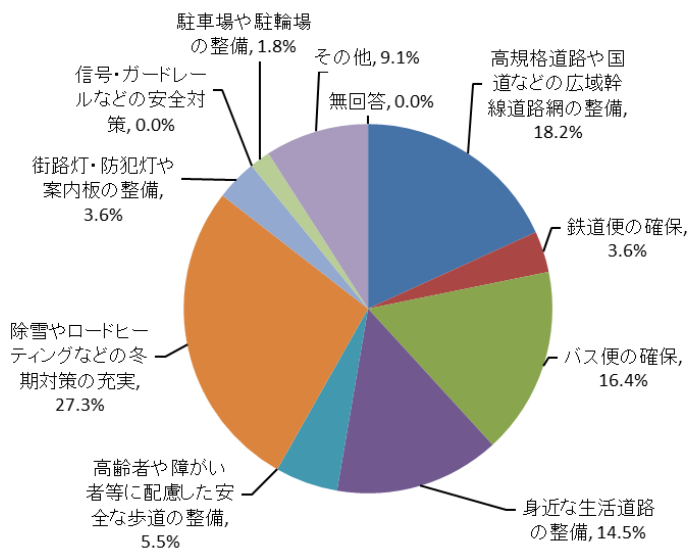
3地区とも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、これに次いで、市街地では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」となっている。

また、3地区とも「鉄道便の確保」の割合が減少し、「バス便の確保」は増加した。特に、西部地区ではこの傾向が強い。(参考：昨年度調査の「鉄道の確保」は市街地 7.7%、西部地区 12.7%、東部地区 5.6%、「バス便の確保」は市街地 12.2%、西部地区 11.3%、東部地区 9.3%)

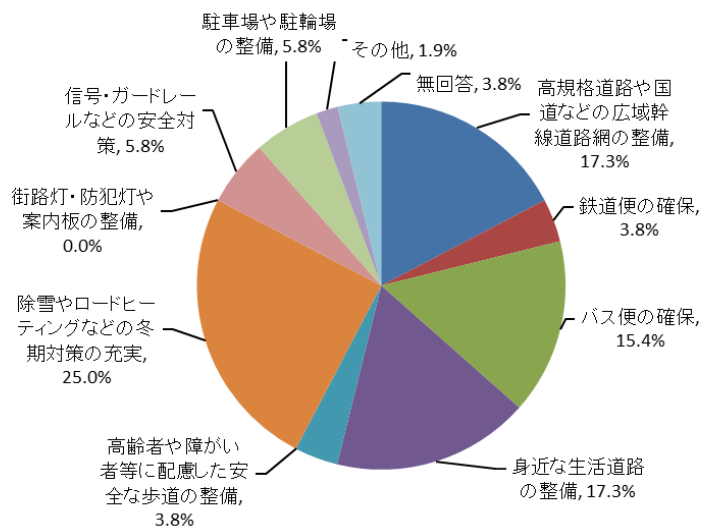
市街地



西部地区



東部地区



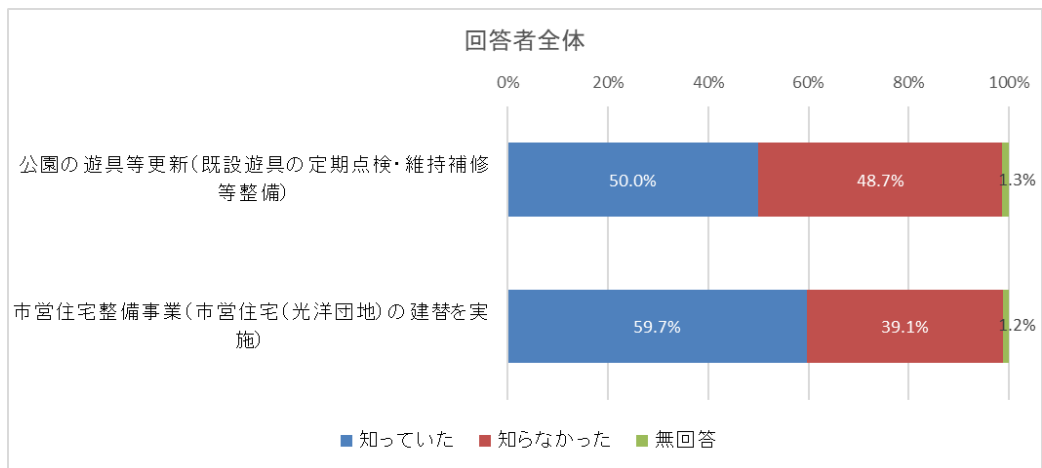
3. 10 生活環境について

(1) 施策に対する認知度

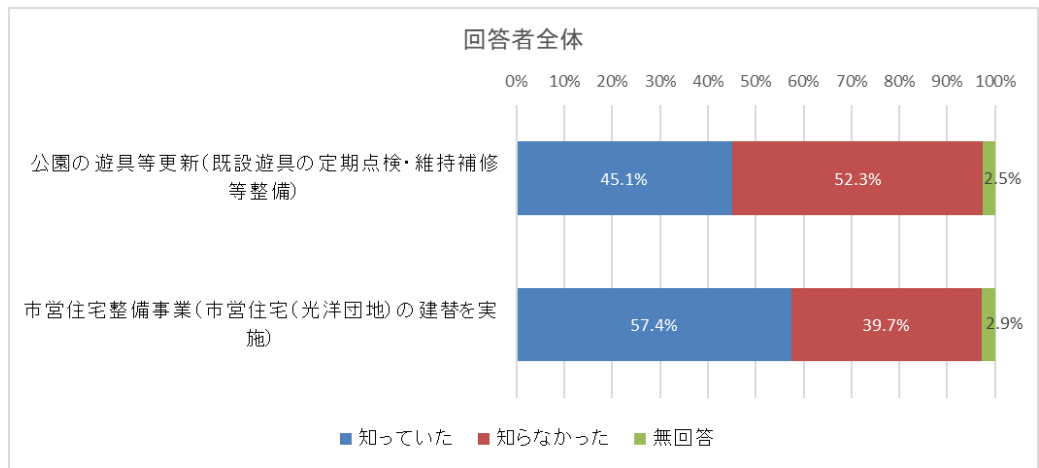
①市民全体

根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度をみると、「市営住宅整備事業（光洋団地）」で59.7%、「公園の遊具等更新」で50.0%となっており、いずれも過去最高の認知度であり、いずれも「知っていた」との回答割合が「知らなかった」を上回った。

<令和4年度調査>



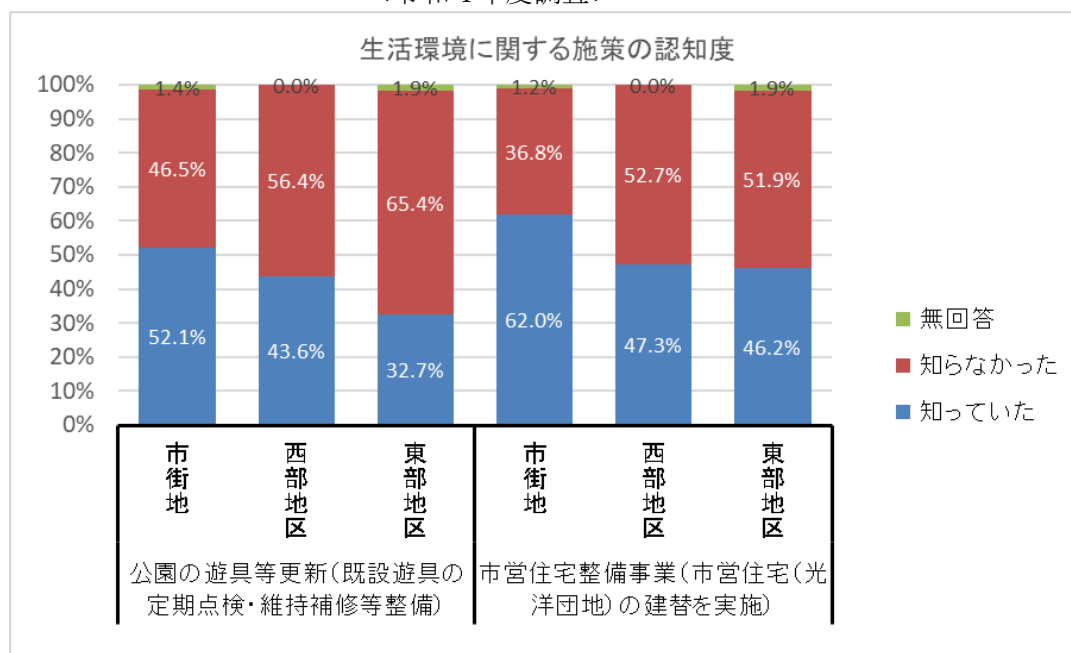
<令和3年度調査>



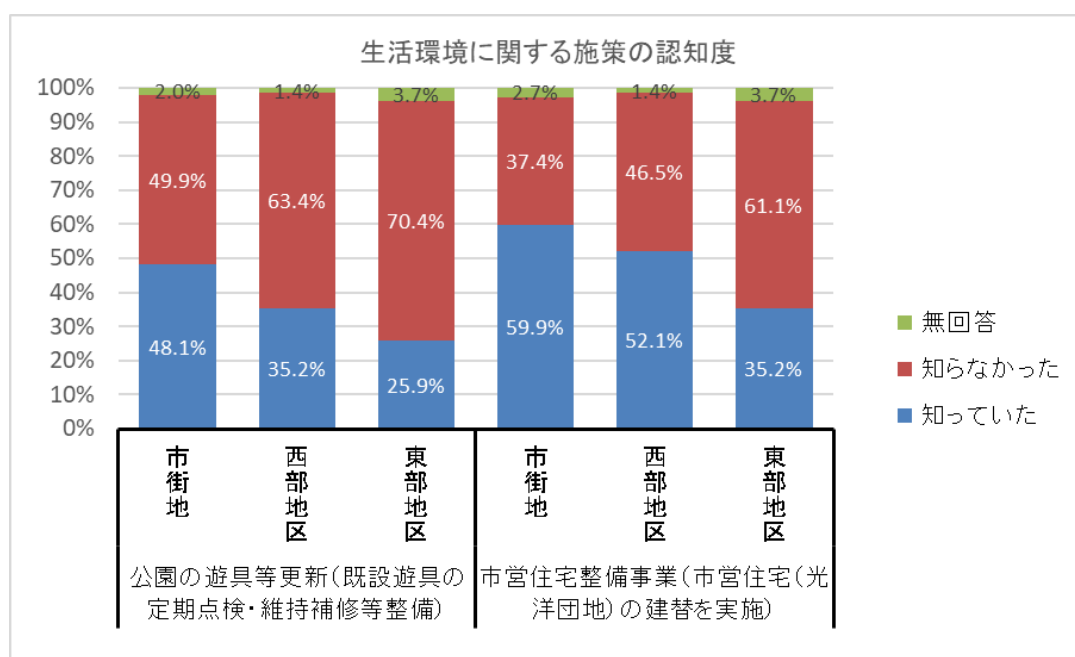
②地区別

生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、2事業とも市街地住民の認知度が最も高く、「知っていた」とする回答割合が「知らなかった」とする回答割合を上回っているが、西部地区や東部地区では昨年度よりは概ね認知度が高くなっているものの、「知らなかった」とする回答割合の方が「知っていた」よりも上回っている。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



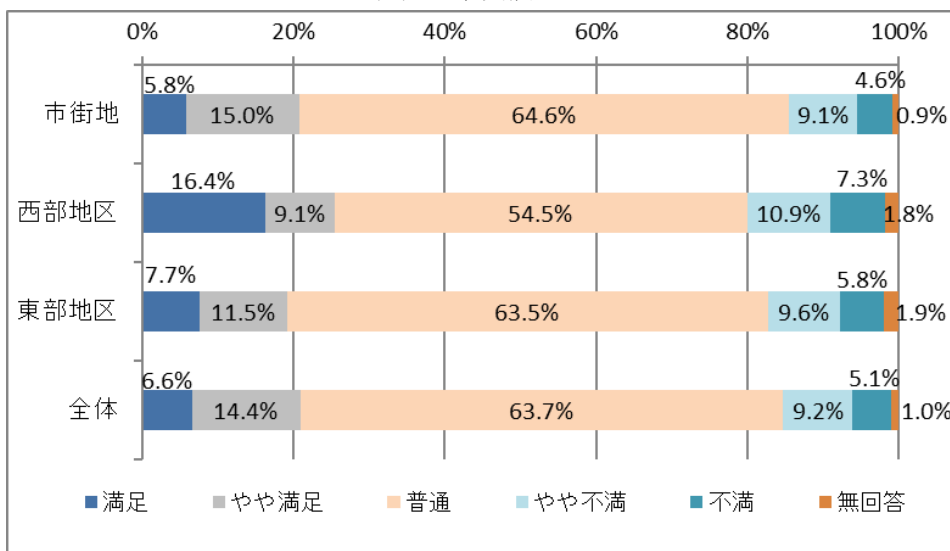
(2) 郊外の森林環境に対する満足度

郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 21.0% となっており、昨年度までの調査結果とほぼ同水準であった。

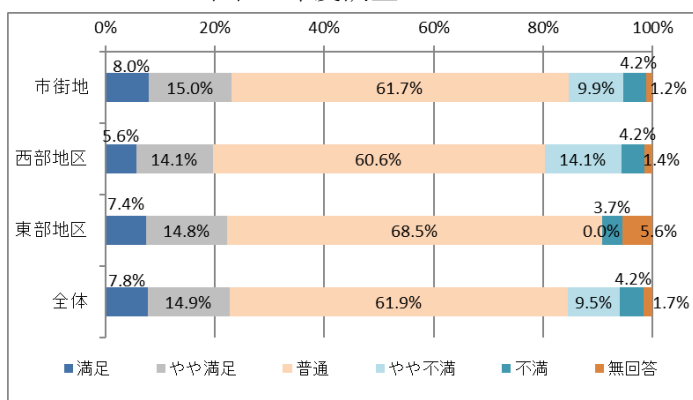
また、「普通」以上であるとする評価の割合も 84.7% とほぼ昨年度調査と同水準であった。

地域別でみると市街地住民でやや低下しているものの、3 地区とも満足とする回答者の割合は、これまでの調査結果とほぼ同水準であった。

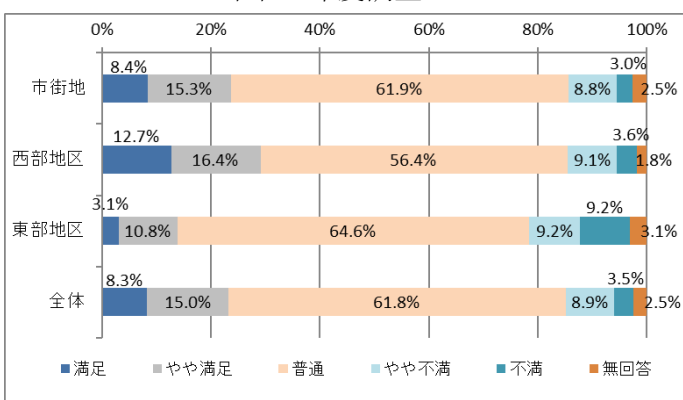
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>

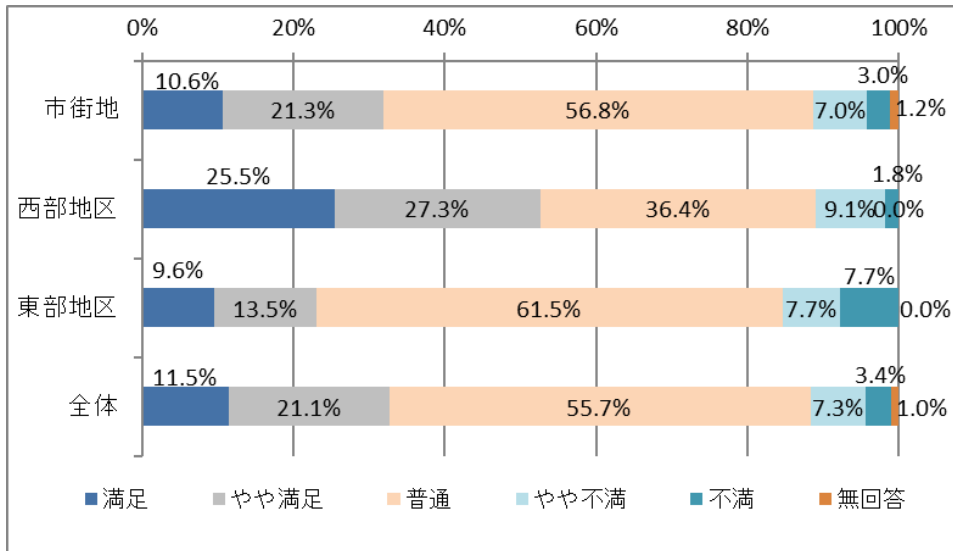


(3) 住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

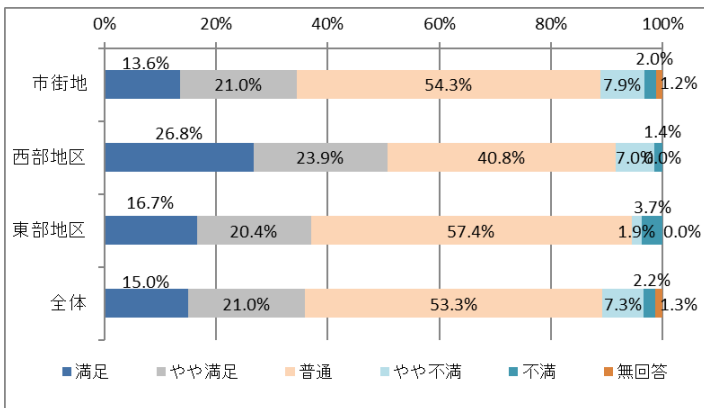
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は32.6%となっており、昨年度調査の結果よりも低下したが、令和2年度の調査結果よりも上回っているなど、年による変動があるものの大きな変化はないものと考えられる。

郊外の森林環境に対する評価と同様に、「普通」以上の評価の割合でみると、これまでの調査の結果と同様に高い水準となっている。

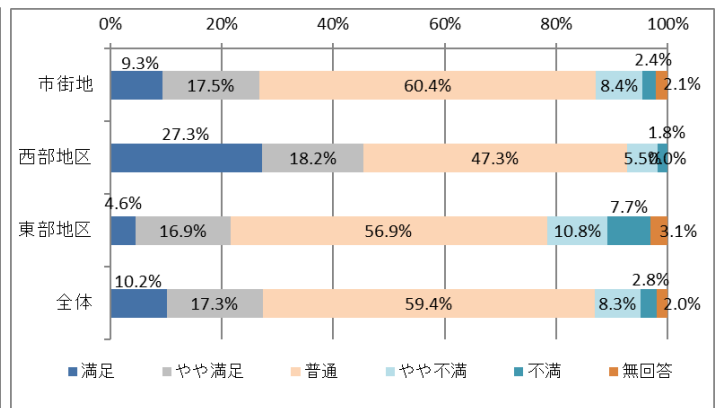
＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



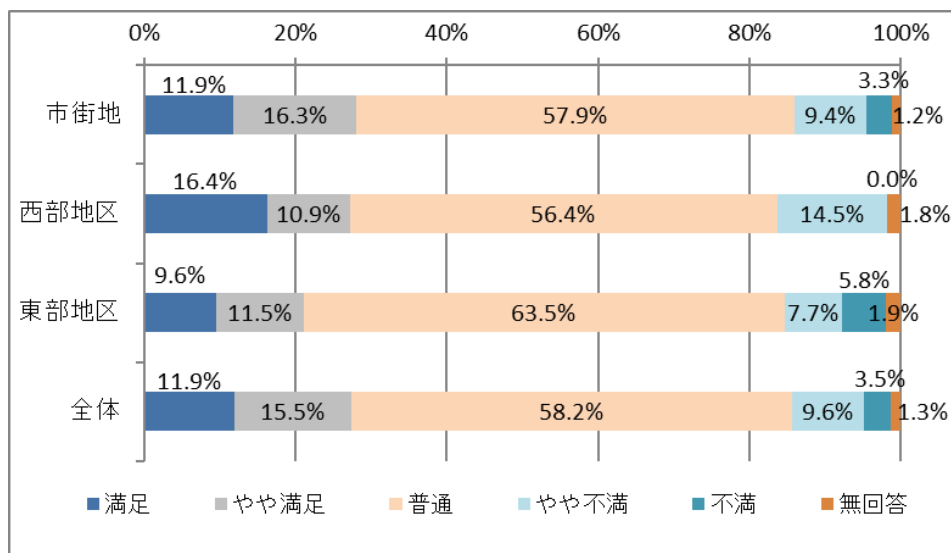
(4) 上水道の整備状況に対する満足度

市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で27.4%となっており、昨年度の調査結果よりやや低下した。

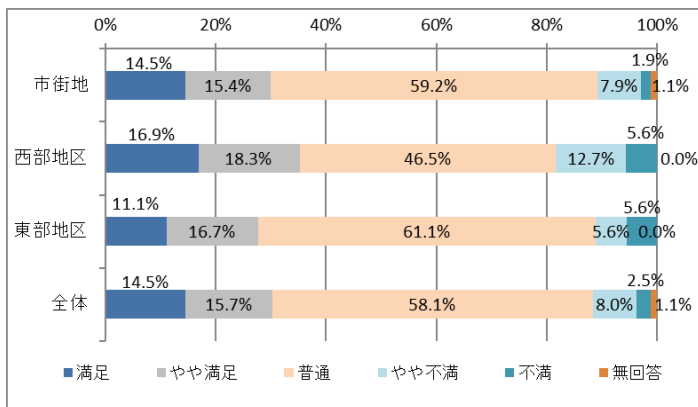
しかし、一昨年度の結果よりは上回っているなど、概ね、変動の範囲内の結果となっている。

地区別でも、すべての地区で昨年度よりも低下したものの、一昨年度の結果よりは上回っている。

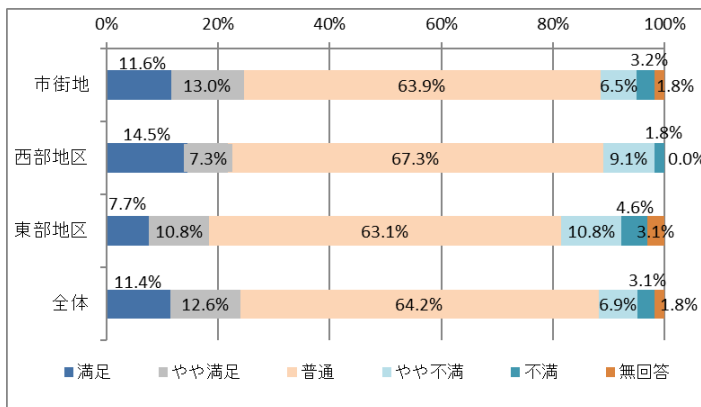
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



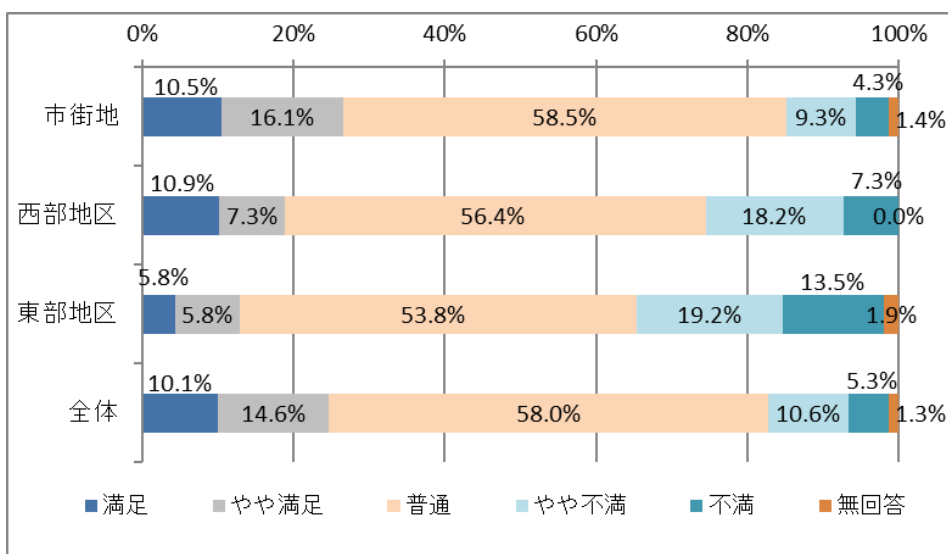
(5) 下水道の整備状況に対する満足度

市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で24.7%となっており、昨年度の調査結果よりやや低下したものの、一昨年度よりも高い水準にある。

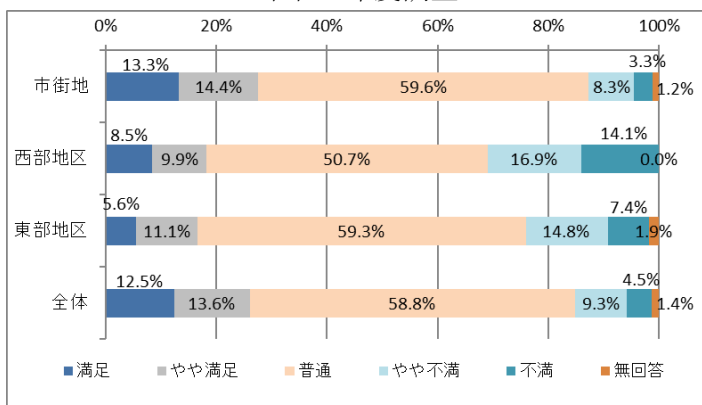
地区別で見ると、昨年度との比較では、3地区とも満足度は微減してはいるものの、一昨年度からは明らかに向上している。

また、「不満」と「やや不満」を合わせた割合をみると、例年と同様に、西部地区と東部地区でやや不満意識が高い状況がみられている。

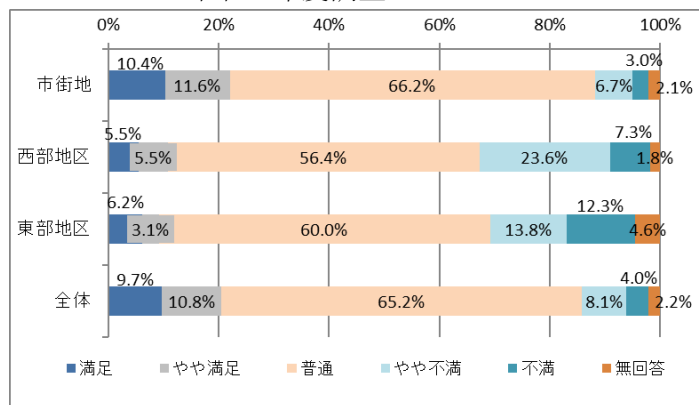
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



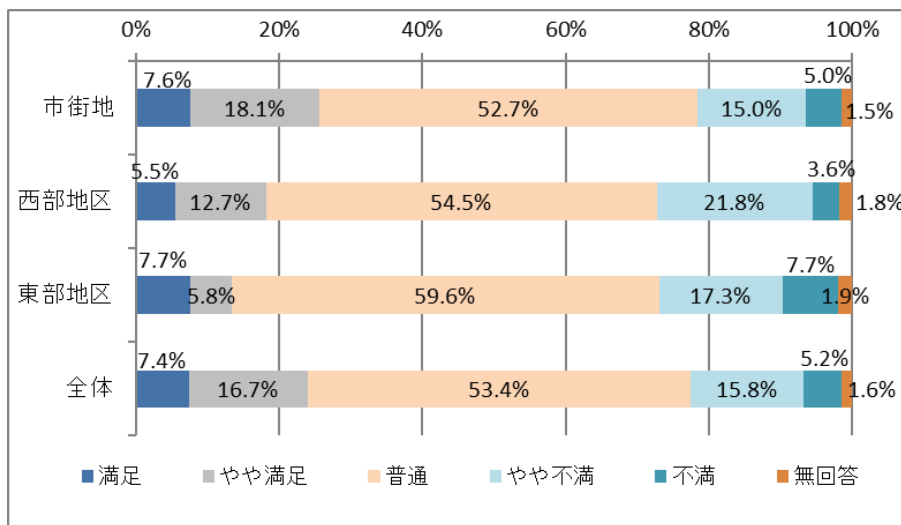
(6) 公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で24.1%となっており、近年の満足度は年々向上している。特に、市街地住民の満足とする評価は昨年度調査時よりもさらに高まっている状況が把握される。

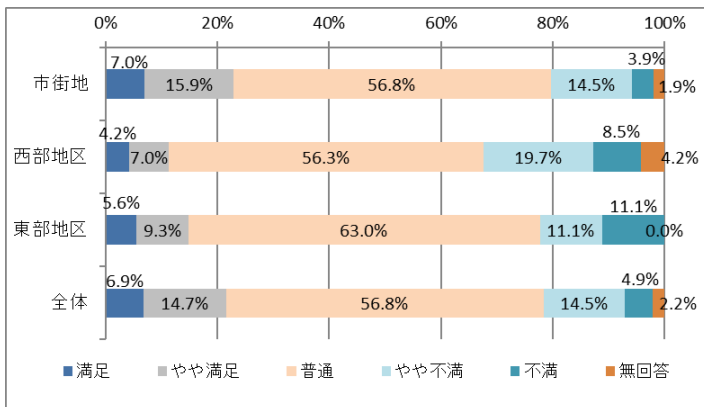
令和3年12月には、市民からの要望が高かった子ども向け遊戯施設である「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）がオープンしており、市民の満足度向上に寄与したものと考えられる。

一方、これまでの調査結果との比較を「普通」以上とする評価でみると、他の生活環境に対する評価と同様、3地区とも大きな変化はみられていない。

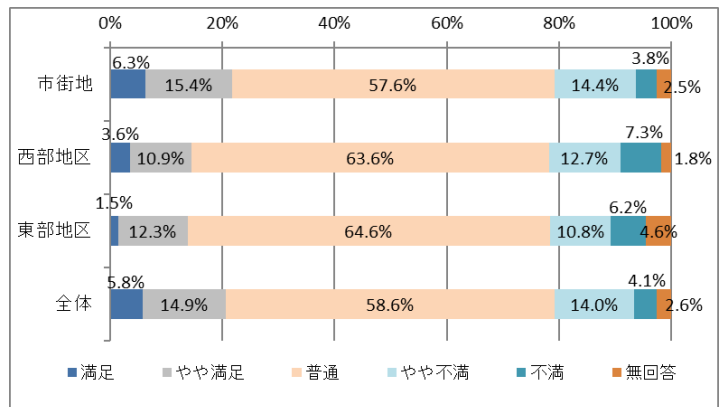
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



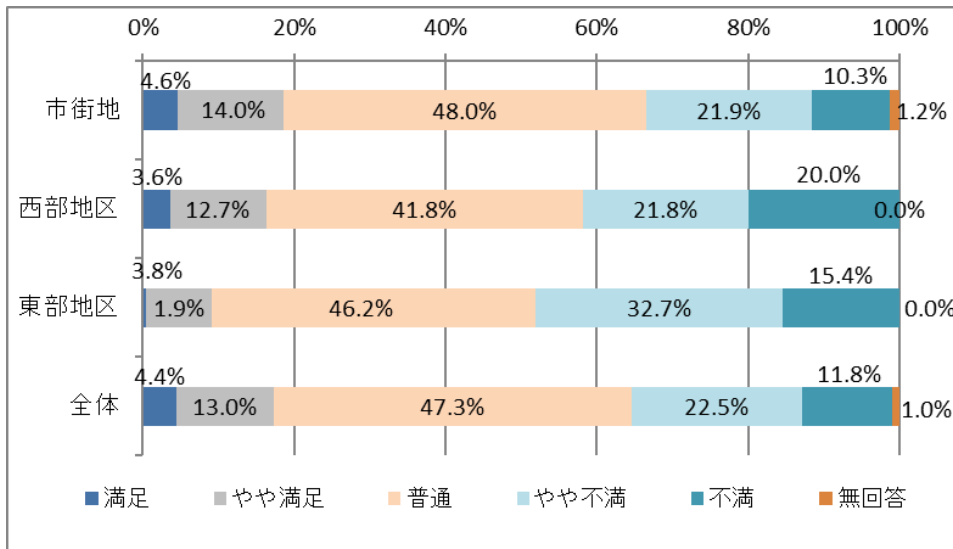
(7) 買い物の利便性に対する満足度

市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で17.4%となっており、昨年度の調査結果よりもやや向上した。

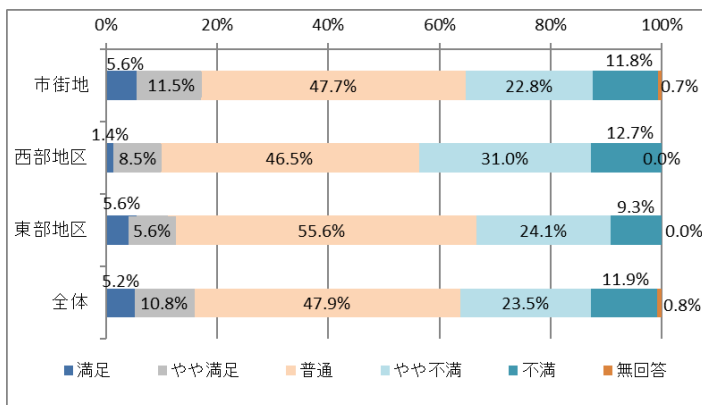
また、「普通」とする評価を加えた「普通」以上の評価の割合も64.6%と昨年度結果よりも向上している。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合は34.3%となっており、「満足」と「やや満足」を合わせた割合を大きく上回っている。この結果は3地区とも同様となっている。

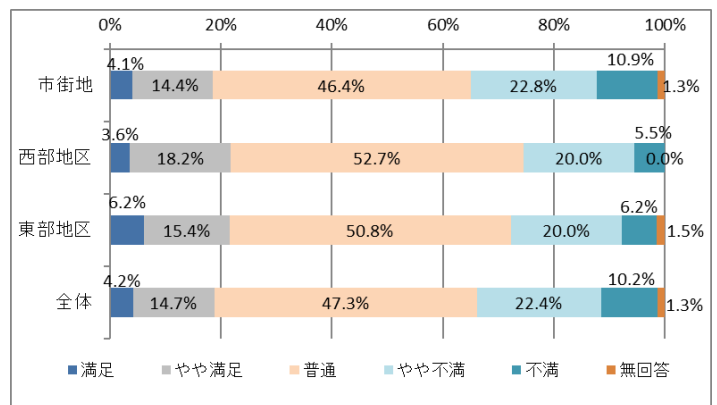
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



(9) 生活環境に関する施策について

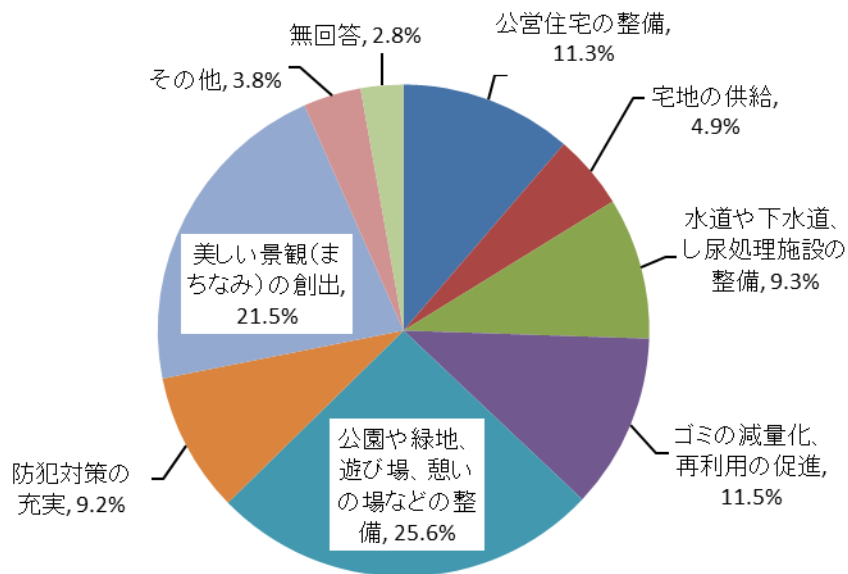
①市民全体

生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多く、次いで、「美しい景観（まちなみ）の創出」、「ゴミの減量化、再利用の促進」、「公営住宅の整備」の順となっている。

この結果は、昨年度と同様の結果となっている。

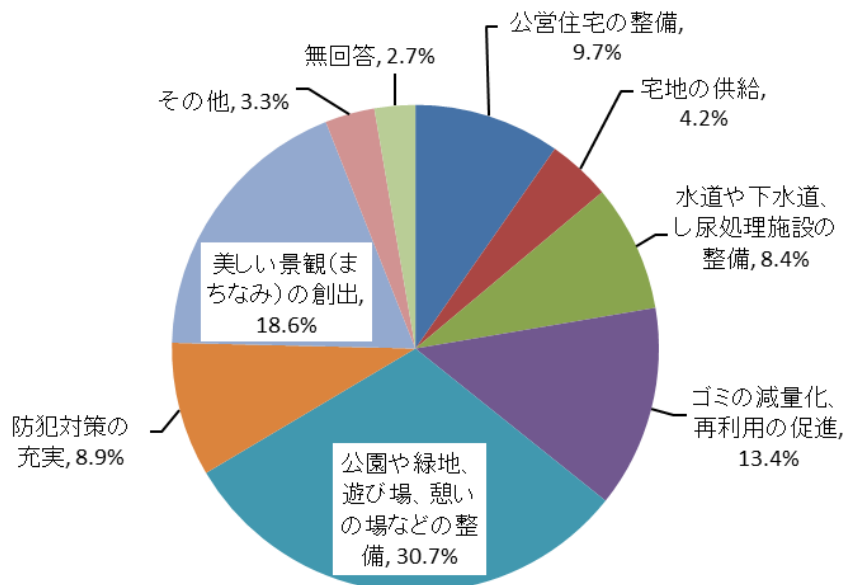
<令和4年度調査>

回答者全体



<令和3年度調査>

回答者全体

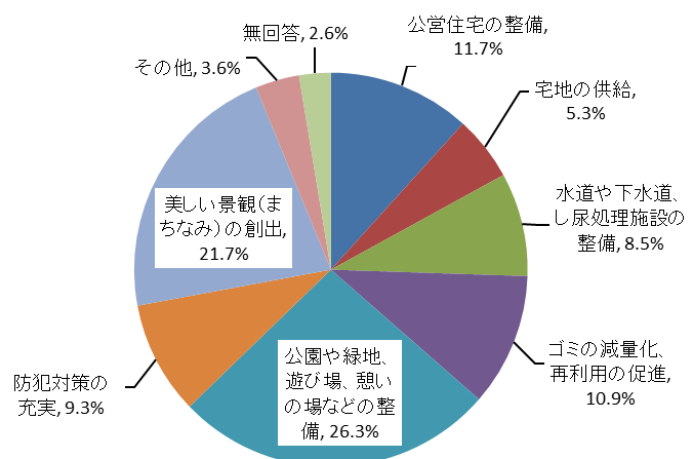


(2) 地区別

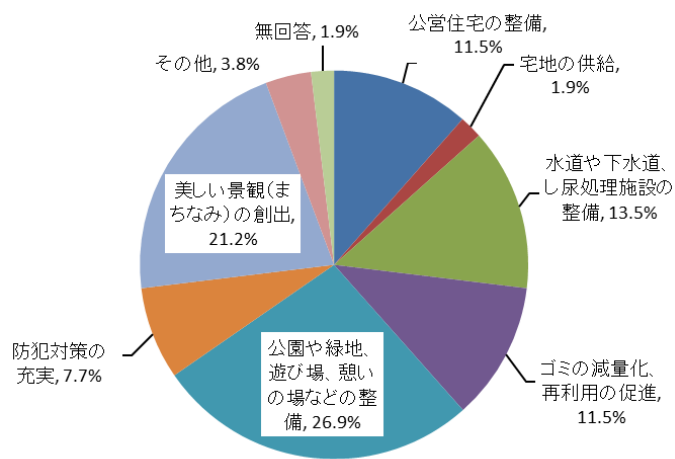
昨年度までの調査結果と同様に、3地区とも「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「美しい景観（まちなみ）の創出」、「ゴミの減量化、再利用の促進」の各項目に対する回答割合は、上位に位置している。

昨年度の結果と比較すると、市街地と東部地区では、「公営住宅の整備」、西部地区では「水道や下水道、し尿処理施設の整備」と回答した住民の割合が増加しているものの、大きな変化はみられていない。

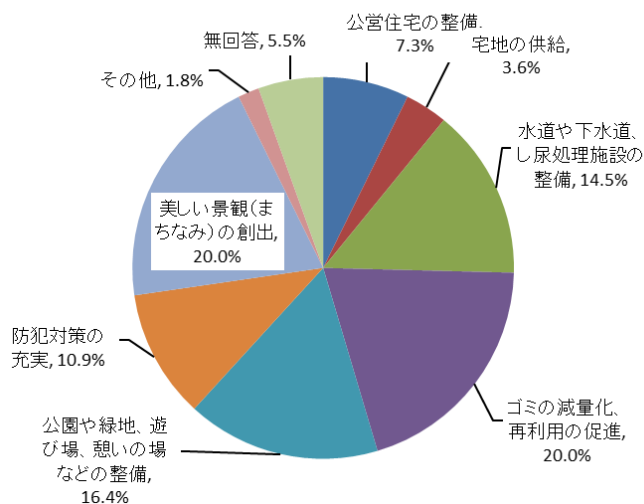
市街地



東部地区



西部地区



3. 1 1 防災・減災対策について

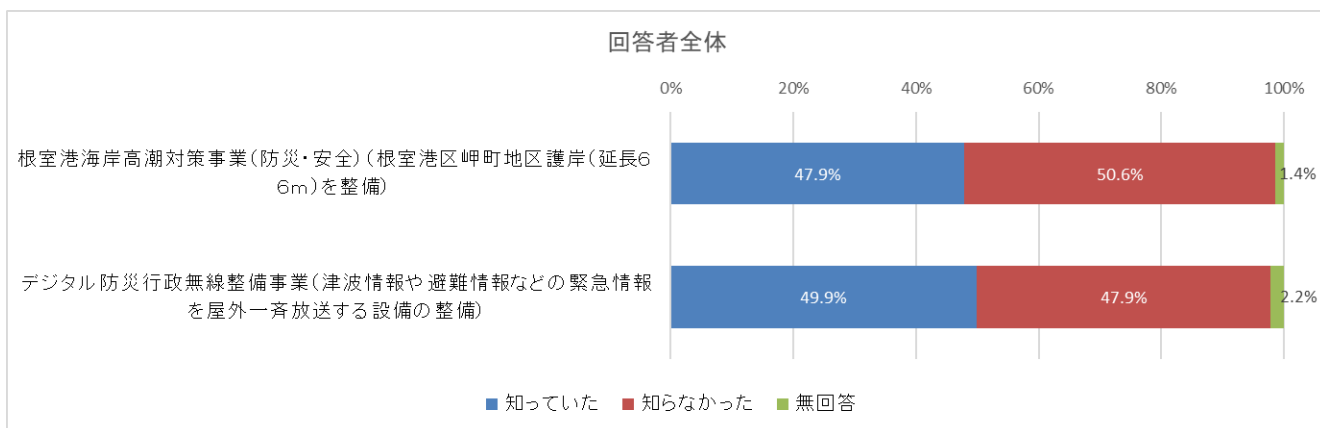
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

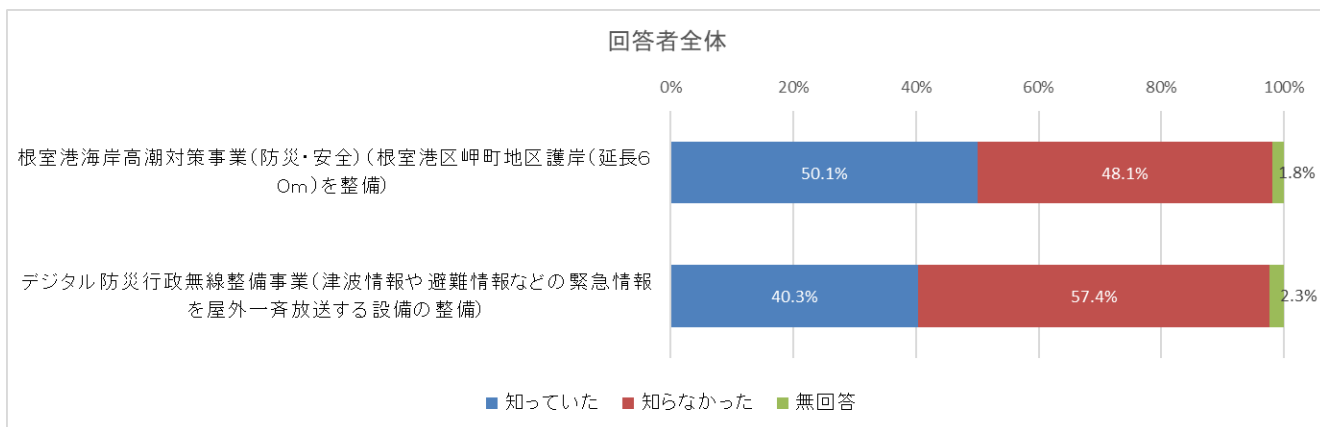
根室市で実施している防災・減災に関する主要施策のうち、「根室港海岸高潮対策事業」、「デジタル防災行政無線整備事業」の2事業についての認知度を調査した。

この結果、2事業とも、50%前後の市民が知っていたと回答した。特に、「デジタル防災行政無線整備事業」の認知度については、昨年度から大きく向上した。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

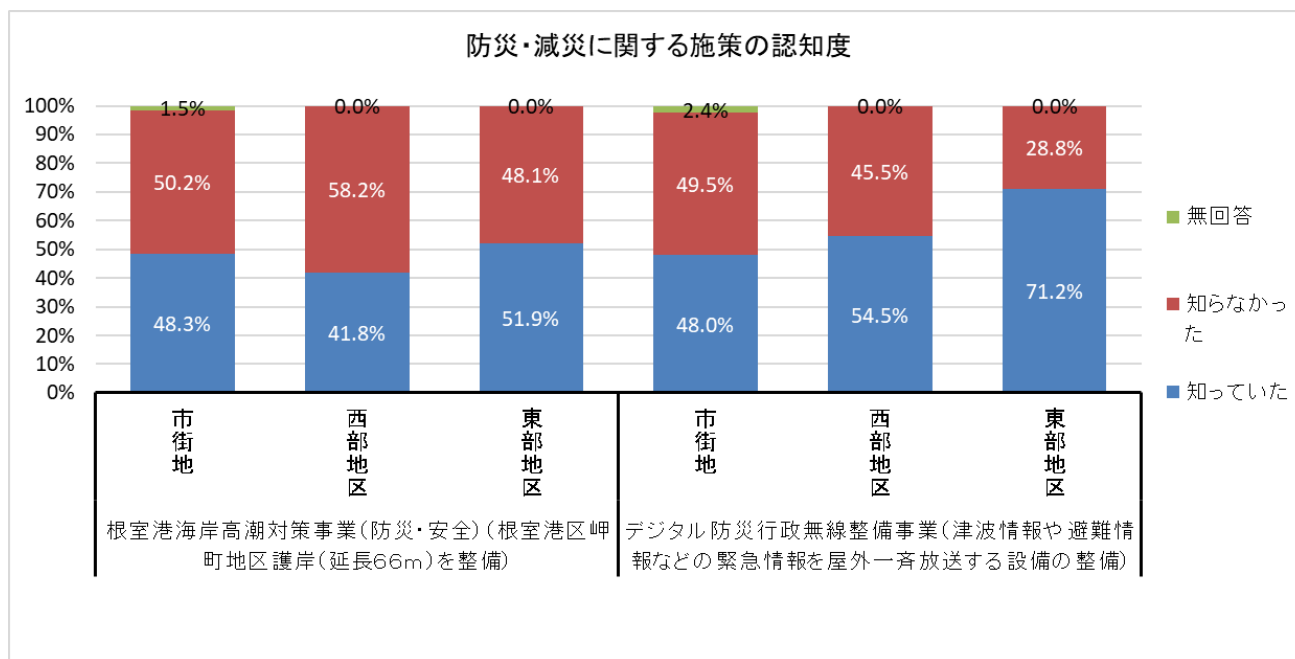


②地区別

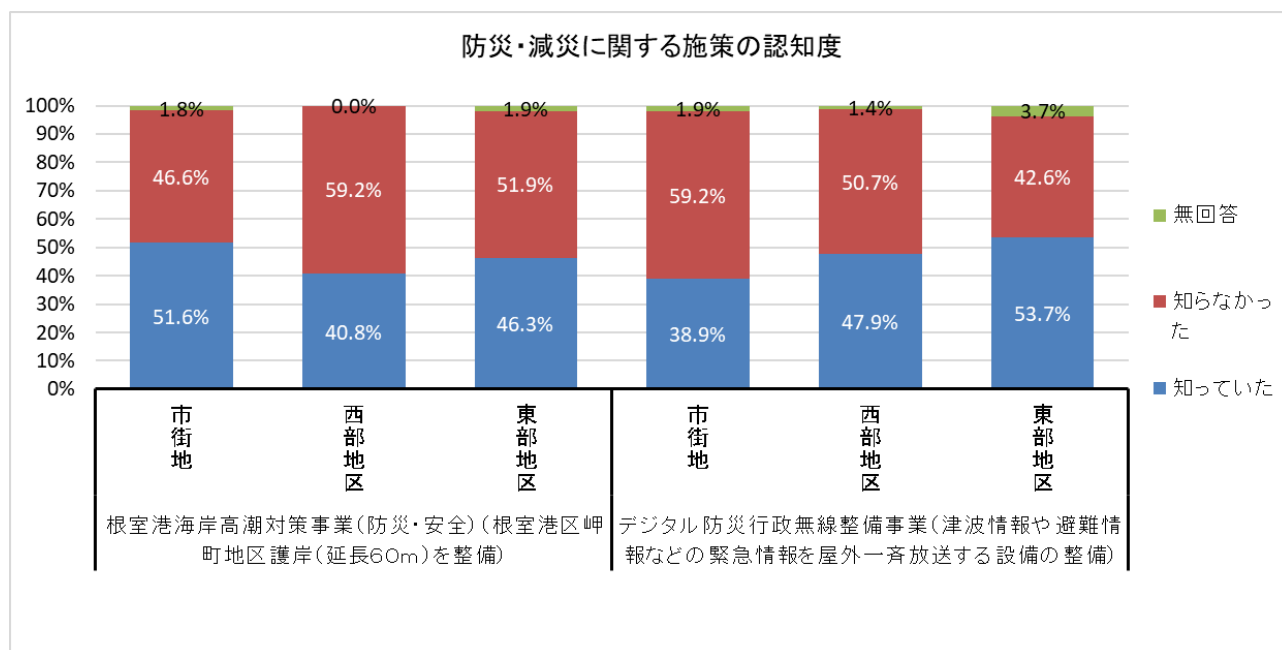
防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「根室港海岸高潮対策事業」及び「デジタル防災行政無線整備事業」とも、漁業者の多い東部地区の認知度が高かった。

市街地及び西部地区の住民の認知度に関しては、両事業とも概ね半数近くの認知度となっており、特に、「デジタル防災行政無線整備事業」に関しては、各地区とも認知度が大きく向上している。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

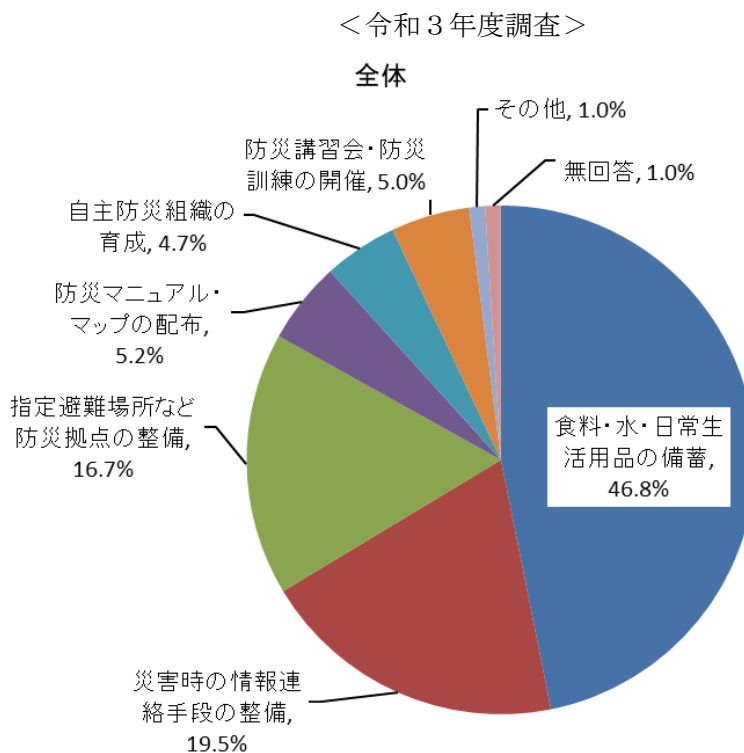
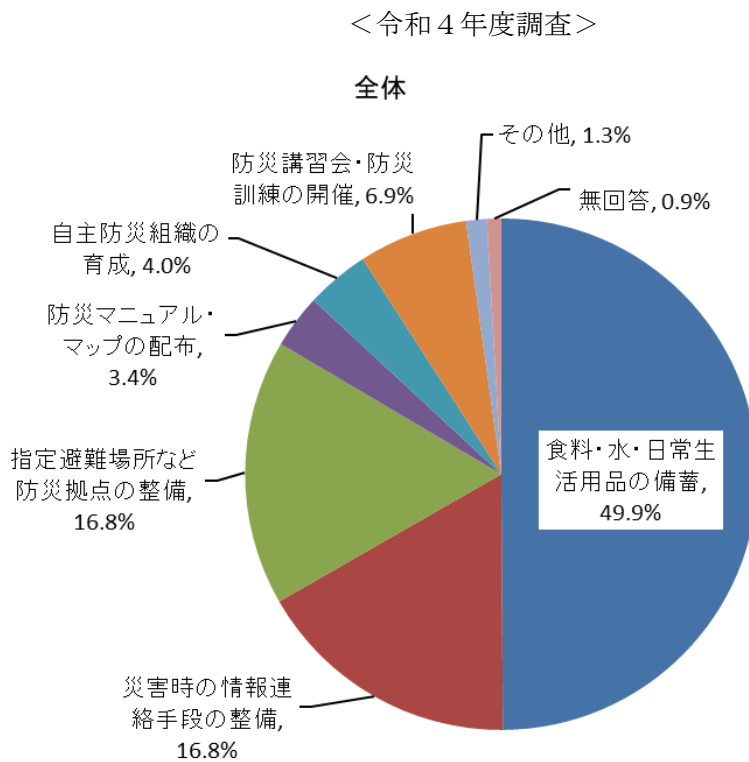


(2) 防災対策に関する施策について

①市民全体

防災・減災対策として重要であると考える項目を1つ回答してもらった結果をみると、最も回答割合が高かった項目は、「食料・水・日常生活用品の備蓄」であり、49.9%を占めた。次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」となっている。

この結果は、昨年度とほぼ同様の結果であるが、生活用品等の備蓄に対する意識が高まっている状況が把握される。

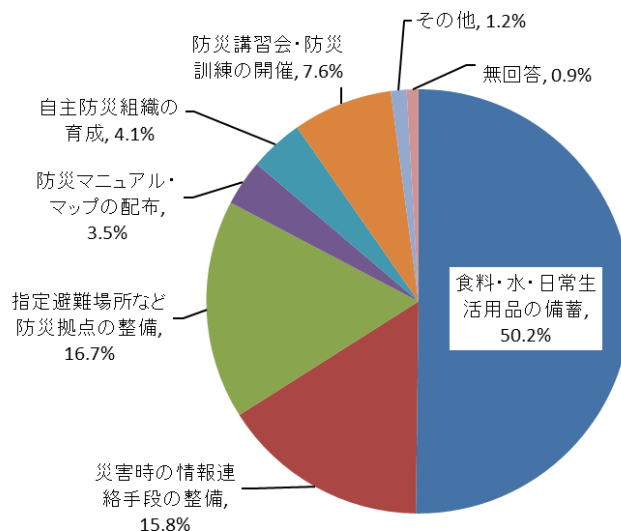


②地区別

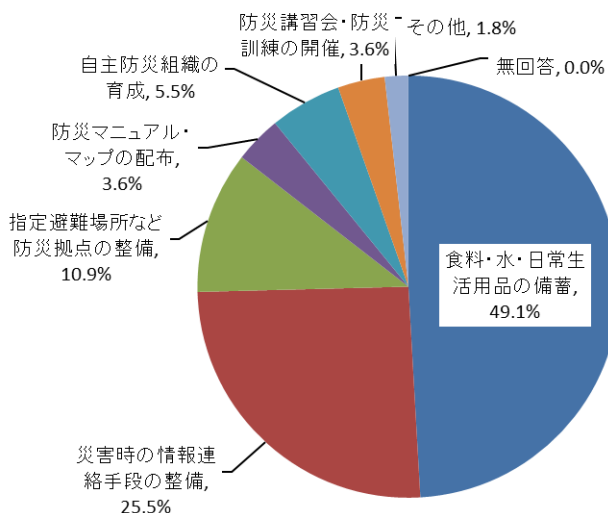
3地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」が最も多く、これに次いで市街地と東部地区では、「指定避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」の順、西部地区は「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順となっており、昨年度の調査結果と同様に、これら3項目が上位を占めていた。

また、歯舞、納沙布等の海外線と接する地域である東部地区では、「指定避難場所など防災拠点の整備」に対する回答割合は他地区に比して高く、地域住民の意識の高さがうかがえる。

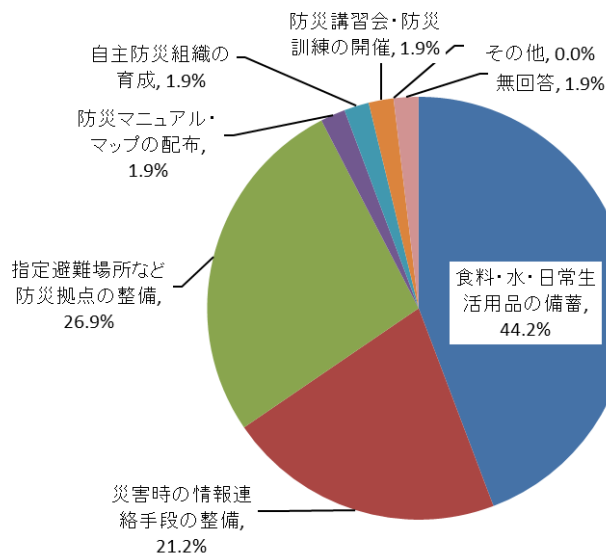
市街地



西部地区



東部地区



3. 1 2 学校教育・社会教育について

(1) 施策に対する認知度

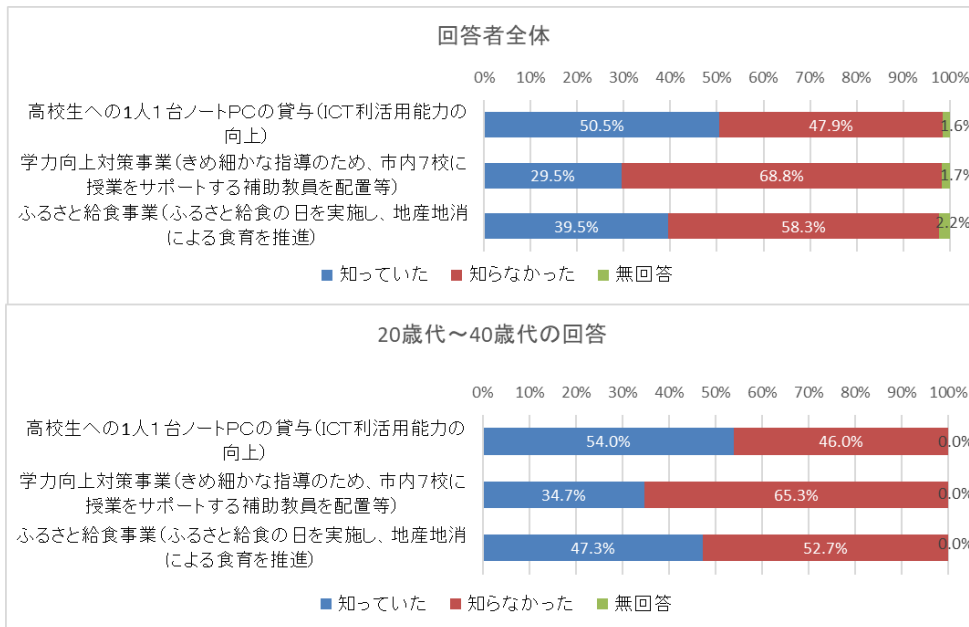
①市民全体

根室市で実施している学校教育に関する主要施策の認知度をみると、「高校生への1人1台ノートPC貸与」が50.5%と最も高く、「ふるさと給食事業」については39.5%であった。また、「学力向上対策事業」については、29.5%と最も認知度は低かった。

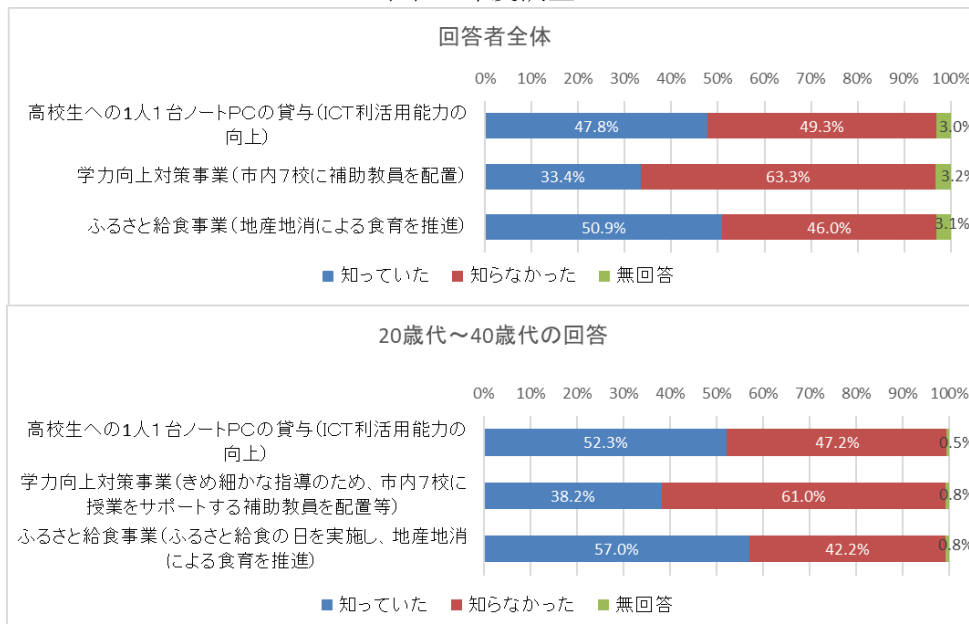
昨年度の結果と比較すると、「高校生への1人1台ノートPC貸与」については、認知度が向上したものの、他の施策は低下しており、特に、「ふるさと給食事業」は大きく低下した。

一方、子育て世代である20歳代～40歳代の回答者についてみると、3つの事業とも市民全体の認知度に比して高いものの、昨年度結果と比較すると「高校生への1人1台ノートPC貸与」以外は、認知度が低下した。

<令和4年度調査>



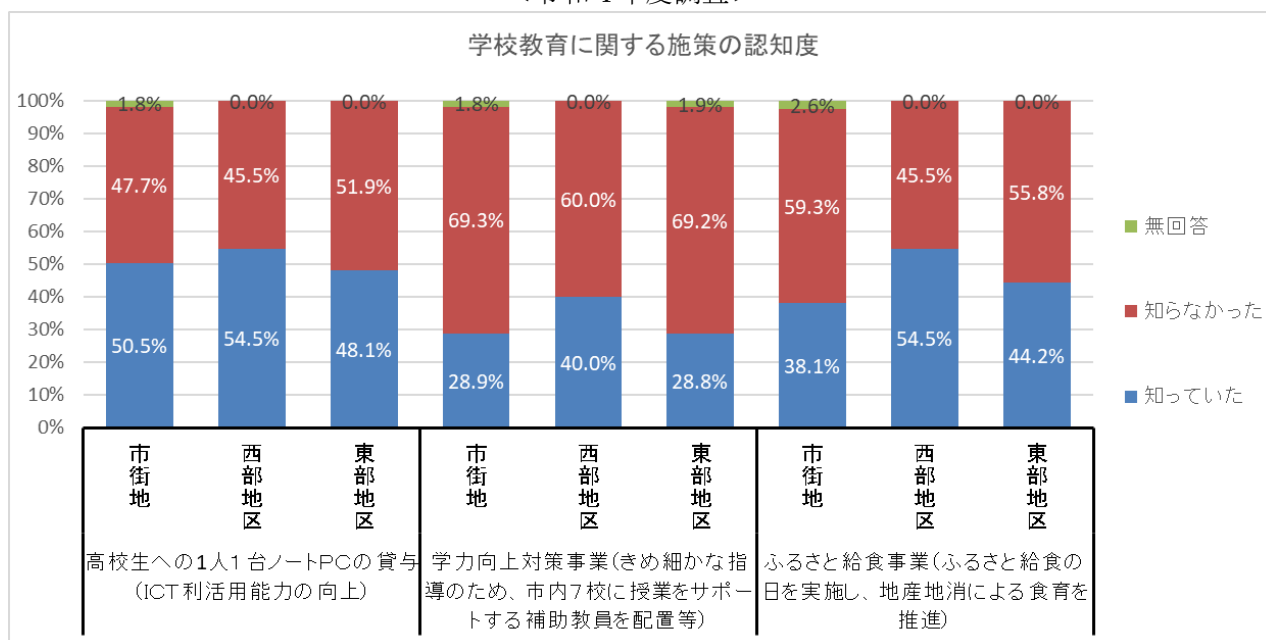
<令和3年度調査>



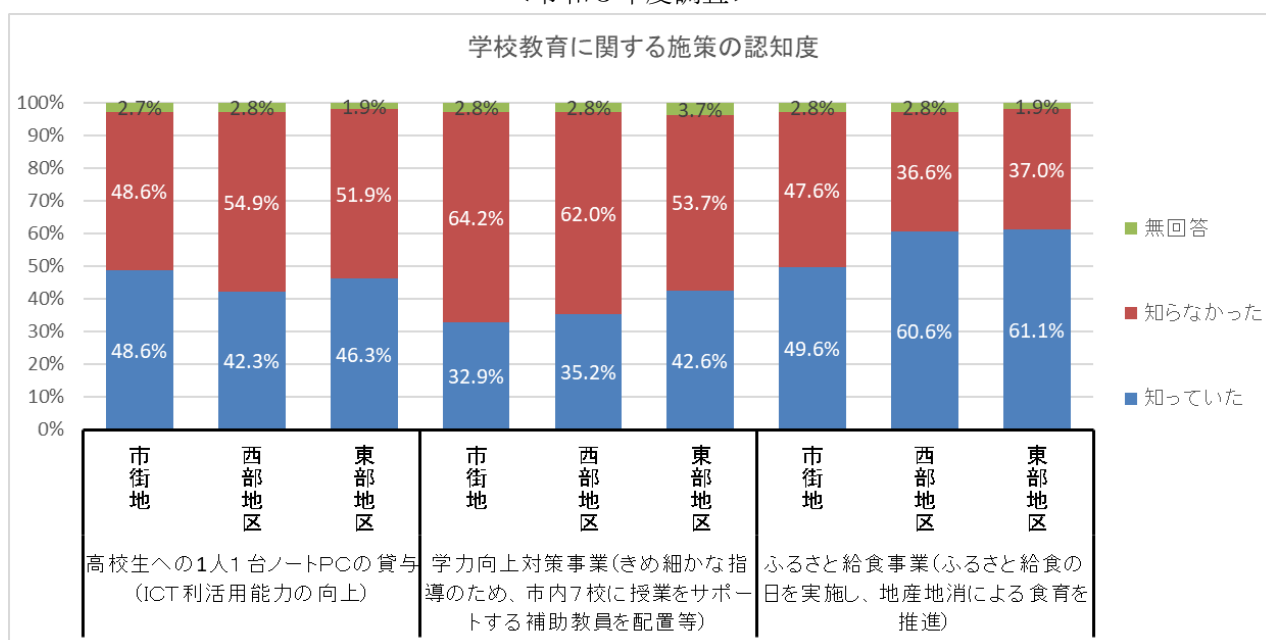
②地区別

学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、各地区とも「高校生への1人1台ノートPC貸与」が昨年度に比して認知度が向上し、3事業の中で最も高くなったが、「ふるさと給食事業」に関しては各地区とも昨年度よりも低下した。

＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞



(2) 教育施設や教育環境に対する満足度

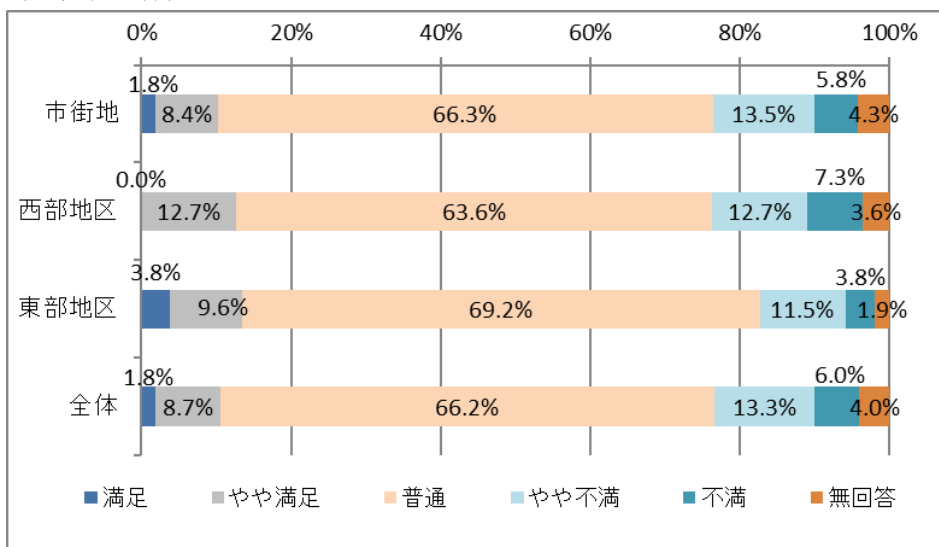
教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で10.5%となっており、昨年度の調査結果とほぼ同水準であった。

地区別に満足度の割合をみると全体的に昨年度調査よりも低下しているが、「やや不満」の割合が減少し、「普通」以上とする回答者の割合は増加している。

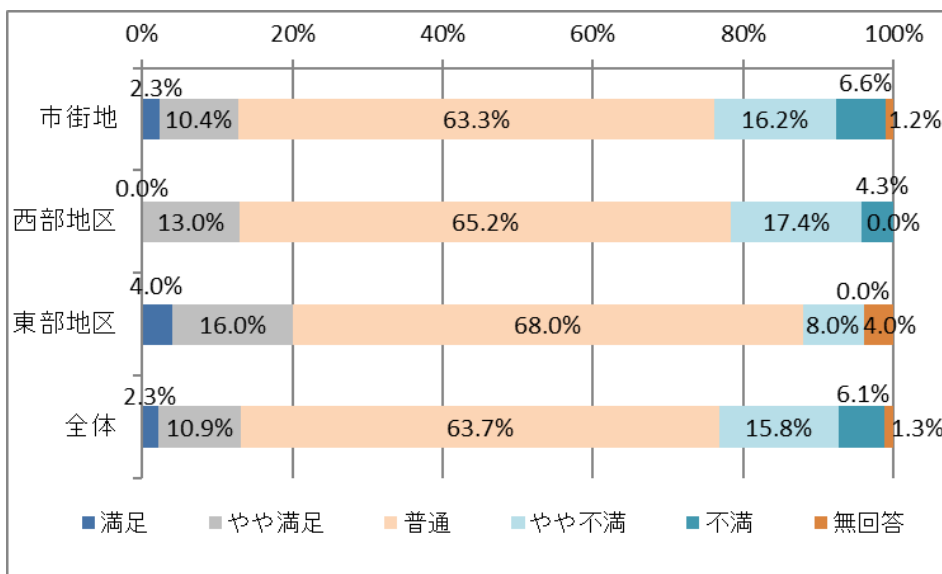
一方、子育て世代である20歳代～40歳代の回答者の評価でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体の評価と同様に、昨年度調査の結果とほぼ同水準であったが、「不満」及び「やや不満」とする回答割合は減少した。

<令和4年度調査>

(回答者全体)

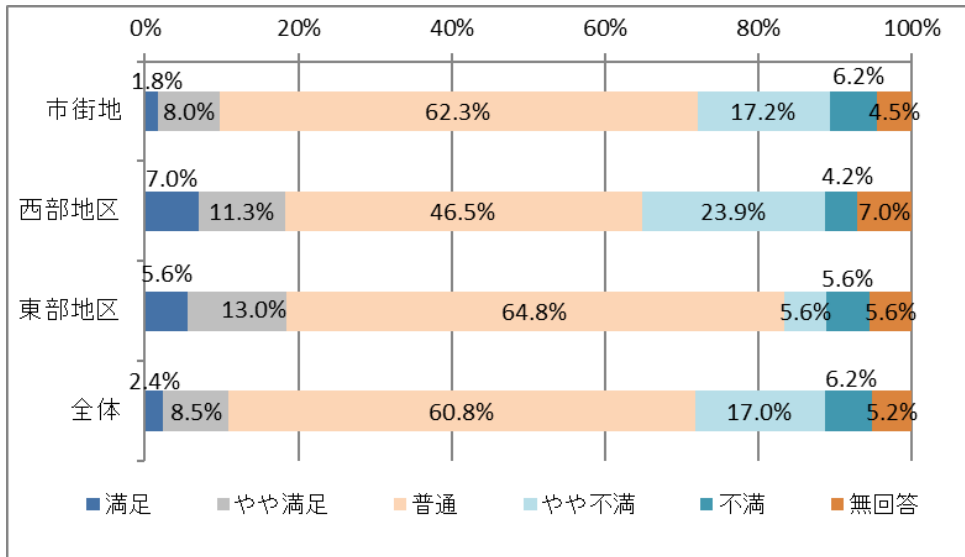


(20歳代～40歳代)

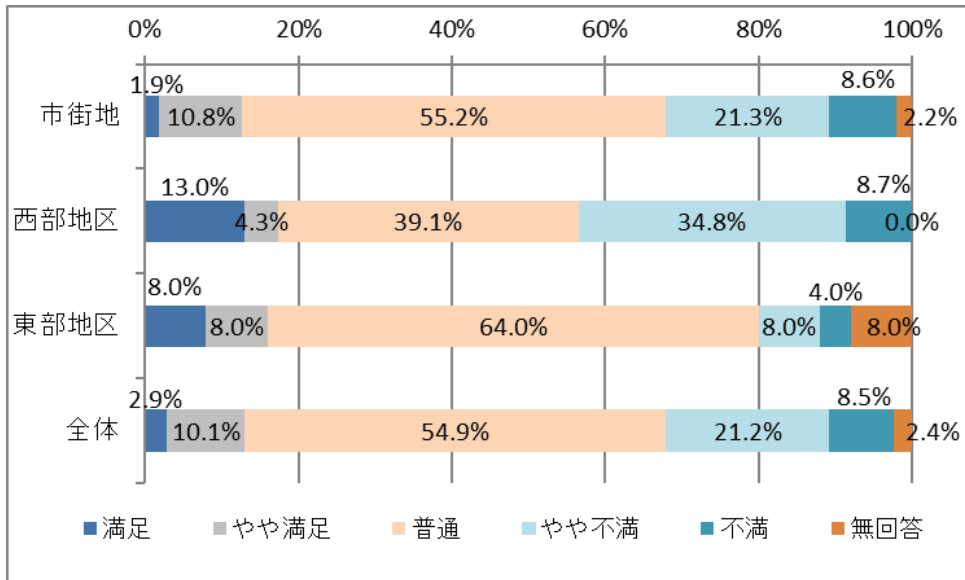


<令和3年度調査>

(回答者全体)



(20歳代~40歳代)



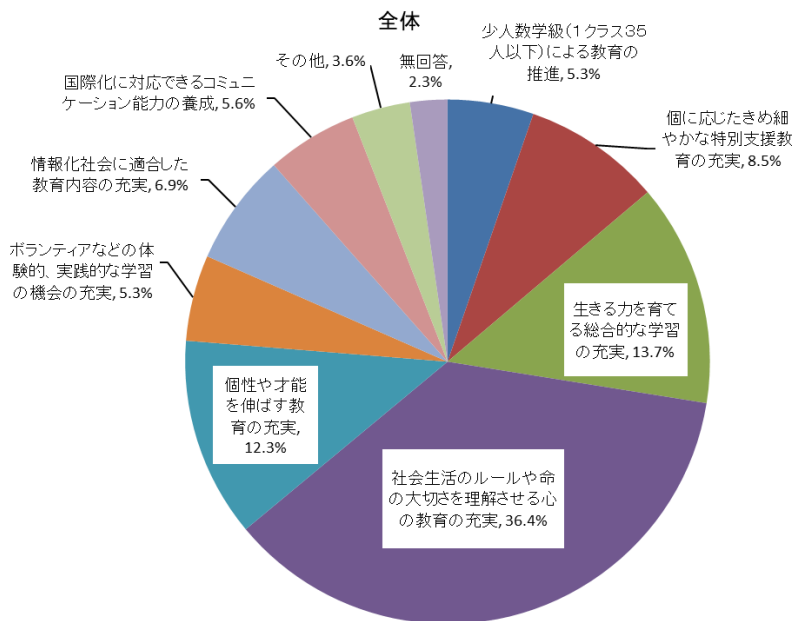
(3) 学校教育に関する施策について

①市民全体

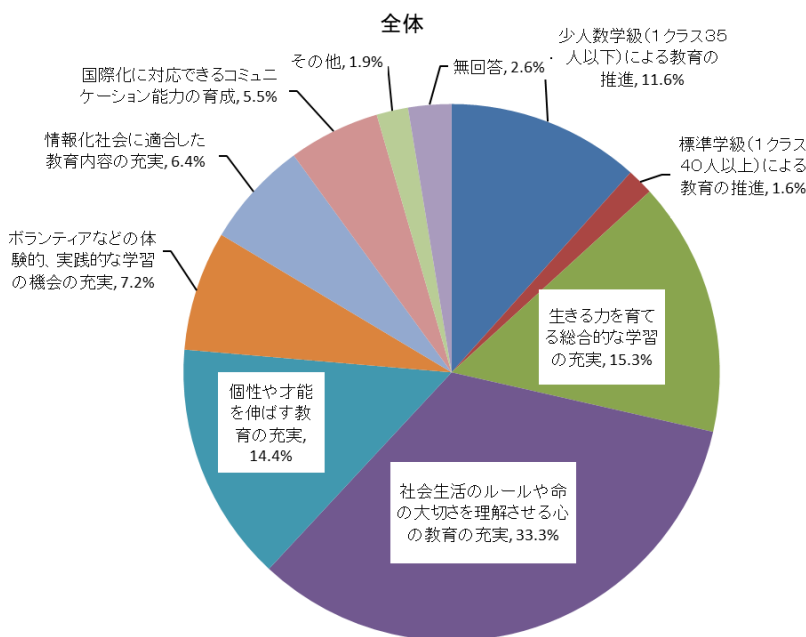
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実」の順となっている。

今回の調査では、昨年度調査で回答割合が低かった「標準学級（1クラス40人以上）による教育の推進」の選択肢を削除し、新たに「個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実」を追加した結果、この「個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実」が重要との意見が比較的多い状況が把握された。

<令和4年度調査>



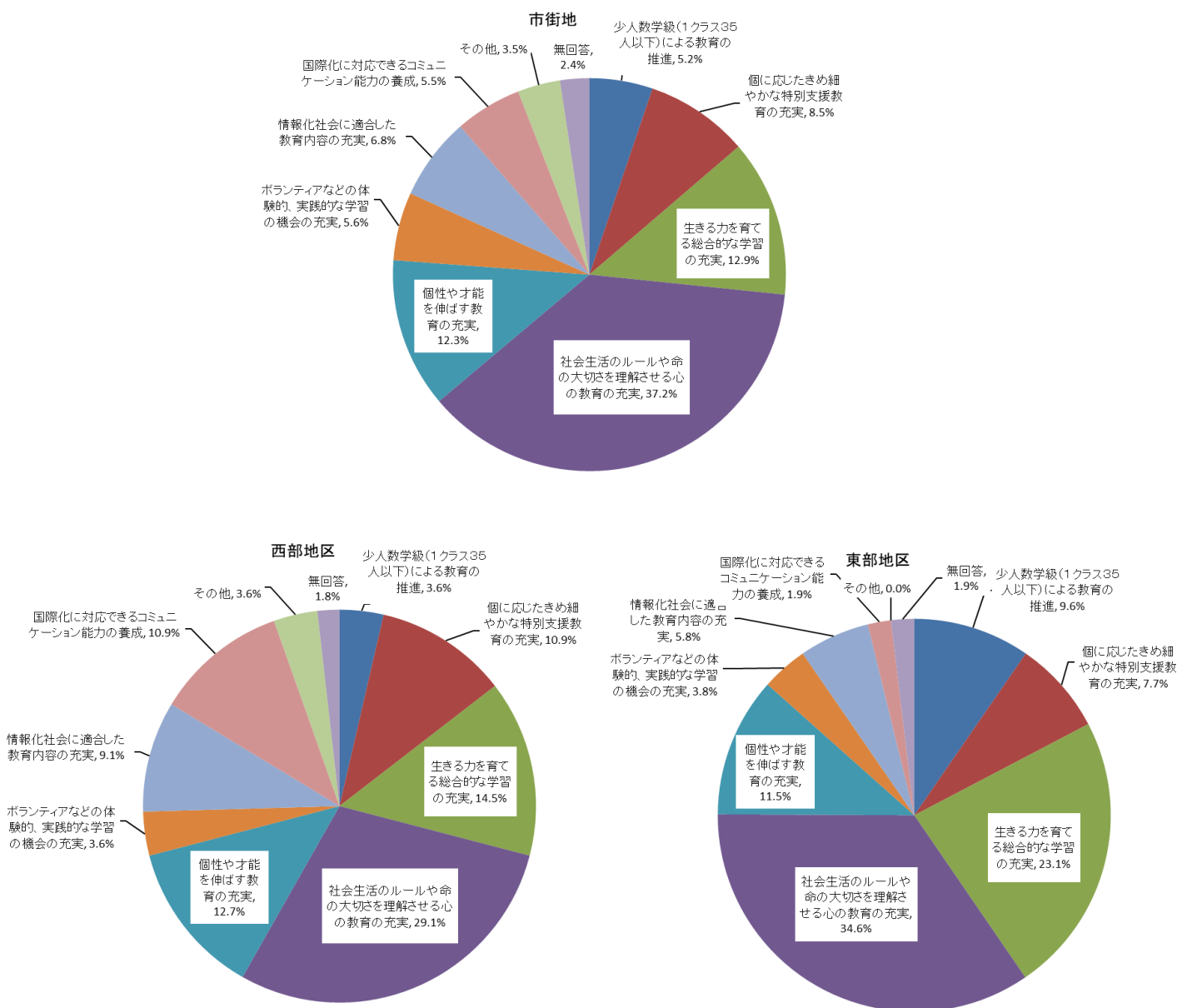
<令和3年度調査>



②地区別

3地区とも「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」の3項目が上位にあげられており、昨年度までの調査と同様の結果であった。

今回の調査で新たに追加した「個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実」については、市街地と西部地区では、上位3項目に次ぐ割合となっている。



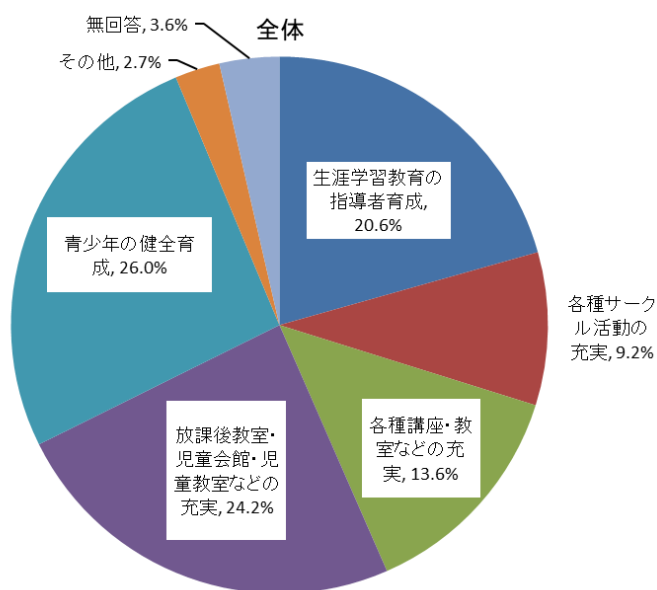
(5) 社会教育に関する施策について

①市民全体

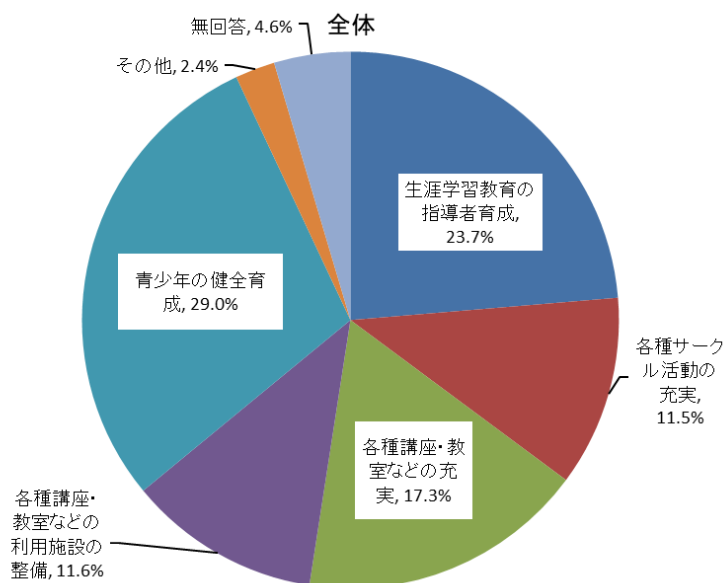
社会教育に関して重要であると考えられる項目 1 つを回答してもらった結果をみると、「青少年の健全育成」が最も多く、次いで、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」、「生涯学習教育の指導者育成」の順となっている。

今年度の調査では、各種講座・教室に関する設問を 1 つに統合し、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」の選択肢を追加したが、この「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」をあげる市民の割合が高い状況が把握された。

<令和4年度調査>

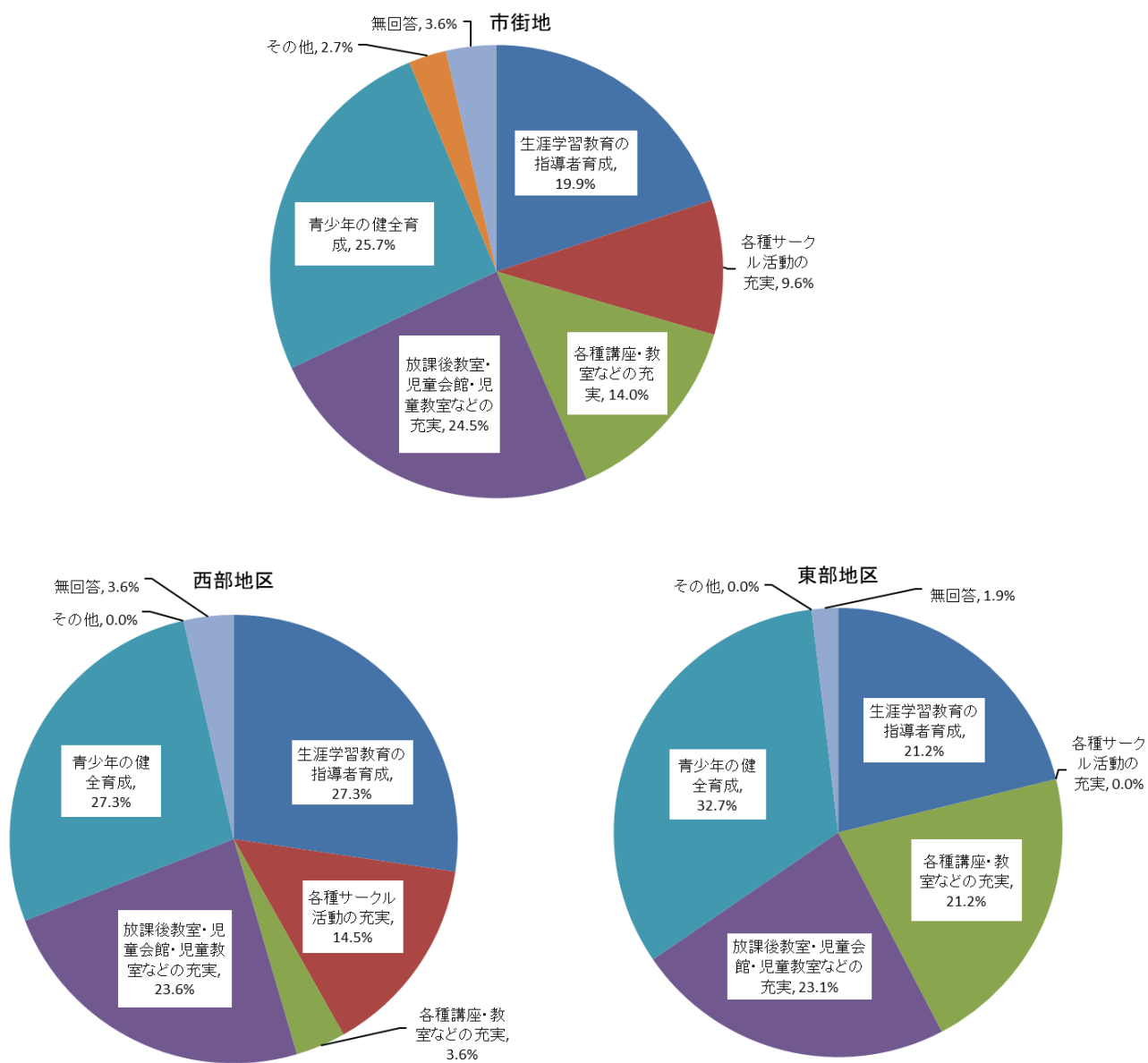


<令和3年度調査>



②地区別

3 地区とも市民全体と同様に「青少年の健全育成」、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」、「生涯学習教育の指導者育成」、の3項目が上位にあげられている。



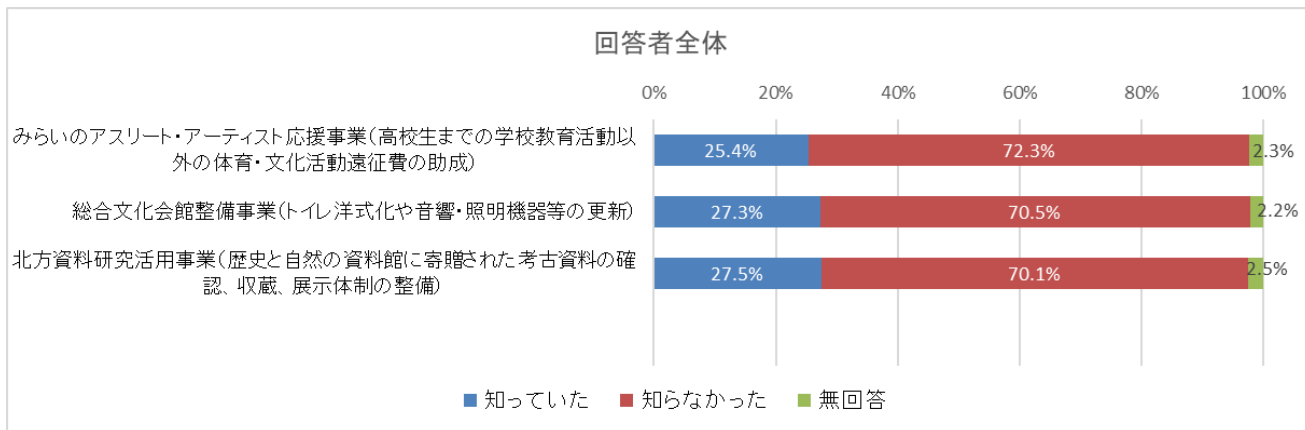
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 施策に対する認知度

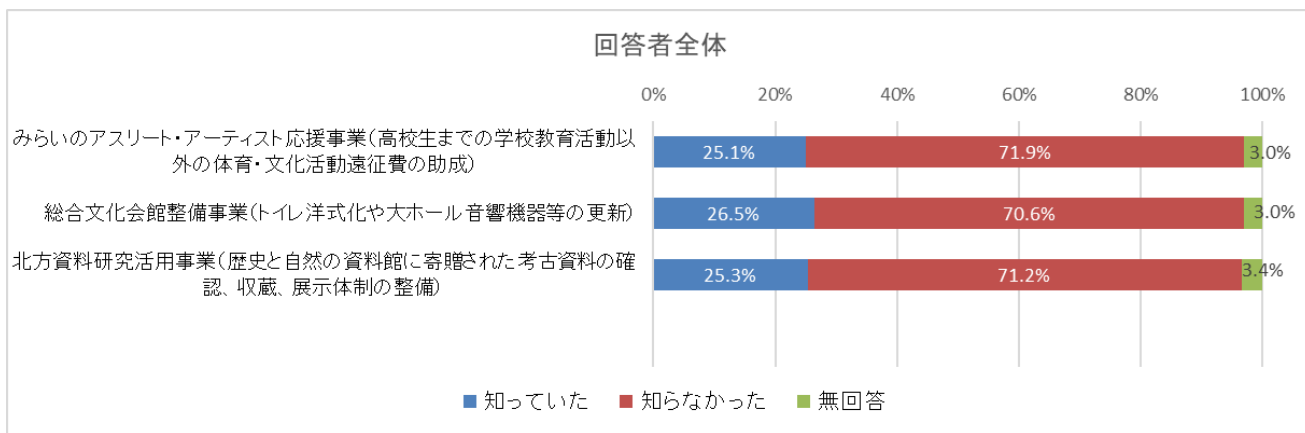
①市民全体

市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要3施策についての認知度をみると、いずれの施策も、その認知度は20%台となっており、昨年度までとほぼ同様の結果となっている。

<令和4年度調査>



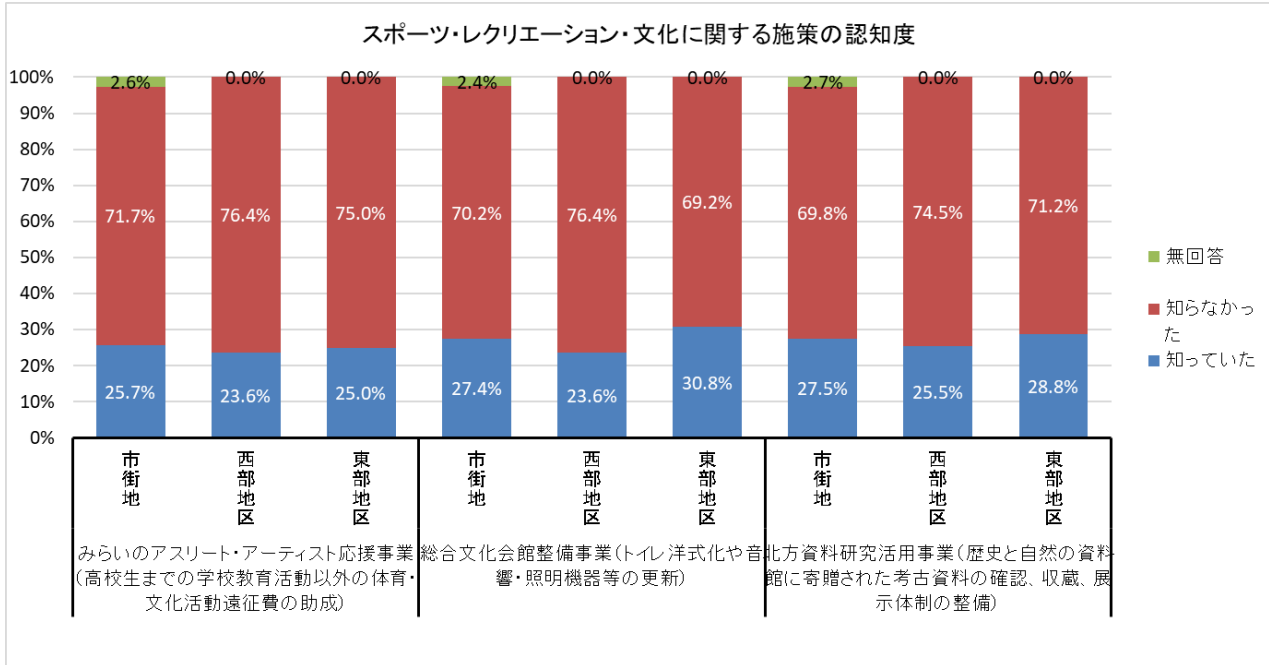
<令和3年度調査>



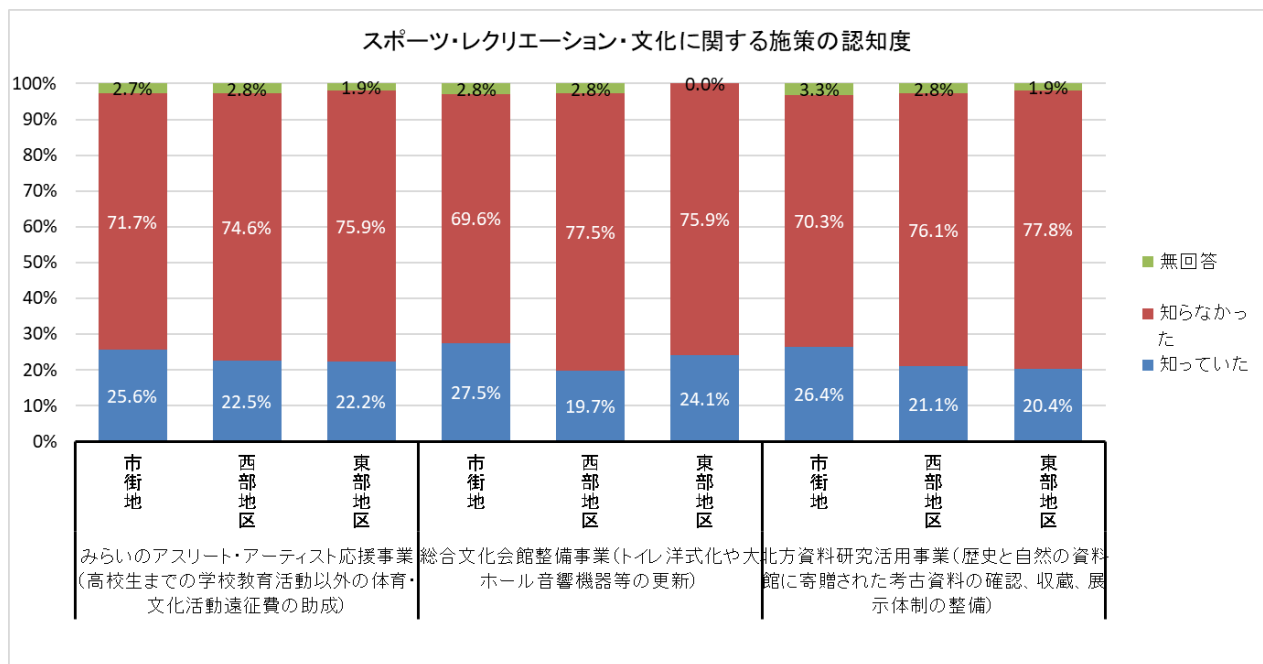
②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要3施策についての認知度は、3地区とも昨年度までの調査結果と比較して、変動は見られるものの、地区別での特筆すべき差はみられていない。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

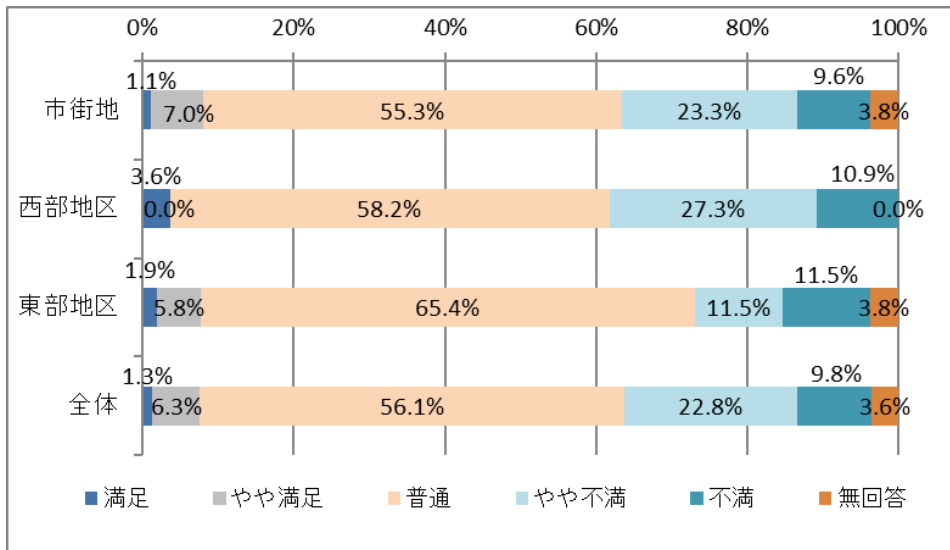


(2) スポーツ施設の状況に対する満足度

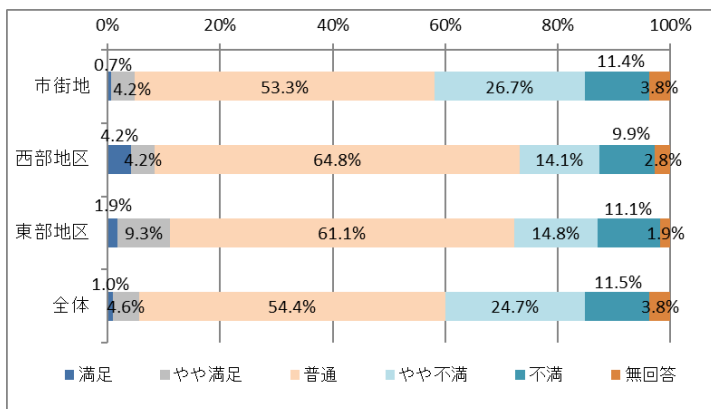
スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は市民全体で7.6%となっており、昨年度の調査結果よりもやや向上したものの、令和2年度とほぼ同水準であった。

また、「普通」以上とする評価の割合も、昨年度よりもやや向上しているが、令和2年度調査の結果とほぼ同水準であった。

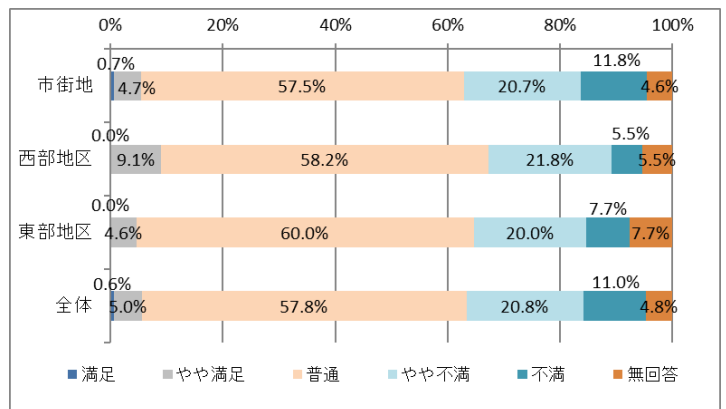
<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



<令和2年度調査>



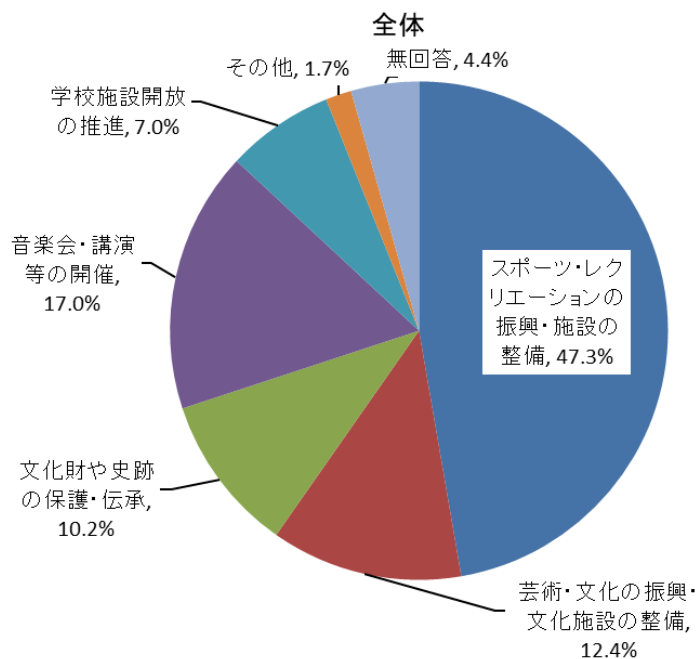
(3) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

①市民全体

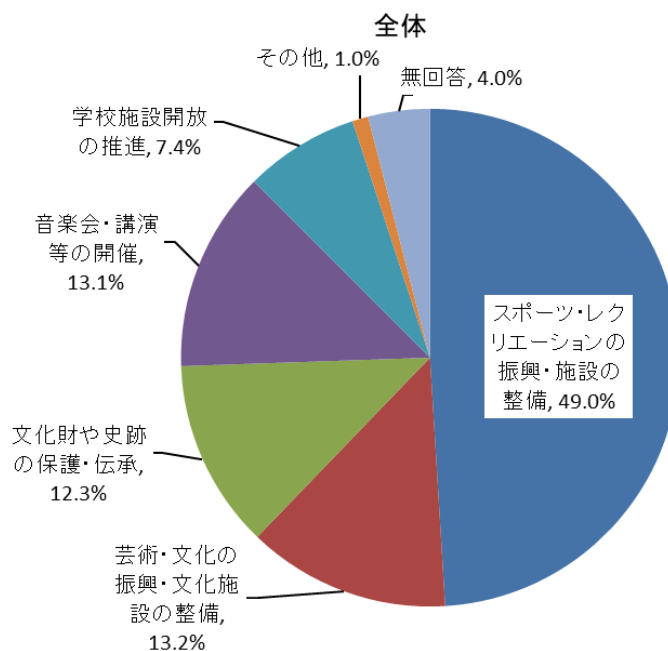
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっており、次いで、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護・伝承」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると上位にあげられている施策は同じ項目があがっているが、「音楽会・講演等の開催」の回答割合が最も増加した（13.1%から17.0%に増加）。

<令和4年度調査>

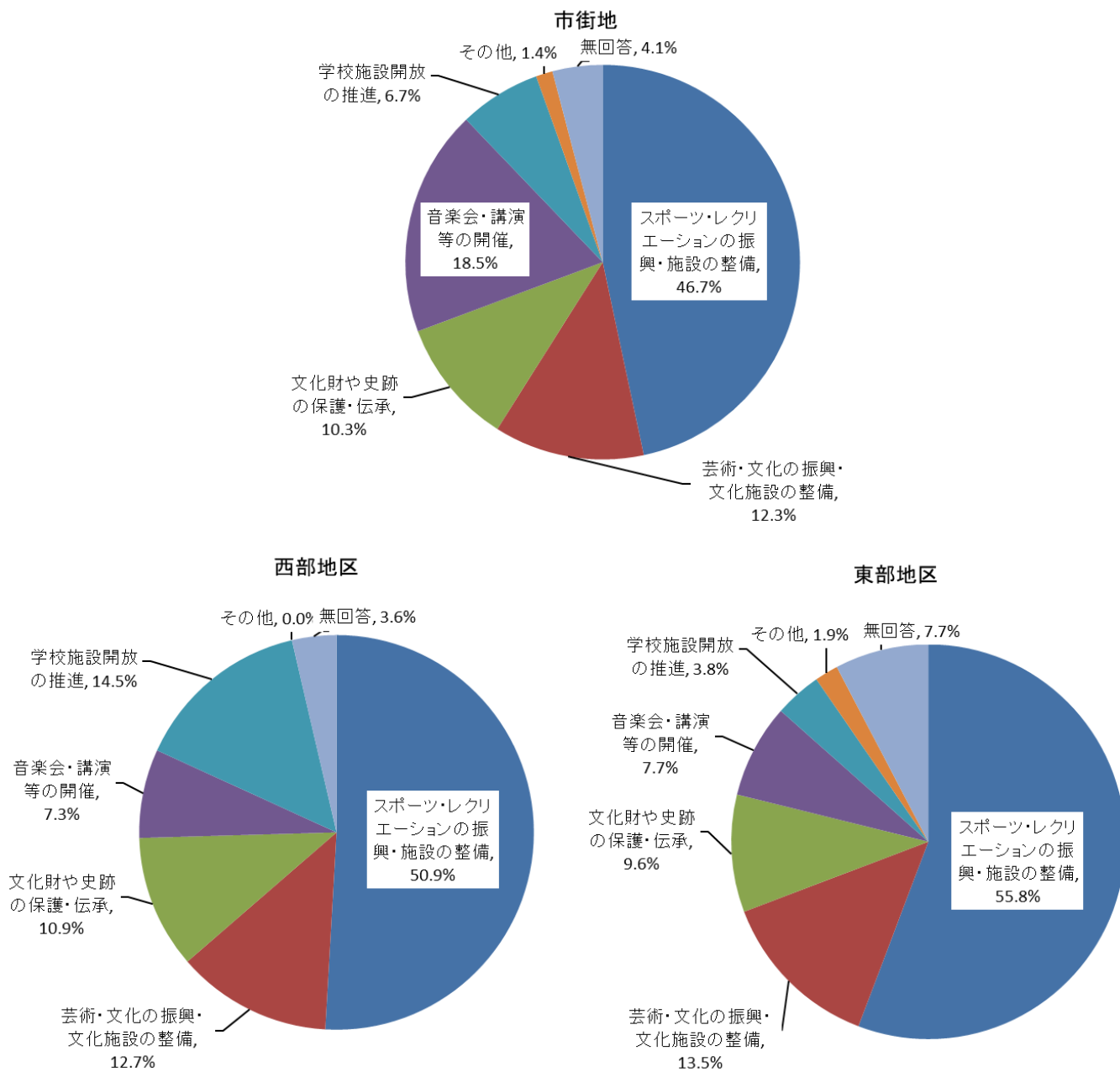


<令和3年度調査>



②地区別

3 地区ともこれまでの調査結果と同様に「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も高い。これに次いで、市街地は「音楽会・講演等の開催」が、西部地区では、「学校施設開放の推進」が、東部地区では「芸術・文化の振興・文化施設の整備」があがっている。



3. 14 産業の振興について

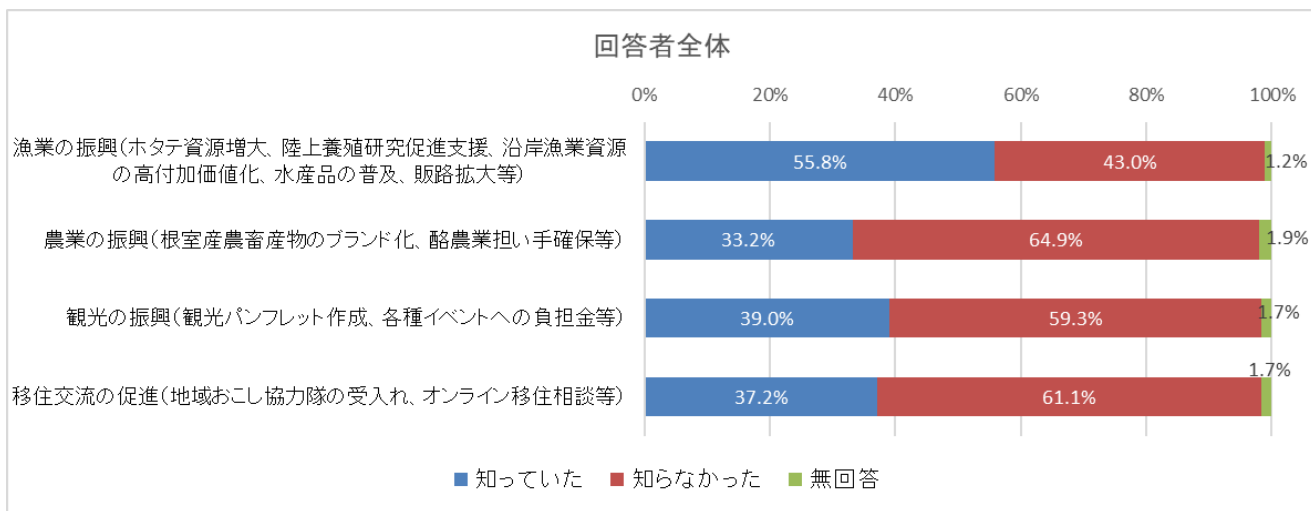
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

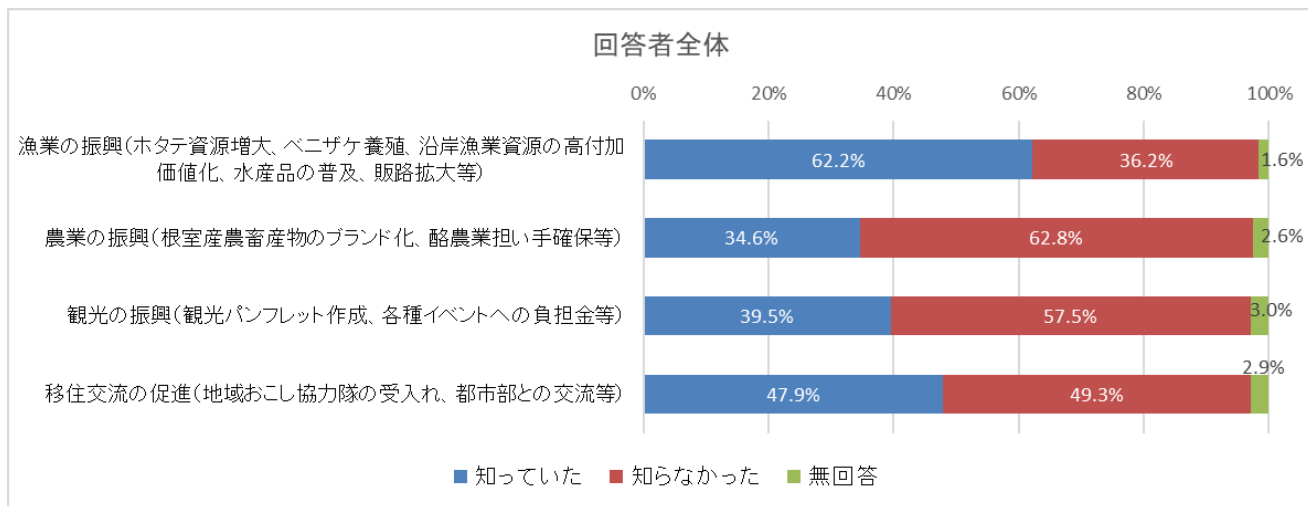
市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、「漁業の振興」に対する認知度が最も高く、次いで「観光の振興」、「移住交流の促進」となっている。

昨年度の調査結果と比較すると、「観光の振興」と「移住交流の促進」の順位が逆転しているものの、各施策とも認知度が低下した。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

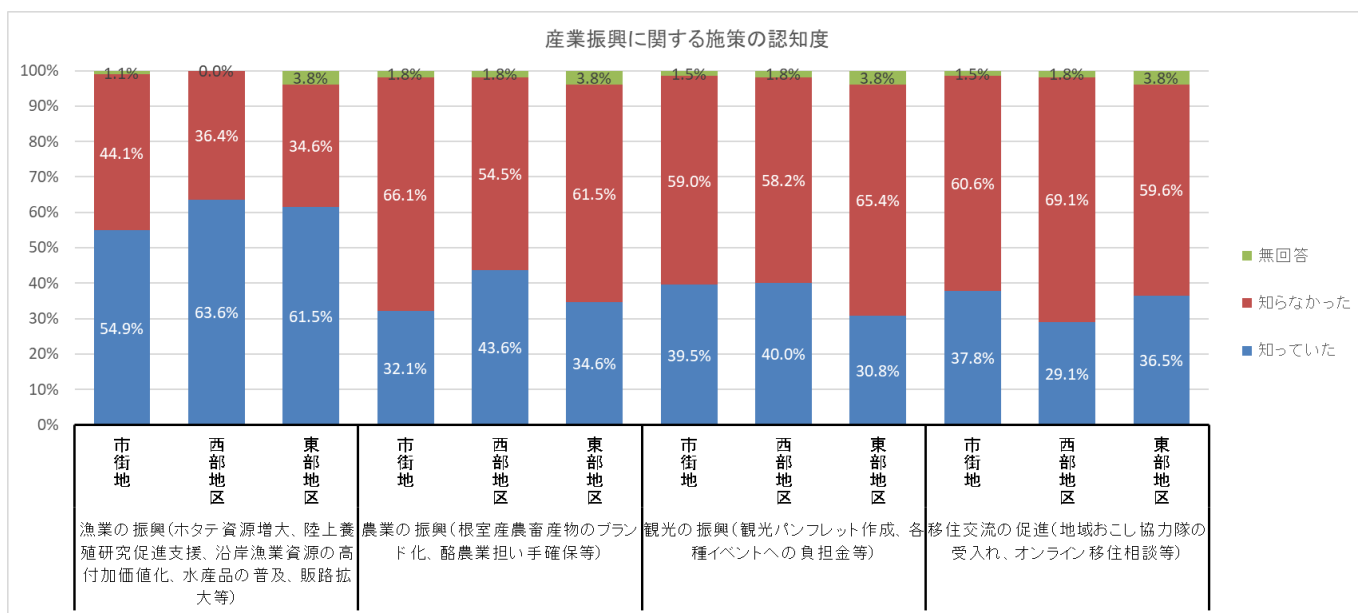


②地区別

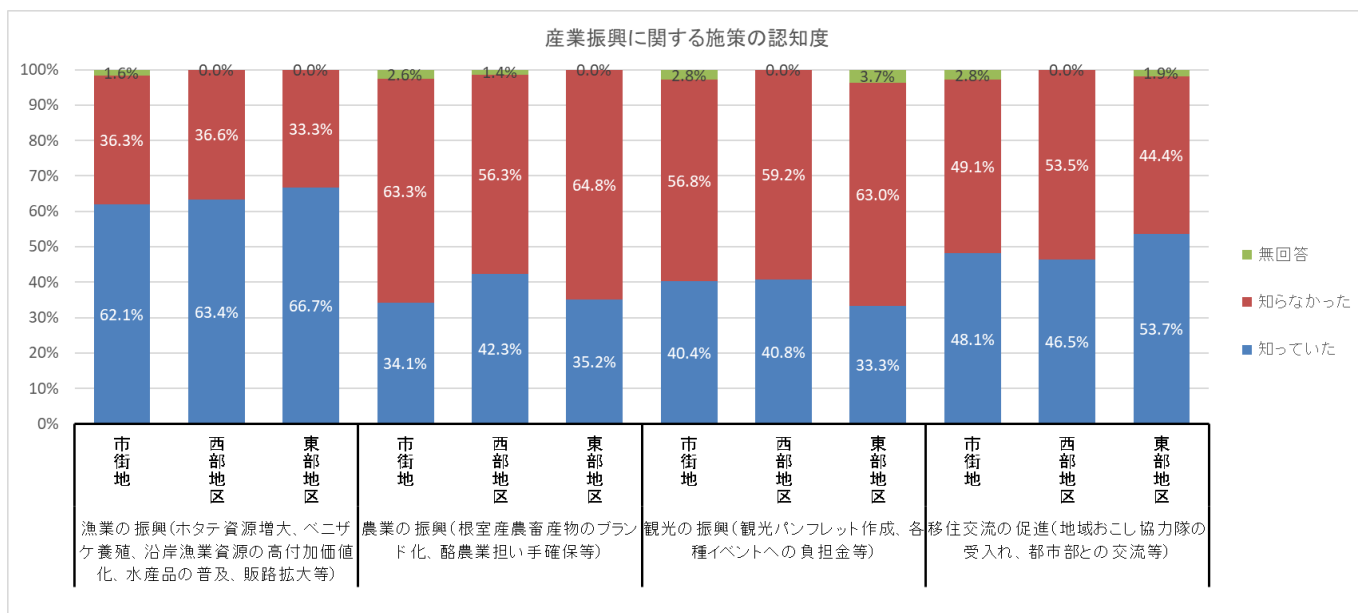
産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、昨年度までの結果と同様に3地区とも漁業に関する施策の認知度は高くなっている。

また、農業、観光に関する施策については、総じて認知度はやや低く、地区による認知度の差はほとんどない。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



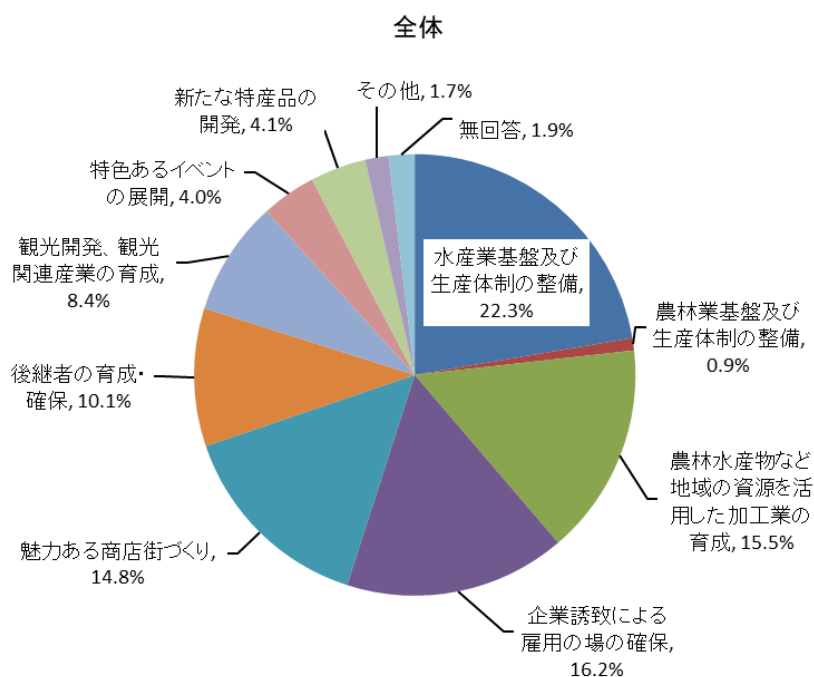
(2) 産業振興施策について

①市民全体

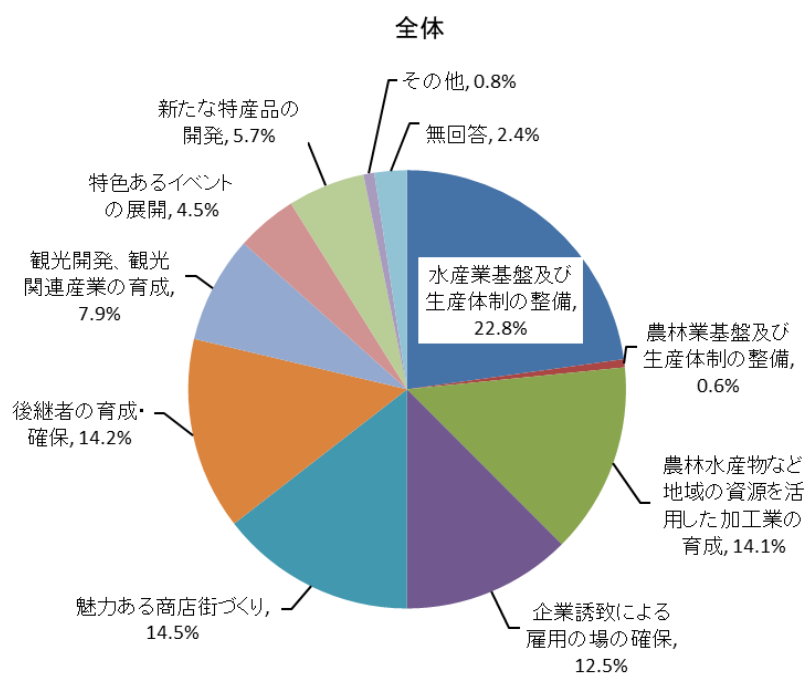
根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策1つを回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が昨年度調査と同様に最も高かった。次いで、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「後継者の育成・確保」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると、「企業誘致による雇用の場の確保」の割合が大きく増加しており、中長期を見据えた地域産業の育成に加え、短期的な効果に対する期待が大きくなっている状況が伺える。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

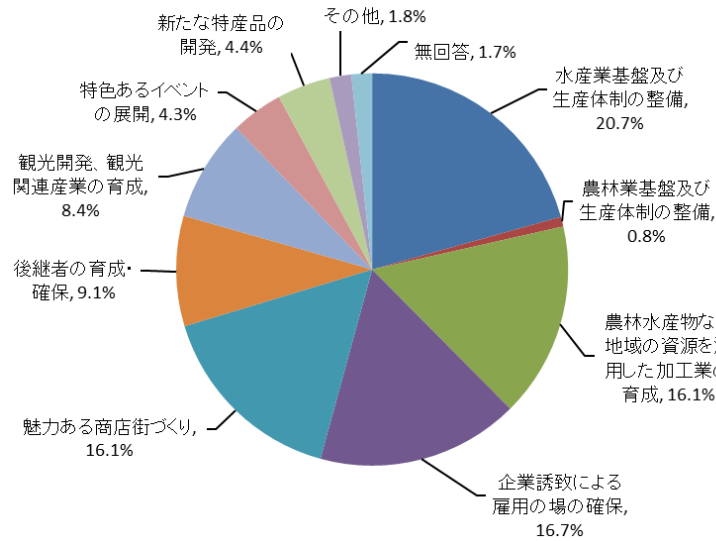


②地区別

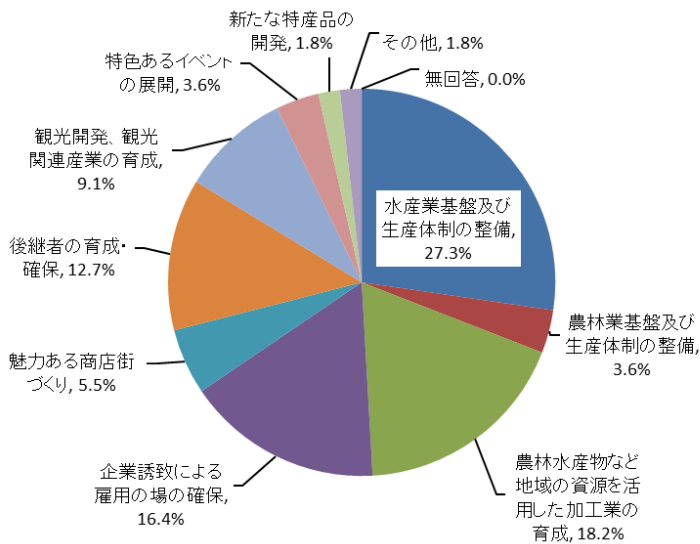
地区別でみると、市街地はほぼ市民全体と同様の傾向を示しているが、東部地区と西部地区では、昨年度までと同様に地区の主たる産業を反映して異なった傾向がみられている。

比較的酪農事業者の多い西部地区では、「水産業基盤及び生産体制の整備」に次いで、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」となっており、「農林漁業基盤及び生産体制の整備」の割合も他地区よりも高い。漁業者の多い東部地区では、「水産業基盤及び生産体制の整備」の割合が他地区よりも高く、次いで「後継者の育成・確保」となっている。

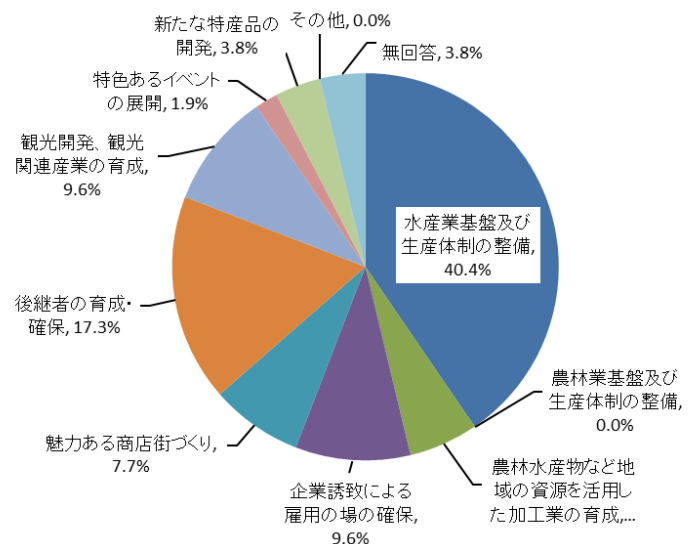
市街地



西部地区



東部地区



3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

（1）施策の認知度

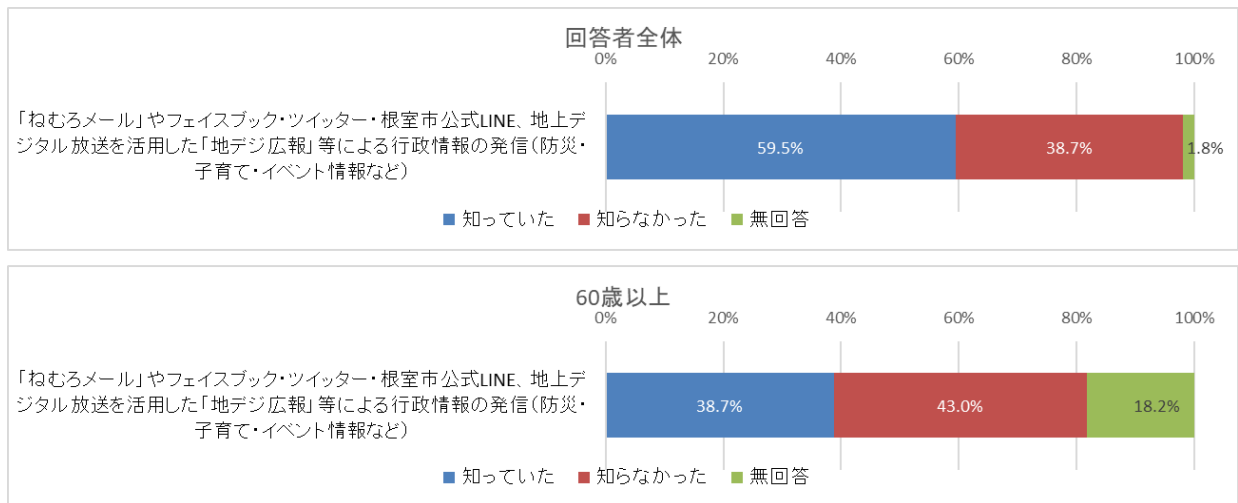
①市民全体

市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度調査については、昨年度まで2つの施策を対象としていたが、今回は、幅広く「ねむろメール」・フェイスブック・ツイッター・根室公式LINE・地デジ放送等による、行政情報の発信施策そのものの認知度について調査した。

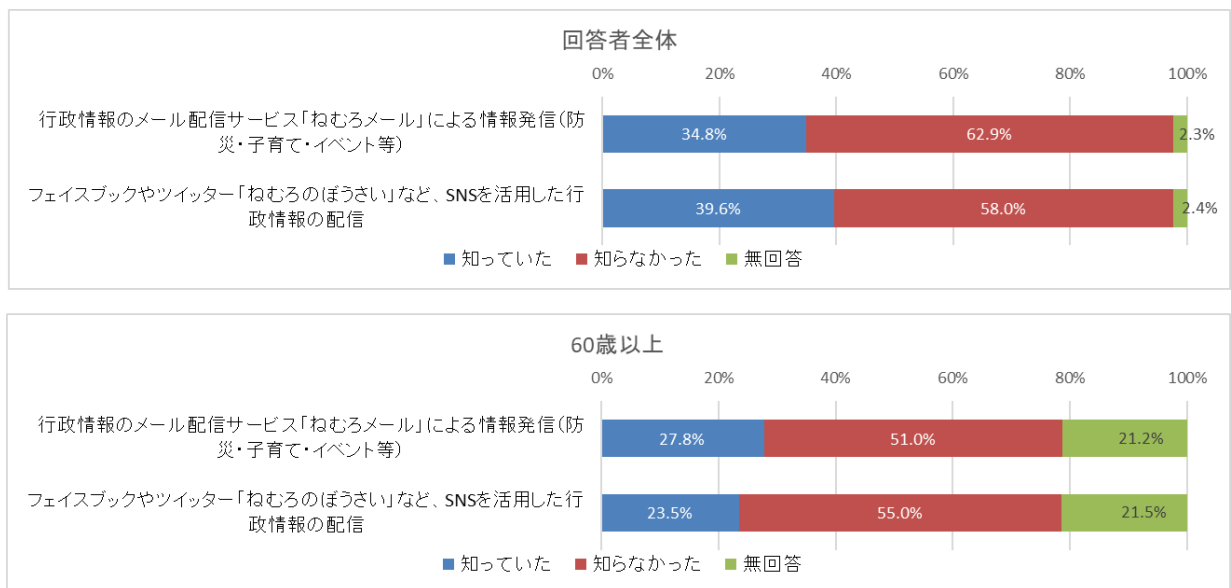
その結果、市民全体では、59.5%の市民が知っていると回答しており、昨年度の結果を上回っている。

また、60歳以上の市民についてみてものこれらの情報ツールに対する認知度は、38.7%と、昨年度よりも向上している。

<令和4年度調査>



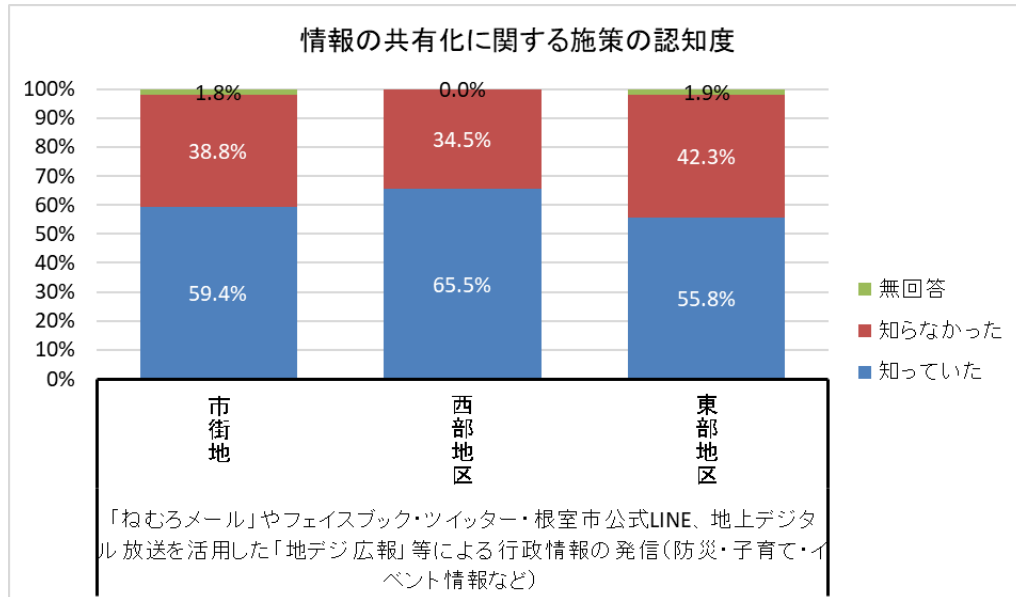
<令和3年度調査>



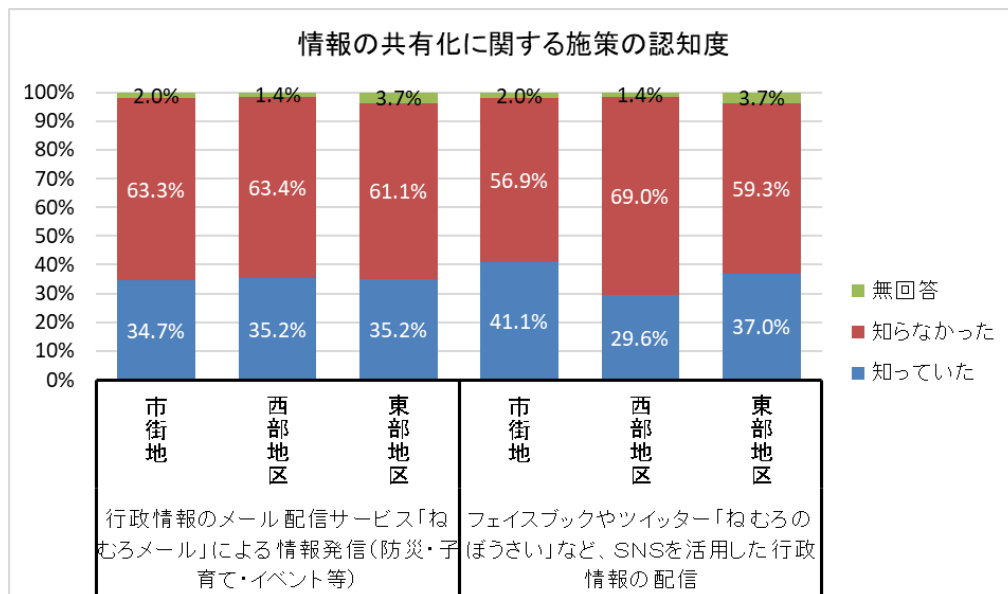
②地区別

情報の共有化に関する施策についての認知度は、昨年度調査までの結果と同様、地区別での大きな差は見られていないが、認知度は、昨年度の30～40%程度の認知度から、各地区とも60%前後まで向上している。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



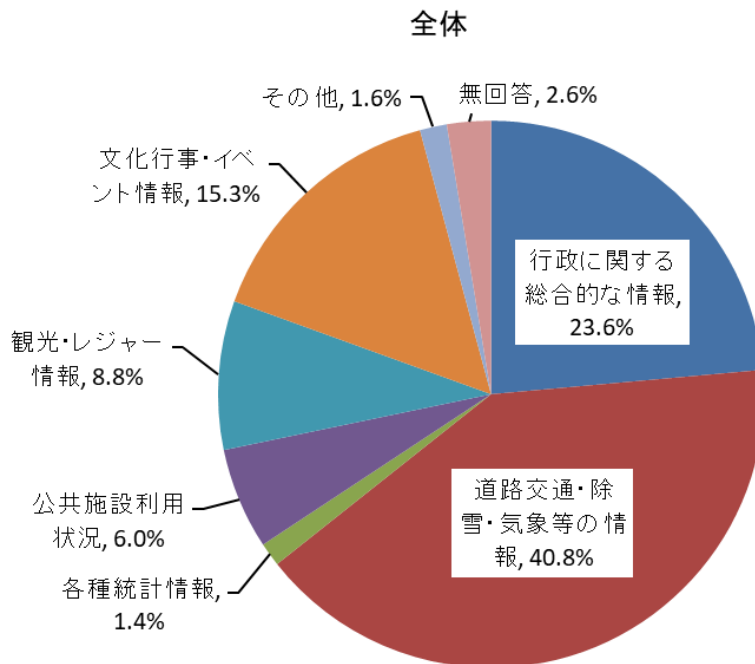
(2) 情報の共有化に関する施策について

①市民全体

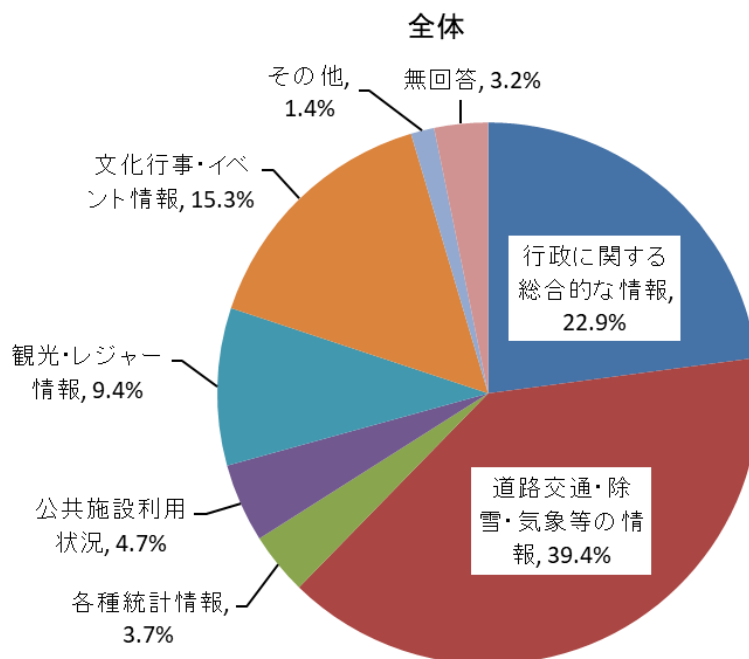
行政からの情報提供に対する要望を1つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」が高くなっている。

上位にあがっている項目は、昨年度までの調査結果とほぼ同じである。

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

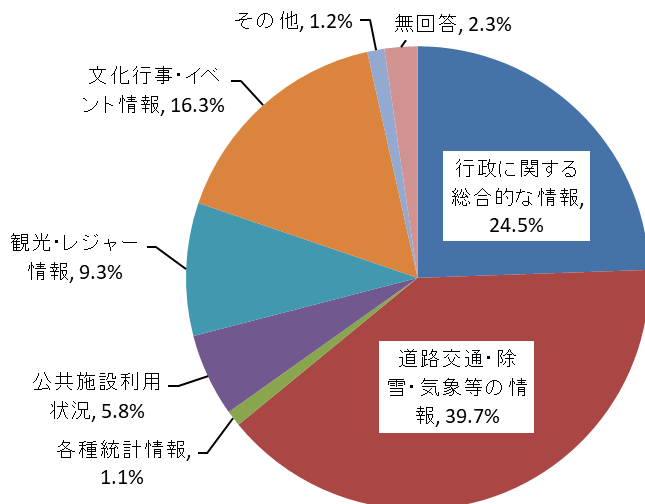


②地区別

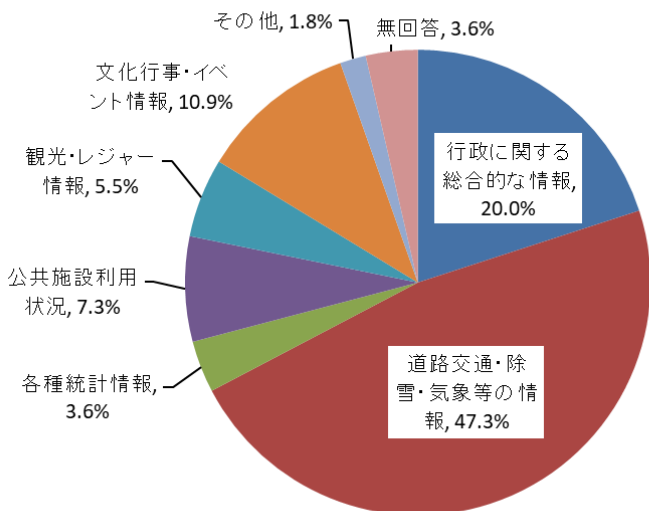
地区別に提供を受けたいと希望している情報内容を見ると、3地区とも「道路交通・除雪・気象等の情報」が最も多く、次いで、「行政に関する総合的な情報」となっている。

特に、「道路交通・除雪・気象等の情報」に関しては、東部地区や西部地区では50%前後の高い回答率となっている。

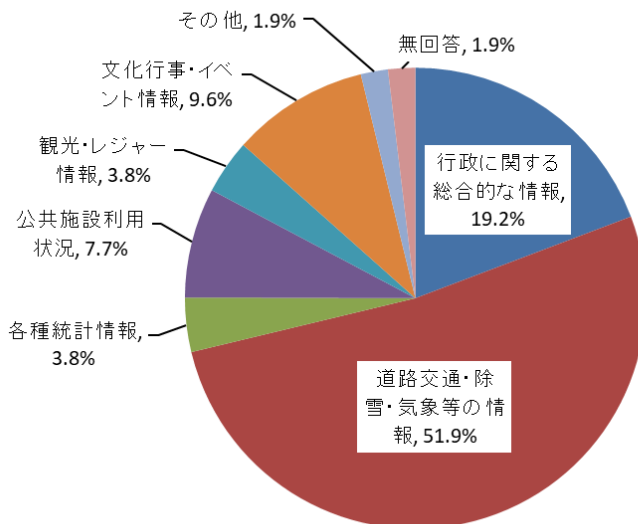
市街地



西部地区



東部地区

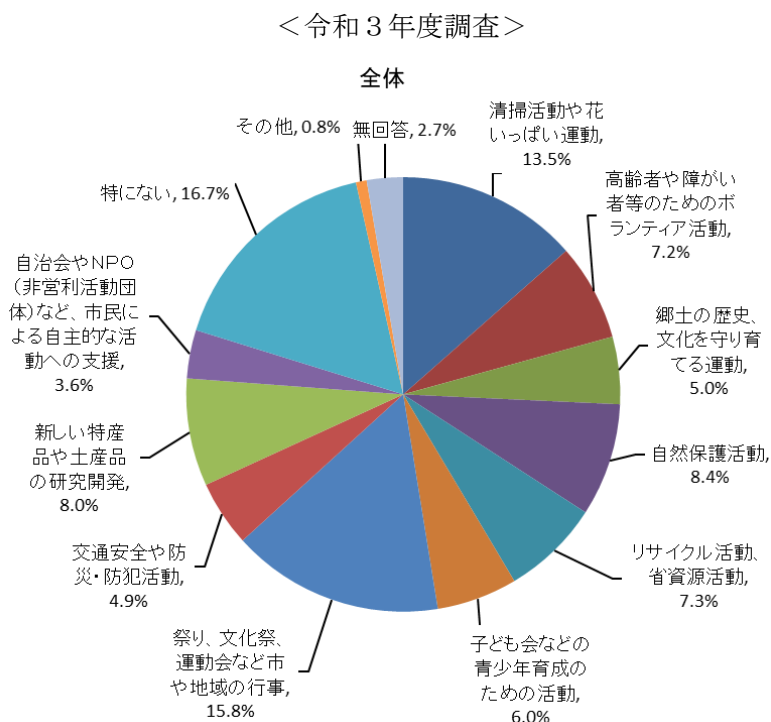
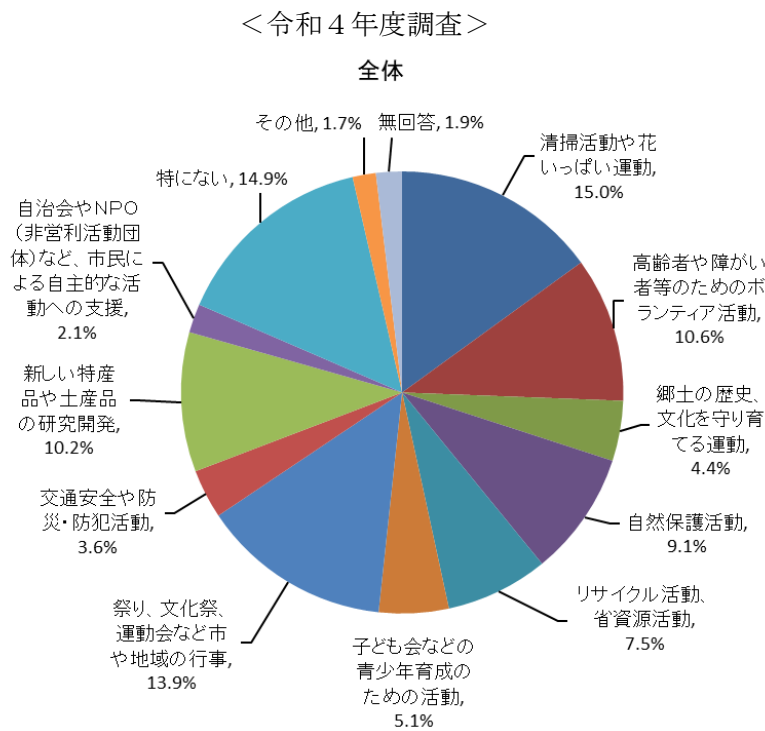


3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

（1）市民全体

市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加する活動を1つ回答してもらった結果、最も多かった活動は、「清掃活動や花いっぱい運動」であり、次いで、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「高齢者や障がい者等のためのボランティア活動」、「新しい特産品や土産品の研究開発」、「自然保護活動」の順となっていた。上位2項目は、順位は異なるものの昨年度調査でも上位にあげられていた。

ただし、「特にない」とする回答割合が14.9%と、昨年度調査の結果同様、多い回答割合となっている。

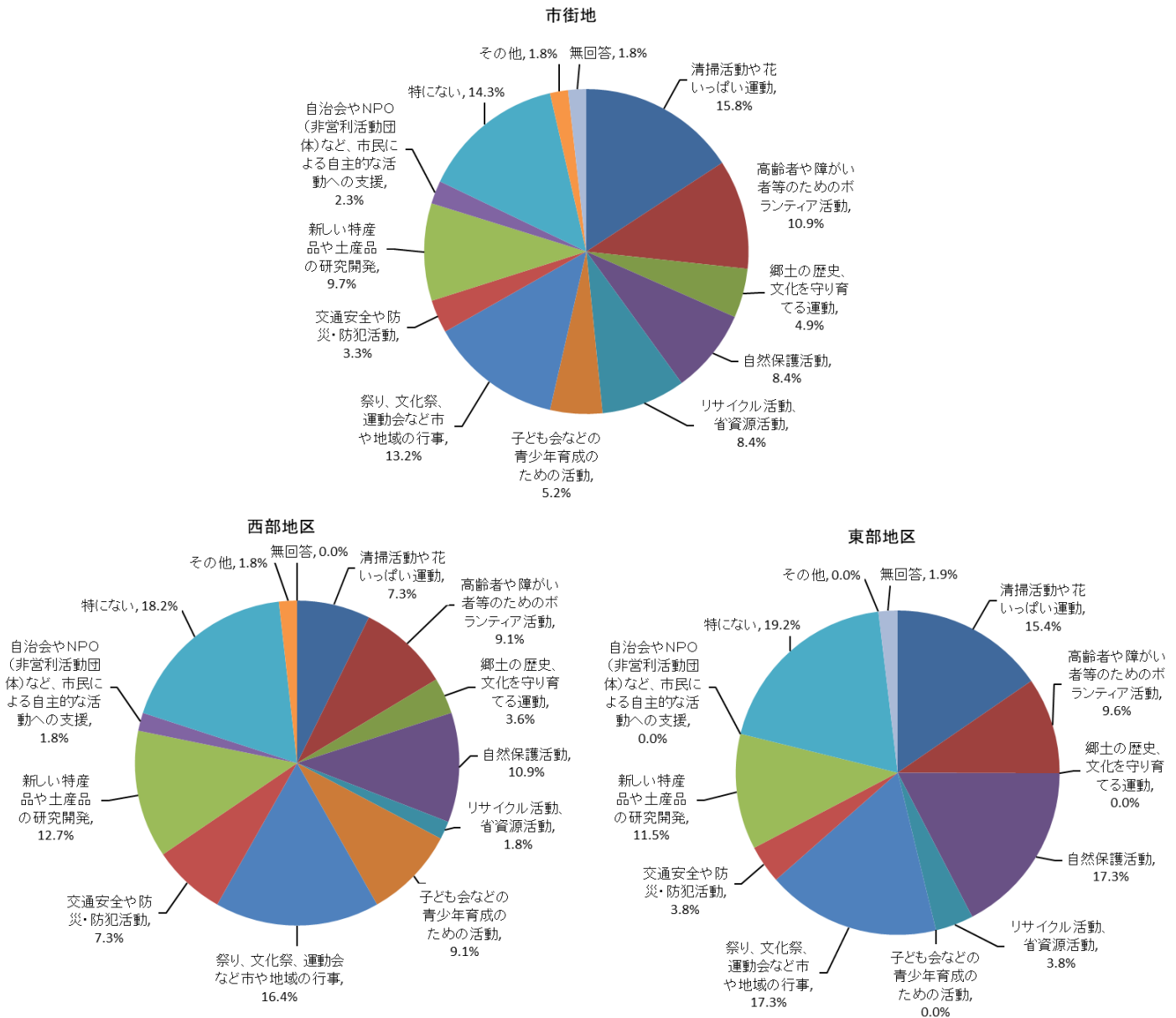


(2) 地区別

参加活動としては、市街地では、「清掃活動や花いっぱい運動」が最も高く、次いで「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」への参加希望率が高くなっている。

西部地区では、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が最も高く、次いで「新しい特産品や土産品の研究開発」が、東部地区では、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」と「自然保護活動」が高くなっている。

しかし、西部地区と東部地区では、「特にない」とする回答割合が最も多くなっている。



3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

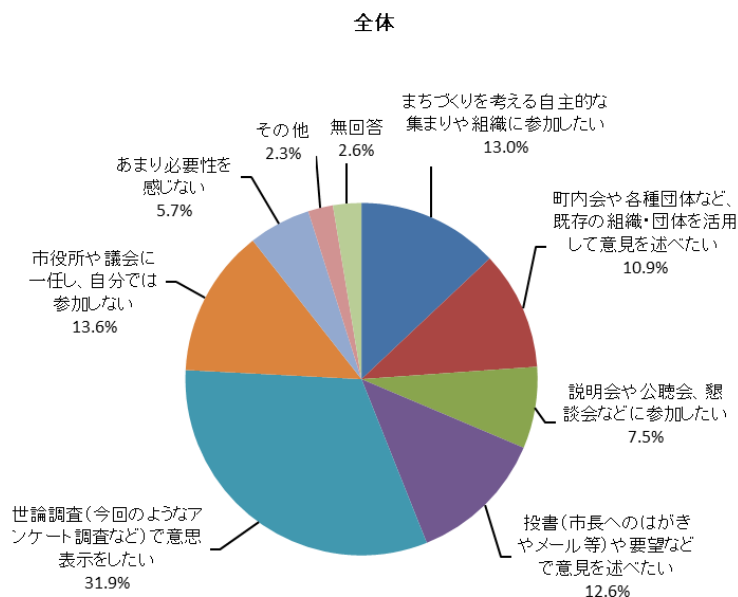
（1）市民全体

まちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、今回の調査結果も「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望であった。

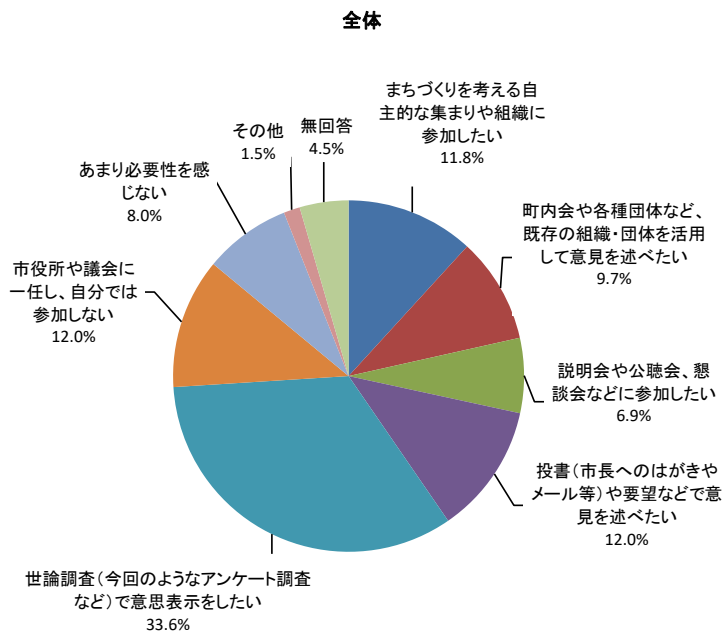
このほか、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」といった要望も比較的多かった。一方、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」とする回答割合も比較的多かった。

この結果は、これまでの調査の結果はほぼ同じである。

＜令和4年度調査＞



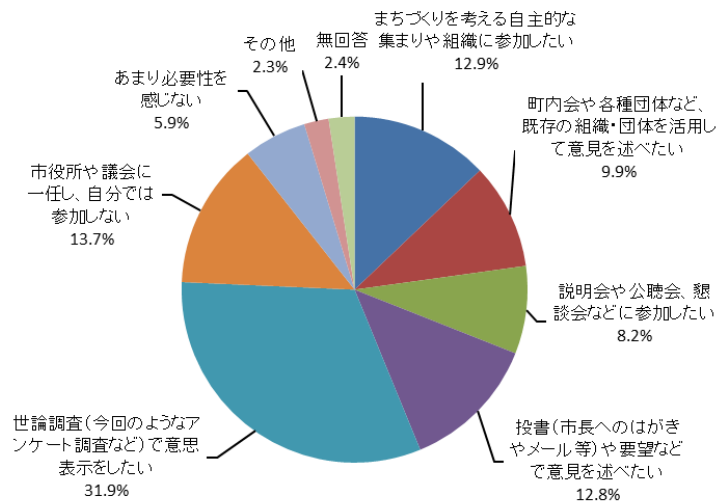
＜令和3年度調査＞



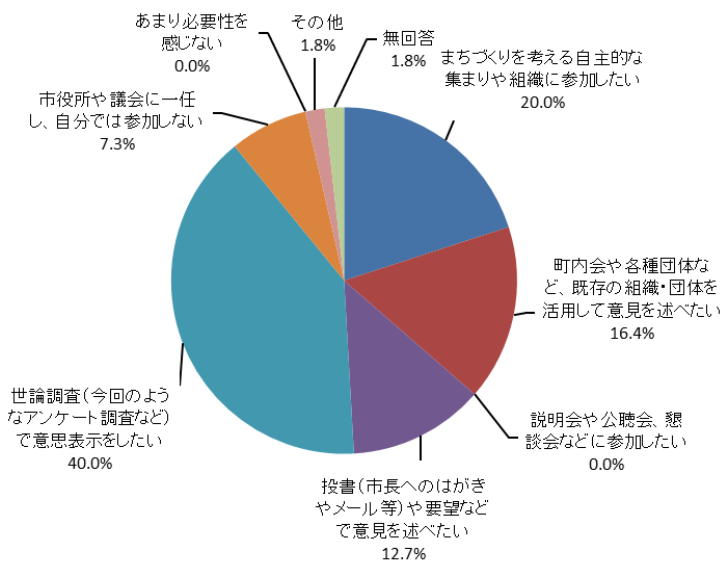
(2) 地区別

地区別にみると、3地区とも、昨年度と同様に「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が最も多くなっており、これに次いで市街地では、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」、西部地区では、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、東部地区では、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」と「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」となっている。

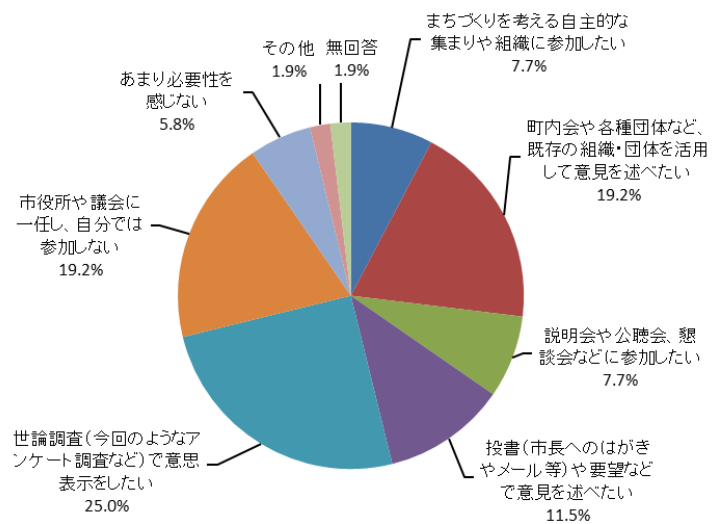
市街地



西部地区



東部地区

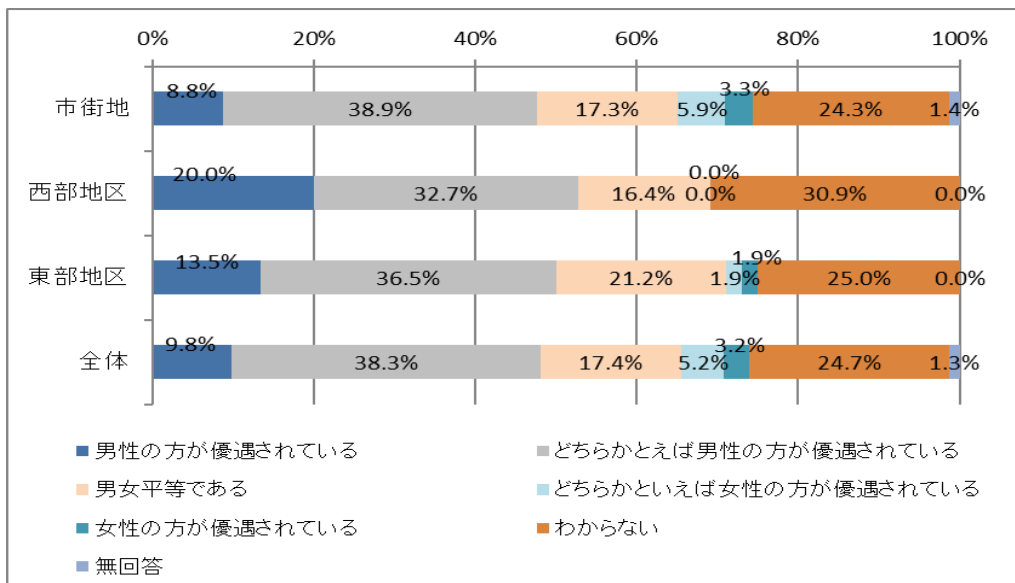


3. 18 男女共同参画について

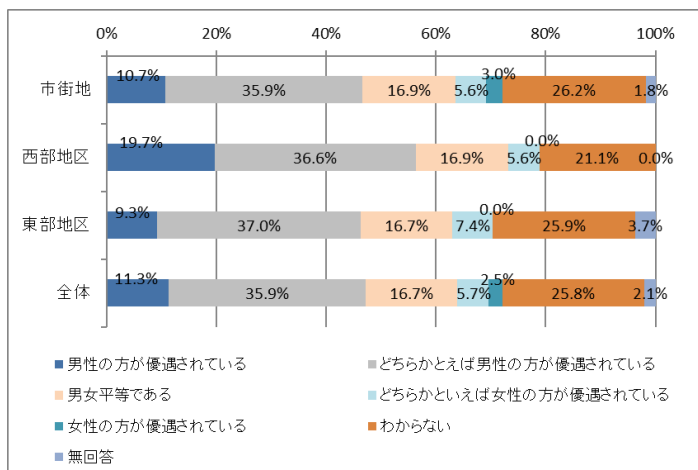
生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて48.1%となっており、「男女平等である」は17.4%と、男女平等意識が低い状況となっている。

男性のほうが女性よりも優遇されていると考えている傾向は、ほぼ各地区とも同様となっている。この結果は、令和2年度以降の調査の結果と比較しても大きな変化は見られていない。

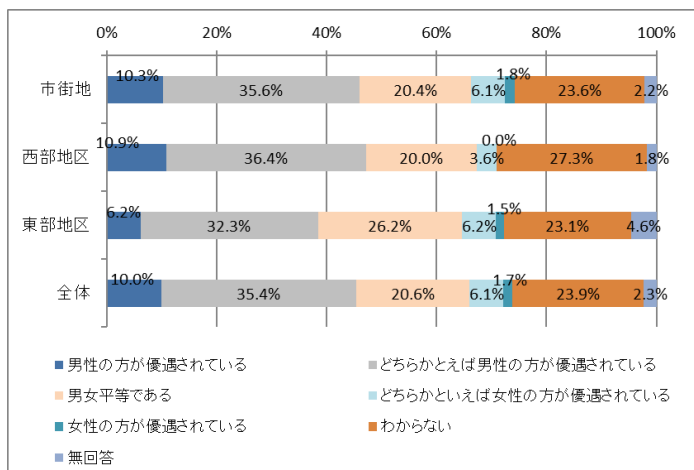
＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞



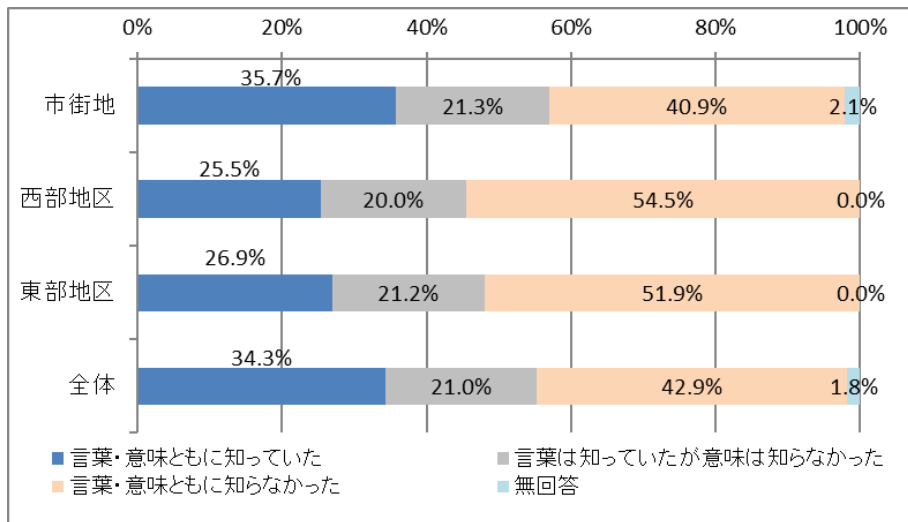
＜令和2年度調査＞



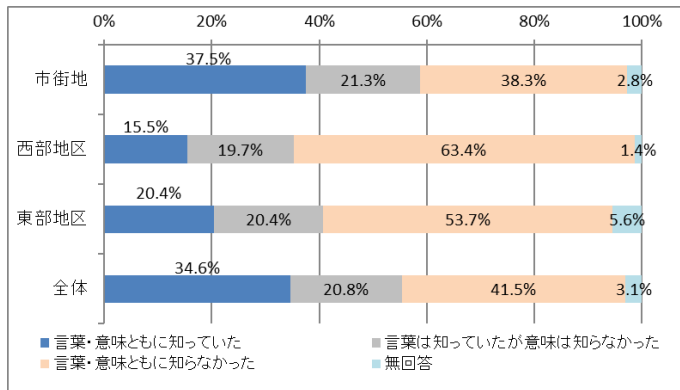
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

市民の「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では、「言葉・意味ともに知らなかった」が42.9%と昨年度からやや増加し、「言葉・意味ともに知っていた」とする回答割合はやや減少したが、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」を含め、言葉だけでも知っていたとする回答割合は、ここ数年、50%台で推移しており、変化は見られていない。

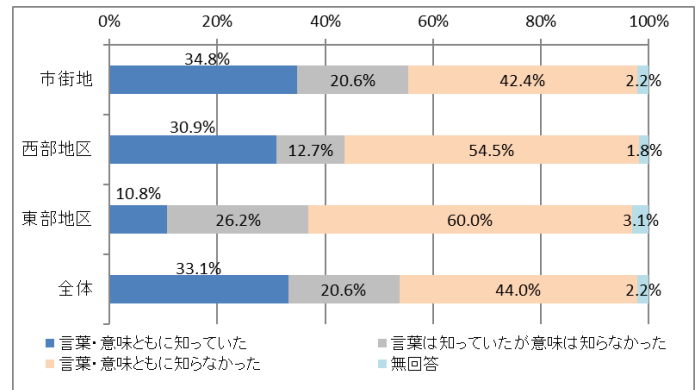
＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞



＜令和2年度調査＞



4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはKPIのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度以降の毎年調査において設定している。

また、平成30年度調査からは市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政の周知も兼ねている。今回は5回目の調査となり、各種市政の周知効果の浸透度合いの増減評価が可能となっている。

本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から8年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁、令和2年当初からの新型コロナウイルス感染症の影響、さらには令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵攻の影響等により経済環境は大きく変化しており、市民の不安意識も増長されている状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

<回収率>

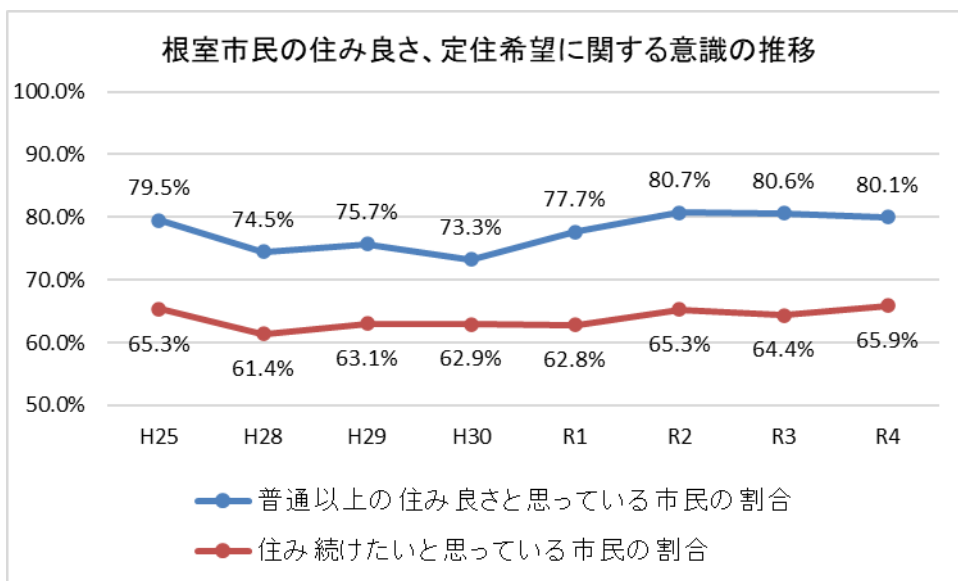
- ・本調査の有効回収率は25.6%となっており、昨年度の29.0%を下回ったが、概ね平成30年度調査（26.4%）や令和元年度調査（25.6%）と同水準の回収率であった。
- ・これまでの調査結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいという意向が高いことなどから高い回収率となっている。
- ・今年度の調査も昨年度に続いて若い世代を含めた各年齢層で回答していただいております、幅広い年齢層の市民の市政に対する関心度合いが高い状況が把握された。

<根室市のイメージについて>

- ・今年は、ロシアによるウクライナ侵攻に対する欧米・日本等による経済制裁へのロシア側からの反発等の影響により根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境がさらに悪化したほか、一昨年度からの新型コロナウイルス感染症の拡大が続いているなどの状況を背景に、全体的に根室市の否定的なイメージは改善されてはいない。
- ・根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「個性（特色）のあるまち」や「市民として誇りや郷土愛があるまち」をあげる住民が多い一方で、「その他」の回答が最も多かった。
- ・この「その他」の具体的記載をみると、「自然が豊か」「漁業のまち」「朝日に一番近い街」といったプラスイメージも見られたが、多くは「活気がない」「暗いまち」「何もないまち」「寂しい」「若い人達が出ていって寂しい」「シャッター通りやあき家が目立つまち」といったマイナスイメージであった。
- ・こうしたイメージに基づく、根室市での居住の満足度についてみると、概ね市民の四分の一程度が満足としており、これまでの調査の結果と同水準であった。

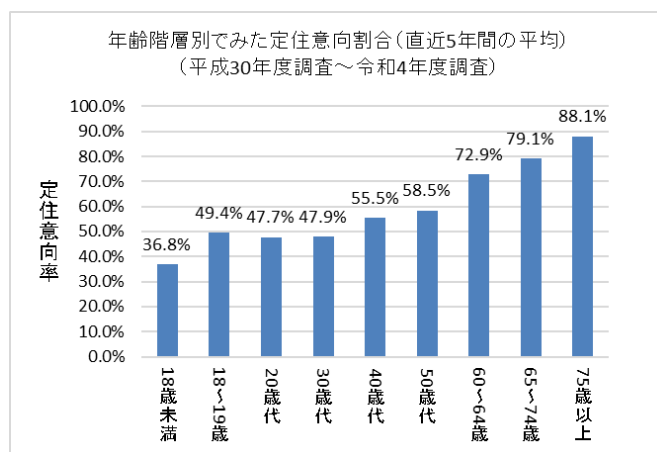
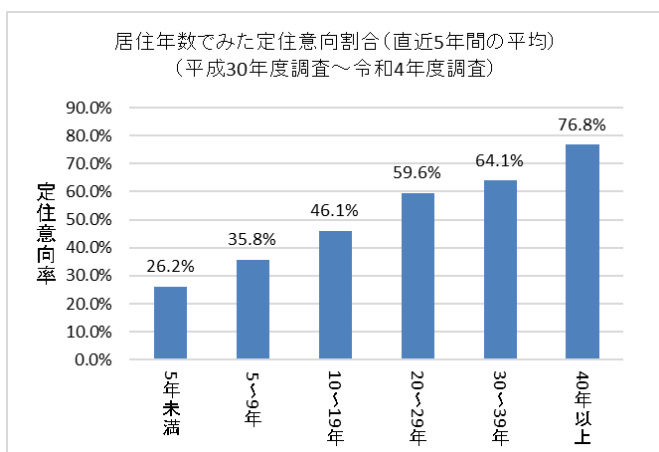
<定住意識>

- ・市民の居住満足度及び定住意向についてみると、普通以上の住み良さと思っている市民の割合は、80%以上であり、かつ、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」という定住意向は、これまでの調査で最も高かった（65.9%）。

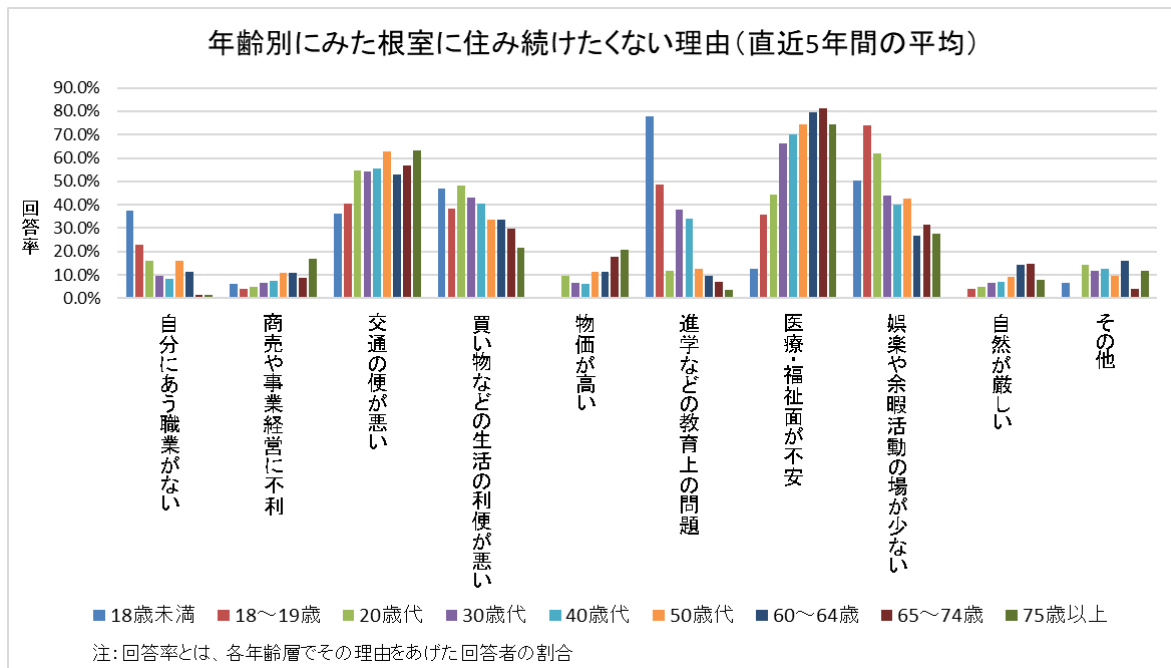


注：普通以上の住み良さ：これまでの市民意識調査において、「とても住みよい」「住みよい」「普通」と回答した市民の割合
 ：住み続けたい：これまでの市民意識調査において、「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した市民の割合

- ・この「住み続けたい」とする市民は、居住年数も長く、高齢者ほど割合が高い傾向であり、居住年数が短く、若年層では「住みたくない」とする回答割合が高い。



- ・「住みたくない」とする市民のその理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられており、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。このような状況を踏まえると、これらの不満内容に関しては依然として近年の定住意識の促進に向けた重要課題といえる。



＜保健医療支援・子育て支援・高齢者支援＞

(保健医療支援)

- ・市民の健康管理意識は、依然として高く市民の70%以上が健康管理に努めているとしている。健康のための運動意識もこれまでの結果とほぼ同様で、30分以上の運動を週に1度以上行っているとする市民の割合は50%程度となっている。この健康管理意識や運動実施状況は、60歳以上の住民でさらに高くなっている。
- ・少子化・子育て支援に関しては、市立根室病院で分娩が再開(平成29年4月)されて5年目となる今年度の調査では、昨年度と同様に60%以上の市民が知っているとしており、20歳代~40歳代の子育て世代で、70%程度の認知度となっているなど、認知度は概ね定着してきている状況が把握できる。
- ・ただし、医療環境全般でみると、総じて市民の評価は低く、満足あるいはやや満足とする市民は10%程度で、普通とする回答を含めても50%以下にとどまる。これは、これまでと同様に、市内で受診できる診療科目の少なさや市立病院の初産への非対応などのほか、市内の小児科医院が令和4年に廃業したことで小児科が市立病院のみとなってしまったことなどの不安感が反映されたものと考えられる。

(子育て支援)

- ・子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、こども医療費給付の高校生以下までの拡充、保育所等における給食費及び第3子目以降保育料、小中学校の給食費無償化ほか、出産祝金支給制度の創設といった経済的支援に関しては高いが、人材育成・確保に関する事業の認知度はそれほど高くはないという結果となっており、昨年度調査とほぼ同様であることが把握された。
- ・この認知度は、20歳代~40歳代の子育て世代で、より高くなっており、周知PRの成果が伺える。
- ・今後の子育てに関する支援策については、これまで要望の高かった子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」(愛称: わんぱーく) が令和3年12月にオープンしたため、子どもがのびのびと

遊べる施設に対する要望が減少し、新型コロナウイルス感染拡大による市内経済の停滞等の影響も相まって経済的支援への要望の比重がより高まった。

(高齢者支援)

- ・高齢者のための施設や支援制度に対する満足度は、例年と同様にいずれも不満とする割合は25%～30%を占めており、満足とする割合(10%未満)よりも高くなっている。
- ・市が実施している高齢者支援策のうち、高齢者見守りボランティア事業に関しては市民や高齢者の認知度が比較的高く、緊急通報サービス事業や人材育成事業に関しては認知度が低いという結果は、昨年度までの調査の結果とほぼ同様であった。ただし、いずれの事業も認知度は向上している。
- ・高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果と同様、寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実、介護付き高齢者専用住宅の充実を望む意見が多い。

<交通・生活環境・防災・減災>

(交通)

- ・市民の交通インフラに対する満足度は、決して高くはないが、道路交通に関しては80%近く、公共交通機関に関しては60%近くが「普通」以上の満足度であることが把握された。昨年度の結果よりもやや向上したものの、一昨年度とほぼ同様となっているなど、道路交通や公共交通機関に対する不満意識に大きな変化は見られていない。
- ・交通に関する施策に対する市民の認知度は、JR花咲線の存続が課題となっている現状を背景として、昨年度調査の結果と同様に、JR花咲線の維持確保対策に対する認知度が比較的高かった。その他、市内乗合バスや中標津空港間のバス交通等への財政支援や、街路灯LED化に関する事業の認知度は40%強となっており、ほぼ例年と同様の結果であった。特に、街路灯に関しては、暗い道路の解消の観点から、市民からの要望意見が多いものの認知度は、まだ高くはなっていない。
- ・交通施策に対する要望としては、昨年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多く、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」「身近な生活道路」の整備に対する要望も引き続き高まっている。

(生活環境・防災・減災)

- ・生活環境に対する市民の満足度は、身近な自然、上下水道、公園や広場とも、概ね80%以上が普通以上としており、ほぼ例年と同じ結果である。
- ・しかし、買い物の利便性に関しては、普通以上とする回答が64.7%となっているものの、これまでの調査結果と同様に不満とする住民の割合が満足とする住民割合を大きく上回っている。
- ・今後の生活環境に関して要望が多かった施策は、ほぼ昨年度までの調査の結果と同様であり、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が高くなっている。
- ・また、防災・減災に関しても昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果であり、「食料・水・日常生活用品の備蓄」がほぼ半数を占め、次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

<教育・スポーツ・文化>

(教育)

- ・市が実施している学校教育、社会教育、スポーツ・文化などの振興に向けた施策に関しては、特に子育て世代の方を含め、近年の ICT 活用に対する社会認識の向上と相まって、「高校生への 1 人 1 台ノート PC の貸与」事業に対する認知度が昨年度調査時よりもさらに向上してきている。しかし、補助教員の配置やふるさと給食事業に関しては、30%~40%程度の認知度にとどまっている。
- ・教育施設や教育環境に対する満足度に関しては、例年と同様に不満とする住民の割合が多く、「満足」とする回答割合は 10%前後となっている。
- ・学校教育に関して今後望む施策は、昨年度までの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」が上位にあげられている。
- ・社会教育に関して今後望む施策としては、「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果と同様の結果となっている。

(スポーツ・文化)

- ・スポーツ施設の状況に対する市民の満足度は、不満とする住民の割合の方が高いものの、昨年度の結果とほぼ同様の結果である。
- ・スポーツ・文化に関して望む施策は、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「芸術・文化の振興」、「音楽会・講演等の開催」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果である。

<産業>

- ・近年の根室市の産業経済は、さんま、さけの不漁が続くなど、依然として厳しい状況下にある。特に、漁業は、これまでもロシアとの漁業協力関係の影響を大きく受けている中で、令和 4 年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻に対する欧米・日本等による経済制裁へのロシアからの反発の影響も加わり、さらに厳しい状況を迎えている。
- ・こうした経済状況下において根室市で実施している産業振興に関する施策の認知度をみると、市民の産業経済に対する関心の高さを背景に、総じて生活環境や教育などの他の施策よりも高くなっており、特に、「漁業の振興」に関する施策の認知度が高くなっている。
- ・今後望む産業施策としては「水産業基盤及び生産体制の整備」が、昨年度と同様に最も高く、次いで、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「後継者の育成・確保」が上位にあげられている。
- ・特に、「企業誘致による雇用の場の確保」をあげる市民の割合が大きく増加しており、中長期を見据えた産業振興だけでなく、短期的な効果に対する期待が大きくなっている状況が伺えた。

<行政情報・市民協働・市民参画>

- ・市で実施している行政情報に関する施策の認知度は、「ねむろメール」やフェイスブック、ツイッター、根室市公式 LINE 等による行政情報の発信に関しては、昨年度よりも認知度が大きく向上し、60%近い認知度となっている。60 以上の市民でみても 40%近い認知度となっている。
- ・市民が望む行政情報としては、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高く、昨年度までの調査結果と同様である。

- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を問うた設問に関しては、「清掃活動や花いっぱい運動」、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が上位であるが、「特にない」との回答も昨年度調査までの結果と同様に多くなっている。
- ・まちづくりへの参加方法に関しては、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が多くあげられており、例年の調査結果とほぼ同様となっている。
- ・男女平等意識は17.4%と例年とほぼ同じ水準となっており、依然として男性が有利との認識が50%近くを占める状況が続いている。

5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

また、令和3年6月に策定された第2期根室市創生総合戦略では、第1期総合戦略の目標値やKPIをそのまま継続することに加え、市民意識に関する重要業績評価指標（KPI）として新たに加えられた市民意識調査におけるアンケート回収率を追加した。

ただし、総合計画でも目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査だけではなく、継続的に実施し傾向を把握することで、より適切な評価が可能であることに留意することが必要である。

本モニタリング調査は、平成28年度調査を第1回目調査として実施し、今年度で7年目調査となることから、今年度調査の結果からは、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度、及び5年目調査である令和2年度調査との比較を行う。

<上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

【令和4年度調査において上昇が確認された指標】

- ・**健康管理に努めている市民の割合**
- ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
- ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
- ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
- ・**健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）**
- ・**上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合**
- ・**下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合**
- ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
- ・**市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合**
- ・**教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合**
- ・**スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合**
- ・**週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合**

注：太字は、すでに総合計画及び総合戦略の目標を達成している指標を示す

- ・総合計画及び総合戦略における市民意識に関する22個の指標のうち、令和4年度においてすでに目標を達成した指標は8個、目標を達成した指標を含め、計画策定時の指標を上回っている指標は上記に示した12個であった。

- ・すでに総合計画及び総合戦略の目標を達成している指標は、主として健康関連、及び生活インフラ関連の満足度である。
- ・そのほか、目標は達成していないが、評価が向上している項目としては、乳幼児や子どものための福祉施設の状況、病院などの医療機関の状況、子育ての環境や支援などの評価が高くなっている。
- ・ただし、病院などの医療機関の状況についての満足度は、例年、不満とする住民の割合が高く、今年度調査も不満とする住民の割合が満足とする住民割合を大きく上回っていることに留意する必要がある。
- ・なお、「おおむね満足している」場合は、「普通」の回答も含めることになるが、平成30年度の調査以降、満足度意識の設問で普通との回答割合が多くなっている。

<減少指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（1ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

【今回低下（1ポイント以上）が確認された指標】

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上）
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上）
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上）
- ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

- ・一方、評価指標が計画策定時から低下している項目は、上記のとおり9個となっている。
- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、昨年度調査の結果とほぼ同様であり、健康状態、趣味や生きがい、高齢者福祉、公共交通関連、買い物利便性関連となっており、これらの項目については、これまでの調査と同様に複数の設問に対する回答からも不満意識が確認されていることから、より一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・今回は、子育て世代の要望が高かった愛称わんぱーくがオープンしたことや、給食費、保育費、医療費の無料化等の経済支援の実施など、子育て関連支援に対する不満度が低下したことに対し、新型コロナウイルス感染による行動制約と相まって、高齢者医療、福祉に対する不満度が高まったことが特徴的である。
- ・ただし、計画策定時の指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることに留意する必要がある。

<令和2年度調査との比較>

- ・第1期根室市創生総合戦略が策定されてから5年目で、かつ、総合計画の計画期間のほぼ中間年である令和2年度の調査結果（5回目の市民意識調査）と比較すると、新たに評価が向上した項目が3項目、評価が低下した項目が3項目あった。
- ・特に、令和3年度にオープンした愛称わんぱーくに対する評価や、給食費、医療費等の子育て支援に関する新規事業が実施されている子育て関連に関する評価は、自由回答においても確認されている。
- ・一方で、買い物環境や郊外の森林景観に対する不満や高齢者に対する支援に対する評価は引き続き、低くなっている。特に、森林景観に関しては、道路や線路脇のゴミ、太陽光発電や風力発電施設等による景観への懸念が、自由回答から伺える。

令和2年度調査（5年目調査）結果との比較

	指 標
令和2年度調査結果より低下した指標	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上） ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上） ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上） ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・下水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合 ・郊外の森林景観について満足している市民の割合 ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合 ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合
令和2年度調査結果より上昇した指標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態が良好と感じている市民の割合（昨年度と同水準） ・健康管理に努めている市民の割合 ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合 ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合 ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合 ・健康管理に努めている市民の割合（60歳以上） ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合 ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合 ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合 ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合 ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合 ・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合 ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

注：太字は、昨年度調査から入れ替わった項目

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくはKPI	総合計画	総合戦略	目標値 (R6)	計画策定時の値		H28調査	増減	R02調査	増減	R04調査	計画時からの増減	R02からの増減
				調査年	値							
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○	45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	38.0%	▼	38.0%	▼	—
2	健康管理に努めている市民の割合	○	66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	72.4%	△	73.4%	△	△
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	10.6%	△	11.4%	△	△
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	30.0%	H25	7.7%	6.3% (注2)	▼	10.0% (注2)	△	12.2% (注2)	△	△
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	10.3%	△	13.0%	△	△
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合 (60歳以上)	○	65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	56.9%	▼	56.1%	▼	▼
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合 (60歳以上)	○	55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	48.2%	▼	44.2%	▼	▼
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合 (65歳以上)	○	30.0%	H23	21.9%	8.0% (注3)	▼	9.5% (注3)	▼	9.4% (注3)	▼	▼
9	健康管理に努めている市民の割合 (60歳以上)	○	75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	82.4%	△	82.6%	△	△
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○	88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	88.2%	△	85.6%	△	▼
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○	83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	85.7%	△	82.8%	△	▼
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○	44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	20.6%	△	24.1%	△	△
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○	59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	27.5%	▼	32.6%	▼	△
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○	28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	6.3%	▼	8.5%	▼	△
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○	74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	76.7%	△	74.2%	△	▼
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○	60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	71.0%	△	76.7%	△	△
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○	60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	63.4%	△	63.7%	△	△
18	週1回以上スポーツ(運動)をする市民の割合	○	45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	51.7%	△	50.8%	△	▽
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○	43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	23.3%	▼	21.0%	▼	▼
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○	36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	18.9%	▼	17.4%	▼	▼
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○	25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	22.9%	△	20.7%	—	▼
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	71.7%	▼	75.9%	▼ △	△ △

注1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は1ポイント以上減少を示す。

注2：分母を20歳代～40歳代の子育て世代の回答。(参考：市民全体ではH28：5.2%、R02：9.0%、R03：9.2%、R04：11.9%)。

注3：現状値は65歳以上6,578名の回答に対し、H28調査は275名、R02調査は357名、R03調査は291名。

注4：網掛けは目標値を達成していることを示す。

6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略及び令和 3 年に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

第 2 期根室市創生総合戦略では、第 1 期根室市創生総合戦略の総括及び今後の社会経済の潮流を踏まえ、人口減少問題や雇用情勢の変化、新型コロナウイルス感染症による地域社会の変容、医療、福祉、教育など社会全体への未来技術の活用に向けたデジタル・トランスフォーメーションの推進、技術革新（Society5.0 の実現に向けた技術活用）や持続可能な開発目標 SDGs、今後の段階的回復に向けたインバウンド対策などの新たな視点に着目した施策が立案されている。

6. 1 基本目標別の施策実施効果の評価検討

令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、戦略理念、基本目標は、第 1 期根室市創生総合戦略の基本目標を原則引き継ぐとともに、国や北海道の長期ビジョンを踏まえ、新たな施策を追加している。

このため、今回は、第 2 回根室市創生総合戦略の施策体系に基づく評価検討を行うこととし、第 1 期根室市創生総合戦略を踏襲している施策に関しては、昨年度までの評価を踏まえ市民意識の観点からの施策実施効果についての評価検討を行う。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し市民意識を整理した。

第 2 期根室市創生総合戦略においては、第 1 期根室市創生総合戦略と同じく「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性をはじめ、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、段階的に移住・定住から関係人口、交流人口の受入れまで、人の流れを更に生み出すことを目標として、以下 3 つの基本目標が引き継がれている。

○雇用対策

「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

○子育て支援

住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

○人材育成

みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

(1) 基本目標1 「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け、第1期根室市創生総合戦略に引き続き、以下の経済・雇用対策が推進されている。

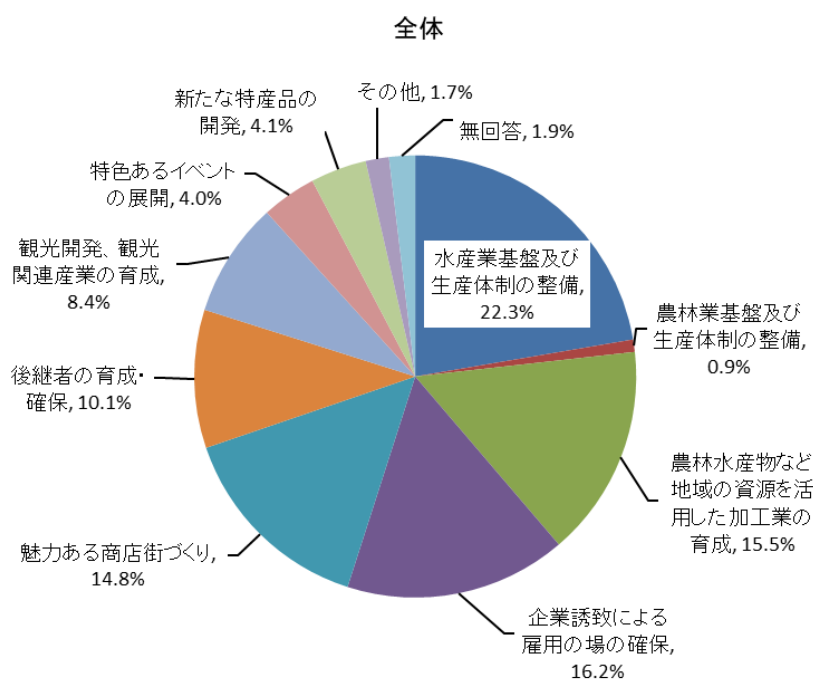
- a) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- b) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実
- d) U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

1) 産業振興について重要だと思う施策

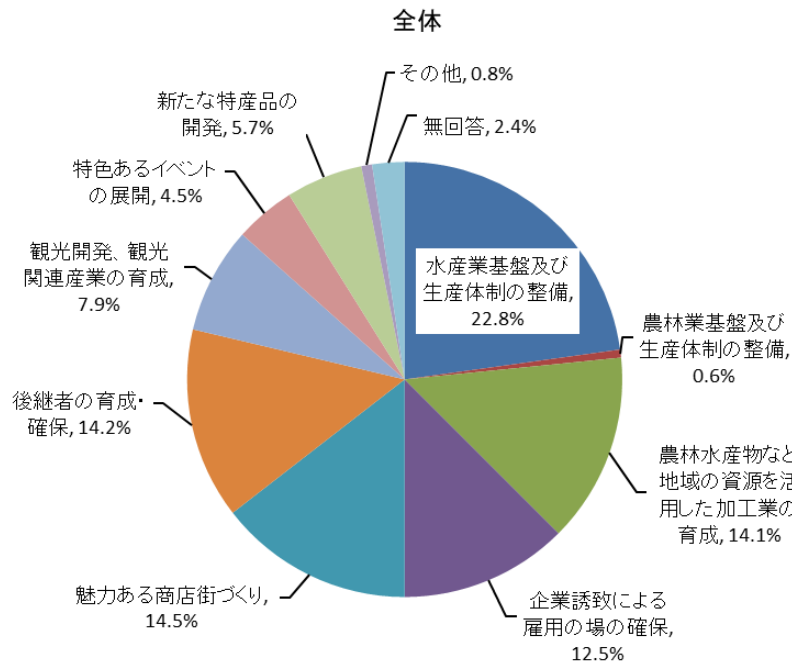
根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。この結果は昨年度調査の結果と同様であった。また、これに次ぐ施策には「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「後継者の育成・確保」があげられており、「企業誘致による雇用の場の確保」の割合が増加している。

平成28年のロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止、近年のサンマ、秋サケ漁の不漁、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的影響に加え、令和4年2月以降のロシアによるウクライナ侵攻等などの要因も加わり、根室の基幹産業に対する不安感が増している状況が、さらに強くなっていると同時に、短期での経済対策効果への期待が強くなっている状況が伺える。

<令和4年度調査の結果>



<令和3年度調査の結果>



2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から経済・雇用対策に関する意見をみると、漁業と若者の雇用の場に関する意見が多くあがっていたほか、商業や観光の振興などに関する意見もみられた。

特に、育てる漁業への転換に関しては、すでに市の政策としても継続的に推進されているところであるが、我が国とロシアとの関係悪化という根室市の漁業にとって、さらに厳しさが増した状況下では、早期の成果が強く求められているところである。

また、意識調査では企業誘致に対する期待が強くなっている状況が伺えたが、一方では、地場資源の見直し、新商品の開発、地場企業の取組推進等、企業誘致に頼らない産業振興をすべきとの意見もみられている。

<経済・雇用対策の推進>

年齢	問 22 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市にローソン、ファミマあれば良い。 ・都会に流出しないよう、企業(大きな)受け入れ態勢をして欲しい。 ・ロシアに頼らず資源保護、養殖に力を入れるべき。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・一次産業が厳しくなっているので、就職できる環境づくりを考えていかなければ、人口も減少していく。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的な意見としては、①インフラ整備(災害対策) ②定住促進(助成金、減税等) ③企業誘致(税の優遇措置)を押し進めて頂きたい。 ・失われていく町の経済力と人材への投資と分配を行って頂きたい。 ・民間企業には多様なリソースがあるので行政単独ではなく民間とも協業すべく積極的なアクションを行政は起こして欲しい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 若者向けの服とか、流行の物を多く取り扱うような店が欲しい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 一次産業(漁業)が活気づけばいいのですが、どうしたらいいものか。自然相手の物なので。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市ならではの物産品の開発や観光開発

年齢	問 22 意見・提案
	・高齢者に向けたサービスなど
30 歳代	・漁業者への補助が足りないと思います。
30 歳代	・企業の誘致や移住者を呼び込みでもしないと、よりさびれていくのではないのでしょうか。 ・水産業に活気がなくなったら、他に価値が見当たらない。 ・他の市町村の成功した取組でも参考にして根室市もチャレンジしてみてください。 ・ドローン、スケボー、eスポーツなどで若者を呼び止められないか。
30 歳代	障がい者がもっと働ける場を作ってもらったり、社会参加ができるような町になってもらいたい。
30 歳代	・根室の経済発展が今後何よりも重要。生活水準は現状問題ない（不便はあるが）。それには、根室の資源価値を正確に捉え、価値向上を図る事、地元企業が自らアイデアを出し、挑戦できる体制を整備することが重要である。 ・安易に企業誘致という事を考えがちだが、結局はその企業に主導権を握られてしまう。釧路の「日本製紙」、厚床の「明治乳業」のように。業績が悪くなると撤退してしまう。つまり地元企業が知恵を絞り、中長期的に成長していく事で、雇用も創出され、若い人が根室を誇りに思うと思われる。 ・そういう意味では、陸上養殖、ホタテ資源増大などの取組みに注力して、最終的に収益化につなげられるように頑張ってください。 ・根室は人口が減少し、中標津と比べ活気がなくなりつつある（水産資源の減少など）人口密度（人口減少）が低くなっていることを嘆くのではなく、志の密度を高め自立した魅力ある街づくりを行っていただけるように自治体の支援、貢献を期待している。
50 歳代	・現実、漁業の後継者がいなくなってきているので、若い人にもっと漁業への関心を持ってもらいたいです。
65～74 歳	・美味しいエビの時期になると毎年思う事、エビを小さい(SS)として店で売ってますが、小さいうちに獲ってしまうと、大きくなるエビは無くなります。あまり小さいエビを獲らないようにして育てる事を考えてはと思います。
65～74 歳	・基幹産業である水産加工業が転換期にあると思います。ウクライナ戦争後の対応は見えませんが、根室市の基幹産業は水産加工業であることに変わりありません。新しい確実な対策が求められます。 ・一には「養殖」事業の拡大。二には観光事業との合体を求めていきたいと思っています。 ・関係大学や道・国の機関とも協調して、根室半島に海老蟹類の研究施設を併設した世界的規模の水族館を建設したらどうでしょうか。世界中のとは言いませんが、海老や蟹の料理を提供できるようにします。一大プロジェクトとして考えていただきたいと思っています。
65～74 歳	・養殖事業に特化した水産業の展開(近大のマグロ完全養殖の実現をみて気候などに左右されることなく、安定した経営が見込まれる)を推進。
50 歳代	宅配（生活物資等）してくれる業者がない。イオンネットスーパーのような仕組みがあるといい。有事に買物に外出できない人には必要なこともある。ネットスーパー機能のようなものがあればいい。民間業者でもいいのですが。
30 歳代	・魚も年々減少してきて水産業界はかなり大変です。養殖場など造って雇用確保したりできないのでしょうか。 ・市内の商店街でのみ使用できる商品券、食事券、無償で市民全員に配布してほしいです。（厚岸町民がうらやましいです）
60～64 歳	・根室の特性を活かした町づくりによる移住者増もしくは企業や学校の誘致による人口増の二択となるが、思い切った施策が必要である。
50 歳代	数十年前のような豊かな漁場になってほしい。
65～74 歳	・漁業について。ロシアとの関連で漁獲できる魚がどんどんなくなって、漁業が基幹産業の根室は夕張のようになるかも。養殖産業は芽が出るまで何年もかかる。養殖が必要であったことは何年も前から予想できたことと思います。 ・養殖といっても色々あると思います。例えばチョウザメ、ふぐ、紅サケ、マグロなど。それが根室の名物になれば、観光客、企業進出、人口流入と。養殖にもっと予算をとって、あとは実行するかどうか、日本全国成功している所に行って学びだけやる気があるかどうか。 ・ただ指をくわえて人口が減り、さびれていく根室をみつめているのか。
50 歳代	・私は、漁業関係の仕事をしていますが、仕事があるときと、ないときの収入が違いすぎるので、現在の賃金が 900 円ぐらいなので、時給を上げて下さい。とても生活が苦しいです。（ガソリン、物価の原因で） ・あと、役所の中の人でとても対応の悪い人がいて、相談に行ったのにきちんと聞いてくれなかった事がありました。だから相談に行くことをやめました。2 年前の話です。
60～64 歳	・60 代でもまだ仕事はしているが、飲食業がコロナ的になってしまい、飲食が悪者になりがちです。感染対策をきちんとしていても、客足は伸び悩んでいます。根室市でもなんとか飲食業会を助ける支援をお願いしたい。
30 歳代	・経済：近年の漁獲量減少の影響が大きいので、育てる漁業、持続可能な漁業に対し支援する。
40 歳代	・ショッピングモールなどの充実（買い物したり、見たり楽しむ所が無いです）
50 歳代	・就職して、関東から移住してきたものです。何よりも夏の涼しさ(寒さ)は絶対に武器にすべきです。 ・北海道産の作物、そして根室の水産物はほんとにおいしいです。そのことをもっと前面に出して退職者向けの移住者、別荘シーズンのみの居住地を作り、アピールすべきです。

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> ・高学歴の方も住まわれるかと思います。アルバイト的な額を出して放課後など学習サポートシステムが作れたらいい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業が採るばかりではなく、育ての漁業にもっと力を注ぐべき。 ・人が転出する分、転入してくるような施策や企業誘致をした方が良い。もしくは、交通費を市が負担するなどして市の人口を増やす。3万人台へ戻すためにはどうしたらよいかを考える。税収がないと行政のサービスも少なくなってしまう。観光客のためのイベントもできないので、段々衰退してしまう。
65～74 歳	<p>根室市の人口減が気になります。</p> <p>静かで穏やかとは思いますが、以前にぎわっていた町の中心部は、今はシャッター街と成り寂しい限りです。今後、若い人達が働ける根室市に戻ることを願う所です。</p>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業だけでなく、根室市といえば〇〇というようなブランド等で知名度が上がればと思います。未来の子供たちが根室に定住できる根室市になりますように。色々と有難うございます。
40 歳代	<p>基幹産業である水産業をいかに活性化させるかが、根室市が持つポテンシャルの引き出しにつながると思います。前浜での漁獲量減少により、加工業はグローバルに調達先を確保できている企業とそうではない企業に二分されており、安定した原料供給が無ければ、持続可能な産業の維持・発展は困難です。海面または陸上養殖の研究が市で進められていますが、思い切った予算をつけてデジタル化や遺伝子工学といった最先端テクノロジーを導入しながら栽培漁業の育成に取り組むべきだと考えます。国内視察だけでなく、海外事例の調査・研究にも取り組みながら、持続可能な基幹産業の再構築に頑張ってくださいたいです。</p>
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事場を増やしてほしい。

②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

また、新型コロナウイルス感染拡大を契機としたテレワーク等の新たな就労形態に対応したワーケーション受入れ、根室市の医療が抱える課題解消に向けた医療従事者、介護人材の移住促進に向けた取組みが進められている。

- a) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化
- b) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、これまでの調査の結果と同様に観光振興に関する意見は多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容としては、宿泊施設の整備、自然、地理条件（東端）など根室市が有する資源の有効活用など、これまでと同様の意見が多くを占めていたが、漁業や農業、あるいは自然等の新たなアイデアに基づく体験観光の創出が必要との意見も多い。

特に、宿泊施設の整備、新たな観光スポットの創出に対する意見が多かった。

このほか、移住促進に向けた住宅環境の整備と情報の発信強化に関する意見もみられている。

<交流人口の拡大>

年齢	問 22 意見・提案
75歳以上	・地方から人を呼ぶようなインパクトのあるイベントが全くない。
40歳代	・根室市は漁業が衰退してきているため観光に着目することが大事。特にノサップ岬周辺を行政で公共事業として整備し、観光ホテル業を誘致してはどうか。「日本で一番朝日が早い」所なので温泉につかりながら朝日を眺めることができるような、環境づくりを希望します。 ・観光素通りの「まち」根室から1泊してもらえる「まち」にすることで観光業が上昇すると考えます。なにか生き残る対策を総合政策室の職員だけでなく市全体でプロジェクトして欲しいと強く切望します。
50歳代	・明治公園の近くにキャンプ場を作ればよい。 ・天然温泉を整備し、宿泊も可能な施設を。
30歳代	・移住・定住を推進していくために、住宅事情に関する情報発信を市で真剣に取り組んでほしい。土地・空家・賃貸・売家等に関係する業者情報など。これらの情報が得られないと移住・定住はむずかしい。「民間業者への付度になる」などの考え方は捨てて、積極的な情報発信に努めることが、移住者・定住者を増やすことにつながると思う。これらは、新しい取り組みではなく、すでに取り組んでいる地域もたくさんある。視野を広くして取り組んでほしい。
20歳代	・観光客に向けて何が有名で人気があるのか知らない人が多いので、全面的に広告を出してほしい。 ・観光地だけでなく、市外から来た人達に向けて若者でも気軽に遊べるような施設を作ってほしい。(インスタ映えするような)
20歳代	他の地域から観光客をたくさん呼んで、お金を使ってもらうようにしてほしい。更には根室市に対して住みたいという印象を持ってもらい、人口増加及び商業の活性化につなげてほしい。
20歳代	・友人の多くは釧路までが道東の最終地点として戻ってしまう。あと125kmを時間をかけて根室まで来たいと思う観光やイベント、体験型の観光などに力を入れてはどうでしょうか。 ・また、ホテルが古いので泊まる場所が限定され宿泊を釧路にされる方が多いです。もう1～2施設きれいなビジネスホテルがあればと思います。温泉が無い分その辺に力を入れてはどうでしょうか。
30歳代	最東端のブランドを活かしてないと思う。これを活かした「観光事業」を推進すれば活気が出ると思う。
30歳代	・観光スポットを増やす（水族館、せり体験など） ・高速道路など交通の便をよくする
60～64歳	・根室市ならではの物産品の開発や観光開発 ・高齢者に向けたサービスなど
65～74歳	市内にはキャンプ場として特別な場所がないので、考えてほしい。
50歳代	・国道をきれいに地方の人にもきれいな街を見せたい。

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> ・市外に出さない。市内に人を呼びたいと思います。温泉でも出ればいいのですが、宿泊してまで見る所が無いと思います。海の幸、山の幸が豊富なのもったいないです。コロナが流行する前から思ってたのですが、根室で要所を見たら川湯方面等へ泊る方がとても多いと思います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・水産資源が沢山あるのに、活かしてきていないと思う。根室駅前に場外市場的な環境客が楽しめる施設を作れば良いと思う。海鮮を食べられる店が少ない。観光客は結構求めています。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・観光や企業誘致、市外からもっと人が来るような活気ある明るい町がいい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の新たなシンボルとなるような宿泊施設を建設する。部屋の大きな窓から景色が見えて、最高級の料理が食べられるようなホテル。根室は天気が悪い日が多いので、おもてなしや建物を楽しめるようなホテル。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市は一番端っこにあるから、あまり観光客来るイメージないので、温泉掘って立派な施設あったらもっと活気出ると思う。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・最東端のノサップ岬の観光地をきれいに魅力的な物を何か。 ・特産品を開発して見る所を増やしてもっと文化会館にコンサートや映画など観られたらいいな。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の特性を活かした町づくりによる移住者増もしくは企業や学校の誘致による人口増の二択となるが、思い切った施策が必要である。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の人たちのために、ミスド等チェーン店の誘致や移動販売車の誘致して、根室市で週末を過ごしてもらえる工夫をしたらいいと思います。 ・また、せっかく国指定文化財があるのでそれを生かした観光づくりをしたらいいと思います。花咲線とセットで売り出すと人気がでると思います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市場を作って海産物などをそこで食べられて、帰りはお土産を買える所があれば、観光客も増えると思う。 ・いいホテルがあまりないので、素通りになっていると思う。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報」アプリが必要。根室だけの情報。グルメ、ファッション・カルチャー、アート・写真など。 ・「スポーツ&ゲーム施設」「健康・体力づくり」市民参加できるように、楽しく遊べる場所がほしい。 ・「カプセルトイ」も面白いと思う。みんな集めたくないので？激レアあったらいいな。根室に関するもの、地元産のレシピ料理、キーホルダーカード、ミニチュアシールステッカーなど。
75 歳以上	<p>下記のようなミニ植物園のような施設を作ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花畑をおおきくしたようなもの ・庭園のような所もあった方がよい ・見晴らし良い所に、休憩所がある(ガラス張りの) ・軽食できる喫茶店があればよい。 ・根室の山野草も植えてほしい ・低木(千島桜やツツジ類等)の並木もあってよい。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・就職して、関東から移住してきたものです。何よりも夏の涼しさ(寒さ)は絶対に武器にすべきです。 ・北海道産の作物、そして根室の水産物はほんとにおいしいです。そのことをもっと前面に出して退職者向けの移住者、別荘シーズンのみの居住地を作り、アピールすべきです。 ・高学歴の方も住まわれるかと思います。アルバイト的な額を出して放課後など学習サポートシステムが作れたらいい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・チャシ跡を安全に見学できるように整備してほしい。雑草が生い茂っていてとても気軽に見に行ける場所ではない。せっかくの観光地がもったいない。それができないなら、完全防備で行くよう促す等した方が良く思う。 ・根室の歴史を根室市民が知らなすぎると思う。知る機会を増やす。小学生の授業でもっと深く掘り下げる等。チャシ跡、戦争、北方領土・・・ ・ソーラーパネルが増えすぎて景観を損なっている。そんなに必要なのか。牧の内にあるもの下には、文化財など何も埋まってないのでしょうか。
75 歳以上	<p>根室の涼しい夏と広々とした風景、新鮮な魚貝類、滞在時は空き住宅を安い料金で提供することを本州方面(都会)にPRする。</p>
65～74 歳	<p>夏でも 20℃前後と非常に住みやすい街だと思います。今各企業ではコロナ禍の影響もあり、テレワークの業務が全体を示しており、すずしい根室で仕事をさせてはどうですか。(仕事の能率は格段に上がると思いません。宣伝をよろしく)</p>
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の方々が楽しめる場所がもう少しほしい。(オーと感動もらえる整備された道路、路肩、インスタ映えする場所作り)

(1) 基本目標2 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①Society5.0（ソサエティ5.0）時代に向けた人材育成

第2期根室市創生総合戦略で追加された施策であり、次代を担う子どもたちの確かな学力向上に向けた取組みが推進されている。

a) 良好な教育環境の整備と義務教育の充実

1) 教育環境に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、根室市の教育環境に対する市民意識についてみる。

市民の根室市の教育環境に対する満足度意識について、昨年度までの市民意識調査の結果と比較してみると、平成30年度以降は、概ね不満と感じている市民の割合が減少、満足と感じている市民の割合が増加基調にあることが伺える。

教育環境に対する市民の満足意識の変遷

項目	満足									不満足								
	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増 減	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増 減
「子どもの教育施設や教育環境」について	10.5%	10.9%	6.8%	5.9%	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	△	19.3%	23.2%	21.9%	25.7%	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	▼

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す

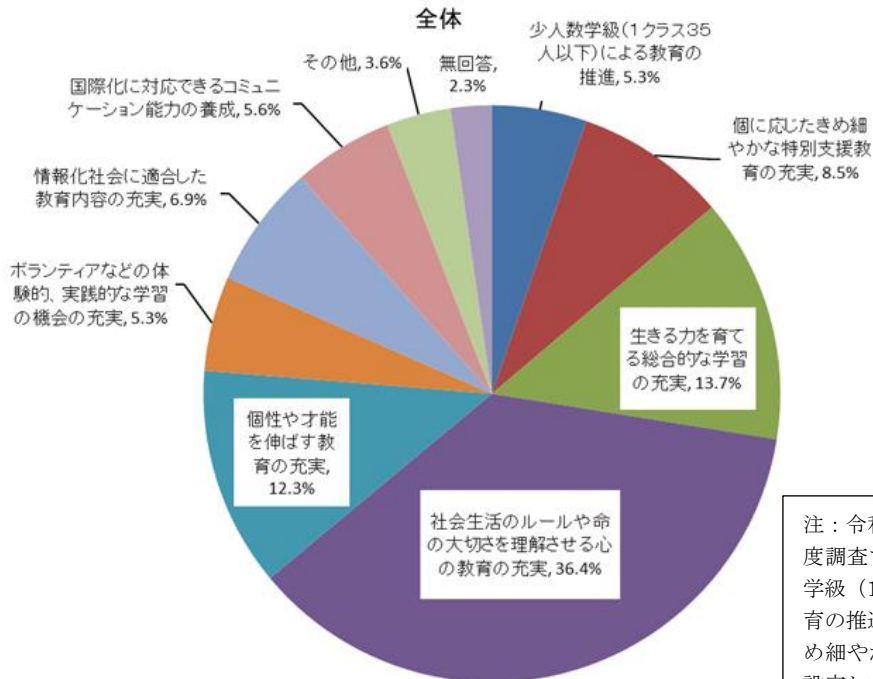
△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2) 教育環境について重要だと思う施策

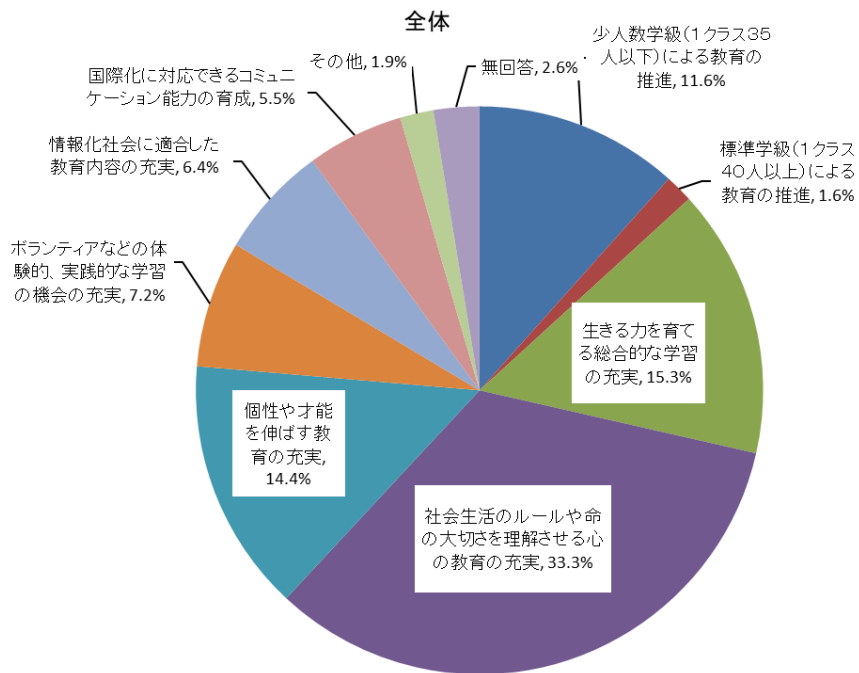
根室市の教育環境について重要だと思う施策についてみると、例年と同様に「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあがっている。

また、今年度調査で新たに追加した「個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実」が重要との意見が多く、これら3項目に次ぐ回答割合となっている。

＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞



3) 教育環境についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、高校卒業後の進学先、教育費支援に関することについての意見が多かった。

その他、ICTを活用した教育のあり方に関する意見もみられた。

＜教育環境に関する意見＞

年齢	問 22 意見・提案
40 歳代	・子育て世帯は世帯年収ではなく、子の人数で減額等を考えてほしい。根室管内に大学や専門学校の進学先がないのは経済的に大変だと思う。学力が高くても生活費が出せなければ大学にも進学できないのでは。
75 歳以上	将来、高校を出て地方の学校に行かず地元で学べるような短期大学(水産学部)等があると、漁業又は事業者の後継に心配なく子育ても出来ると思う。今の情報化時代、学ぶ事が大事、それと水産の町に水族館があった方が子供達の夢が学べると思う。
18 歳未満	・学校について、昨年から ICT 端末が学生に配られました。ほとんどの授業で使っていません(むしろ使うと遊ぶなど怒られます)。このため学生は ICT 端末を休み時間に動画を見るデバイスとして使っています。それは本当に意味の無い事です。 ・それを避けるために学校の先生全員に ICT 端末の教育をして欲しいです。操作を理解してもらうのはもちろん、これから ICT を沢山活用していくためには、ICT 端末に対しての偏見をなくしていく必要があると考えます。 ・私も先日、休み時間に文化祭の音源を使っていたら、パソコンを学校に持ってくるなど怒られました。そうならないために学校の先生に ICT 端末の教育が必要です。よろしくお願いします。
65～74 歳	・子供の保育費が高い、3 人目から無料とか。3 人なんて無理でしょう。給料が安くて、2 人で働けば保育料が高く、2 人で働く意味がなくなる。ふるさと納税が沢山あるのだから、1 人目から保育料出してあげればいい。白糠町の様に子どもに使ってください。
65～74 歳	・単科大学の誘致(本来であれば水産大学としたいが巨額の設備投資が必要だと思うので)をして、若者が当市に在住することで地域の活性化を図る。
50 歳代	・教育予算の充実を。市民が子育てしやすいように。保護者負担軽減対策を進めてほしい。具体的には、教材、ワークブックの購入費用の補助もしくは全額公費負担。修学旅行費用の補助、給食費は永久的に公費負担、数年後の iPad の更新も公費負担。 ・保護者、児童、生徒がお金の心配をしなくて学校に通えるような環境にして欲しい。もっと教育に税金を使ってほしい。教育費の負担が軽減されれば、少しは住みやすい街になります。経済対策だけではなく、教育にお金を回してほしい。
40 歳代	・小中学生の成績が完全二極化している。親の意識として勉強なんてしなくてよいと言う方も多い。学校でのセミナーや説明会など親の意識を変えないと市の成績はあがらないのではないかと。クラス崩壊、授業崩壊の話をよく聞く。 ・学校からのアンケートで少人数指導や TT (ティーム・ティーチング) はどうかと言う質問があったが、その前にやるべきことがあると思う(学校へ教育委員会から指導など)。ふるさと納税を活用して、先生方の研修(学力上げた学校へ)など出来ないのか。何年かしたらいなくなるかもしれませんが、いる間に少しでも成果が出るのであれば子どもたちの為になると思う。 ・若い先生を根室市で育て、根室市に行けば研修に行けるとなれば、向上心の高い先生が来てくれるかもしれません。
20 歳代	学生がもっと地域の人と密に接し、特産品となるようなものを考えたり、街をまきこんだイベントをすると何か面白いことが起きそう。またそういった活動を行っている学校と関わる機会を与えらるともっと充実した学生生活が訪れると思う。
40 歳代	・根室には、大学や専門学校など高校を卒業したあとに学ぶ場所がないため若い世代がどんどん出ていき、働く場所もあまりない。若い世代が残れる根室を作してほしい。 ・子供が減ってきている中、体育の授業など普通の学校で経験していることができない状況もあって、引っ越しを考える人も多いので、根室の学校で学んで良かったと思える学校づくりをしてほしい。

②子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進
- c) 保育施設の整備と多様な子育て支援サービスの充実

1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、昨年度までの調査結果と比較してみると、平成 30 年度以降は、給食費の無償化、保育費無償化、医療費の無償化など、年々充実した経済対策の実施により、不満意識は減少傾向にあり、満足と感じている市民の割合は増加にある。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足									不満足								
	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	13.0%	8.1%	10.3%	7.9%	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△	17.4%	26.3%	17.5%	25.8%	28.9%	46.4%	47.7%	45.5%	▼
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	11.9%	9.2%	9.0%	6.1%	5.8%	4.9%	5.2%	—	—	21.0%	26.9%	20.0%	28.1%	31.1%	42.1%	41.6%	—	—

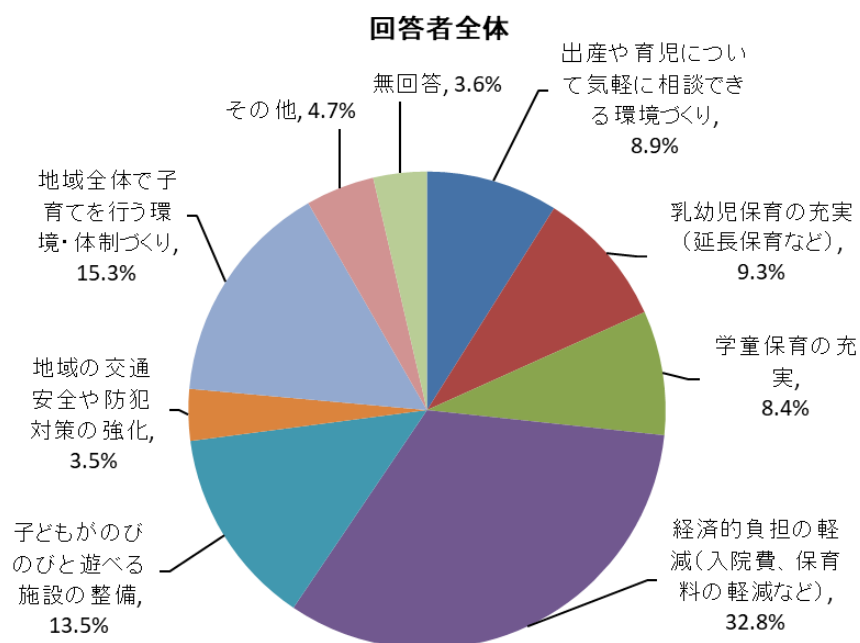
注:※は平成28年度調査から追加した項目
 :増減は、計画策定時に対する増減を示す
 △は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

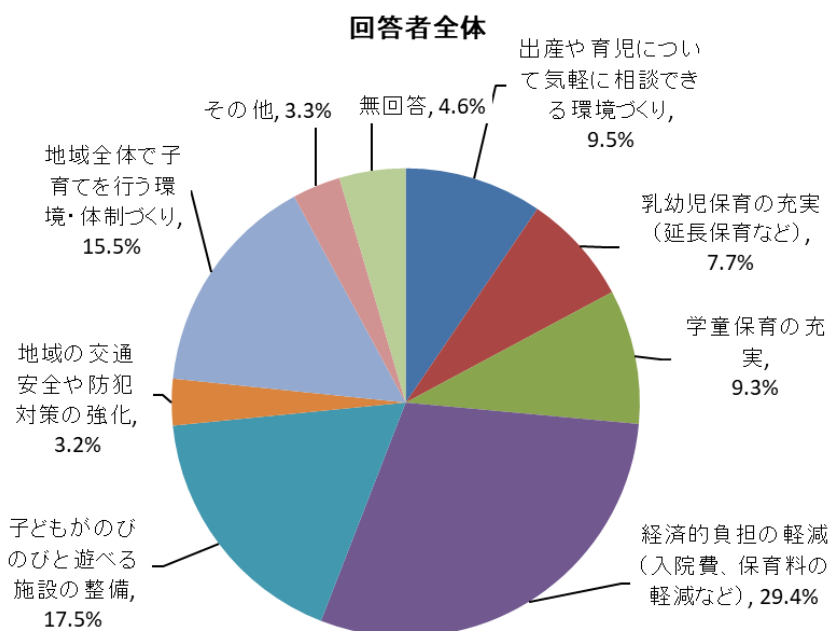
次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が多い状況は、昨年度までの調査結果と同様であった。

ただし、毎年、要望の高かった「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」に関しては、令和 3 年 12 月に子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）が竣工したこともあって、順位を下げている。

<令和 4 年度調査の結果>



<令和3年度調査の結果>



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、近年の給食費、医療費、保育費等に関する支援策の実施や、子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」(愛称：わんぱーく)の整備などにより、概ね、子育て対策については、充実しているとの評価が多かった。

しかし、子どもがのびのびと遊べる施設整備のさらなる充実、経済対策の支援対象の拡充などに対する意見も多くあがっていた。

また、これまでの調査においても散見されていたが、障がい児支援対策、放課後児童教室の時間制約の緩和に関する意見も複数件あがっている。

さらに、出産祝金の拡大、婚活支援等の少子化対策に対する意見もあがっている。

<子育て・少子化対策に関する意見>

年齢	問 22 意見・提案
30 歳代	子供が遊べる公園、水遊びとかが出来る場所 (夢の森みたいな) も欲しい。コロナで出かけられないけど、根室だと全然遊べないです。
50 歳代	・「ふるさと遊びの広場」(愛称：わんぱーく)みたいな遊ぶ場所をまだまだ欲しい。
30 歳代	・乳幼児用のカートを置いて欲しい所がある。 ・コロナ禍のため保育園の休みが多く、仕事も休まなければならないためかなり働きづらい。必ず休園にしなければならないのか。何か良い対策があれば嬉しいです。(インフル同様 1 人 2 人出たくらいは休園にならない等)
30 歳代	・子供服売り場を充実させてほしい。 ・わんぱーくも正直入りづらい。温根元など半島地区にも目を向けて小さな公園でもいいから作ってほしい。
65～74 歳	子供からお年寄りまで楽しめる場所・施設の整備が必要である。例えば町中心部に公園を整備するなど市民からもっともっとアイデアを聞くべきである。
40 歳代	わんぱーく最高です。
30 歳代	市で取り組んでいる子育て支援などは「がんばり」が伝わります。ありがとうございます。
20 歳代	子育て支援に力を入れてほしい。私も 6 月に子供が生まれるが、妊婦検診などの費用が高額で、経済的に厳しいと感じたので、経済的支援を拡充してほしい。
30 歳代	・さくらもすぐ散って残念でしたが、町には花が少なく、せつかくの景色も楽しめない。こいのぼりもなく残念。建設が難しいなら、学校グラウンド開放して(市民プール・体育館など)遊べる空間を少しでも作ってくれる

年齢	問 22 意見・提案
	と親子共々リフレッシュできると思います。
18歳未満	・高校生など15歳以上にも支援がほしい。
20歳代	放課後児童教室の利用時間について、7:30～18:30に変更してほしい。こうした市民の声をよく聞きます。女性が働きたくても8:30～17:20では無理。加工場での男性を応援できる時間ができたらどれだけ喜んでくれるでしょうか。時間延長を期待しています。
18歳未満	・子育て世代には給付金が次から次へと給付され、手当でももらえる。しかし、実際はお金がかかる高校生以上では、そうした支援がない。同じ子供として学生として平等ではないと思う。根室市独自の政策があっても良いではないか。子供が少ない多いでも差があり平等ではない。
40歳代	婚活イベント(TV)を誘致してはどうでしょうか。
60～64歳	・近年、発達障害不登校と言う言葉が耳に入ります。ですが、そういう子供達に対して親がどうしたらいいのか、何処に相談したらいいのか分からないと言う声も聞こえて来ます。学校の専門の教員も足りて居ないのでは無いのでしょうか？ ・高齢者の福祉問題も重要だと思いますが、これからの根室を支える子供達が自由に個性を伸ばし、地場産業を支えて行くための授業や見学等の体験が必要だと思います。そのためにも高齢者との交流等も必要なのは？花咲港小学校の後を上手く活用出来ると良いですね。
30歳代	運動公園にわんぱーくが出来るととてもうれしく思っていますが、外の遊具をもう少し増やしていただけないと思います。噴水等もあつたら子供たちも喜ぶと思います。
30歳代	子供が遊べる公園をもっと増やして欲しい。
20歳代	共働き家庭などで子供が病気等で早退、お休みなどしなければいけない状態の時に預けられる、病児保育や休日祝日夜中でも預けられる場所があるとひとり親の家庭や働く人達、子育てに悩む人等様々な家庭に需要があると思います。1人目からの保育料無償化を希望します。
50歳代	放課後教室の利用時間は、平日は正午から午後6時まで、長期休業期間や土曜日は午前7時30分から午後6時までに見直していただきたい。現在の8時30分から17時20分では子供が一人で留守番する時間があり、仕事が手につかない、不安です。
30歳代	子供や若い世代の遊ぶ場所がない。カラオケも軒しなくなり、ゲームのある店もイオンの小スペースしかない。
20歳代	・子育てがしにくい。無駄が多い。税金がどう考えても高すぎる。そのくせ何の支援も感じない。そもそも普段から国から支援を受けている母子家庭ばかり手当を厚くされ、実際きついのは一般家庭。 ・本当に困っている母子は相談からの実施で十分。共働きしないとならなく子育てを取り組めないしコロナで休園続いて生活困っている方もたくさんいる。後、亡くなった祖母も冬も暖房すらつけられず、毎日辛抱しながら生活している姿がとても辛かった。誰も現実の問題を見てくれてないと思った。母子の方が豊かな暮らしをしているばかりで、偽装離婚すら考えてしまうような町だと思う。少子化問題に直面しているならまず夫婦いる生活の方の子育てをもっと応援してほしい。
30歳代	・まちづくり→子どもが少なくなっている。子育てがしやすいように、子どものための施設を建てるべき。保育園、遊び場、一人親のための子どもを無償であずかる施設など。
20歳代	・根室市のみならず、日本全体の問題ではありますが、やはり少子化が非常に深刻な問題であるとの危機意識があります。私はまだ独身で家庭を持っていないため、直接的に問題と関わっているわけではないのかもしれませんが、それでもやはり今のままではいけないと感じています。 ・兎にも角にも妊娠・出産・育児への経済的な支援が最も必要であると考えています。私を含め、私の周りには子供を授かりたいと考えている人(主に20代)が多くいますが、彼らのほとんどが経済的な事情を理由に子を産むことを決断できていません。贅沢な願いかもしれませんが、「貯蓄をせずとも迷わず妊娠・出産を決断できる環境」があればその地域は必ず人が移り住み、活気を与えてくれると思います。今の若者たちはとにかく貧困に苦しんでいます。どうか、将来世代への投資を今後もお願いします。
20歳代	・若者とお年寄りの交流の場を作ってほしい。 ・子供の遊び場の増設 ・交通マナーが悪いと感じるため、取り締まりの強化と思いやりを大切に車の運転をするように呼び掛けてほしい。
18歳未満	・納沙布線バスを使って登校していますが、バス便が少なく、最終の納沙布岬行のバスが「16:20」で学校の放課後講習などが終わるのが「16:40」なので利用できない。 ・結局、親に迎えに来てもらうしかなく、負担になります。定期券も往復で帰えなくて損しています。昔のように「18時」バスを作って欲しいです。せめて「17時」バスでも良いです。授業の終わる時間にバス時間を合わせてほしい。
20歳代	冬、雪で通行止めになった際、子どもが熱を出したが病院に行けないということがあった。なるべく早い除雪が行われるようになってほしい。
30歳代	・おむつ用品購入券支給事業について、令和4年4月1日以降に出生した子が対象とありますが、なぜ1歳に満たしていない子を対象としてくれないのでしょうか。おむつに限らず子育てには色々とお金がかかります。検討していただきたいです。(令和4年度新規事業・根室市子育て世帯生活支援事業(乳児おむつ用品購入券支給事業について))

年齢	問 22 意見・提案
30 歳代	昨年出産し、子供に障がいが残ってしまいました。正直このような状態で人口の少ない街での子育てはどのような支援があるのか等分からず、将来に不安しかありません。ただでさえ家賃相場、水道料、国保、ガソリン等が高く、給料も少ないのに。子供の為に釧路の病院へ通院していますが、道も遠いので大変です。病院に通いやすく、保育園に看護師さんが配置されていて、家賃相場ももう少し安い街、他にあって思いうのでできれば引越しがしたいです。
40 歳代	・ふるさと遊びの広場、思っていたのと違ってちょっと残念。予算もありますが。中標津の道立ゆめの森公園のようにしないと中途半端な広場であまり行かなくなりそう。道立ゆめの森公園の屋外施設のように拡大すると地方客も来てついでに根室の海産物でも買っていかみたいになって根室も潤う事を期待します。(全く同じくしてもあの位の広さがあれば楽しい。逆にあれぐらいないと意味がない)
30 歳代	以前、わんぱーくに行った時、娘(2歳)が遊べるものが少なく感じていたのですが、この前久しぶりに連れて行くと小さい子用の物が増えていて楽しそうに遊んでいました。これからも、どんどん増やしてくれたら嬉しいです。(明治公園にある小さい子用のブランコや滑り台も嬉しい)
30 歳代	・運動公園の施設は小学生までしか利用できないと聞いて愕然としました。しかも、規模も小さい。病院もそうですがせつかく建てるならちゃんとした大きい広いのを作った方が良いのでは。
30 歳代	・小さい子どもを連れて引越してきたばかりですが、子育て支援などは充実していると思います。小児科が1軒しかないのは不安ですが、公園も広くきれいで利用しやすいです。ただ買い物をする場所が少なすぎて10年、20年を根室で暮らすのは正直厳しいと感じています。
30 歳代	・子どもの遊ぶ施設をもっと充実してほしい。「わんぱーく」は出来て良かったが幼児が遊ぶものがないので、おもちゃを増やしたりしてほしい。 ・出産も一時金などであるのはありがたいが、検査など見えないお金がかなりかかるので、子育てを充実したいのであれば出産一人につき「何百万支給」とか、があるともっと若い人も子どもをつくろうと頑張ると思います。
40 歳代	・若い女性という言葉が数カ所ありますが、若い男性という言葉は一度もないのではないですか。結婚も出産も子育ても女性が担う割合が多いのは理解できますが、若い女性の負担が大きいのではないのでしょうか。まちづくりも大切だと思いますし全体的に考える必要はあると思いますが、最終的には「人」だと思います。
30 歳代	・わんぱーくには小さい子(小学校前)が遊べるものがあまりないので、おまごともっとおもちゃを置いたらどうですか。つどいの広場クルクルは休日、日曜やってないので、わんぱーくもそういう遊びができると助かる。 ・今共働きが当たり前の世の中で、1歳から仕事に復帰することがほとんどですが、保育所は3歳から無料保育なので、1歳~3歳までの子を預けるとお金がすごくかかります。収入によりますが、うちは夫~500万、私300万ほど年収で、子1人5.5万/月です。何のために働いているのやら。一旦やめて3歳から仕事を探すこともできるが、今までのキャリアなどなくなるし、1歳からの保育料無償化を切に希望します。
50 歳代	・子どもを安心して育てるためにも、出産祝金はもっとたくさん支給してあげたいと思う。どこかの市町村のように一人目100万円とかの単位でも多くはないのでは？ ・その後の育児に関しても高齢者をいざれ支えていけるまちづくりを望みます。
30 歳代	子供と休日を過ごすのに、わんぱーくぐらいしかない為、中標津や釧路へ出ることが多い。ショッピングモールがあると根室で過ごせるので遠出の必要がなくなり、根室での経済活動にもなり良いと思う。
30 歳代	・出産・妊娠：第一子より出産可能な体制を整える。0~3歳未満児の保育料の引き下げ。 ・子育て：学校給食の充実(バランスのよい献立)、給食費無料化
30 歳代	・もっと若い人向けの娯楽施設があれば良いと思います。 ・小さくても良いので映画館とか水族館とか家族でも楽しめる施設が欲しいです。今の環境だと釧路とかに娯楽を求めるしかないのが辛い。 ・人口の減少を止めるためにUターンを根室市全体で支援して、大学卒業などした人が根室に帰って来やすい状況を作ったりして、若い人を戻すようなことが必要だと思います。 ・根室市で大規模な婚活パーティ開いたり、もっと市で結婚の後押しを積極的にした方が良いと思います。そうすることで少しでも子供の数が増えたり、根室に根付いてくれる人が多くなるのかと思います。 ・とにかく私は若い人を根室から遠ざけないようなことが必要だと思います。
50 歳代	・今のふるさと納税金の使い方がどうも納得がいけない。一部の企業だけ利益があるように思える。市民全員が納得いく使い方を要望します。 ・給食費無償は、のちのち市民に負担が来るのでは。いつまでもふるさと納税はありません。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開をはじめ、医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月に市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、満足と回答した市民の割合は計画策定時に対して 1.1 ポイント増加してはいるものの、昨年度から 0.6 ポイント減少した。

加えて、不満とする市民の割合は昨年度よりも増加しており、不満意識はやや高まっている結果となっている。

このような満足度の低下の要因としては、市内の小児科医院が令和 3 年末に閉鎖されたため、小児科医療は市立根室病院のみとなったことがあげられる。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

全体

項目	満足										不満足									
	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減		
「病院などの医療機関の状況」について	11.4%	12.0%	10.6%	6.6%	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	△	50.8%	47.9%	47.6%	55.1%	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼		

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す

△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

2)医療環境についての自由意見

今回調査における医療環境に対する自由意見をみると、市民の医療環境に対する不安意識が幅広い分野にわたっていることが把握される。

従前からの市立病院の診療科目をはじめとする不満意識や、医療機関の数に対する不満が多い状況があげられるが、周産期医療や小児医療だけでなく、障がい者医療、高齢者の医療・福祉環境に対する不安意識が非常に高い状況が把握された。

<周産期医療と小児医療体制ほか、医療環境に関する意見>

年齢	問 22 意見・提案
50 歳代	・眼科（市立病院）の人手不足をなんとかして欲しい。 ・介護士の人手不足もなんとか育成の段階から高校生、中学生の時からアピールすべきだと思う。
20 歳代	・目が不自由な人でも安心して外出できるよう、整備をしてほしい。
20 歳代	川上小児科がなくなり薬をもらいに行ったり予防接種を受けるのは市立病院しかないのととても不便です。時間もすごくかかるし子供も飽きてしまつてとても大変です。できれば個人病院を増やしてもらいたいです。市立病院は色々な科があったり、コロナの方もいたりするので少々の病状では連れていけないのがとても残念です。よろしくお祈いします。
75 歳以上	・根室市の場合、子育て関連の施設整備はほぼ終了したのではないかと。これからは高齢者が増えるため老人が健康な生活が送れるよう柏陵中学校跡地に高齢者のすべての総合施設を建ててほしい。 ・場所が街の中央にあるため現在の光洋町西浜町の老人施設を 1 か所に集め、効率化を図ってほしいです。すべての老人が参加できる健康施設を望みます。

年齢	問 22 意見・提案
65～74 歳	このコロナ禍での高齢者や重症病者に対する医療場面での理解のできない説明や、他病院との連携がとれていないことを目の当たりにし、本人家族が置き去りにされている場を見ました。医療・看護・介護にかかわる皆さんの倫理的課題が意識されていないのではと感じています。
30 歳代	・病院の受付時間が短く、さらに一人当たりの診察時間が長いため生活を圧迫している。
75 歳以上	・私は 60 代後半に受けた椎間板ヘルニアと脊柱管狭窄病の手術後腰痛がひどくなり、杖をついても長く歩けません。バス代が格安になってもバス停までいけません。そのため家事、買い物等全部を夫と息子にまかしています。今は週 2 回デイサービスに通い、運動や脳リハ、手仕事等をしています。デイサービスがなかったら家にこもりきりになってしまうでしょう。 ・新しい市役所を建てるなら必ずエレベータをつけてください。自由に使えるサロンもお願いします。
40 歳代	コロナ対応・対策をはじめ、市内感染者数等の情報開示に感謝申し上げます。して下さるのとそうでないのとでは、こちら側の意識が変わります。
40 歳代	・福祉業界は人手不足。施設の人員規則など特例的にゆめしてほしい。少ない人数で高齢者の面倒を見て、毎日ヘトヘトになっているのに看護師等の基準を満たせないだけで減算になるなんて、現場の意欲をますますうばう。根室の高齢者の将来を真剣に考えるのなら、もう少し人員基準等をゆめしてほしい。(これは国の問題だとは思いますが)
60～64 歳	・近年、発達障害不登校と言う言葉が耳に入ります。ですが、そういう子供達に対して親がどうしたらいいのか、何処に相談したらいいのか分からないと言う声も聞こえて来ます。学校の専門の教員も足りて居ないのでは無いのでしょうか？
40 歳代	・病院（市立）での長い待ち時間を改善してほしい。
50 歳代	・市立根室病院の健全な運営。信頼できない医師が多い。市民の大切な税金を使うのだから、大きなお金を払っているという自覚が足りないと感じています。市民のための市民に愛される病院理念に沿っていないと感じる。
60～64 歳	・市立病院の血圧計の台数を増やして欲しい事と、ちゃんとした数値が出る機械を導入してほしい。
75 歳以上	1 人暮らしの高齢者とかばかりでなく、市内の老人皆に福祉金などがもらえる様にしてほしい（同居している人には福祉灯油などがもらえない）
20 歳代	・妊婦健診費用をもっと補助するべき
75 歳以上	病院の先生の不足のためちょっとしたことは対処できますが、すぐに釧路にまわされるので、いい先生が来てくれて根室で済むようになったらと思います。
18～19 歳	私は難病指定の病気を持っていて、月に 1 回釧路の病院へ通院しています。釧路の病院へ通う事になったのも、根室の小児科で「この病気には対応できない」と言われたためです。そのため、少し風邪をひいたり、違う症状で病院へかかりたい時は必ず釧路まで行かないといけなくなりました。かかりつけ医が釧路だから釧路でみてもらえと言われてます。根室市から受け入れてもらえなくなったのです。私は今 18 歳です。これから長い人生あるのに住みづらくてしょうがないです。 ・私の祖母も市立病院へかかった時「その症状を診る科は根室に無い」と言われて、釧路の病院へ紹介状を書かれました。根室市だけでは生活が成り立ちません。根室市が独立した国だったらみんなすぐ死にます。
75 歳以上	民生委員による訪問が行われていますか。
20 歳代	冬、雪で通行止めになった際、子どもが熱を出したが病院に行けないということがあった。なるべく早い除雪が行われるようになってほしい。
75 歳以上	私 76 才、去年 11 月～12 月、今年 6 月 1 ヶ月入院。いずれも、釧路の病院で 4 回の手術。まだまだこれから通院もしないといけない状態。本当に大変です。釧路の人がうらやましい。冬になったら根室に住んでられないと思います。人口減少はやはり、病院手術受けられる所がない？痛切にほしいです。あと何年、根室に住めるかなと淋しいです。
60～64 歳	市立病院に先日身内が入院したのですが、その時の医者、看護師さんの対応で少々私達(身内)に対する言葉かけに親切さが欠けるなあと残念に思うことがありました。 みんなではありません。特定の方なのですが。言葉かけて大切ですよ。コロナで面会にも行けず、どんな様子なのか心配な家族にとって、医者や看護さんの言動はありがたいものです。そんな時に、親切さに欠ける事務的な言動はがっかりします。職員の方々皆様で、言葉かけについて、話し合っただけでいいのでしょうか。病院のイメージが悪くなると思います。
20 歳代	・病院が建替えられてきれいになったので良かったのですが、待ち時間が長い、受信できる日や時間が限られており、利用をためらってしまうことがあります。 ・最東端に来てくれる医者は少ないかもしれませんが、何とか確保していただけたらありがたいと思います
75 歳以上	医療の充実・常勤医の確保 ①出産が安心してできる事によって若手人口の自然増へとつなげる ②市内の病院で安心して医療が受けられることが望ましい。現状では釧路市等の病院に依存していることが多い。
40 歳代	・小児科が 1 軒しかないので急病になったらと思うと心配になります。
65～74 歳	・現在、死亡第 1 位のガンについて、市立病院の対応は釧路の病院への紹介が一般的です。手術、化学治療(抗がん剤)、放射線治療があります。高齢者だと手術は体力的に難しい面があるが、放射線治療と抗がん剤治療

年齢	問 22 意見・提案
	<p>で充分対応できると思います。現状は、抗がん剤治療はできるが、放射線治療は機械がないのでこの治療はできないとのこと。いくら医療の地域格差とはいえあまりにおぞましいです。市長に強くお願いしたい。根室市民は全員が全員賛成すると思います。この問題をぜひ実行してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時に公的な在宅介護サービスはありますが、ホスピス＝緩和ケア病棟がありません。これも上記のことと関連しているのでそういう施設を作ってください。
30 歳代	<p>市立病院で働く人の教育をしてほしい。言葉遣いや対応など。人員が不足していて、悪い対応をしてしまうのであれば、看護師(看護師長含め)、事務員、医療介助スタッフを増員してほしい。医療体制の不安からずっと根室に住み続けたいとは思わない。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市老人福祉センターの建替えの話が出ています。西浜センターも学童保育の体育館を借りて利用しています。このセンターをひとつにし、もっと街の近くに建てられませんか？
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・かくれ障害「APD(聴覚情報処理障害)」を知ってほしい。取り上げてほしい。キツイです。音として聞こえていても理解できないことがあります。この疾病は電話が苦手で、聞き取れません。「見てわかる」ならできます。絵、イラスト、文字など。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉従事者の給料を上げてほしい。とにかく安すぎる、ふるさと納税でお金があるなら少しでも福祉で働く人たちに何かしてほしい。 ・福祉の現状をお分かりですか。都会と比べても 10 万円以上差があり低いです。根室は物価や家賃も高いですし、ワーキングプアです。人出も足りていません。福祉の道は今若い人達も必ず通る道です。皆さんも通る道です。働き手がいないことで辛い思いはしたくないではありませんか。働き手を増やすためにも賃金の見直しをお願いします。水産、農業だけに力を入れないでください。どうかよろしくお願いします。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関しては、全面的に根室で診ていただけるといいです。地方(釧路)に回されると年寄りも大変ですし、交通費もかかります。手術もリハビリも地元で出来るといいです ・年寄りの家族、若い家族と各家族になり、年配者と若者の交流がなかなかありません。子供もみんな一緒に語り合ったり遊んだり声を掛け合えればいいです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、親戚(80代)がケガをきっかけに施設に入所しました。長年一人暮らしをしていたので、最初に入所することをためらったようです。(個人のプライバシーや自由がなくなることに對して。趣味を持っておりテレビや歌が好きだったので、施設での共同生活では今までのように自由な時間が減ってしまうため)時々ヘルパーさんが来ていたようですが、人に手伝わってもらうのを嫌う人でした。 ・介護付き高齢者専用住宅が増えれば、介助介護を普段必要としない高齢者がもっと自由でいきいき生活できるのではと感じました。人材確保など全国的に介護士が不足しているなか難しいと思いますが、一市民の意見のひとつとして参考になれば幸いです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診についてももっと真剣に取り組んで頂きたい。新たな人材が入らないのもあるかもしれないが、問診票の字が読めないほど高齢な保健師では話にならないし、他職員についても、独自の育児論を展開して親を間接的に追い詰めるケースを散見する。今は令和の時代である。エビデンスベースに基づく助言をできるような職員を養成する必要があると考える。市職員という立場にあぐらをかくことなく、専門職たる者頭のブラッシュアップをはかっていくよう努めるべきだろう。 ・また、もっと発達障害を早期発見できるように、健診内容も変えていくべきだろう。視力、聴力、言語を在宅のみで評価するのは精度に欠けるし、“やったふり”をしているだけの家庭もあるだろう。そもそも家族間でこのような検査を行うこと自体「多重関係」に類することであり、検査の精度を著しく害する。今一度この手の検査の意味・仕組みを職員が理解すべきであろう。「根室の常識＝世間の非常識」というケースは少なくない。他自治体の例を参考にしながら、意味ある健診になるよう切に願う。
50 歳代	<p>現在、私の母は介護施設に入居しております。根室市役所の施策にも大変ありがたくお世話になっておりますが、今後益々高齢化の波が根室市民にも押し寄せる事と思っております。</p> <p>市の限られた人員と予算の中で大変とは思いますが、これから高齢になる方々へも変わらぬ支援をお願いできればと思っております。</p> <p>市職員の皆様と石垣市長の御努力に感謝いたします。</p>

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援並びにシビックプライドの醸成
- b) 多様な主体がまちづくりに関わる市民協働・市民参画の推進
- c) 地域と多様な関わりをもつ関係人口の創出・拡大

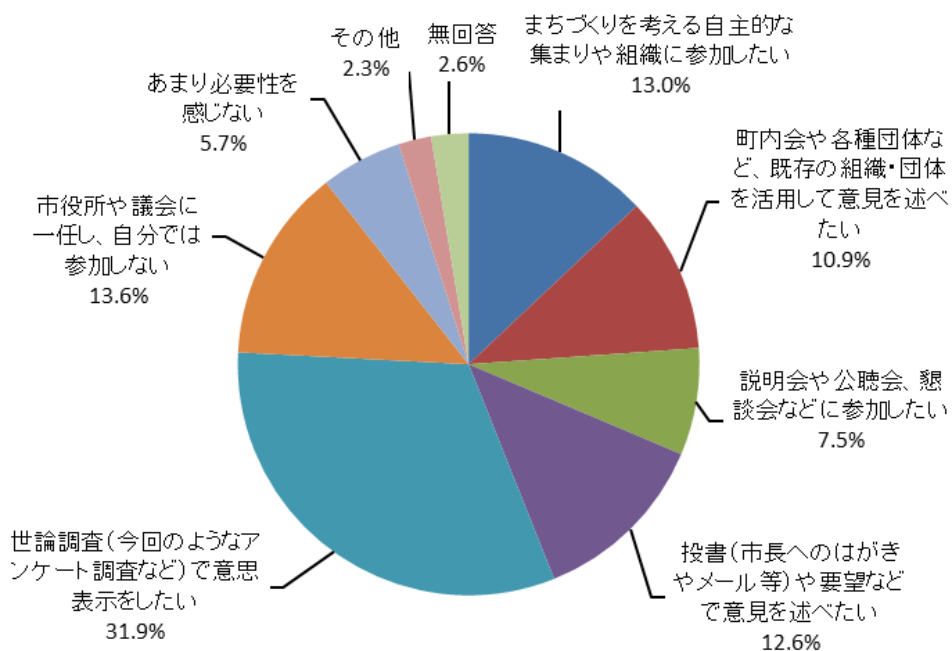
1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、昨年度までの調査結果と同様に「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」や「投書(市長へのはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい」といった要望が多かった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は75.9%となっており、昨年の74.0%、一昨年の71.7%を上回っていた。

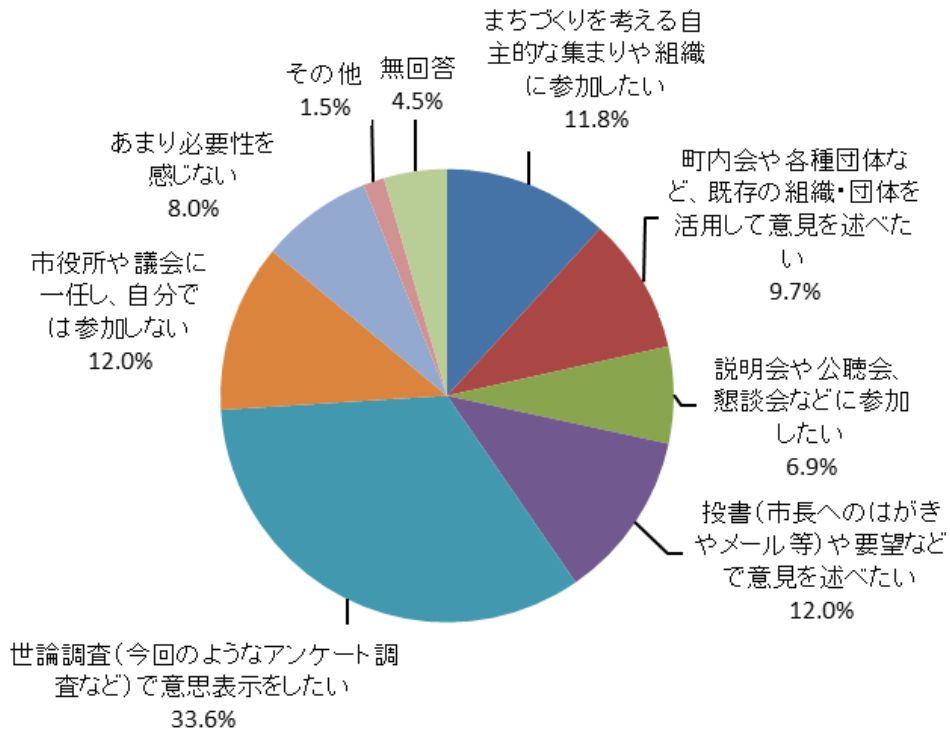
<令和4年度調査>

全体



＜令和3年度調査＞

全体



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、大きく、行政情報に関する要望、スポーツ振興のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化に関する意見にまとめられる。

行政情報に関しては、市で実施している事業や施策情報の周知・充実があげられていた。

また、スポーツ振興のあり方に関しては、市のスローガンである「スポーツ、健康都市」宣言のまちな見合った取組みが、市民参加のまちづくりに関しては、市民意識調査による市民ニーズのくみ上げに加え、直接の意見聴取の必要性、さまざまな市民のまちづくりに関するアイデア聴取の必要性などの指摘があった。

地域活性化に関しては、新型コロナウイルス感染症対策によって中止になっていた各種イベントの早期復活のほか、子どもから高齢者までの集える場の設置などがあげられている。

＜コミュニティの維持・活性化に関する意見＞

年齢	問 22 意見・提案
65～74 歳	市民子供からお年寄りまで楽しめる場所・施設の整備が必要である。例えば町中心部に公園を整備するなど市民からもっともっとアイデアを聞くべきである。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な面で生活に関する対策を整えているということをもっと周知したほうがより市民の方々が活用できて住みやすい環境になるんじゃないかと感じました。市役所のサイトを見れば分かることなのかもしれませんが、それは調べようと自分からしていないと目にはつきません。半年に一回とかでもチラシ等で情報を目にする機会を増やすことできなかと感じました。 ・独り暮らしをしているのですが、家賃が高く感じます。根室市の人口が少ないのも関係があるのかなと思うのですが、その対策もして下さると住みやすくなると思います。高齢者の方やお子さんがいらっしゃる方の対策ももちろん必要ですが、仕事をしている独身の方へのサポートもあればと思います。
50 歳代	町内会に何十年も入会していたが、突然今年の春から休止となった。それにともない周知のチラシの案内が来

年齢	問 22 意見・提案
	だが、今まで支払ってきた町内会費の収支決算書などの報告なし。会計がどうなっているのかわからず宙に浮いたまま。となっている。年会費が¥3600程度で、何十年も町内会長や役員が自由に使用していたのかわからず、残金もいくらあるのかわからず、町内会連合会は何のためにあるのか、不思議でしかたない。なんでもかんでも曖昧である。
65～74 歳	一人ひとりが、ワークライフバランス・仕事と生活の調和であるように、老若男女が等しく毎日を過ごしていく為にも、町全体の輪が大切なことと日頃から考えているところです。
65～74 歳	このアンケートの答えを印すのにあたって色々考えることが多かった。これから街中を歩く時も辺りに色々目くばせをし、地方区の新聞をよく読んで生活したいと考えました。
18 歳未満	・青少年センターで土曜日のフリーで使える夜間の時間に行くと、早い者勝ちで時間内いっぱい同じ人が使ったり、ソフトバレー側のコートも違うスポーツを同じく時間すべて占領するため、毎回使えない。フリーでも1時間だけ使えとか、フリー時間をさらにスポーツで時間割をして市民平等に使えるようにしてほしい。職員も注意することなく室内にただいるだけ。
75 歳以上	若い人が戻ってこない今の状況では、残された高齢者は市に負担をかけないよう元気でいたいと思っています。向こう三軒両隣の精神で小さなコミュニティの場があったらと思います。
40 歳代	コロナ対応・対策をはじめ、市内感染者数等の情報開示に感謝申し上げます。して下さるのとそうでないのとでは、こちら側の意識が変わります。
40 歳代	・子供・お年寄りばかりの政策や環境づくりだけでは良くないと思う。市民が平等に住みよい街にしていく街づくりしてほしい。
60～64 歳	スポーツ宣言都市を掲げている根室市ですが、特に野球場などは老朽化したまま新しくなることもなく、他の市町村に行くたびに残念に思う事がありました。部活動離れを耳にするこの頃でしたが、今年はまた高校野球で単独チームが出来たことなど嬉しく思いますが、そのような子供達の励みになるようなたくさんの子供達が様々なスポーツ・文化的な部活動に積極的に参加したいと思えるような施設設備が必要ではないでしょうか。その中で培われる精神力や想像性はこれからの子供達の成長に役立つものだと思います。根室の子供達にも色々な夢を身近に感じられる場所が出来ることを強く願います。
30 歳代	・ゴミ捨てについて、市にメールを送ったが、2か月経っても何も返事がない。 ・周りが暗いのももう少し電気等（街路灯）をつけるべきでは？ ・お祭り等の中止等、他の市区町村ではやっているのに、中止するべきではなかったと思う。根室市内だけではなく、もう少し子供が楽しめるお祭り等やるべきだと思う。これでは住みたいと思えない。
65～74 歳	・根室の政策は、スローガンは立派だが、その主張に沿った事業展開がされていない。 ・スポーツ宣言都市と言っても野球場にしても体育館にしても全く不備。 ・歴史ある町と言ってもその歴史をしっかりと伝える為の歴史伝承資料館（博物館）的なものが市の中心部に配置されていないので、来客にも市民にもPRできないこと。
60～64 歳	・高齢者の福祉問題も重要だと思いますが、これからの根室を支える子供達が自由に個性を伸ばし、地場産業を支えて行くための授業や見学等の体験が必要だと思います。そのためにも高齢者との交流等も必要なのは？花咲港小学校跡を上手く活用出来ると良いですね。
75 歳以上	アンケートでなく、face to face で聞き取らねば、事のニュアンスを知ることが判らないのではないかと。相互に言葉で知り合わねばこのような荒っぽい設問では出来ない。出向いて聞くことにしては如何ですか
40 歳代	コロナ禍で大変な時期ですが、市民の皆様に活気を取り戻すには、お祭りやイベント開催することだと思います。 ・牛乳一気飲みイベント、牧場めぐりツアー ・シャッター街をなくす ・マクドナルド、ヤマダ電機などの大型店舗の誘致
20 歳代	子供が増えてきているので、子供の物が買える場所を増やしたり、高齢者も出来るような仕事を増やしたり、みんなが接する機会があれば良いと思う。
30 歳代	障がい者をもっと働ける場を作ってもらったり、社会参加ができるような町になってもらいたい。
50 歳代	・文化事業も停滞していて、無駄と思える人件費もあるのでは？ ・ふるさと納税で潤った収益も中途半端な使い方に感じる。市民の声が届いているとは思えない。もっと沢山の市民の声を集める機会を増やすべきだと感じます。市民が声を出させる状況を作っていないと感じる。真摯な行政とは思えない。
30 歳代	子供や若い世代の遊ぶ場所がない。カラオケも一軒しかなくなり、ゲームのある店もイオンの小スペースしかない。
65～74 歳	とにかくコロナのせいで、あらゆるイベントや催しが中止になり、ひっそりとした町の中で、淋しさだけが感じられます。将来への不安や、若者達が町に残って色々な事ができる町づくりがあればと思います。高齢者であっても若者と一緒楽しめる事があればと思っています。自分も含めて、先に立つ者が考えの柔軟さを持って、取り組んでいきたいです。
40 歳代	・今回無作為にとのことですが、教育、福祉、産業などそれぞれに本当に抱えている問題はその分野の人でないかわからないことも多いと思うので、もう少しそれぞれの分野に特化して計画的に人選して話を聞いていただけるともっと実態に即したまちづくりの計画ができるのではと思います。ただ話す場を作るだけでも良

年齢	問 22 意見・提案
	<p>と思います。すべてを市役所の人が抱えなくてもお互いに話を聞いた人が「それなら私これできる」という意見やつながりができるかもしれないので。</p>
40 歳代	<p>緑町中心部の空き店舗の閉め切ったシャッターを見るととても悲しくなります。昔のような活気のある根室市に戻すためにはどうしたらいいのか。若者が根室を離れていくのを止めるためにはどうすればいいのか。商業施設や娯楽施設が何もない。そこを重要視するべきではと思います。</p>
75 歳以上	<p>有難うございます。年に 1 回位このような調査があつて良いと思います。</p>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若者とお年寄りの交流の場を作してほしい。 ・子供の遊び場の増設
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市が色々な取組みをしている事がなかなか知る機会がない。新聞の折込みに入れても新聞を取っていない人は知る事が出来ない。
40 歳代	<p>人口も少なくなつて来ているので、増えるようになることが良いと思う。コロナも減ってきているので、少しずつレクリエーションでもやっているとよいと思う。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会議のほか、いろいろな場で女性が少ないと思う。市の職員で女性の管理職はほとんどいなくてとても男女共同参画にはなっていない。 ・根室市が持続可能な社会であるために、子どもがすこやかに育ち、地元を愛し学業のため根室を離れても戻って活躍できるような社会づくりが必要だと思う。 ・古い価値観がまだ抜けきらないように感じている。まちづくりについても子どもから高齢者まで一緒に語り合う場を作り、継続していくこと(発言は否定しない)。そういう場ができてほしいと思う。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりは、行政(公務員)が行うと、日頃から困りごとや遊びの経験が少ないため、社会や市民のニーズを肌で感じる事ができないので、中途半端になりやすい。また、学者を採用すると面白くない。もっと市内外にいる遊びに長けた人や年齢、職業、学歴にこだわらない人材を集めて現状課題問題提起を行い、基礎から考えるべきではないか。 ・また、北方領土問題についても決まりきった行事ばかりで力を入れているとは思えない。 ・コロナ対策の支援物資も市内企業の商品が使われておらず、地産地消を行っていない。
75 歳以上	<p>市民の皆さんと共に意見を出し合い行動しより住みよいまちにしましょう。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティ構想の実現(緑町商店街の活性化→長屋的な店づくりで観光客を呼び込む。公営住宅を街中に建設し買い物しやすいようにする)。
20 歳代	<p>街が活気づくお店を沢山出店してほしい。根室に住んでいると言う事を誇れるような街にしてほしい。現状は友人などに話をするとバカにされます。悔しいです。根室で生まれた人がずっと根室にいたいと思える街にして下さい。</p>
18～19 歳	<p>コロナ終息後でも良いから、イベントで地域全体を盛り上げてほしい。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市のふるさと納税は毎年順調に推移していますが、今般のウクライナ情勢によりロシア海域に出漁できなくなり、漁獲量の減少による返礼品への影響が心配である。 ・この影響によってふるさと納税も減ってくると思うので貴重な財源を長く使っていくためにも箱物はできるだけ作らず人材育成に使ってほしいです。
20 歳代	<p>住める場所(賃貸物件)を増やしていただきたい。不動産も少なく、選択肢が少ない。</p>
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学生であっても良いアイデア、オリジナリティを持っているので、意見を聞くことや、他の市町村など「まちづくり」で成功したこと、失敗したこと、今取り組んで行っていることなど、参考となる事柄を学んでいただきたいと思う。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・森が少ない気がします。木を海岸近くに植えたりできませんか。あと、しまむらの近くの海岸沿いが波で削られていて心配です。護岸工事とかしないのでしょうか。 ・市内の商店街でのみ使用できる商品券、食事券、無償で市民全員に配布してほしいです。(厚岸町民がうらやましいです) ・それと、市の防災無線が聞こえません。スマホとか無い高齢者の方とか何か災害あつてもわかりません。 ・言いたいことが沢山ありすぎて書ききれないです。とにかく子供たちが大人になつてもずっと住み続けたい市になるように願っています
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを長続きさせるには人口数の維持が重要である。即効性があるのは企業誘致か学校誘致である。既に隣の町中標津町では日本語学校や I T 関連の専門学校もできる。根室市は遅れている。市の移住促進会議にも何度か出たが、若干の移住者にちやほやして、生ぬるい内容であった。 ・間もなく発生するかも知れない大地震や大津波の恐怖もあり、なかなか思いきれないが、本州で進めている移住しやすい生活住環境を整備し、I ターン人口を増やし経済の活性化を図ることが肝要である。 ・根室の特性を活かした町づくりによる移住者増もしくは企業や学校の誘致による人口増の二択となるが、思い切った施策が必要である。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査について。市民に意見を聞くことは大切なことだと思います。ですがずっと根室市に住んでいると様々なことが「あたりまえ」になってしまうので、市外からの転勤者等にも意見を聞いてみてはどうでしょうか。 ・根室市創生総合戦略では、人口減少が課題の一つだと思いますが、大学や専門学校等がないので市外への若者流入は避けられないと思います。戻ってきたいまちにする。移住したい人を増やすことを視野に入れたほ

年齢	問 22 意見・提案
	<p>うが良いと思います。暗く活気のないまちに戻ってきたい人はほばいないので、明るく元気なまちがよいのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根室は狭いまちです。色々しがらみがあると思うので、広く意見を聞いてほしいですし、会議等いつも同じような顔ぶれ有識者では発展しないと思います。 ・また、しがらみがある故、意見を言いたくても言えないこともあるので、「市長への手紙」は匿名にしたほうがいいですし、「このような意見がありました」ということを広報等にのせてはどうでしょうか。この町のここが楽しい嬉しい等魅力がないと住みたい町にならないと思いますし、逆にそれがあると少々のことには目をつぶることができるのではないのでしょうか。
20 歳代	<p>学生がもっと地域の人と密に接し、特産品となるようなものを考えたり、街をまきこんだイベントをすると何か面白いことが起きそう。またそういった活動を行っている学校と関わる機会を与えるともっと充実した学生生活が訪れると思う。</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールなどの充実（買い物したり、見たり楽しむ所が無いです） ・音楽イベント（地元でも有名どころのライブ開催が出来るように力を入れてほしい）
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等の整備⇒緑を多くし花いっぱいでのんびりとたたく事の出来る様な場所になる様に。 ・年寄り、女性だけで住んでいる所が多い中、なかなか配慮に欠ける点が多い気がします。例えば、冬の除雪やっと家の前の雪かきを終えてやれやれと思った矢先、除雪車が来て固い重い雪を置いていかれ、結局はどうしようも出来ず家から出る事も出来ませんでした。毎年のイライラです。雪かきをしたとわかる所は避ける事は出来ないのでしょうか。よろしくお願いします。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市で実施した、あるいは実施している事業について、知らなかった事が多いのに、自分でもびっくりしています。もっと、社会に関心を持たなければいけません。 ・この頃生活で感じる事は何でも機械化されて便利になったとはいってもそれを維持する機械を所有出来ない事です。携帯電話、パソコンなど購入できません。年金生活で入ってくる金額は決まっています。基本料金、使用料など考えると「これ以上、月々の支出を増やしたくない」と考えてしまいます。また、利用するのに「頭がついていけるのか」と思います。ですので、公的機関などを利用する時、それらの機械を持っていない人の為の申し込み（受付）方法を必ず教えてほしいです。 ・年寄りの家族、若い家族と各家族になり、年配者と若者の交流がなかなかありません。子供もみんな一緒に語り合ったり遊んだり声を掛け合えればいいです。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケートを通じて、根室市で実施されている事業を知る事が多く感じました。根室市民でありながら、根室市のことをよく知らないということを痛感しました。 ・コロナ禍という昨今で、イベントの中止も相次ぎ、人との触れ合いも減り、今まで普通にすごしていたことも出来ない人達がいると思うと複雑な気になります。 ・ネットの世界に触れすぎて、自然への関心が薄れていき根室市内にゴミが捨てられているのは悲しく思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・この度市の意識調査に選ばれてありがとうございます。 ・ワーク・ライフ・バランスと言う事は何も知らなかったです。 ・根室の人口の半分以上は老人と思いますが、身体を鍛えるためにスポーツをしていますが、この4、5年位からパークゴルフ場を利用する人がめっきり少なくなってきました。車で行くことが出来なくて家にこもっている人が多いと思います。パーク場経由のバスがあればもっと老人が生き生きして病院へ通う人が少なくなるのではと思います。どうかバスをお願いします。これからはもっと市の事を考えていきたいと思います。
75 歳以上	<p>祭りの再開</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の歴史を根室市民が知らなすぎると思う。知る機会を増やす。小学生の授業でもっと深く掘り下げる等。チャシ跡、戦争、北方領土・・・
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なイベント会場を作ってほしい。 ・子供達が楽しめる場所がもう少しほしい。 ・家族で楽しめる場所がもう少しほしい。 ・観光の方々が楽しめる場所がもう少しほしい。 <p>（オーと感動もらえる整備された道路、路肩、インスタ映えする場所作り）</p>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市と教育委員会、学校、各種団体との連携を密にしてもらいたい。 ・あちらとこちらで、言っていること、やっていることが違っていたり、情報が早い、遅い等では市民として従う時に少し不満と戸惑いがあります。

②地方創生の計画的な推進

第2期根室市創生総合戦略においては、基本目標3の達成に向け、以下の地方創生の計画的推進が図られている。

a) ふるさと納税制度の推進と寄付金を活用した地方創生

根室市では、雇用創出や域際収支赤字を改善するとともに、根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の着実な推進のため、ふるさと納税制度を推進し、地方創生関連基金への計画的な積み増しと積極的な活用が行われている。

また、官民協働による取組みを強化するため、企業版ふるさと納税制度を活用することで地方創生財源の確保に取組み、企業との協働によって着実に、かつ、計画的に創生総合戦略が推進されている。

第2期根室市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

KPI	数値目標（R6）	実績
ふるさと納税制度を活用した寄附受納額	4年で総額500億円増加	146.04億円（R3）
ふるさと応援寄附金関連基金から事業推進に活用した金額	4年で総額395億円	113億円（R3）
ふるさと納税推進による経済波及効果	4年で総額300億円	集計中
ふるさと納税推進による雇用者誘発人数	4年で述べ1,500人	集計中
企業版ふるさと納税制度を活用した寄附受入	4年で5件	集計中

③広域連携の推進

第2期根室市創生総合戦略においては、基本目標3の達成に向け、広域連携が推進されている。

a) 広域ネットワークの構築

根室市では、人口減少下においても一定の圏域人口の確保、市民サービスの維持向上、社会経済活動の利便性向上のため、近隣の自治体や企業、大学等の多くの分野での連携強化が推進されている。

また、高等学校以降の教育機関がない状況を踏まえ、市内小・中学校等の義務教育学校、高等学校と、根室市が連携協定を締結している大学（東海大学海洋学部（2010年相互協力協定）、北海道科学大学（2019年包括連携協定））との教育活動が推進されている。

さらに、こうした大学等との連携による水産資源や観光資源の活用促進や根室管内の自治体による連携に向けた取組みが行われている。

今回の市民意識調査における自由意見の中から広域連携や他地域の大学や企業、自治体等の連携に関する内容をみると、産業振興施策、産業技術等に関する先進的事例や専門家等からの情報収集、連携に関する意見がみられた。

<広域連携、大学、企業、自治体等との連携に関する意見>

年齢	問22 意見・提案
65～74歳	夏でも20℃前後と非常に住みやすい街だと思います。今各企業ではコロナ禍の影響もあり、テレワークの業務が全体を示しており、すずしい根室で仕事をさせてはどうですか。（仕事の能率は格段に上がると思います。宣伝をよろしく）
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業である水産加工業が転換期にあると思います。ウクライナ戦争後の対応は見えませんが、根室市の基幹産業は水産加工業であることに変わりありません。新しい確実な対策が求められます。 ・一には「養殖」事業の拡大。二には観光事業との合体を求めていきたいと思っています。 ・関係大学や道・国の機関とも協調して、根室半島に海老蟹類の研究施設を併設した世界的規模の水族館を建

年齢	問 22 意見・提案
	設したらどうでしょう。世界中のとは言いませんが、海老や蟹の料理を提供できるようにします。一大プロジェクトとして考えていただきたいと思います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・単科大学の誘致(本来であれば水産大学としたいが巨額の設備投資が必要だと思われるので)をして、若者が当市に在住することで地域の活性化を図る。 ・養殖事業に特化した水産業の展開(近大のマグロ完全養殖の実現をみて気候などに左右されることなく、安定した経営が見込まれる)を推進。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業について。ロシアとの関連で漁獲できる魚がどんどんなくなって、漁業が基幹産業の根室は夕張のようになるかも。養殖産業は芽が出るまで何年もかかる。養殖が必要であったことは何年も前から予想できたことと思います。 ・養殖といっても色々あると思います。例えばチョウザメ、ふぐ、紅サケ、マグロなど。それが根室の名物になれば、観光客、企業進出、人口流入と。養殖にもっと予算をとって、あとは実行するかどうか、日本全国成功している所に行って学びどれだけやる気があるかどうか。 ・ただ指をくわえて人口が減り、さびれていく根室をみつめているのか。
40 歳代	<p>基幹産業である水産業をいかに活性化させるかが、根室市が持つポテンシャルの引き出しにつながると思います。前浜での漁獲量減少により、加工業はグローバルに調達先を確保できている企業とそうではない企業に二分されており、安定した原料供給が無ければ、持続可能な産業の維持・発展は困難です。海面または陸上養殖の研究が市で進められています、思い切った予算をつけてデジタル化や遺伝子工学といった最先端テクノロジーを導入しながら栽培漁業の育成に取り組むべきだと考えます。国内視察だけではなく、海外事例の調査・研究にも取り組みながら、持続可能な基幹産業の再構築に頑張ってください。</p>

6. 2 まとめ

平成 27 年度に策定された第 1 期根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていきけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

一方、令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、第 1 期根総合戦略における戦略理念、「雇用対策」「子育て支援」「人材育成」の政策パッケージを引き続き重点的に展開し、継続的な効果を求めていくこととし、加えて、人口減少を抑制するという観点から定住人口や交流人口とは異なる関係人口の概念を再認識し、「まち・ひと・しごと創生」に前向きに取り組むこととしている。

その上で、今後の展開方向として、人口減少・雇用情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした地域社会の変容、さらには、医療、福祉、教育分野を含めた新たな社会システムの形成に向け、デジタル・トランスフォーメーション（DX）技術の推進、Society5.0 の実現、持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献などの新たな視点に着目した施策展開が立案されている。

本調査は、総合計画に加え、この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために平成 28 年度から実施されているものである。

調査は、主として根室市総合計画や総合戦略で実施されている各種事業や施策の効果等に対する市民の評価を満足度意識や各種事業に対する認知度、改善に向けた施策ニーズ等の変化を把握するために、実施しているものである。

今年度の調査では、第 2 期根室市創生総合戦略に対する評価や、現在、市で実施している施策の認知度の把握を行った。

その結果、総じて、子育て、医療関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、教育・文化関連、行政情報などに関する施策に対する認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

特に、近年の根室市の基幹産業である漁業を取り巻く目まぐるしい環境変化は、生活・経済基盤に対する根室市民の不安意識を助長しており、安定した育てる漁業の早期実現や、根室市の特徴を活かした観光展開等の産業振興に対する政策的期待が大きい状況が把握される。

また、総合戦略に基づく子育て支援施策の実施に対する市民の一定評価に対して、高齢者支援の充実に対する意見も多かったことも特徴的であった。

そのほか、医療、買い物環境、交通体系に対する市民の不満足は、恒常的に高い状況が把握されている。

(1) 「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

(基本目標 1)

・現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題

は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成 28 年から禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁に加え、近年のさんまや秋サケの不漁の影響、さらには、令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症による経済的影響、ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけとしたロシアとの関係悪化が、根室市経済に大きな影響を与えているだけでなく、市民生活の不安を助長している。

- ・このような状況下にあつて、漁業に関しては、特に、育てる漁業（養殖事業）の推進を求める市民からの意見が最も多くあがっていた。
- ・一方、水産業を取り巻く環境悪化を背景として、より即効性の高い企業誘致に対する期待が昨年度から引き続き高まっている状況が把握された。もちろん、新たな特産物の開発や観光振興など、継続して取り組まなければならない課題に対する認識は高いものの、産業振興、経済対策が、より喫緊の課題となっている状況が把握される。
- ・観光振興に対する市民の期待は依然として大きく、自然・景観、文化等の資源の有効活用と食メニューの展開に加え、特に、宿泊施設整備が市民の意見として多くあげられており、宿泊需要創出のための観光客誘致に向けた具体的戦略の立案が喫緊の課題となっている。
- ・また、移住促進に向けては、雇用の場の創出だけでなく、新たな働き方ニーズに対応した環境整備や空き家の有効活用等による移住者やワーケーション、長期滞在者のための住宅の整備と情報発信が重要と考えられる。

（2）住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。（基本目標 2）

- ・根室市における児童・生徒の学力の向上が課題となっていることから、そのための ICT の活用や外国語指導助手の配置、通級教室の開設等の取組みが令和 3 年度から新規事業として実施されている。これらの取組みの成果検証を適宜行い、児童や生徒の学力向上により効果的な事業へと継続・発展させていくことが重要である。
- ・一方、多くの市民からは、高校卒業後の進学先の必要性が指摘されているが、昨今の少子化の進展は、新たな学校の新設が困難な状況であることから、より、幅広い進学先が選択できるための教育環境を整備することが重要と考えられる。
- ・子育て対策としては、給食費の無償化、保育料の無償化、医療費の無償化などの経済対策や子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）の整備など、市の政策に対する一定の評価がみられていた。
- ・しかし、障がい児への支援、放課後児童教室の時間制約の緩和などを含め、さらなる充実が求められている。
- ・一方、医療環境に関しては、小児科医院の閉鎖などにより、診療科目の充実、医療スタッフの充実や病院数に対する不安はさらに高まっていることから、引き続き、さらなる医療体制の充実に向けた対応が求められている状況にある。
- ・ただし、この医療体制の充実は、根室市だけでなく地方に課せられた課題でもあり、他地域との連携を図りながら地道な取り組みが必要である。
- ・根室市での居住年数が長いほど、また、高齢者ほど、根室市に住み続けたいとする希望が高いことから、子育て支援だけでなく、高齢者が健康で安心して住み続けられるまちづくりが求められている状況が把握された。

(3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

(基本目標3)

- ・市民意識調査の自由回答から市民協働、市民参加、地域コミュニティ、地域環境との共生等に関する意見をみると、行政情報に関する要望、スポーツ振興のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化に関する内容が多かった。
- ・その中で、市政情報をこのアンケート調査で初めて知ったとの意見もみられるなど、広報やSNSをはじめとする市政情報の提供のあり方が引き続き課題となっている。
- ・また、根室市は、人口の減少、産業経済の停滞が続く中で、ふるさと納税制度の活用による成果は大きく、創生総合戦略の計画的で、かつ、着実な推進に大きく寄与しているが、さらに市民ニーズを十分に把握し、生活の向上に向けた、より効果的な施策立案と着実な実施に対する意見もみられている。
- ・さらに、市民が期待する新商品開発や新たな観光開発に向け、他地域の大学や企業、さらには自治体との連携は、新しい商品アイデアや観光資源の活用策の発見に寄与することが期待される。

資料編

資料1. 市民意識調査自由回答

年齢	問 22 意見・提案
20 歳代	アンケート、調査票等の電子化希望
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地の道路がとても悪い。 ・地方から人を呼ぶようなインパクトのあるイベントが全くない。 ・明るい根室市になって欲しい。
30 歳代	子供が遊べる公園、水遊びとかが出来る場所（夢の森みたいな）も欲しい。コロナで出かけられないけど、根室だと全然遊べないです。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市は漁業が衰退してきているため観光に着目することが大事。特にノサップ岬周辺を行政で公共事業として整備し、観光ホテル業を誘致してはどうか。「日本で一番朝日が早い」所なので温泉につかりながら朝日を眺めることができるような、環境づくりを希望します。 ・観光素通りの「まち」根室から1泊してもらえ「まち」にすることで観光業が上昇すると考えます。なにか生き残る対策を総合政策室の職員だけでなく市全体でプロジェクトして欲しいと強く切望します。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市にローソン、ファミマあれば良い。 ・明治公園の近くにキャンプ場を作ればよい。 ・天然温泉を整備し、宿泊も可能な施設を。 ・青年センター市営球場を新しくして欲しい。 ・ムツゴロウさんのような人を呼び込んで動物王国を作りたい。吉本興業の住みます芸人でロングコートダディに住んで欲しい。 ・「ふるさと遊びの広場」(愛称：わんぱーく)みたいな遊ぶ場所をまだまだ欲しい。 ・眼科（市立病院）の人手不足をなんとかして欲しい。 ・介護士の人手不足もなんとか育成の段階から高校生、中学生の時からアピールすべきだと思う。 ・都会に流出しないよう、企業(大きな)受け入れ態勢をして欲しい。 ・ロシアに頼らず資源保護、養殖に力を入れるべき。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・目が不自由な人でも安心して外出できるよう、整備をしてほしい。 ・観光客に向けて何が有名で人気があるのか知らない人が多いので、全面的に広告を出してほしい。 ・観光地だけでなく、市外から来た人達に向けて若者でも気軽に遊べるような施設を作してほしい。(インスタ映えするような)
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児用のカートを置いて欲しい所がある。 ・コロナ禍のため保育園の休みが多く、仕事も休まなければならないためかなり働きづらい。必ず休園にしなければならないのか。何か良い対策があれば嬉しいです。(インフル同様1人2人出たくらいは休園にならない等)
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・財政について、本当に必要なことに役立てて欲しい。ムダになっていることも多いと思います。 ・一次産業が厳しくなっているので、就職できる環境づくりを考えていかなければ、人口も減少していく。
30 歳代	こういった市民意識調査もLINE等を利用して、紙ではなくオンラインでも集計出来るようになると紙の利用を減らせて且つ集計も楽になるのではないかと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供服売り場を充実させてほしい。 ・わんぱーくも正直入りづらい。温根元など半島地区にも目を向けて小さな公園でもいいから作ってほしい。
18 歳未満	札幌行のバスが減って不便です。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと納税」をはじめとした市の歳入(税金)の使い道が箱物(建築物)ありきで話が進んでいる傾向がある。過去の他市町村でも予算に余裕が出るとすぐに箱物投資へと走り、それが負の遺産となっている事例は数多く、根室でもその傾向が強まっていると思う。 ・個人的な意見としては、①インフラ整備(災害対策) ②定住促進(助成金、減税等) ③企業誘致(税の優遇措置)を推し進めて頂きたい。 ・失われていく町の経済力と人材への投資と分配を行って頂きたい。 ・民間企業には多様なリソースがあるので行政単独ではなく民間とも協業すべく積極的なアクションを行政は起こして欲しい。
30 歳代	若者向けの服とか、流行の物を多く取り扱うような店が欲しい。
20 歳代	川上小児科がなくなり薬をもらいに行ったり予防接種を受けるのは市立病院しかないのととても不便です。時間もすごくかかるし子供も飽きてしまつてとても大変です。できれば個人病院を増やしてもらいたいです。市立病院は色々な科があったり、コロナの方もいたりするので少々の病状では連れていけないのがとても残念です。よろしくお祈りします。
65～74 歳	30 年内の災害予報があるが、真冬夜間等、最悪の条件下の対策が必要ではないでしょうか。
65～74 歳	子供からお年寄りまで楽しめる場所・施設の整備が必要である。例えば町中心部に公園を整備するなど市民からもっともっとアイディアを聞くべきである。
65～74 歳	このアンケートで1つ選んで番号を○印をつけるのではなく2つ3つまで○をつけるって変更したほうが良いと思う。
65～74 歳	近年の市の助成金は子供支援に偏っています。年金受給者で仕事もしていない老人に救いの手をさしのばしてください。お願いします。

年齢	問 22 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・古い考え、体質を捨て斬新的になってほしい。新しいものは全部とっていい程中標津に取られ、新しく産業が育たない。どんな商売の人達もガンバってやってきてるのに市が古い考えではいけない。 ・この先ますます少子高齢化の進む中、また一次産業の担い手のなくなる中この街が元気になるには、大胆な発想があるのではないだろうか。おそらくは仕事に就く人を探さなくてはいけない時代に、今みたいな形態でいいわけがないだろう。 ・「海」から少し離れて考えた方がいいのではないだろうか。
40 歳代	一次産業(漁業)が活気づけばいいのですが、どうしたらいいものか。自然相手の物なので。
30 歳代	日頃より根室市の町づくりにご尽力頂きありがとうございます。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市の場合、子育て関連の施設整備はほぼ終了したのではないかと。これからは高齢者が増えるため老人が健康な生活が送れるよう柏陵中学校跡地に高齢者のすべての総合施設を建ててほしい。 ・場所が街の中央にあるため現在の光洋町西浜町の老人施設を 1 か所に集め、効率化を図ってほしいです。すべての老人が参加できる健康施設を望みます。
65～74 歳	このコロナ禍での高齢者や重症病者に対する医療現場での理解のできない説明や、他病院との連携がとれていないことを目の当たりにし、本人家族が置き去りにされている場を見ました。医療・看護・介護にかかわる皆さんの倫理的課題が意識されていないのではと感じています。
40 歳代	わんぱ一く最高です。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・公園(子ども遊具のある場所はとくに)での喫煙を禁止してほしい。町中の歩道での歩きタバコや、従業員、市職員の外でのタバコ休憩も人に迷惑のかからない場所でしていただきたい。市民に喫煙の需要が高く、尊重したいのであれば喫煙所(外に漏れない空間)を設置して、外での喫煙を禁止してほしい。 ・移住・定住を推進していくために、住宅事情に関する情報発信を市で真剣に取り組んでほしい。土地・空家・賃貸・売家等に関する業者情報など。これらの情報が得られないと移住・定住はむずかしい。「民間業者への村度になる」などの考え方は捨てて、積極的な情報発信に努めることが、移住者・定住者を増やすことにつながると考える。これらは、新しい取り組みではなく、すでに取り組んでいる地域もたくさんある。視野を広くして取り組んでほしい。 ・市で取り組んでいる子育て支援などは「がんばり」が伝わります。ありがとうございます。 ・図書館は全体的に素晴らしいです。大好きです。
75 歳以上	今の根室は、小学・中学・高校が削減しているので、根室市議員も 5 人くらい減らした方がよいと思う。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な面で生活に関する対策を整えているということをもっと周知したほうがより市民の方々が活用できて住みやすい環境になるんじゃないかと感じました。市役所のサイトを見れば分かることなのかもしれませんが、それは調べようと自分からしていないと目にすることはありません。半年に一回とかでもチラシ等で情報を目にする機会を増やすことできなかと感じました。 ・独り暮らしをしているのですが、家賃が高く感じます。根室市の人口が少ないのも関係があるのかなと思うのですが、その対策もして下さると住みやすくなると思います。高齢者の方やお子さんがいらっしゃる方の対策ももちろん必要ですが、仕事をしている独身の方へのサポートもあればと思います。
40 歳代	意味不明。これだけのアンケートに答えても金にならん。地方の過疎が進んだら地元にかまかせられないと思う。 ※これだけのアンケートなのにお礼もなし。税金っておいしいの？
20 歳代	子育て支援に力を入れてほしい。私も 6 月に子供が生まれるが、妊婦検診などの費用が高額で、経済的に厳しいと感じたので、経済的支援を拡充してほしい。
50 歳代	町内会に何十年も入会していたが、突然今年の春から休止となった。それにともない周知のチラシの案内が来たが、今まで支払ってきた町内会費の収支決算書などの報告なし。会計がどうなっているのかわからず宙に浮いたまま。となっている。年会費が¥3600 程度で、何十年も町内会長や役員が自由に使用していたのかわからず、残金もいくらあるのかわからず、町内会連合会は何のためにあるのか、不思議でしかたない。なんでもかんでも曖昧である。
65～74 歳	一人ひとりが、ワークライフバランス・仕事と生活の調和であるように、老若男女が等しく毎日を過ごしていく為にも、町全体の輪が大切なことと日頃から考えているところです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の受付時間が短く、さらに一人当たりの診察時間が長い生活に生活に圧迫している。 ・イベントが少ない、なおかつあったとしても宣伝が行き届いておらず、また、子供の楽しみがなくリフレッシュできないのが残念。 ・土地があるのにもかかわらず、草スキーの設備や自転車レンタルシステムなどが無いのも残念(新しい店やファーストフード、カフェ、雑貨屋などは難しいにしろ)。 ・物価、水道料金の高さにびっくりしており、寒い土地でなにかもお金がかかる。ここに来て、何が楽しいのかまだ見つけられない。 ・ルール破りの人、接客態度の悪い人も多く、辛い。 ・ゴミの分別はいいが、捨てられる日が少ない為、保管場所に困る。 ・道路の清掃より、デコボコ整備してほしい。 ・さくらもすぐ散って残念でしたが、町には花が少なく、せつかくの景色も楽しめない。こいのぼりもなく残念。建設が難しいなら、学校グラウンド開放して(市民プール・体育館など)遊べる空間を少しでも作ってくれると親子共々リフレッシュできると思います。
75 歳以上	根室市の東根室駅に小さなベンチが置かれました。10 年前以上に市観光課にベンチの設置をお願いしていまし

年齢	問 22 意見・提案
	たが、市職員の説明は「JRの施設内なのでJRに話しておきます」と言うことでした。やっと置かれた小さなベンチ大事に見守っていきます。
65～74 歳	このアンケートの答えを印すのにあたって色々考えることが多かった。これから街中を歩く時も辺りに色々目くばせをし、地方区の新聞をよく読んで生活したいと考えました。
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・周りにソーラーパネルや風車が異常に増えていて景観がくずれているような気がする。付けても良いが、なぜつけるのかなどを土地の所有者だけでなく、皆にも知らせてほしい。また納得する理由がほしい。 ・高校生など 15 歳以上にも支援がほしい。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物のために中標津町に行っているが、いつかは中標津に勝てるような街づくりをしてほしい。根室市じゃなくて、根室町になるんじゃないかと毎日ヒヤヒヤしている。多分若い人がいないのは、若い人が行きたいようなお店や遊ぶ所などなんもないからどこか行っちゃおうと思った。 ・今後の街づくりに期待している。 ・頑張ってください。ローソン作ってください。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・私は 60 代後半に受けた椎間板ヘルニアと脊柱管狭窄病の手術後腰痛がひどくなり、杖をついても長く歩けません。バス代が格安になってもバス停までいけません。そのため家事、買い物等全部を夫と息子にまかしています。今は週 2 回デイサービスに通い、運動や脳リハ、手仕事等をしています。デイサービスがなかったら家にもりきりになってしまうでしょう。 ・新しい市役所を建てるなら必ずエレベータをつけてください。自由に使えるサロンもお願いします。
20 歳代	放課後児童教室の利用時間について、7:30～18:30 に変更してほしい。こうした市民の声をよく聞きます。女性が働きたくても 8:30～17:20 では無理。加工場での男性を応援できる時間ができたらどれだけ喜んでくれるでしょうか。時間延長を期待しています。
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターで土曜日のフリーで使える夜間の時間に行くと、早い者勝ちで時間内いっぱい同じ人が使ったり、ソフトバレー側のコートも違うスポーツを同じく時間すべて占領するため、毎回使えない。フリーでも 1 時間だけ使えるとか、フリー時間をさらにスポーツで時間割をして市民平等に使えるようにしてほしい。職員も注意することなく室内にただいるだけ。 ・新しく大きく建て直し、大会をもっとできるようにしてほしい。ふるさと館の整備よりも利用者を考えたらこっちを先に取り組みべきだ。 ・子育て世代には給付金が次から次へと給付され、手当でももらえる。しかし、実際はお金がかかる高校生以上では、そうした支援がない。同じ子供として学生として平等ではないと思う。根室市独自の政策があっても良いではないか。子供が少ない多いでも差があり平等ではない。 ・市民が減っているのに今よりも大きな市役所を建てて将来どのように維持していくのか。若い人が集まる街にしてほしいです。
60～64 歳	こんなアンケートとっても意味がないと思う。
20 歳代	他の地域から観光客をたくさん呼んで、お金を使ってもらうようにしてほしい。更には根室市に対して住みたいという印象を持ってもらい、人口増加及び商業の活性化につなげてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道ががたがたなので整備してほしい。 ・捨てる人が一番悪いのですが、歩道や港にゴミが多い。 ・空き家、古い家が景観を損ねているように思います。
75 歳以上	若い人が戻ってこない今の状況では、残された高齢者は市に負担をかけないよう元気でいたいと思っています。向こう三軒両隣の精神で小さなコミュニティの場があったらと思います。
40 歳代	頑張ってください。
40 歳代	コロナ対応・対策をはじめ、市内感染者数等の情報開示に感謝申し上げます。して下さるのとそうでないのとでは、こちら側の意識が変わります。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供・高齢者のために福祉・教育を充実させるのは良いが、働く人たちにも住みやすいまちづくりを。納税ばかりでとても充実しているとは思わない。 ・老若男女問わず根室に住み続けたいと思わせる何かが必要。実際に住みにくいと他に移住してる人も居る。独身や子供のいない夫婦など様々な生活をしている人がいる中で、一部の家や人たちが恩恵を受けていると感じている。 ・子供・お年寄りばかりの政策や環境づくりだけでは良くないと思う。市民が平等に住みよい街にしていく街づくりしてほしい。我が家のように子供のいない夫婦にこのような調査されても正直わかりません。アンケートの見直しもした方が良くないかと思えます。
30 歳代	道路は所々ではなく綺麗に直して欲しい。
40 歳代	婚活イベント(TV)を誘致してはどうでしょうか。
75 歳以上	人材不足の事情は知るが、中には自分勝手な振る舞いをして全体からはみ出している人々が目立つ。教育に力を入れて、働く者も世話される者も気持ち良く感じられる信頼関係に努めてほしい。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・人口流出など自然減など北方領土に隣接する地域(根室)であることを勘案して“近未来のグランドデザイン”を立案すること。 ・“スクラップアンドビルド”は避けられないので残地の活用を積極的に考えること。 ・“中央集権から地方時代”といわれているので、国内外での特色(個性)ある“まちづくり”位置を確立するこ

年齢	問 22 意見・提案
	と。 ・「治外法権根室」と「自然豊かな根室」の二大方針を柱にすべきである。
20 歳代	・友人の多くは釧路までが道東の最終地点として戻ってしまう。あと 125km を時間をかけて根室まで来たいと思う観光やイベント、体験型の観光などに力を入れてはどうでしょうか。 ・また、ホテルが古いので泊まる場所が限定され宿泊を釧路にされる方が多いです。もう 1～2 施設きれいなビジネスホテルがあればと思います。温泉が無い分その辺に力を入れてはどうでしょうか。
20 歳代	・今年から異動で根室に移住することとなりました。感じるのは街並が古く少し暗い、というところです。 ・また、若者が引越してきたくなるようなまちづくりを目指してほしいと思います。 ・市営住宅や教職員住宅の整備など、住む場所や建物を快適なものにできれば良いのかなと感じます。
65～74 歳	根室市の国道での草刈が遅れていて鹿、熊等が急に飛出しても対応が遅れて危険性が高い。下請けの業者ももう少し人員を増やして作業に当たって欲しい。道路わきの草ぼうぼうは根室市の美観を損なう。
30 歳代	いつも根室市のためにありがとうございます。 私自身、もう少し根室市に興味関心を持たなければ！と思い知らされました。引き続き、良いまちづくりをよろしく願います。
40 歳代	・小・中・高校生の通学路はきちんと整備してほしい。草だらけで歩道が狭くなっている(駒場町 1 丁目あたりの花咲小学校に降りる階段など危ないと思う)。 ・習い事の種類がもう少し増えるといいな・・・と思う。 ・子育て世帯は世帯年収ではなく、子の人数で減額等を考えてほしい。根室管内に大学や専門学校の進学先がないのは経済的に大変だと思う。学力が高くて生活費が出せなければ大学にも進学できないのでは。 ・福祉業界は人手不足。施設の人員規則など特例的にゆるめてほしい。少ない人数で高齢者の面倒を見て、毎日ヘトヘトになっているのに看護師等の基準を満たさないだけで減算になるなんて、現場の意欲をますますうばう。根室の高齢者の将来を真剣に考えるのなら、もう少し人員基準等をゆるめてほしい。(これは国の問題だとは思いますが)
60～64 歳	スポーツ宣言都市を掲げている根室市ですが、特に野球場などは老朽化したまま新しくなることもなく、他の市町村に行くたびに残念に思う事がありました。部活動離れを耳にするこの頃でしたが、今年はまた高校野球で単独チームが出来たことなど嬉しく思いますが、そのような子供達の励みになるようなたくさんの子供達が様々なスポーツ・文化的な部活動に積極的に参加したいと思えるような施設設備が必要ではないでしょうか。その中で培われる精神力や想像性はこれからの子供達の成長に役立つものだと思います。根室の子供達にも色々な夢を身近に感じられる場所が出来ることを強く願います。
75 歳以上	将来、高校を出て地方の学校に行かず地元で学べるような短期大学(水産学部)等があると、漁業又は事業者の後継に心配なく子育ても出来ると思う。今の情報化時代、学ぶ事が大事、それと水産の町に水族館があった方が子供達の夢が学べると思う。
30 歳代	より課題の抽出や市民意識の把握につながる設問になると調査の意義が高まると考える。例えば医療～高齢者支援の設問は割と具体的だったが、それ以降の設問は何を聞きたいか目的が不明確だったし、選択肢も大括りで回答に窮した。この回答結果からどのように施策へ反映するつもりがあるのか甚だ疑問。
30 歳代	歩道がデコボコしていて歩きにくい所が多いです。
30 歳代	バスを利用することが多いので土日祝のバス運行本数をもう少し増やして欲しいです。
30 歳代	・ゴミ捨てについて、市にメールを送ったが、2 か月経っても何も返事がない。 ・周りが暗いのももう少し電気等(街路灯)をつけるべきでは？ ・お祭り等の中止等、他の市区町村ではやっているのに、中止するべきではなかったと思う。根室市内だけではなく、もう少し子供が楽しめるお祭り等やるべきだと思う。これでは住みたいと思えない。
65～74 歳	・根室の政策は、スローガンは立派だが、その主張に沿った事業展開がされていない。 ・スポーツ宣言都市と言っても野球場にしても体育館にしても全く不備。 ・歴史ある町と言ってもその歴史をしっかりと伝える為の歴史伝承資料館(博物館)的なものが市の中心部に配置されていないので、来客にも市民にも PR できないこと。 ・また、東北大震災以降に道東での大地震に対応した災害に強い町づくりと言いつつ、未来の根室市民を育む施設が海拔 0 メートルに新設されていることは、主張の基本を蔑ろにしているもので、行政の信頼を無くすとともに魅力欠いた町になってしまうのではないかと。もう少し真面目にやってください。
30 歳代	最東端のブランドを活かしてないと思う。これを活かした「観光事業」を推進すれば活気が出ると思う。
30 歳代	・空家の処理(防犯的にも景観的にも) ・観光スポットを増やす(水族館、せり体験など) ・高速道路など交通の便をよくする ・イベントやお祭りを増やす ・根室にしかできない特色ある学校づくり
30 歳代	・役所が弱すぎる。キツネ、カラス、シカに餌やるロシア人やおばさんに対し、対策をお願いしてもチラシ入れる位で何もできないと言う。子供を外で遊ばせられない。役所に強制力を持たせてほしい。(エキノコックス不安) ・根室にも空港が欲しいです。移動が大変すぎる。お金も時間もかかりすぎ。飛行機で時間短縮できるなら多

年齢	問 22 意見・提案
	少高くても乗る。
30 歳代	月岡町 1 丁目（特にパークゴルフ場付近）には近年新築住宅が増え、子育て世帯も増えてます。なのに、街灯が少なく夜間は真暗で防犯上とても危険です。早急に増設を希望します。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市ならではの物産品の開発や観光開発 ・高齢者に向けたサービスなど
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、新しい家が建ち始め、住宅街がゆったりしてきたので良い。 ・しかし、空き家が多いので、情報収集して売買してはどうか。人口が少なくても、ゴミゴミしていない雰囲気作りが必要だと感じております。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・病院はきれいになったけど医者に問題がある。予算がないなら、無理に花火大会とかやらなくていいと思います。 ・漁業者への補助が足りないと思います。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、発達障害不登校と言う言葉が耳に入ります。ですが、そういう子供達に対して親がどうしたらいいのか、何処に相談したらいいのか分からないと言う声も聞こえて来ます。学校の専門の教員も足りて居ないのでは無いのでしょうか？ ・高齢者の福祉問題も重要だと思いますが、これからの根室を支える子供達が自由に個性を伸ばし、地場産業を支えて行くための授業や見学等の体験が必要だと思います。そのためにも高齢者との交流等も必要なのは？花咲港小学校跡を上手く活用出来ると良いですね。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいて楽しいことがありますか。教えて欲しいです。 ・企業の誘致や移住者を呼び込みでもしないと、よりさびれていくのではないのでしょうか。 ・水産業に活気がなくなったら、他に価値が見当たらない。 ・他の市町村の成功した取組でも参考にして根室市もチャレンジしてみてください。 ・寒く天候が悪いのだから屋内施設を充実させるべき ・ドローン、スケボー、e スポーツなどで若者を呼び止められないか。 ・根室の独身のアラフォーは街コンでもしないと全く動かない。 ・頑張ってください。
50 歳代	<p>行政の事ですが、根室市の市議会議員の人数は多すぎだと思います。若い議員もおられるので人数は減らした方がいいと思います。</p> <p>長い経験者の議員に、貝殻昆布交渉や赤潮の事について質問したことがありますが、漁業交渉や漁業の事は、市は関係がないと言われました。私は、市民の事や根室の産業の事を考えるのが議員の仕事と思ってました。でもその方は根室の水産業の事には興味がないようです。ただ、給与をもらって自分の生活をしているために議員になったようです。地元の漁業や農業、特に漁業なくては根室の町は栄えません。給料だって私たちの税金から出ている物です。市政の為なら少しでも議員を減らしてください。お願いします。</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・病院（市立）での長い待ち時間を改善してほしい。 ・釧路方面に行く道路のゆずり車線ゾーンがもう少しあると良いと思う。
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、青少年が遊べる施設、根室には青少年センターがありますが、肝心の時に、休館日と言う事が多い。 ・学校について、昨年から ICT 端末が学生に配られましたが、ほとんどの授業で使っていません（むしろ使うと遊ぶなど怒られます）。このため学生は ICT 端末を休み時間に動画を見るデバイスとして使っています。それは本当に意味の無い事です。 ・それを避けるために学校の先生全員に ICT 端末の教育をして欲しいです。操作を理解してもらうのはもちろん、これから ICT を沢山活用していくためには、ICT 端末に対しての偏見をなくしていく必要があると考えます。 ・私も先日、休み時間に文化祭の音源を使っていたら、パソコンを学校に持ってくるなど怒られました。そうならないために学校の先生に ICT 端末の教育が必要です。よろしくお願いします。
30 歳代	運動公園にわんぱくが出来るととてもうれしく思っていますが、外の遊具をもう少し増やしていただけないと思います。噴水等もあつたら子供たちも喜ぶと思います。
65～74 歳	他の市町村は体育館の建て替えや修理・改装などしています。根室市はその分青少年センターが他の町などよりも不便を感じますので体育館（青少年センター）の建て替えを希望します。よろしくお願いします。
30 歳代	子供が遊べる公園をもっと増やして欲しい。
30 歳代	自然や感染症防止のために、野良猫や野犬の数を調査していただき、個人やグループで保護してる人への助成金などを検討してほしい。家の周りに猫が多く、捕まえて、避妊、去勢手術等をして里親を探す活動をしています。毎年生まれる野犬や猫が少なくなるように、無責任な餌やりを禁止する呼びかけをして欲しいです。
75 歳以上	アンケートでなく、face to face で聞き取らねば、事のニュアンスを知ることが判らないのではないのか。相互に言葉で知り合おねばこのような荒っぽい設問では出来ない。出向いて聞くことにしては如何ですか
50 歳代	西浜墓地の中央辺りまで行くのが遠いので、途中 4 か所位ベンチがあると休めます。背もたれが無くても良いので、高齢者、障害者や子供たちなどのために設置お願いしたいです。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室にきてびっくり、町中にゴミが落ちていた。汚い。人口 25000 位の町がなぜ汚いのか。 ・子供の保育費が高い、3 人目から無料とか。3 人なんて無理でしょう。給料が安くて、2 人で働けば保育料が高く、2 人で働く意味がなくなる。ふるさと納税が沢山あるのだから、1 人目から保育料出してあげれば

年齢	問 22 意見・提案
	い。白糠町の様に子どもに使ってください。
20 歳代	共働き家庭などで子供が病気等で早退、お休みなどしなければいけない状態の時に預けられる、病児保育や休日祝日夜中でも預けられる場所があるとひとり親の家庭や働く人達、子育てに悩む人等様々な家庭に需要があると思います。1人目からの保育料無償化を希望します。
40 歳代	コロナ禍で大変な時期ですが、市民の皆様には活気を取り戻すには、お祭りやイベント開催することだと思いません。 ・牛乳一気飲みイベント、牧場めぐりツアー ・シャッター街をなくす ・マクドナルド、ヤマダ電機などの大型店舗の誘致
65～74 歳	市内にはキャンプ場として特別な場所がないので、考えてほしい。
20 歳代	子供が増えてきているので、子供の物が買える場所を増やしたり、高齢者も出来るような仕事を増やしたり、みんなが接する機会があれば良いと思う。
30 歳代	障がい者がもっと働ける場を作ってもらったり、社会参加ができるような町になってもらいたい。
50 歳代	・防犯カメラの設置。 ・国道をきれいに地方の人にもきれいな街を見せたい。 ・市外に出さない。市内に人を呼びたいと思います。温泉でも出ればいいのですが、宿泊してまで見る所が無いと思います。海の幸、山の幸が豊富なのもったいないです。コロナが流行する前から思ってたのですが、根室で要所を見たら川湯方面等へ泊る方がとても多いと思います。
50 歳代	放課後教室の利用時間は、平日は正午から午後6時まで、長期休業期間や土曜日は午前7時30分から午後6時までに見直していただきたい。現在の8時30分から17時20分では子供が一人で留守番する時間があり、仕事が手につかない、不安です。
30 歳代	旅行者などにキツネなどの野生の動物にエサを与えない様な方法を考えた方がいいと思います。別当賀に行く道でキツネが車に餌欲しさに向かってきます。
50 歳代	・市立根室病院の健全な運営。信頼できない医師が多い。市民の大切な税金を使うのだから、大きなお金を払っているという自覚が足りないと感じています。市民のための市民に愛される病院理念に沿っていないと感じる。 ・文化事業も停滞していて、無駄と思える人件費もあるのでは？ ・ふるさと納税で潤った収益も中途半端な使い方に感じる。市民の声が届いているとは思えない。もっと沢山の市民の声を集める機会を増やすべきだと感じます。市民が声を出させる状況を作っていないと感じる。真摯な行政とは思えない。
75 歳以上	・市営住宅や市役所、背の高い5階建てナンセンスと思う。メンテナンスどうするのか、根室の人口は17000人になるよ。
30 歳代	・根室の経済発展が今後何よりも重要。生活水準は現状問題ない（不便はあるが）。それには、根室の資源価値を正確に捉え、価値向上を図る事、地元企業が自らアイデアを出し、挑戦できる体制を整備することが重要である。 ・安易に企業誘致という事を考えがちだが、結局はその企業に主導権を握られてしまう。釧路の「日本製紙」、厚床の「明治乳業」のように。業績が悪くなると撤退してしまう。つまり地元企業が知恵を絞り、中長期的に成長していく事で、雇用も創出され、若い人が根室を誇りに思うと思われる。 ・そういう意味では、陸上養殖、ホタテ資源増大などの取組みに注力して、最終的に収益化につなげられるように頑張っていたいただきたい。 ・根室は人口が減少し、中標津と比べ活気がなくなりつつある（水産資源の減少など）人口密度（人口減少）が低くなっていることを嘆くのではなく、志の密度を高め自立した魅力ある街づくりを行っていただけるように自治体の支援、貢献を期待している。
30 歳代	子供や若い世代の遊ぶ場所がない。カラオケも軒しかなくなり、ゲームのある店もイオンの小スペースしかない。
50 歳代	・教育予算の充実を。市民が子育てしやすいように。保護者負担軽減対策を進めてほしい。具体的には、教材、ワークブックの購入費用の補助もしくは全額公費負担。修学旅行費用の補助、給食費は永久的に公費負担、数年後のiPadの更新も公費負担。 ・保護者、児童、生徒がお金の心配をしなくて学校に通えるような環境にして欲しい。もっと教育に税金を使ってほしい。教育費の負担が軽減されれば、少しは住みやすい街になります。経済対策だけではなく、教育にお金を回してほしい。
65～74 歳	市議が多すぎる、
65～74 歳	とにかくコロナのせいで、あらゆるイベントや催しが中止になり、ひっそりとした町の中で、淋しさだけが感じられます。将来への不安や、若者達が町に残って色々な事ができる町づくりがあればと思います。高齢者であっても若者と一緒に楽しめる事があればと思っています。自分も含めて、先に立つ者が考えの柔軟さを持って、取り組んでいきたいです。
60～64 歳	・青少年センターを総合運動公園近くの柏陵中学校跡に移転してほしい。現在の所は不便だ。 ・市立病院の血圧計の台数を増やして欲しい事と、ちゃんとした数値が出る機械を導入してほしい。

年齢	問 22 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が住みやすい街になってもらいたい。安定した仕事があると良い。 ・新鮮な魚介類があるのにもっともっと根室をPRしてもらいたいです。 ・現実、漁業の後継者がいなくなってきたので、若い人にもっと漁業への関心を持ってもらいたいです。
65～74 歳	<p>市営住宅についての件で一言。入居の際、空気清浄、換気室の点検をしていただきたく思います。換気の中の網が固まって空気が出ない状況でした。現在住んでいるわけではないのですが、点検しているものと思いました。心臓の悪い娘が化学物質過敏症と言われ、通院しています。市営住宅だけだとは思いません。点検は自費でとのことですが、お金のかかる事なので、聞いてみるとやってない人の方が多いです。一年に一度、市でやってくれと。これからの事も喘息とかの人もいると思います。大変です。</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅がない所のゴミのポイ捨てが多すぎる。町内会のゴミ拾いも自宅周辺しかやらないので、結局、住宅がない道路脇のゴミは減らない。 ・花咲線の存続を訴えていても、線路脇のゴミは景観を損ない、せっかくの観光客もがっかりだと思ふ。様々な団体、企業がゴミ拾いしていると思うが、市街地以外のエリアに力を入れた方が良いと思う。そのようなゴミ拾いならぜひ参加したい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、文化会館のフリーWi-Fi を利用して Zoom で総会・研修会を行ったが、釧根地区で根室だけ映像が不安定で他地域から見づらかったと意見がありました。こちらでも気づいて技師さんの協力も得て、少し状況が改善しました。事前に申請したら、何か良い手立てなどありますでしょうか。最近はそのような（リモート）集まりも多いので、ネットワーク環境の充実（公共施設）にも力を入れていただけると助かります。 ・今回無作為にとのことですが、教育、福祉、産業などそれぞれに本当に抱えている問題はその分野の人でないかわからないことも多いと思うので、もう少しそれぞれの分野に特化して計画的に人選して話を聞いていただけるともっと実態に即したまちづくりの計画ができるのではと思います。ただ話す場を作るだけでも良いと思います。すべてを市役所の人抱えなくてもお互いに話を聞いた人が「それなら私これできる」という意見やつながりができるかもしれないので。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てがしにくい。無駄が多い。税金がどう考えても高すぎる。そのくせ何の支援も感じない。そもそも普段から国から支援を受けている母子家庭ばかり手当を厚くされ、実際きついのは一般家庭。 ・本当に困っている母子は相談からの実施で十分。共働きしないとなく子育てを取り組めないしコロナで休園続いて生活困っている方もたくさんいる。後、亡くなった祖母も冬も暖房すらつけられず、毎日辛抱しながら生活している姿がとても辛かった。誰も現実の問題を見てくれてないと思った。母子の方が豊かな暮らしをしているばかりで、偽装離婚すら考えてしまうような町だと思ふ。少子化問題に直面しているならまず夫婦いる生活の方の子育てをもっと応援してほしい。
20 歳代	陸上用の 400m トラック（タータン）を作って欲しい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土について→新しい交流方法をこの期に考え、実施してはどうか。戦争が起こり、時代も人材も変わる時だと思ふ。返還じゃなく、経済交流みたいな。 ・まちづくり→子どもが少なくなっている。子育てがしやすいように、子どものための施設を建てるべき。保育園、遊び場、一人親のための子どもを無償であずかる施設など。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市のみならず、日本全体の問題ではありますが、やはり少子化が非常に深刻な問題であるとの危機意識があります。私はまだ独身で家庭を持っていないため、直接的に問題と関わっているわけではないのかもしれませんが、それでもやはり今のままではいけないと感じています。 ・兎にも角にも妊娠・出産・育児への経済的な支援が最も必要であると考えています。私を含め、私の周りには子供を授かりたいと考えている人（主に 20 代）が多くいますが、彼らのほとんどが経済的な事情を理由に子を産むことを決断できていません。贅沢な願いかもしれませんが、「貯蓄をせずとも迷わず妊娠・出産を決断できる環境」があればその地域は必ず人が移り住み、活気を与えてくれると思います。今の若者たちはとにかく貧困に苦しんでいます。どうか、将来世代への投資を今後もお願いします。
75 歳以上	1 人暮らしの高齢者とかばかりでなく、市内の老人皆に福祉金などがもらえる様にしてほしい（同居している人には福祉灯油などがもらえない）
75 歳以上	迷惑駐停車が非常に多い。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・透明ゴミ袋について、子育て世帯・介護世帯、ゴミ拾い等すぐになくなってしまいますので、何回も市役所にもらいに行くのが大変。そういう所に多くもらいたい。（資源回収専用袋の無料配付について） ・市民平等にもらえる給付金。 ・街灯のない民家周辺への街灯設置 ・防犯カメラ設置
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市総合運動公園が少しずつ良くなっているの、近くに体育館（青少年センター）や球場を移してもっと便利な環境を整えば大会も出来ると思います。野球人口も減少してますのでスポーツのまちとして設備が必要です。 ・根室は交通の便を充実させる必要あります。車のない方が管内へ移動する時不便ではないかと思ふ。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者、運転者ともに非常に交通マナーが悪すぎる。狭い駐車場でも徐行しないし、お互いを見ていない。何度もひかれそうになったし、危険なので、駐車場整備や対策をすべき。 ・妊婦健診費用をもっと補助すべき ・ありえない位当て逃げや盗難事件が多い。なのに店外や街中に防犯カメラがない。 ・税金や水道料金は高すぎるのに、市としてやるべきことを何もやってない気がする。もっと安心して暮らせ

年齢	問 22 意見・提案
	るようにするべき。田舎なんだから、もっと住みたいと思わせるように工夫してほしい（お金や娯楽）転勤族でなければ、遊びに来たいとも住みたいとも思わない。
65～74 歳	意識調査の結果報告及び、それを踏まえてどうして行くかという事が見えてこない。
65～74 歳	安心して働ける、生活できる、老人が孤独にならないような町づくりをして欲しい。長生きの時代と言いますが、自分の出来る事は自分でやる精神をもって生活、自分の努力も必要だと思います。いつもお仕事ご苦労様です。市民のために今後ともよろしく願いいたします。
40 歳代	緑町中心部の空き店舗の閉め切ったシャッターを見るととても悲しくなります。昔のような活気のある根室市に戻すためにはどうしたらいいのか。若者が根室を離れていくのを止めるためにはどうすればいいのか。商業施設や娯楽施設が何もない。そこを重要視するべきではと思います。
75 歳以上	有難うございます。年に 1 回位このような調査があつて良いと思います。
75 歳以上	病院の先生の不足のためちょっとしたことは対処できますが、すぐに釧路にまわされるので、いい先生が来てくれて根室で済むようになってきたらと思います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで住んだ町で一番町並みが悪い。ゴミのポイ捨てが多くせつかくの自然環境が台無しになっている。環境美化を推進してほしい。 ・水産資源が沢山あるのに、活かさず捨てていると思う。根室駅前に場外市場的な環境客が楽しめる施設を作れば良いと思う。海鮮を食べられる店が少ない。観光客は結構求めています。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の整備（横断歩道が少ない。特に国道沿い危ない）。一時停止線だけでは安全性に欠ける。セブンイレブンの左右の道や花まるの所、子供たちが安全に渡れるようにした方がいい。 ・下校時間などは広範囲で見守りの人がいてほしい。 ・コロナ感染者が 1 人出たくらいで休校にしないでほしい。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若者とお年寄りの交流の場を作ってほしい。 ・子供の遊び場の増設 ・交通マナーが悪いと感じるため、取り締まりの強化と思いやりを大切に車の運転をするように呼び掛けてほしい。
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・服屋さんなど根室で買う所が無いから釧路とか中標津に行って買っています。 ・納沙布線バスを使って登校していますが、バス便が少なく、最終の納沙布岬行のバスが「16:20」で学校の放課後講習などが終わるのが「16:40」なので利用できない。 ・結局、親に迎えに来てもらうしかなく、負担になります。定期券も往復で帰えなくて損しています。昔のように「18時」バスを作って欲しいです。せめて「17時」バスでも良いです。授業の終わる時間にバス時間を合わせてほしい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市が色々な取組みをしている事がなかなか知る機会がない。新聞の折込みに入れても新聞を取ってない人は知る事が出来ない。 ・美味しいエビの時期になると毎年思う事、エビを小さい(SS)として店で売っていますが、小さいうちに獲ってしまうと、大きくなるエビは無くなります。あまり小さいエビを獲らないようにして育てる事を考えてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・観光や企業誘致、市外からもっと人が来るような活気ある明るい町がいい。 ・家族で出かける場所がなさすぎる。
18～19 歳	<p>私は難病指定の病気を持っていて、月に 1 回釧路の病院へ通院しています。釧路の病院へ通う事になったのも、根室の小児科で「この病気には対応できない」と言われたためです。そのため、少し風邪をひいたり、違う症状で病院へかかりたい時は必ず釧路まで行かないといけなくなりました。かかりつけ医が釧路だから釧路でみてもらえと言われてます。根室市から受け入れてもらえなくなったのです。私は今 18 歳です。これから長い人生あるのに住みづらくてしょうがないです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の祖母も市立病院へかかった時「その症状を診る科は根室に無い」と言われて、釧路の病院へ紹介状を書かれました。根室市だけでは生活が成り立ちません。根室市が独立した国だったらみんなすぐ死にます。
65～74 歳	年金生活には希望がうすい。生きてるだけむなし。
40 歳代	健康のためにウォーキングをしているが、疲れた時に座るベンチがほしいと思うことがある。バス停などに置いてもらえるといいと思う。
50 歳代	最近、外地から転入して来た者です。根室は、古き良き時代を匂わせる活気のある街だと思います。それは、水産業に下支えられた経済力によるものと感じます。既定路線かもしれませんが、それら主要産業を大切に育て、教育、文化、社会保障などが充実した市政を展開してゆくべきかと思っています。
75 歳以上	民生委員による訪問が行われていますか。
20 歳代	冬、雪で通行止めになった際、子どもが熱を出したが病院に行けないということがあった。なるべく早い除雪が行われるようになってほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・武道場について、とても古く耐震を満たしているのか心配です。整備を検討してください。 ・おむつ用品購入券支給事業について、令和 4 年 4 月 1 日以降に出生した子が対象とありますが、なぜ 1 歳に満たしていない子を対象としてくれないのでしょうか。おむつに限らず子育てには色々とお金がかかります。検討していただきたいです。（令和 4 年度新規事業・根室市子育て世帯生活支援事業（乳児おむつ用品購入券支給事業について）

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> 根室市の防災スピーカーについて、たまに放送がありますが全く聞こえません。テストなどを増やしたほうが良いと思います。
65～74 歳	<p>夏でも 20℃前後と非常に住みやすい街だと思います。今各企業ではコロナ禍の影響もあり、テレワークの業務が全体を示しており、すずしい根室で仕事をさせてはどうですか。(仕事の能率は格段に上がると思います。宣伝をよろしく)</p>
40 歳代	<p>人口も少なくなってきたので、増えるようになることが良いと思う。コロナも減ってきているので、少しずつレクリエーションでもやって行くとよいと思う。</p>
20 歳代	<p>地方から人がたくさん来るような観光地となつてほしいです。</p>
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 若い人たちが楽しめる施設があったら良い。 雇用が充実して子育てのしやすい街になってほしいです。 老人に対してもお金のあまりかからない老人ホームなどの、市主体のものがあったら良いと思います。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 半島の道路を走ると、しばしばゴミの散乱が見受けられる。コンビニ弁当の残骸、空き缶、ボトル、最近ではマスク等その種類は挙げればキリがない。ポイ捨てや不法投棄の禁止を啓発するポスターも半島内には多く設置しているのにも関わらず、この実態は大変嘆かわしい。平気でゴミを捨てる人間はごく一部ののだろうが、あまりにも迷惑だ。我々が世界有数と言っても過言ではない素晴らしい自然環境の中で暮らしている。という自覚がないのだろう。野鳥をはじめとした生物への影響は計り知れない。 私の提案だが、根室市独自の条例等で全国の市町村でも類まれな不法投棄厳罰化を検討してみたいかだろうか。かけがえのない唯一無二の生態系を保有する市として、環境汚染を決して許さない姿勢を対外的に見せつけるべきだと思う。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生の成績が完全二極化している。親の意識として勉強なんてしなくてよいと言う方も多い。学校でのセミナーや説明会など親の意識を変えないと市の成績はあがらないのではないかと。クラス崩壊、授業崩壊の話をよく聞く。 学校からのアンケートで少人数指導や TT (ティーム・ティーチング) はどうかと言う質問があったが、その前にやるべきことがあると思う(学校へ教育委員会から指導など)。ふるさと納税を活用して、先生方の研修(学力上げた学校へ)など出来ないのか。何年かしたらいなくなるかもしれませんが、いる間に少しでも成果が出るのであれば子どもたちの為になると思う。 若い先生を根室市で育て、根室市に行けば研修に行けるとなれば、向上心の高い先生が来てくれるかもしれません。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり会議のほか、いろいろな場で女性が少ないと思う。市の職員で女性の管理職はほとんどいなくてとても男女共同参画にはなっていない。 根室市が持続可能な社会であるために、子どもがすこやかに育ち、地元を愛し学業のため根室を離れても戻って活躍できるような社会づくりが必要だと思う。 古い価値観がまだ抜けきらないように感じている。まちづくりについても子どもから高齢者まで一緒に語り合う場を作り、継続していくこと(発言は否定しない)。そういう場ができてほしいと思う。
75 歳以上	<p>アンケートの回答ができませんでした。年齢との差がありました。 人口減は続いています、市の予算は増大しているように思われます。不安を感じます。</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりは、行政(公務員)が行くと、日頃から困りごとや遊びの経験が少ないため、社会や市民のニーズを肌で感じる事ができないので、中途半端になりやすい。また、学者を採用すると面白くない。もっと市内外にいる遊びに長けた人や年齢、職業、学歴にこだわらない人材を集めて現状課題問題提起を行い、基礎から考えるべきではないか。 また、北方領土問題についても決まりきった行事ばかりで力を入れているとは思えない。 コロナ対策の支援物資も市内企業の商品が使われておらず、地産地消を行っていない。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 最近、柏陵中学跡地で、熊が出ました。運動公園の隣であり、朝～夜にかけ、たくさんの方が利用しています。危険な状況であり一時閉鎖されていましたが、情報弱者である高齢者の方は閉鎖されていることを知らずか利用していました。現在は熊がでるかもしれない状況下で夜間も利用されていますが、中には恐ろしいから利用しないという人もいます。せつかく温かくなってきて運動をしようと思っている市民にたいしてもったいないと思っています。 市としては、青少年センターや温水プールのように開いている時間(9時まで)は、街灯を点灯し、音楽等を鳴らし熊が寄り付かないような対策をする事で安心して利用できると思います。現在はサッカー場、テニスコートの利用時以外は暗く、防犯面で考えても不安なところがあるのではないかと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室の新たなシンボルとなるような宿泊施設を建設する。部屋の大きな窓から景色が見えて、最高級の料理が食べられるようなホテル。根室は天気が悪い日が多いので、おもてなしや建物を楽しめるようなホテル。 お願い。住宅街の細い道に入ると街灯が点いていない所がたくさんあって怖いです。大きな道路だけでなく、小さな道路も明るくしてください。
40 歳代	<p>ネコが増えないようにしてほしい。子ネコが車にひかれたりしているのを見ると、かわいそうで。ネコの避妊・去勢の支援をするべき。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 将来運転免許を返上した場合、郡部方面のきめ細やかな交通手段が必要。小型乗合バスの対策をお願いします。 地方へ進学した際、住居等の費用の補助をお願いします。

年齢	問 22 意見・提案
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹産業である水産加工業が転換期にあると思います。ウクライナ戦争後の対応は見えませんが、根室市の基幹産業は水産加工業であることに変わりありません。新しい確実な対策が求められます。 ・ 一には「養殖」事業の拡大。二には観光事業との合体を求めていきたいと思います。 ・ 関係大学や道・国の機関とも協調して、根室半島に海老蟹類の研究施設を併設した世界的規模の水族館を建設したらどうでしょう。世界中のとは言いませんが、海老や蟹の料理を提供できるようにします。一大プロジェクトとして考えていただきたいと思います。
75 歳以上	私 76 才、去年 11 月～12 月、今年 6 月 1 ヶ月入院。いずれも、釧路の病院で 4 回の手術。まだまだこれから通院もしないといけない状態。本当に大変です。釧路の人がうらやましい。冬になったら根室に住んでいただけないと思います。人口減少はやはり、病院手術受けられる所がない？痛切にほしいです。あと何年、根室に住めるかなと淋しいです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと若い人が集まるようなお店があればよい。カラオケ、ボウリング以外にマンガ喫茶のようなものがあれば良いと思う。 ・ スポーツでは、朝野球の人口も減ってきている。小学校も中学校もスケートリンクにはナイターの照明とかあるのに、市営球場にもつけてもらいたい。夜ならばできるという人が増えて良いと思う。 ・ 高齢者の介護のサービスがもっと利用しやすくなれば良いと思ってます。訪問介護なども手続きや書類とかも多岐にわたるので、もっと気軽に申請できると良いです。
30 歳代	歩行者の押ボタン式信号の改善。押しても数分間変わらないことがよくあり、とても不便。近くの車信号と連動している気がするが、さすがに待たされすぎる。歩行者優先で押したらすぐ変わるようにしてほしい。
75 歳以上	年齢にあったアンケート調査をお願いします。 高齢者にはちょっと難しいと思います。
60～64 歳	市立病院に先日身内が入院したのですが、その時の医者、看護師さんの対応で少々私達(身内)に対する言葉かけに親切さが欠けるなあと残念に思うことがありました。 みんなではありません。特定の方なのですが。言葉かけて大切ですよ。コロナで面会にも行けず、どんな様子なのか心配な家族にとって、医者や看護さんの言動はありがたいものです。そんな時に、親切さに欠ける事務的な言動はがっかりします。職員の方々皆様で、言葉かけについて、話し合ってはいかがでしょうか。病院のイメージが悪くなると思います。
75 歳以上	市民の皆さんと共に意見を出し合い行動しより住みよいまちにしましょう。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単科大学の誘致(本来であれば水産大学としたいが巨額の設備投資が必要だと思われるので)をして、若者が当市に在住することで地域の活性化を図る。 ・ 養殖事業に特化した水産業の展開(近大のマグロ完全養殖の実現をみて気候などに左右されることなく、安定した経営が見込まれる)を推進。 ・ コンパクトシティ構想の実現(緑町商店街の活性化→長屋的な店づくりで観光客を呼び込む。公営住宅を街中に建設し買い物がしやすいようにする)。 ・ 遺跡の豊富な街「根室」にふさわしい博物館の早期建設を望む。特にオホーツク海側の手つかず遺跡を保護し、トーサンポロ周辺に建て、ノサップ岬とのルートで観光客も呼び込む。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環バスの小型 ・ バスの停留所を増やす
65～74 歳	駅前商店街歩道の整備をお願いしたい。歩道・コンクリートの隙間から雑草がたくさん生えている。
20 歳代	街が活気づくお店を沢山出店してほしい。根室に住んでいると言う事を誇れるような街にしてほしい。現状は友人などに話をするとバカにされます。悔しいです。根室で生まれた人がずっと根室にいたいと思える街にして下さい。
50 歳代	宅配(生活物資等)してくれる業者がない。イオンネットスーパーのような仕組みがあるといい。有事に買物に外出できない人には必要なこともある。ネットスーパー機能のようなものがあればいい。民間業者でもいいのですが。
18～19 歳	コロナ終息後でも良いから、イベントで地域全体を盛り上げてほしい。
30 歳代	根室→釧路、釧路→根室の花咲線やバスの終電が早すぎる。夜、飲んで帰れるくらいの時間に一本でもあれば飲食店的にも助かりそうな気がする。
30 歳代	昨年出産し、子供に障がいが残ってしまいました。正直このような状態で人口の少ない街での子育てはどのような支援があるのか等分からず、将来に不安しかありません。ただでさえ家賃相場、水道料、国保、ガソリン等が高く、給料も少ないのに。子供の為に釧路の病院へ通院していますが、道も遠いので大変です。病院に通いやすく、保育園に看護師さんが配置されていて、家賃相場ももう少し安い街、他にあってほしいのでできれば引越しがしたいです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市営住宅が光洋町に集中して、いっぱいあるので北斗小学校の方向へにも作ったらどうでしょうか。このままだと北斗小学校、柏陵中学校の生徒数が少なくなる。 ・ 買物する(服、デパート)が何もないので、結局釧路まで買物。 ・ 家族で食事する場所が少ない。ファミリー向けの食べ物屋さん欲しいです。
65～74 歳	根室市のふるさと納税は毎年順調に推移していますが、今般のウクライナ情勢によりロシア海域に出漁できなくなり、漁獲量の減少による返礼品への影響が心配である。

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> この影響によってふるさと納税も減ってくると思うので貴重な財源を長く使っていくためにも箱物はできるだけ作らず人材育成に使ってほしいです。
20 歳代	住める場所（賃貸物件）を増やしていただきたい。不動産も少なく、選択肢が少ない。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 学生であっても良いアイデア、オリジナリティを持っているので、意見を聞くことや、他の市町村など「まちづくり」で成功したこと、失敗したこと、今取り組んで行っていることなど、参考となる事柄を学んでいただきたいと思う。 明治公園も、サイロを残したのはとても良かったが、焼肉コーナーの他に、キャンプ場施設を設けたらどうか。今、コロナ感染の影響で他の場所へ行けないので、市内で家族や友人たちと楽しめると思う。観光客にも明治町は納沙布岬へ行く途中にあるし、ちょうど良い場所ではないでしょうか。
40 歳代	生活環境の欄にも記入したのですが、カモメの糞の被害が家でも職場でも年々増えていて、困っています（車やベランダの洗濯物など）。屋根や屋上に巣を作らせないようにするためにはどんな対策が効果的なのか具体的に教えてもらいたいです。よろしくをお願いします。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと遊びの広場、思っていたのと違ってちょっと残念。予算もありますが。中標津の道立ゆめの森公園のようにしないと中途半端な広場であまり行かなくなりそう。道立ゆめの森公園の屋外施設のように拡大すると地方客も来てついでに根室の海産物でも買っていかみたいになって根室も潤う事を期待します。（全く同じくしてもあの位の広さがあれば楽しい。逆にあれぐらいないと意味がない） 根室道路（高速）の温根沼 I C 側の通行無料などの看板が分かりづらく、入口付近で地方からの車が危険な運転になっているのを何度か見えています。もっとわかりやすい看板をお願いします。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 病院が建替えられてきれいになったので良かったのですが、待ち時間が長い、受診できる日や時間が限られており、利用をためらってしまうことがあります。 最東端に来てくれる医者は少ないかもしれませんが、何とか確保していただけたらありがたいと思います
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 市あるいは道で管理していない道（港の中に通っているもの）を市、道の護岸工事にも大型車両が使われていますが、道が荒れてしまった場合、地元民が出資して直さなければいけないのか ワーク・ライフ・バランス、初めて聞きましたが、このために具体的に何をしていますのでしょうか。私は無知なので何をしていますのか解りません。理想論は必要なしです。ワーク・ライフ・バランス、現実的には無理では。（国、都道府県）学歴も大事かもしれないが、それ以外、仕事上での有用性も大事にして、人物育成してみたいかがでしょうか。
30 歳代	以前、わんぱーくに行った時、娘（2歳）が遊べるものが少なく感じていたのですが、この前久しぶりに連れて行くと小さい子用の物が増えていて楽しそうに遊んでいました。これからも、どんどん増やしてくれたら嬉しいです。（明治公園にある小さい子用のブランコや滑り台も嬉しい）
75 歳以上	<p>医療の充実・常勤医の確保</p> <ol style="list-style-type: none"> ①出産が安心してできる事によって若手人口の自然増へとつなげる ②市内の病院で安心して医療が受けられることが望ましい。現状では釧路市等の病院に依存していることが多い。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの実現は今の雇用形態だと無理だと思う。毎年、最低賃金高くなるとその分時間が減らされて給料が上がらない。厚生年金に加入できないで、国保になってしまったりするから。その分掛け持ちしないと大変。 水道料金高すぎるので、もう少し金額下げしてほしい。あと家賃も高過ぎておかしい。それなら、他の町に住んで仕事探したいと思ってしまう。 根室市は一番端っこにあるから、あまり観光客来るイメージないので、温泉掘って立派な施設あったらもっと活気出ると思う。 運動公園の施設は小学生までしか利用できないと聞いて愕然としました。しかも、規模も小さい。病院もそうですがせつかく建てるならちゃんとした大きい広いのを作った方が良いのでは。予算の事もあるとは思いますが、あまりにも。 魚も年々減少してきて水産業界はかなり大変です。養殖場など造って雇用確保したりできないのでしょうか。 森が少ない気がします。木を海岸近くに植えたりできませんか。あと、しまむらの近くの海岸沿いが波で削られていて心配です。護岸工事とかしないのでしょうか。 市内の商店街でのみ使用できる商品券、食事券、無償で市民全員に配布してほしいです。（厚岸町民がうらやましいです） それと、市の防災無線が聞こえません。スマホとか無い高齢者の方とか何か災害あってもわかりません。 言いたいことが沢山ありすぎて書ききれないです。とにかく子供たちが大人になってもずっと住み続けたい市になるように願っています
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 最東端のノサップ岬の観光地をきれいに魅力的な物を何か。 特産品を開発して見る所を増やしてもっと文化会館にコンサートや映画など観られたらいいな。 地震の時の道路ですが、落石は避難道路が一本しかないの山側の方に道路を作ってほしいです。線路より林側、寺の山側の方にできませんか。よろしくをお願いします
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> まちを長続きさせるには人口数の維持が重要である。即効性があるのは企業誘致か学校誘致である。既に隣の町中標津町では日本語学校や I T 関連の専門学校もできる。根室市は遅れている。市の移住促進会議にも何度か出たが、若干の移住者にちやほやして、生ぬるい内容であった。

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> ・間もなく発生するかも知れない大地震や大津波の恐怖もあり、なかなか思いきれないが、本州で進めている移住しやすい生活住環境を整備し、Iターン人口を増やし経済の活性化を図ることが肝要である。 ・根室の特性を活かした町づくりによる移住者増もしくは企業や学校の誘致による人口増の二択となるが、思い切った施策が必要である。
75 歳以上	<p>明治町の主婦の方が、早朝散歩の時ゴミ拾いをしていると話をしていました。(毎日ではないかもしれませんが)私は余り散歩には行きませんので、頭が下がりました。</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・実家が札幌なのでお土産を買って行きたいのですが、カニ、さんま、オランダ煎餅以外に思い浮かばないので、もっと若い方にも喜ばれるようなお菓子などお土産にあるといいと思います。 ・水道代を安くしてほしいです。 ・ベビーカーでよく出かけるのですが、歩道が細くて人と交わすときにどちらかが車道に出なければならぬので、歩道を広くしてほしいです。 ・猫をよく見ます。殺処分にならない保護方法があるといいと思います。 ・マイナンバーカードの行政サービスが使えないです。 ・津波が怖いです。 ・小児科が 1 軒しかないので急病になったらと思うと心配になります。
65～74 歳	<p>老後もここで暮らしたいと思えるような町づくりを希望します。</p>
50 歳代	<p>数十年前のような豊かな漁場になってほしい。</p>
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもを連れて引越してきたばかりですが、子育て支援などは充実していると思います。小児科が 1 軒しかないのは不安ですが。公園も広くきれいで利用しやすいです。ただ買い物をする場所が少なすぎて 10 年、20 年を根室で暮らすのは正直厳しいと感じています。 ・自然豊かな土地で暮らしたいという人には良いまちだと思います。 ・中標津、釧路まで高速道路ができたりするとすごく便利だと思います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、死亡第 1 位のガンについて、市立病院の対応は釧路の病院への紹介が一般的です。手術、化学治療(抗がん剤)、放射線治療があります。高齢者だと手術は体力的に難しい面があるが、放射線治療と抗がん剤治療で充分対応できると思います。現状は、抗がん剤治療はできるが、放射線治療は機械がないのでこの治療はできないとのこと。いくら医療の地域格差とはいえあまりにおぞましいです。市長に強くお願いしたい。根室市民は全員が全員賛成すると思います。この問題をぜひ実行してほしい。 ・同時に公的な在宅介護サービスはありますが、ホスピス＝緩和ケア病棟がありません。これも上記のことと関連しているのでそういう施設を作ってください。 ・漁業について。ロシアとの関連で漁獲できる魚がどんどんなくなって、漁業が基幹産業の根室は夕張のようになるかも。養殖産業は芽が出るまで何年もかかる。養殖が必要であったことは何年も前から予想できたことと思います。 ・養殖といっても色々あると思います。例えばチョウザメ、ふぐ、紅サケ、マグロなど。それが根室の名物になれば、観光客、企業進出、人口流入と。養殖にもっと予算をとって、あとは実行するかどうか、日本全国成功している所に行って学びだけやる気があるかどうか。 ・ただ指をくわえて人口が減り、さびれていく根室をみつめているのか。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・クマの駆除していないので、どんどん増えていくと思います。キツネも毎日家の前通るので衛生的に悪いです。キツネの薬などもっとまいてほしいです。何か根室も今一つ活気がないですね。市議員ももう少し動いてほしいです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊ぶ施設をもっと充実してほしい。「わんぱく」は出来て良かったが幼児が遊ぶものがないので、おもちゃを増やしたりしてほしい。 ・出産も一時金などであるのはありがたいが、検査など見えないお金がかなりかかるので、子育てを充実したいのであれば出産一人につき「何百万支給」とか、があるともっと若い人も子どもをつくろうと頑張ると思います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査について。市民に意見を聞くことは大切なことだと思います。ですがずっと根室市に住んでいると様々なことが「あたりまえ」になってしまうので、市外からの転勤者等にも意見を聞いてみてはどうでしょうか。 ・根室市創生総合戦略では、人口減少が課題の一つだと思いますが、大学や専門学校等がないので市外への若者流入は避けられないと思います。戻ってきたいまちにする。移住したい人を増やすことを視野に入れたほうが良いと思います。暗く活気のないまちに戻ってきたい人はほぼいないので、明るく元気なまちがよいのではないのでしょうか。 ・若い女性という言葉が数カ所ありますが、若い男性という言葉は一度もないのではないですか。結婚も出産も子育ても女性が担う割合が多いのは理解できますが、若い女性の負担が大きいのではないのでしょうか。まちづくりも大切だと思いますし全体的に考える必要はあると思いますが、最終的には「人」だと思います。 ・根室は狭いまちです。色々しがらみがあると思うので、広く意見を聞いてほしいですし、会議等いつも同じような顔ぶれ有識者では発展しないと思います。 ・また、しがらみがある故、意見を言いたくも言えないこともあるので、「市長への手紙」は匿名にしたほうがいいですし、「このような意見がありました」ということを広報等にのせてはどうでしょうか。この町のここが楽しい嬉しい等魅力がないと住みたい町にならないと思いますし、逆にそれがあると少々のことには目

年齢	問 22 意見・提案
	をつぶることができるのではないのでしょうか。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんどん人口が減り高齢者が増え若者たちは都会へ根室市のまちづくりと言ってもデパートはあっても品薄だし、市の病院立派になっても常時 Dr はおりません。このままでは根室市もさびれていくのみと考えます。 ・ ふるさと納税の資金、もっとふんだんに市民の為に使ってほしいと思います。(子どもたちは別です)毎年市民意識調査こうして書いても、何も変化なし。子供たちの施設、配慮は素晴らしいと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代の人たちのために、ミスド等チェーン店の誘致や移動販売車の誘致して、根室市で週末を過ごしてもらえ工夫をしたらいいと思います。 ・ また、せっかく国指定文化財があるのでそれを生かした観光づくりをしたらいいと思います。花咲線とセットで売り出すと人気がでると思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ わんぱーくには小さい子(小学校前)が遊べるものがあまりないので、おままごとやもっとおもちゃを置いたらどうですか。つどいの広場クルクルは休日、日曜やってないので、わんぱーくもそういう遊びができると助かる。 ・ 今共働きが当たり前の世の中で、1 歳から仕事に復帰することがほとんどですが、保育所は 3 歳から無料保育なので、1 歳～3 歳までの子を預けるとお金がすごくかかります。収入によりますが、うちは夫～500 万、私 300 万ほど年収で、子 1 人 5.5 万/月です。何のために働いているのやら。一旦やめて 3 歳から仕事を探すこともできるが、今までのキャリアなどなくなるし、1 歳からの保育料無償化を切に希望します。
30 歳代	市立病院で働く人の教育をしてほしい。言葉遣いや対応など。人員が不足していて、悪い対応をしてしまうのであれば、看護師(看護師長含め)、事務員、医療介助スタッフを増員してほしい。医療体制の不安からずっと根室に住み続けたいとは思わない。
65～74 歳	今は、仕事もしていますが、年金生活になった時の不安があります。高齢者にやさしい市になってほしいです。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを安心して育てるためにも、出産祝金をもっとたくさん支給してあげたいと思う。どこかの市町村のように一人目 100 万とかの単位でも多くはないのでは？ ・ その後の育児に関しても高齢者をいずれ支えていけるまちづくりを望みます。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご存知でしたかという質問が多すぎます。市はこういう事をやっていますアピール？ ・ 介護保険料を年金から払っていても施設に入るのに年金生活だけで入るのはとても無理、とても不安でしょうがないです。
20 歳代	学生がもっと地域の人と密に接し、特産品となるようなものを考えたり、街をまきこんだイベントをすると何か面白いことが起きそう。またそういった活動を行っている学校と関わる機会を与えらるともっと充実した学生生活が訪れると思う。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、漁業関係の仕事をしていますが、仕事があるときと、ないときの収入が違いすぎるので、現在の賃金が 900 円ぐらいなので、時給を上げて下さい。とても生活が苦しいです。(ガソリン、物価の原因で) ・ あと、役所の中の人でとても対応の悪い人がいて、相談に行ったのにきちんと聞いてくれなかった事がありました。だから相談に行くことをやめました。2 年前の話です。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな事はいいが、野生動物(シカ、クマ)が市民生活に被害を及ぼしていると思います。 ・ チューリップは食べられ家の前にシカが何時間もいすわって外にでられない。街の中にシカが普通に歩いていて車の運転が危ない。
30 歳代	新しい人が移住した際の住む家(アパート、マンション)が少ない、汚い、古すぎる。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場を作って海産物などをそこで食べられて、帰りはお土産を買える所があれば、観光客も増えると思う。 ・ いいホテルがあまりないので、素通りになっていると思う。 ・ 先生達が住む教員住宅も古くてかわいそうなのでもっと建替えが必要。石垣市長さんは、色々な事をしてくれてとてもよいと思います。行動力もあり、あそびの広場とか作って頂いてすばらしい。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年連続コロナの影響でたしかに子育て支援での支援金はありがたいことですが、一人暮らしや高齢者に対する支援金もお願いしたい。 ・ 60 代でもまだ仕事はしているが、飲食業がコロナの的になってしまい、飲食が悪者になりがちです。感染対策をきちんとしていても、客足は伸び悩んでいます。根室市でもなんとか飲食業会を助ける支援をお願いしたい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根室市老人福祉センターの建替えの話が出ています。西浜センターも学童保育の体育館を借りて利用しています。このセンターをひとつにし、もっと街の近くに建てられませんか？ ・ 市営の卓球施設について。卓球施設ですが練習場が無く子供達は色々なところで練習している。大人もスポーツセンター、プール等でプレーしています。スポーツセンターで卓球場を広く整備して欲しい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の整備をしてほしい。運転している時、段差や穴などが気になる。 ・ 子供が安心安全に暮らせるように学校や地域が協力して守ってほしい。野生動物や不審者などが多い為。コロナによってメンタルが弱っている人が多いので相談できる場所やカウンセラーがほしい。 ・ 子供から大人まで元気に過ごせる根室市になりますように。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ かくれ障害「APD(聴覚情報処理障害)」を知ってほしい。取り上げてほしい。キツイです。音として聞こえていても理解できないことがあります。この疾病は電話が苦手、聞き取れません。「見てわかる」ならできます。絵、イラスト、文字など。

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波その災害対策強化。もう一度確認した方がよい。 ・道路ですが、ポイ捨てが多く、汚い。また、鹿や熊(まだ見てないけど)の飛び出しが危険なので柵を増やしてほしい。 ・詐欺・傷害などの犯罪が減るように治安を良くしてほしい。コロナ禍のせいかストレスたまっているのか？ ・「移住計画」短期・長期の計画が必要。人口増えることが重要。 ・「情報」アプリが必要。根室だけの情報。グルメ、ファッション・カルチャー、アート・写真など。 ・「スポーツ&ゲーム施設」「健康・体力づくり」市民参加できるように、楽しく遊べる場所がほしい。 ・「カプセルトイ」も面白いと思う。みんな集めたくなるのでは？激レアあったらいいな。根室に関するもの、地元産のレシピ料理、キーホルダーカード、ミニチュアシールステッカーなど。
60～64 歳	<p>有磯町 2 丁目、10 番地周辺の道路状態が悪くここ 10 年整備されていないと思います。せめて、グレーダーとかで削ってもらえるとわだちがなくなるのではと思います。砂利等ひいてもらっても良いのですが、車の腹がこすれるほどで、中央は草が生えている状態です。町会の力不足なのか、忘れられた存在のようです。大雨が降るたびに、大きな水たまりになってます。水はけも悪いのでしょうか。何度か町会の方には相談しましたが、進展がありません。</p> <p>このような場所は、有磯に限らず、根室市内は見受けられます。少しでも環境が良くなればと思います。</p>
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室には、大学や専門学校など高校を卒業したあとに学ぶ場所がないため若い世代がどんどん出ていき、働く場所もあまりない。若い世代が残れる根室を作してほしい。 ・子供が減ってきている中、体育の授業など普通の学校で経験していることができない状況もあって、引っ越しを考える人も多いので、根室の学校で学んで良かったと思える学校づくりをしてほしい。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃が高い。劣悪な物件であっても(築年数が長い、日当たりが悪いなど)一人暮らし、20 代の月収に見合った価格で提供されていない。 ・家賃が下がるように、もしくは、市民の住宅費を負担するような助成制度が必要。ちなみに現在の根室の家賃なら全体的に、1 万～2 万円減額するのが妥当だと思う。 ・教育の充実以前に、教員が幼いと思う。それが子供に伝染している。必要な連絡(出欠など)がなされていない。意志・意見の通し方が自分勝手などということを感じた。大人である教員も狭い世界で「それでいい」と思って育ってきたのがわかる。 ・最後に教育について、部活動を地域に委託するのであれば、子供に自分が熱中できるものへの向き合い方を、しっかり伝える人に務めてほしい。真剣に取り組むことがあれば、子供の姿勢も変わっていくだろうから。
65～74 歳	市議の人数が多いと思います。
50 歳代	少子高齢化に伴って、将来増加すると思われる空家や壊れた建物等を、市有地や市所有にできる(対応する)条例等の整備。コンパクトシティー化。
40 歳代	市外地の道路の雑草が伸びすぎていて車で曲がる時に困っています。
30 歳代	子供と休日を過ごすのに、わんぱくぐらいいかない為、中標津や釧路へ出ることが多い。ショッピングモールがあると根室で過ごせるので遠出の必要がなくなり、根室での経済活動にもなり良いと思う。
75 歳以上	<p>下記のようなミニ植物園のような施設を作してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花畑をおおきくしたようなもの ・庭園のような所もあった方がよい ・見晴らし良い所に、休憩所がある(ガラス張りの) ・軽食できる喫茶店があればよい。 ・根室の山野草も植えてほしい ・低木(千島桜やツツジ類等)の並木もあってよい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護：風力や太陽光などの大規模な開発を防ぐような条例等で自然に対する負荷が高くないように基準を設ける。 ・経済：近年の漁獲量減少の影響が大きいので、育てる漁業、持続可能な漁業に対し支援する。 ・出産・妊娠：第一子より出産可能な体制を整える。0～3 歳未満児の保育料の引き下げ。 ・子育て：学校給食の充実(バランスのよい献立)、給食費無料化 ・公共交通：JR 存続ありきではなく、住民が本当に便利で利用できると思える公共交通を検討する。車を持っていない高齢者の足の確保。 ・土地・住宅：市で空き家・空地を買い上げるなどして、外から人が入りやすいような住居の環境を整える。 <p>※ほとんど使われていない空家・空地バンク制度は見直すべき。</p>
75 歳以上	良い町でありますように。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若い人向けの娯楽施設があれば良いと思います。 ・小さくても良いので映画館とか水族館とか家族でも楽しめる施設が欲しいです。今の環境だと釧路とかに娯楽を求めるしかないのが辛いです。 ・人口の減少を止めるために Uターンを根室市全体で支援して、大学卒業などした人が根室に帰って来やすい状況を作ったりして、若い人を戻すようなことが必要だと思います。 ・根室市で大規模な婚活パーティ開いたり、もっと市で結婚の後押しを積極的にした方が良いと思います。そうすることで少しでも子供の人数が増えたり、根室に根付いてくれる人が多くなるのかと思います。 ・とにかく私は若い人を根室から遠ざけないようなことが必要だと思います。

年齢	問 22 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールなどの充実（買い物したり、見たり楽しむ所が無いです） ・音楽イベント（地元でも有名どころのライブ開催が出来るように力を入れてほしい） ・福祉従事者の給料を上げてほしい。とにかく安すぎる、ふるさと納税でお金があるなら少しでも福祉で働く人たちに何かしてほしい。 ・福祉の現状をお分かりですか。都会と比べても 10 万円以上差があり低いです。根室は物価や家賃も高いですし、ワーキングプアです。人出も足りていません。福祉の道は今若い人達も必ず通る道です。皆さんも通る道です。働き手がいなくて辛い思いはしたくないではありませんか。働き手を増やすためにも賃金の見直しをお願いします。水産、農業だけに力を入れないでください。どうかよろしくをお願いします。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・就職して、関東から移住してきたものです。何よりも夏の涼しさ(寒さ)は絶対に武器にすべきです。 ・北海道産の作物、そして根室の水産物はほんとにおいしいです。そのことをもっと前面に出して退職者向けの移住者、別荘シーズンのみの居住地を作り、アピールすべきです。 ・高学歴の方も住まわれるかと思えます。アルバイト的な額を出して放課後など学習サポートシステムが作れたらいい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業が採るばかりではなく、育ての漁業にもっと力を注ぐべき。 ・人が転出する分、転入してくるような施策や企業誘致をした方が良いでしょう。もしくは、交通費を市が負担するなどして市の人口を増やす。3 万人台へ戻すためにはどうしたらよいかを考える。税収がないと行政のサービスも少なくなってしまう。観光客のためのイベントもできないので、段々衰退してしまう。
65～74 歳	<p>根室市の人口減が気になります。</p> <p>静かで穏やかとは思いますが、以前にぎわっていた町の中心部は、今はシャッター街と成り寂しい限りです。今後、若い人達が働ける根室市に戻ることを願う所です。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等の整備⇒緑を多くし花いっぱいでのんびりとたたく事の出来る様な場所になる様に。 ・年寄り、女性だけで住んでいる所が多い中、なかなか配慮に欠ける点が多い気がします。例えば、冬の除雪や家の前の雪かきを終えてやれやれと思った矢先、除雪車が来て固い重い雪を置いていかれ、結局はどうしようも出来ず家から出る事も出来ませんでした。毎年のイライラです。雪かきをしたらわかる所は避ける事は出来ないのでしょうか。よろしくをお願いします。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生に課されるスポーツ振興センターの掛け金 460 円を市で負担していただきたい。(別海町は町が負担しています) 給食費無償化はありがたいが、高額な金額を負担するなら、この掛け金も負担してもらいたいと思います。未来ある子供たちのために実現をお願いします。 ・女性用生理ナプキン等の購入無料クーポンの配布を希望。女性は一般的に小学校高学年頃から初経がはじまり、60 才近くに閉経をむかえます。それまでの生理用ナプキンの購入は多額な出費となります。男性にはわからない生理の貧困があることを分かってほしいです。 ・例えば市が定額のクーポンを配布し、根室市内でのみ購入できるとすれば win win なのでは。 ・ジェンダーフリーのこの世の中、男性も女性の大変さ、辛さ、身体の変化に気づく一歩になるべきです。これも実現をお願いします。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市で実施した、あるいは実施している事業について、知らなかった事が多いのに、自分でもびっくりしています。もっと、社会に関心を持たなければいけません。 ・この頃生活で感じる事は何でも機械化されて便利になったとはいってもそれを維持する機械を所有出来ない事です。携帯電話、パソコンなど購入できません。年金生活で入ってくる金額は決まっています。基本料、使用料など考えると「これ以上、月々の支出を増やしたくない」と考えてしまいます。また、利用するのに「頭がついていけるのか」と思います。ですので、公的機関などを利用する時、それらの機械を持っていない人の為の申し込み(受付)方法を必ず教えてほしいです。 ・医療に関しては、全面的に根室で診ていただけるといいです。地方(釧路)に回されると年寄りも大変ですし、交通費もかかります。手術もリハビリも地元で出来るといいです ・年寄りの家族、若い家族と各家族になり、年配者と若者の交流がなかなかありません。子供もみんな一緒に語り合ったり遊んだり声を掛け合えればいいです。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケートを通じて、根室市で実施されている事業を知る事が多く感じました。根室市民でありながら、根室市のことをよく知らないということを感じました。 ・コロナ禍という昨今で、イベントの中止も相次ぎ、人との触れ合いも減り、今まで普通にすごしていたことも出来ない人達がいると思うと複雑な気になります。 ・ネットの世界に触れすぎて、自然への関心が薄れていき根室市内にゴミが捨てられているのは悲しく思います。 ・漁業だけでなく、根室市といえば〇〇というようなブランド等で知名度が上がればと思います。未来の子供たちが根室に定住できる根室市になりますように。色々とお難うございます。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今のふるさと納税金の使い方がどうも納得がいけない。一部の企業だけ利益があるように思える。市民全員が納得いく使い方を要望します。 ・給食費無償は、のちのち市民に負担が来るのでは。いつまでもふるさと納税はありません。 ・市役所にたまに行っても仕事している人 7 割しかいないように見えます。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・この度市の意識調査に選ばれてありがとうございます。 ・ワーク・ライフ・バランスと言う事は何も知らなかったです。

年齢	問 22 意見・提案
	<ul style="list-style-type: none"> 根室の人口の半分以上は老人と思いますが、身体を鍛えるためにスポーツをしています、この4、5年位からパークゴルフ場を利用する人がめっきり少なくなってきました。車で行くことが出来なくて家にこもっている人が多いと思います。パーク場経由のバスがあればもっと老人が生き生きして病院へ通う人が少なくなるのではと思います。どうかバスをお願いします。これからはもっと市の事を考えていきたいです。
65～74 歳	あちこちに廃屋が目につき、解体したらどれだけ根室の町が見やすくなるかだと思います。できない相談ですよね
30 歳代	西浜公園滑り台の階段が危険。
75 歳以上	歯舞地区は田舎なので、バスの便、よろしくをお願いします。
75 歳以上	祭りの再開
40 歳代	<p>基幹産業である水産業をいかに活性化させるかが、根室市が持つポテンシャルの引き出しにつながると思います。前浜での漁獲量減少により、加工業はグローバルに調達先を確保できている企業とそうではない企業に二分されており、安定した原料供給が無ければ、持続可能な産業の維持・発展は困難です。海面または陸上養殖の研究が市で進められていますが、思い切った予算をつけてデジタル化や遺伝子工学といった最先端テクノロジーを導入しながら栽培漁業の育成に取り組むべきだと考えます。国内視察だけでなく、海外事例の調査・研究にも取り組みながら、持続可能な基幹産業の再構築に頑張ってください。</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 子供用箱物が見受けられますが、子供と高齢者が共有できる施設もありかなと思います。新しくできる市役所の片隅にあれば、皆が出向きやすいかな。 最後に現花咲小学校の登下校の坂ですが、子供の事ですから、走り降りてくる事も考えられます。指導員の方がおられますが、ガードレールがあればより安心ではないでしょうか。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> チャシ跡を安全に見学できるように整備してほしい。雑草が生い茂っていてとても気軽に見に行ける場所ではない。せっかくの観光地がもったいない。それができないなら、完全防備で行くよう促す等した方が良いと思う。 根室の歴史を根室市民が知らなすぎると思う。知る機会を増やす。小学生の授業でもっと深く掘り下げる等。チャシ跡、戦争、北方領土・・・ ソーラーパネルが増えすぎて景観を損なっている。そんなに必要なのか。牧の内にあるものの中には、文化財など何も埋まってないのでしょうか。
65～74 歳	郡部の舗装等、不備なところが目立つ。例えば入口部分が舗装されているのに、途中が未舗装とか雨の時に路肩が弱く、車の走行中にハンドルがとられるとか。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 最近、親戚(80代)がケガをきっかけに施設に入所しました。長年一人暮らしをしていたので、最初に入所することをためらったようです。(個人のプライバシーや自由がなくなることに対して。趣味を持っておりテレビや歌が好きだったので、施設での共同生活では今までのように自由な時間が減ってしまうため)時々ヘルパーさんが来ていたようですが、人に手伝ってもらうのを嫌う人でした。 問 8-(6)の設問を見て、介護付き高齢者専用住宅が増えれば、介助介護を普段必要としない高齢者がもっと自由でいきいき生活できるのではと感じました。人材確保など全国的に介護士が不足しているなか難しいと思いますが、一市民の意見のひとつとして参考になれば幸いです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診についてももっと真剣に取り組んで頂きたい。新たな人材が入らないのもあるかもしれないが、問診票の字が読めないほど高齢な保健師では話にならないし、他職員についても、独自の育児論を展開して親を間接的に追い詰めるケースを散見する。今は令和の時代である。エビデンスベースに基づく助言をできるような職員を養成する必要があると考える。市職員という立場にあぐらをかくことなく、専門職たる者頭のブラッシュアップをはかっていくよう努めるべきだろう。 また、もっと発達障害を早期発見できるように、健診内容も変えていくべきだろう。視力、聴力、言語を在宅のみで評価するのは精度に欠けるし、”やったふり”をしているだけの家庭もあるだろう。そもそも家族間でこのような検査を行うこと自体「多重関係」に類することであり、検査の精度を著しく害する。今一度この手の検査の意味・仕組みを職員が理解すべきであろう。「根室の常識＝世間の非常識」というケースは少なくない。他自治体の例を参考にしながら、意味ある健診になるよう切に願う。
75 歳以上	根室の涼しい夏と広々とした風景、新鮮な魚貝類、滞在時は空き住宅を安い料金で提供することを本州方面(都会)にPRする。
50 歳代	<p>現在、私の母は介護施設に入居しております。根室市役所の施策にも大変ありがたくお世話になっておりますが、今後益々高齢化の波が根室市民にも押し寄せる事と思います。</p> <p>市の限られた人員と予算の中で大変とは思いますが、これから高齢になる方々へも変わらぬ支援をお願いできればと思っております。</p> <p>市職員の皆様と石垣市長の御努力に感謝いたします。</p>
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 仕事場を増やしてほしい。 色々なイベント会場を作ってほしい。 子供達が楽しめる場所がもう少しほしい。 家族で楽しめる場所がもう少しほしい。 観光の方々が楽しめる場所がもう少しほしい。 <p>(オーと感動もらえる整備された道路、路肩、インスタ映えする場所作り)</p>
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 昔話をしましょう。私の子供のころ、舗装道路は1本(根室―花咲線)のみ、あとは穴ぼこだらけの砂利

年齢	問 22 意見・提案
	<p>道、そこにサンマを積んだトラックが来ると右へ左へトラックが揺れ、見事に道路一面がサンマの海に、トラックはそのまま行ってしまいます。落ちたサンマのきれいな物だけを頂きました。この時の根室の人口は出稼ぎ労働者、女工、男工含めて約4万5千人近く居ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根室の発展のためには、水産の見直しや農業未来に向けての開発をしなければならない。今、若き活力、発想のできるリーダーを育てなくてはいけないと思います。 ・当時は、イカ、サンマは貰うもの、カニ、エビは頂くものと聞いたことがあります。その時代、良い時がありました。皆で頑張りましょう。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市と教育委員会、学校、各種団体との連携を密にしてもらいたい。 ・あちらとこちらで、言っていること、やっていることが違っていたり、情報が早い、遅い等では市民として従う時に少し不満と戸惑いがあります。

市民意識調査

「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市は、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに、産業振興施策、市内分曉の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の 16 歳以上の住民の方々の中から、無作為に 3,000 名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

これまでに何度か本調査の対象に選ばれた方もいらっしゃるかと思いますが、改めて現在のご意見をお聞かせください。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

令和 4 年 6 月

根室市総合政策部

「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、() 内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、令和 4 年 7 月 15 日（金）までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

■根室市総合政策部

TEL : 0153-23-6111 (内線 2254)

FAX : 0153-24-8692

E-mail : sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。(1)～(5)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 年齢

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 |
| 5. 40歳代 | 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～74歳 |
| 9. 75歳以上 | | | |

(2) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 漁業 | 3. 製造業・建設業 |
| 4. 商業・金融・サービス業 | 5. 公務員・教育・団体職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 主婦（専業） | 8. 学生 | 9. 年金受給者 |
| 10. 無職 | 11. その他（ | ） |

(3) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40年以上 | | |

(4) 居住地域

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| 1. 北浜町 | 2. 琴平町 | 3. 弁天町 | 4. 駒場町 | 5. 汐見町 |
| 6. 海岸町 | 7. 千島町 | 8. 栄町 | 9. 月見町 | 10. 明治町 |
| 11. 曙町 | 12. 宝町 | 13. 有磯町 | 14. 朝日町 | 15. 鳴海町 |
| 16. 本町 | 17. 花咲町 | 18. 松ヶ枝町 | 19. 弥栄町 | 20. 幸町 |
| 21. 大正町 | 22. 常盤町 | 23. 緑町 | 24. 梅ヶ枝町 | 25. 弥生町 |
| 26. 清隆町 | 27. 光和町 | 28. 北斗町 | 29. 平内町 | 30. 岬町 |
| 31. 定基町 | 32. 松本町 | 33. 敷島町 | 34. 花園町 | 35. 西浜町 |
| 36. 月岡町 | 37. 宝林町 | 38. 昭和町 | 39. 光洋町 | 40. 牧の内 |
| 41. 桂木 | 42. 花咲港 | 43. 穂香 | 44. 幌茂尻 | 45. 温根沼 |
| 46. 東梅 | 47. 酪陽 | 48. 東和田 | 49. 西和田 | 50. 長節 |
| 51. 浜松 | 52. 昆布盛 | 53. 落石東 | 54. 落石西 | 55. 別当賀 |
| 56. 初田牛 | 57. 東厚床 | 58. 厚床 | 59. 西厚床 | 60. 明郷 |
| 61. 湖南 | 62. 川口 | 63. 槍昔 | 64. 友知 | 65. 双沖 |
| 66. 齒舞 | 67. 瑠瑠瑠 | 68. 納沙布 | 69. 温根元 | 70. 豊里 |

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 明るいまち
- 2. 清潔なまち
- 3. 活気のあるまち
- 4. 個性（特色）のあるまち
- 5. ふれあいや連帯感のあるまち
- 6. 市民として誇りや郷土愛があるまち
- 7. その他（具体的に： _____）

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. とても住みよい
- 2. 住みよい
- 3. 普通
- 4. 住みにくい（理由： _____）
- 5. とても住みにくい（理由： _____）

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. ずっと住み続けたい
 - 2. できれば住み続けたい
 - 3. できれば住みたくない
 - 4. 住みたくない
- } ⇒問6へ
- } ⇒問5へ

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。

そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 自分にあう職業がない
- 2. 商売や事業経営に不利
- 3. 交通の便が悪い
- 4. 買い物などの生活の利便が悪い
- 5. 物価が高い
- 6. 進学などの教育上の問題
- 7. 医療・福祉面が不安
- 8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
- 9. 自然が厳しい
- 10. その他（具体的に： _____）

《少子化・子育て支援について》

問7. 「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①こども医療費給付の拡充(通院・入院に対する助成範囲を高校生、または18歳以下で保護者の扶養を受けている方まで拡充)	1. はい	2. いいえ
②人材確保対策(保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付)	1. はい	2. いいえ
③保育所等における給食費(副食)及び第3子目以降の保育料無償化、小中学校の給食費無償化(子育て世帯の経済的負担軽減)	1. はい	2. いいえ
④出産祝金支給制度の創設(出産後にかかる経済的負担を軽減するため、新生児1人につき10万円を給付)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり
 2. 乳幼児保育の充実(延長保育など)
 3. 学童保育の充実
 4. 経済的負担の軽減(入院費、保育料の軽減など)
 5. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備
 6. 地域の交通安全や防犯対策の強化
 7. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり
 8. その他(具体的に: _____)

《高齢者支援について》

問8. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

(1) あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1. ある 2. 以前はあったが今はない 3. 以前からない

(2) あなたは、町会等の行事、サークル活動、地域イベントに出かけたりしていますか。

1. よく出かける 2. たまに出かける 3. あまり出かけない

《交通について》

問10. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)下記の事業をご存知でしたか。

①市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替バスへの財政支援	1. はい	2. いいえ
②JR花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み(花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信)	1. はい	2. いいえ
③街路灯LED化事業(街路灯の長寿命化や消費電力の縮減を図るためLED化を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2. 鉄道便の確保
3. バス便の確保
4. 身近な生活道路の整備
5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
8. 信号・ガードレールなどの安全対策
9. 駐車場や駐輪場の整備
10. その他(具体的に: _____)

《生活環境について》

問11. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①公園の遊具等更新(既設遊具の定期点検・維持補修等整備)	1. はい	2. いいえ
②市営住宅整備事業(市営住宅(光洋団地)の建替を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたの住んでいる地域の緑の豊かさにどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(4) あなたは、上水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(5) あなたは、下水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(6) あなたは、公園や広場の利用しやすさにどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(7) あなたは、買い物の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(8) 根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 公営住宅の整備	
2. 宅地の供給	
3. 水道や下水道の整備	
4. ゴミの減量化、再利用の促進	
5. 公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備	
6. 防犯対策の充実	
7. 美しい景観（まちなみ）の創出	
8. その他（具体的に： _____）	

《防災・減災対策について》

問1 2. 防災・減災対策についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①根室港海岸高潮対策事業（防災・安全）（根室港区岬町地区護岸（延長66m）を整備）	1. はい	2. いいえ
②デジタル防災行政無線整備事業（津波情報や避難情報などの緊急情報を屋外一斉放送する設備の整備）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 食料・水・日常生活用品の備蓄	
2. 災害時の情報連絡手段の整備	
3. 指定避難所など防災拠点の整備	
4. 防災マニュアル・マップの配布	
5. 自主防災組織の育成	
6. 防災講習会・防災訓練の開催	
7. その他（具体的に： _____）	

《学校教育・社会教育全般について》

問13. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①高校生への1人1台ノートPCの貸与（ICT利活用能力の向上）	1. はい	2. いいえ
②学力向上対策事業（きめ細かな指導のため、市内7校に授業をサポートする補助教員を配置等）	1. はい	2. いいえ
③ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進
- 2. 個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実
- 3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実
- 4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
- 5. 個性や才能を伸ばす教育の充実
- 6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
- 7. 情報化社会に適合した教育内容の充実
- 8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成
- 9. その他（具体的に： _____）

問14. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 生涯学習教育の指導者育成
- 2. 各種サークル活動の充実
- 3. 各種講座・教室などの充実
- 4. 放課後教室・児童会館・児童教室などの充実
- 5. 青少年の健全育成
- 6. その他（具体的に： _____）

《スポーツ・レクリエーション・文化について》

問15. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①みらいのアスリート・アーティスト応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1. はい	2. いいえ
②総合文化会館整備事業（トイレ洋式化や音響・照明機器等の更新）	1. はい	2. いいえ
③北方資料研究活用事業（歴史と自然の資料館に寄贈された考古資料の確認、収蔵、展示体制の整備）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 行政に関する総合的な情報
2. 道路交通・除雪・気象等の情報
3. 各種統計情報
4. 公共施設利用状況
5. 観光・レジャー情報
6. 文化行事・イベント情報
7. その他（具体的に： _____)

《市民協働について》

問18. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 清掃活動や花いっぱい運動
2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
4. 自然保護活動
5. リサイクル活動、省資源活動
6. 子ども会などの青少年育成のための活動
7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
8. 交通安全や防災・防犯活動
9. 新しい特産品や土産品の研究開発
10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
11. 特にない
12. その他（具体的に： _____)

《市民参画の方法について》

問19. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
7. あまり必要性を感じない（理由： _____)
8. その他（具体的に： _____)

